

## 組立・施工説明書

# ソレイド テラス囲い 土間仕様

もくじ  
安全にお取り扱い  
いただくために

施工前の準備

基礎工事の準備

本体フレームの  
施工

屋根部の施工

基礎工事

開口部の施工

雨樋の施工

切断・加工要領図

姿図・商品断面図

### 《お願い》

商品の組立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組立方法、施工方法をま  
とめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組立て、施工  
を行ってください。

# はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向けの取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 本説明書は、「ソレイド テラス囲い 土間仕様」の組立て、施工について説明しています。








## 本書内の表記

- 商品の組立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。  
内容をよくご理解のうえ、商品の組立て、施工を行ってください。

### 警告／注意／お願い

表記	意味
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

## その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業に変更があったことを示しています。 必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
 <b>ご注意</b>	作業上の注意して頂きたい内容を示しています。
 <b>Check</b>	確認して頂きたい内容を示しています。
 <b>ポイント</b>	商品の組立・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
 <b>電気工事</b>	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
 <b>電動ドライバー禁止</b>	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
 <b>シーリング材</b>	必ずシーリングを行って頂きたい箇所を示しています。

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>施工前の準備</b>	<b>P.3</b>
作業前の確認	P.4
墨出し	P.6
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.9</b>
基礎の掘削	P.10
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.13</b>
壁面部材の施工	P.14
本体フレームの施工	P.20
<b>屋根部の施工</b>	<b>P.41</b>
屋根部の施工（上から施工の場合）	P.42
屋根部の施工（下から施工の場合）	P.56
妻 FIX 部の施工	P.68
<b>基礎工事</b>	<b>P.79</b>
基礎（柱・方立）の固定	P.80
<b>開口部の施工</b>	<b>P.83</b>
作業前の確認	P.84
掃出しサッシ（土間）・高窓の施工	P.85
掃出しサッシ（土間）・高窓の施工	P.86
壁 FIX の施工	P.137
ドアの施工	P.144
止水処理	P.156
<b>雨樋の施工</b>	<b>P.157</b>
雨樋の取付	P.158
<b>切断・加工要領図</b>	<b>P.159</b>
切詰め	P.160
<b>姿図・商品断面図</b>	<b>P.165</b>
本体フレーム部	P.166
開口部	P.173

# 安全にお取り扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 本商品の組立て、取付けは、所定のボルト・ねじを使用し最後まで確実に締付けてください。締付け不良は漏水や事故につながるおそれがあります。
- 取付けは、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず取付けてください。商品の破損や部材の脱落につながるおそれがあります。
- コーチねじの取付けは所定の下穴を必ずあけてください。
- 経年劣化などで構造材が損傷している場合は、お施主様と打合せをし、復旧、補強工事を行ってから商品を取付けてください。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。組立不良は漏水につながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水につながるおそれがあります。
- 外壁と商品とのシーリングは、プライマーを塗布し、変成シリコン系シーリング材をご使用ください(別途手配品)。漏水につながるおそれがあります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材をご使用ください(別途手配品)。ポリカーボネート板の接着不良やひび割れにつながるおそれがあります。
- アルミ部材は鉄などの異種金属との接触で腐食が進行します。必要に応じて塗料、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- テラス囲い 屋根の上に乗らないでください。商品が破損したり、転落によりケガをしたりするおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全带、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。

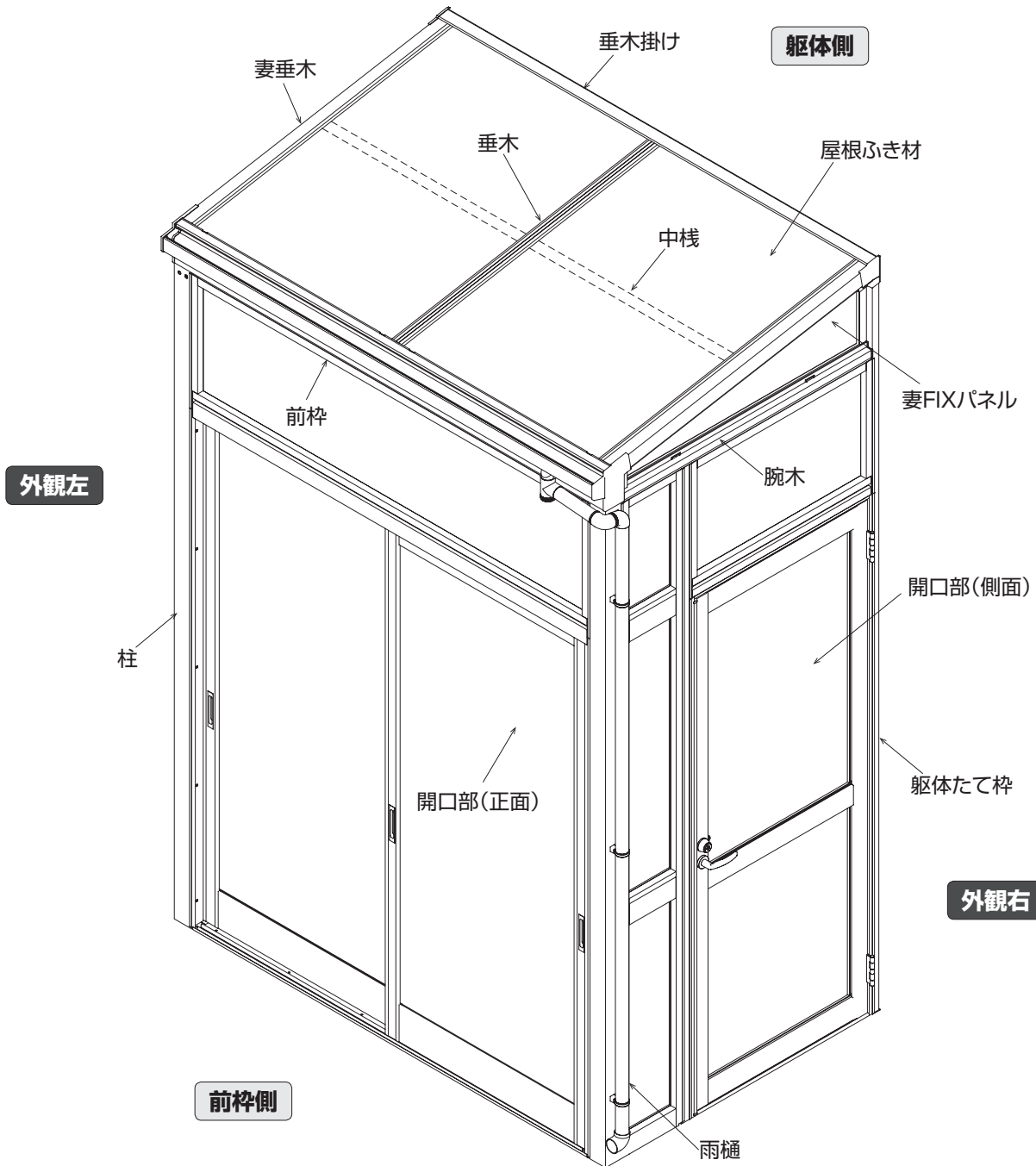
# 施工前の準備

<b>作業前の確認</b> .....	<b>P.4</b>
全体構成図.....	P.4
施工手順.....	P.5
<b>墨出し</b> .....	<b>P.6</b>
壁面部材の墨出し.....	P.6
基礎の墨出し.....	P.8

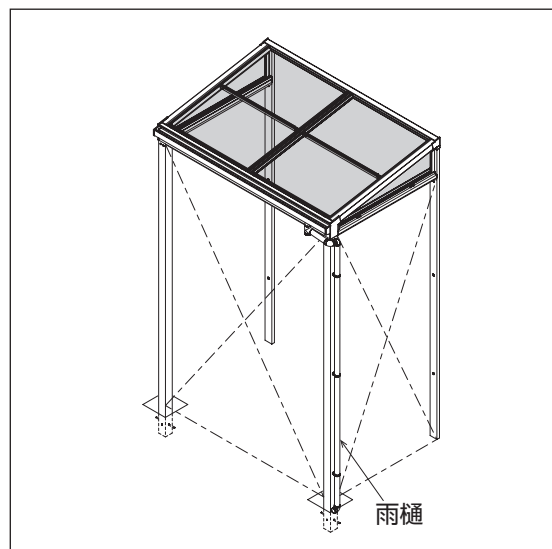
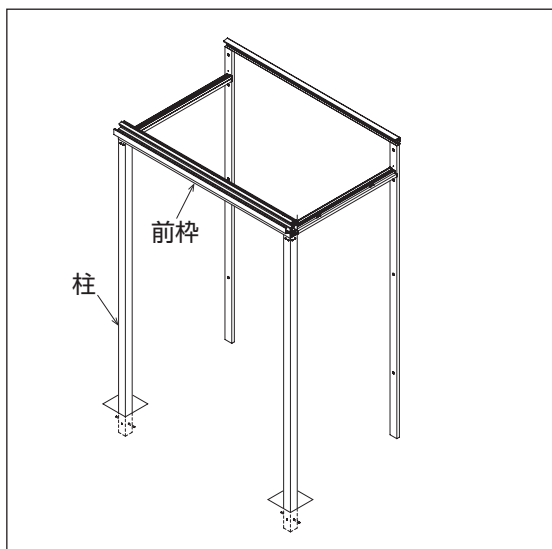
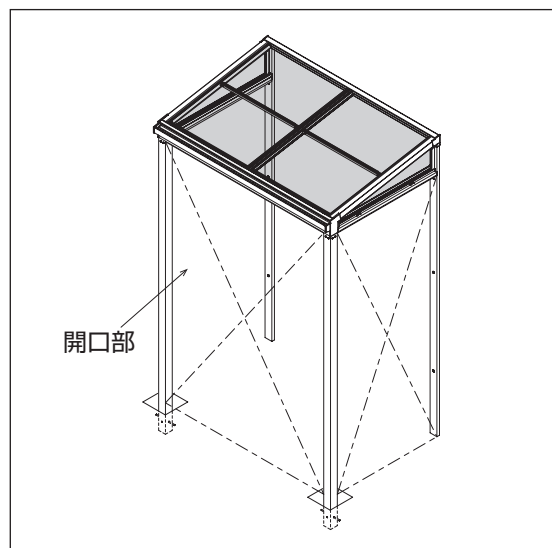
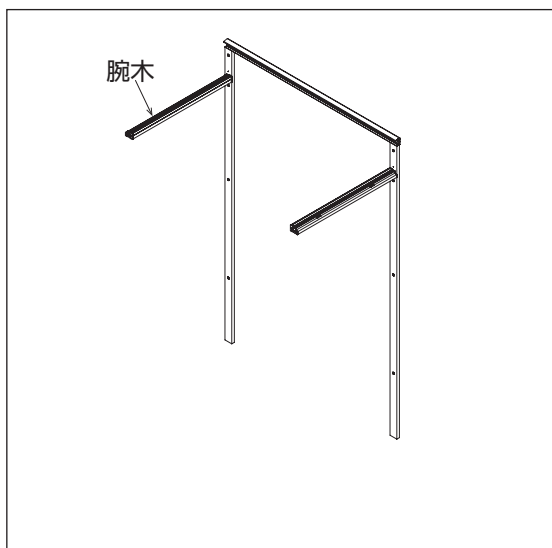
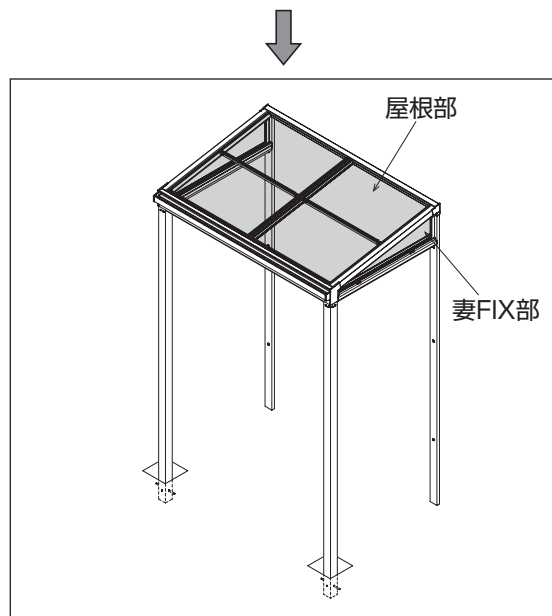
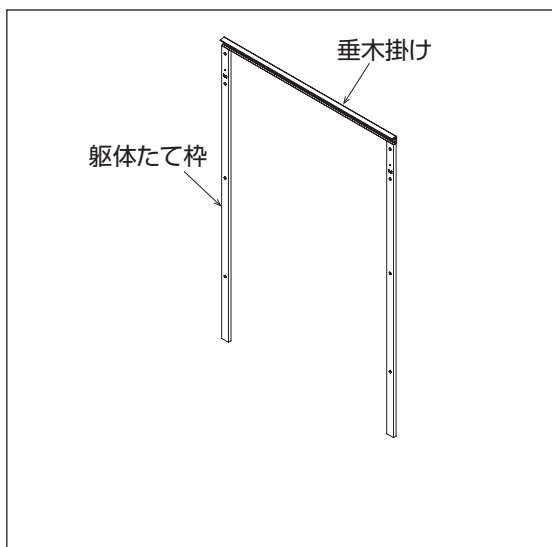
# 作業前の確認

## 全体構成図

施工前の準備



# 施工手順



# 墨出し

## 壁面部材の墨出し

### 躯体たて枠の墨出し

1. 躯体たて枠の墨出しを行ってください。(P.7【寸法図】参照)

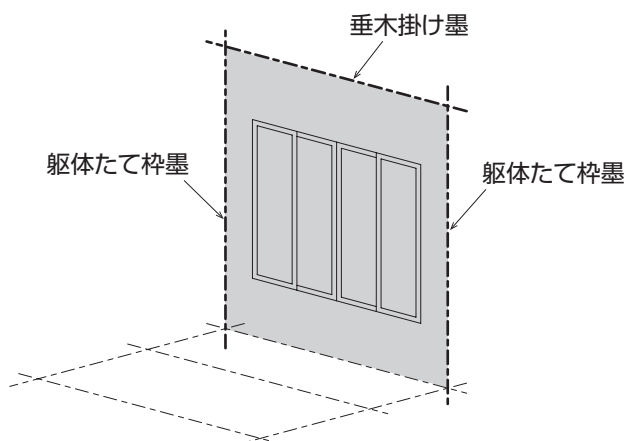
施工前の準備

### 垂木掛けの墨出し

1. 垂木掛けの墨出しを行ってください。(P.7【寸法図】参照)



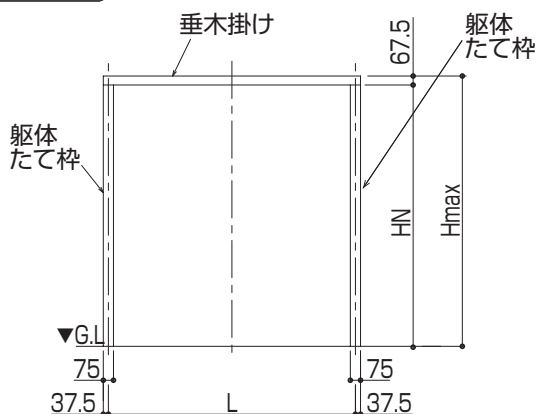
- <連棟用>は必ず外観右側に墨出しを行ってください。外観左側には取付けできません。
- ジョイントテラス<連棟用>は、外観右左の設定があります。必要に応じて墨出しを行ってください。



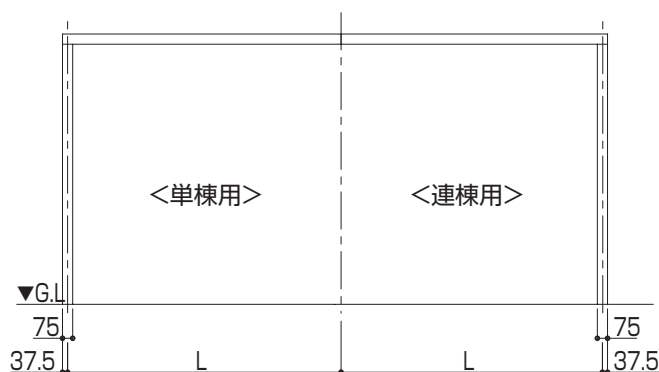


【寸法図】

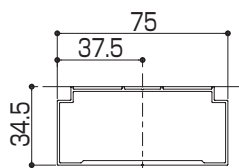
単棟



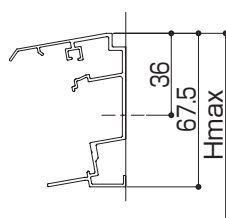
連棟



<躯体たて枠>



<垂木掛け>



耐荷重性能	屋根形状	呼称出幅	D	ランマなし		ハイサッシ		ランマ付き			
				Hmax	HN	Hmax	HN	Hmax	HN		
600(N/m <sup>2</sup> )	Fタイプ	3R	870	2297.8	2230.3	2497.8	2430.3	2810.8	2743.3		
		4R	1170	2350.7	2283.2	2550.7	2483.2	2863.7	2796.2		
		5R	1470	2403.6	2336.1	2603.6	2536.1	2916.6	2849.1		
		6R	1770	2456.5	2389.0	2656.5	2589.0	2969.5	2902.0		
		7R	2070	2509.4	2441.9	2709.4	2641.9	3022.4	2954.9		
		8R	2370	2562.3	2494.8	2762.3	2694.8	3075.3	3007.8		
		9R	2670	2615.2	2547.7	2815.2	2747.7	3128.2	3060.7		
		1500(N/m <sup>2</sup> )	Rタイプ	3R	870	2443.2	2375.7	2643.2	2575.7	2956.2	2888.7
				4R	1170	2496.1	2428.6	2696.1	2628.6	3009.1	2941.6
5R	1470			2549.0	2481.5	2749.0	2681.5	3062.0	2994.5		
6R	1770			2601.9	2534.4	2801.9	2734.4	3114.9	3047.4		
7R	2070			2654.8	2587.3	2854.8	2787.3	3167.8	3100.3		
8R	2370			2707.7	2640.2	2907.7	2840.2	3220.7	3153.2		
		9R	2670	2760.6	2693.1	2960.6	2893.1	3273.6	3206.1		

呼称間口	L	屋根幅
1.0間	1820	1895
1.5間	2730	2805
2.0間	3640	3715

施工前の準備

(単位 : mm)

## 基礎の墨出し

### 柱の墨出し

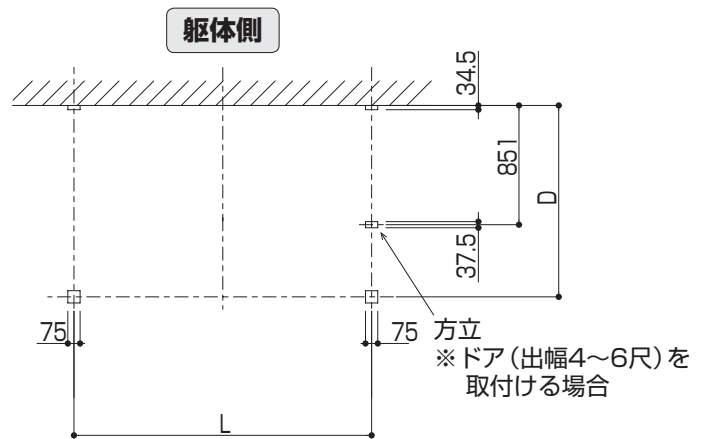
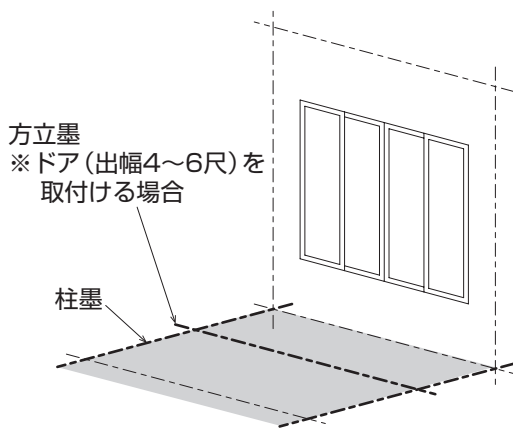
1. 柱の墨出しを行ってください。

### ドア（出幅 4～6 尺）を取付ける場合

### 方立の墨出し

1. 方立の墨出しを行ってください。

施工前の準備



呼称間口	L
1.0間	1820
1.5間	2730
2.0間	3640

呼称出幅	D
3尺	870
4尺	1170
5尺	1470
6尺	1770
7尺	2070
8尺	2370
9尺	2670

(単位：mm)

# 基礎工事の準備

基礎の掘削.....	P.10
基礎の掘削.....	P.10

# 基礎の掘削

## ⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。  
地盤の支持力が得られず、商品が沈下し、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。  
地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

## 基礎の掘削

### 基礎の穴掘り

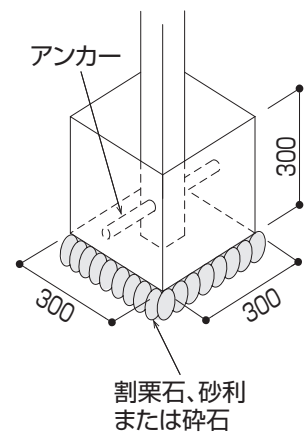
1. 図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。

#### ■単棟 ※柱深さ 300mm

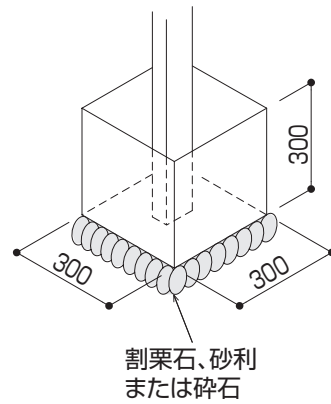
耐荷重性能	600・1500N/m <sup>2</sup>		
呼称間口	1.0間	1.5間	2.0間
3R	300	300	300
4R			
5R			
6R			
7R			
8R			
9R			

#### ■連棟 ※柱深さ 300mm

耐荷重性能	600・1500N/m <sup>2</sup>			
呼称間口	2.5間 (1.5間+1.0間)	3.0間 (1.5間+1.5間)	3.5間 (1.5間+2.0間)	4.0間 (2.0間+2.0間)
3R	300	300	300	300
4R				
5R				
6R				
7R				
8R				
9R				

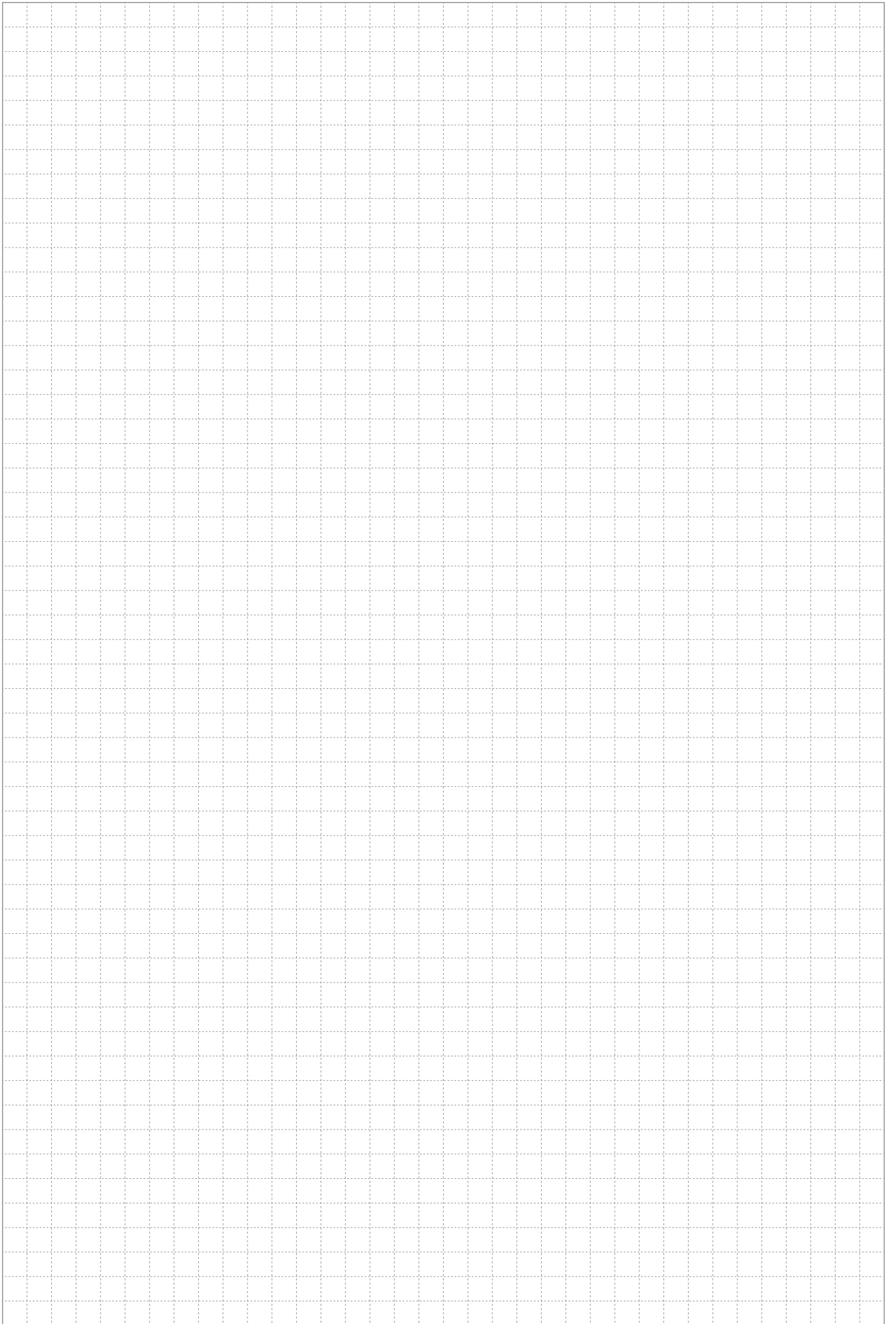


2. 図を参考に方立の基礎穴をあけてください。



## 割栗石・砂利、碎石の敷き均し

1. 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



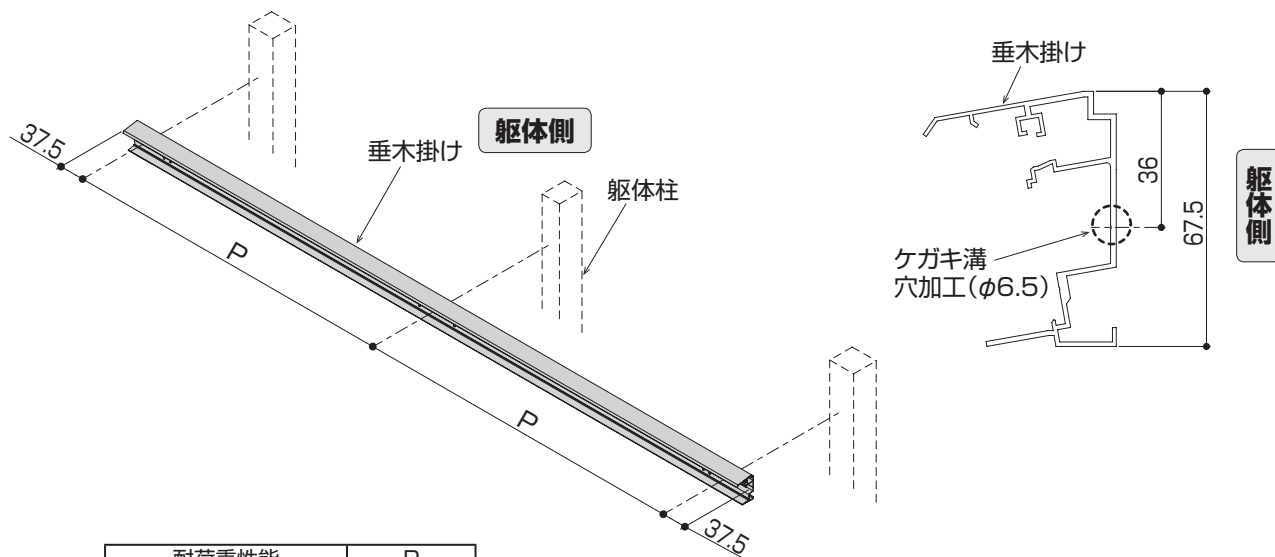
# 本体フレームの施工

<b>壁面部材の施工</b> .....	<b>P.14</b>
垂木掛けの加工 .....	P.14
垂木掛け・躯体たて枠の部品付 .....	P.15
壁面部材の取付 .....	P.16
躯体たて枠・垂木掛けのシーリング .....	P.19
<b>本体フレームの施工</b> .....	<b>P.20</b>
前枠の加工 .....	P.20
前枠・柱・腕木の部品付 .....	P.22
本体フレームの取付 .....	P.29

# 壁面部材の施工

## 垂木掛けの加工

1. 躯体柱の位置にあわせ、垂木掛けに穴( $\phi 6.5$ )をあけてください。



耐荷重性能	P
600N/m <sup>2</sup> (3~8尺)	1000以下
600N/m <sup>2</sup> (9尺) 1500N/m <sup>2</sup>	500以下

本体フレームの施工

(単位 : mm)

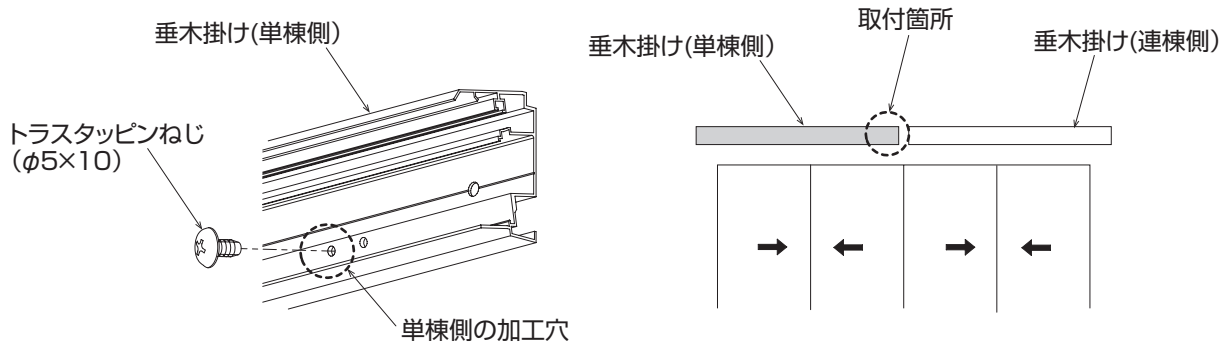


## 垂木掛け・躯体たて枠の部品付

### 垂木掛けの部品付

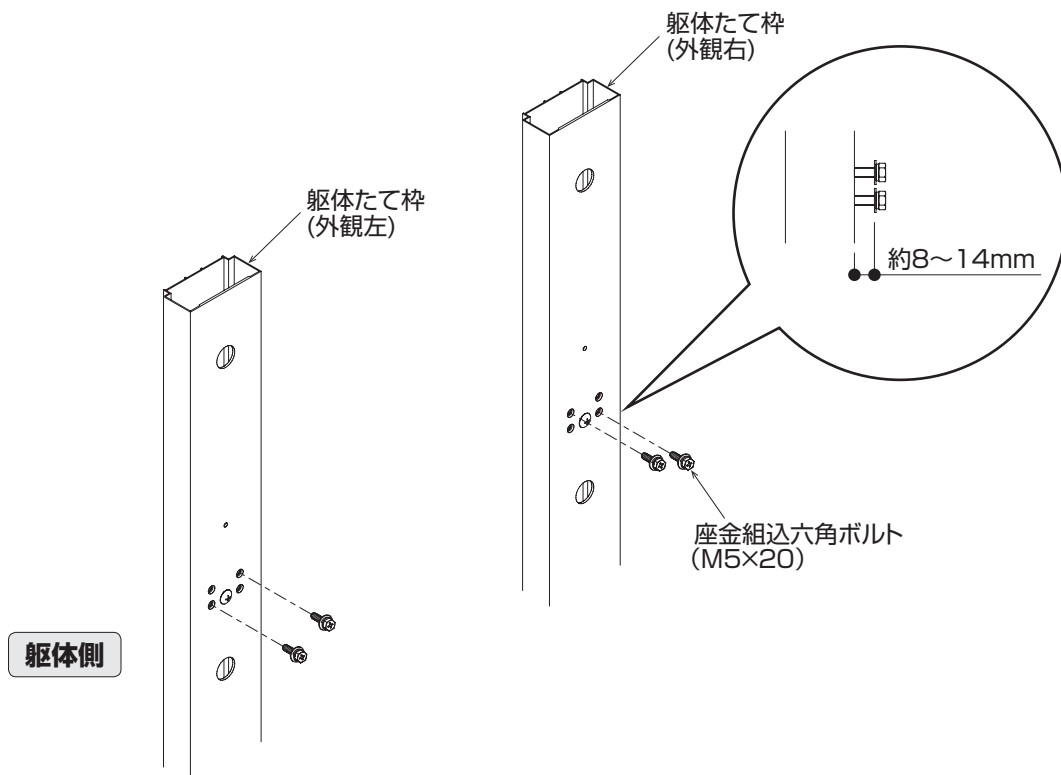
#### 連棟の場合

1. 単棟側の垂木掛けの加工穴（○部）にトラスタッピンねじを取付けてください。



### 躯体たて枠の部品付

1. 座金組込六角ボルトを躯体たて枠に仮留めしてください。



(単位：mm)

## 壁面部材の取付

### ⚠ 注意

- 同梱しているコーチねじの長さは90mmです。取付先の壁厚を確認し、内壁を傷めそうな場合は長さ75mmのコーチねじを使用してください。（別途手配品）
- 躯体にあけた下穴に確実にシーリング材を充てんしてください。
- コーチねじは確実にねじ込んでください。



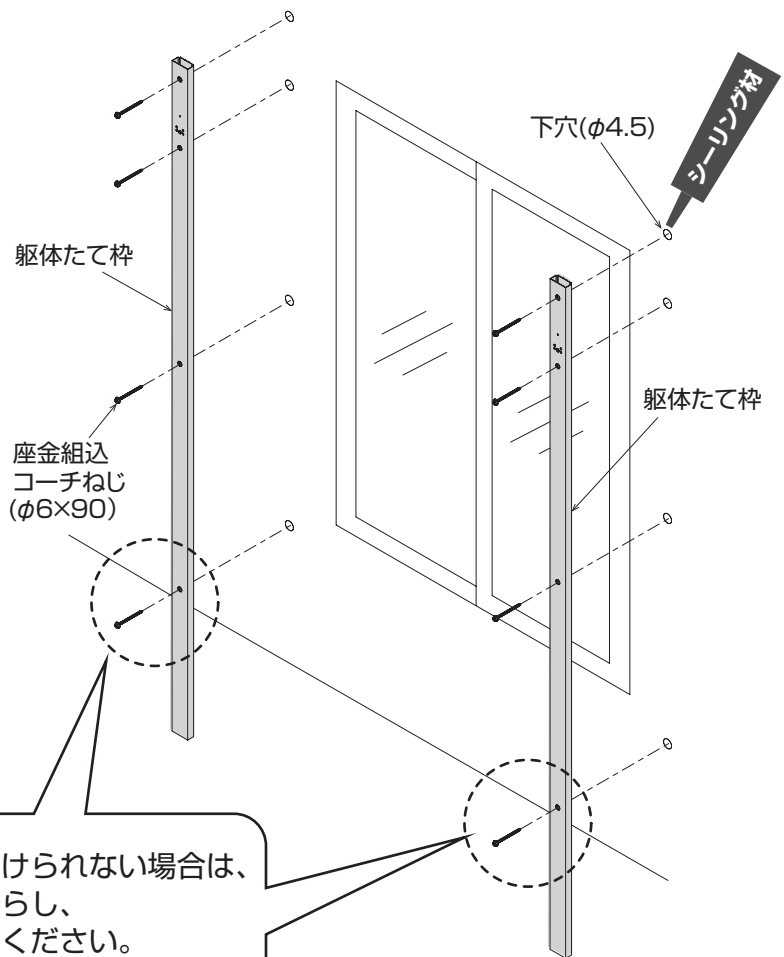
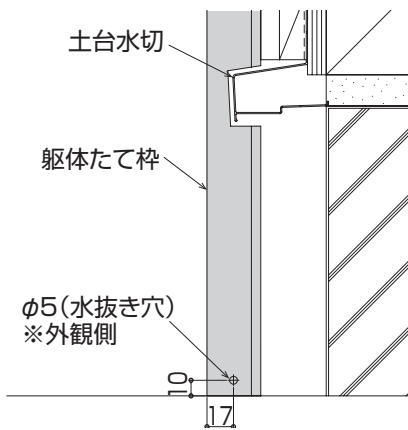
- 取付面（外壁）の凹凸や倒れこみ、土台水切との段差によって生じるすき間は現地で調整してください。

### 躯体たて枠の取付

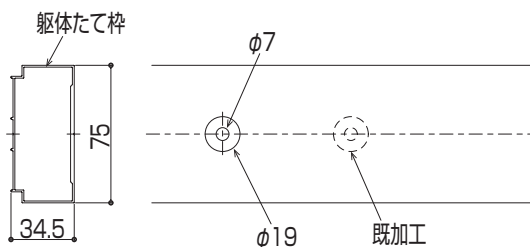
1. 躯体たて枠の加工穴位置にあわせ、躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。
2. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
3. 躯体たて枠を躯体に取付けてください。



- 躯体たて枠が土台水切と干渉する場合は、躯体たて枠を切欠き、水抜き穴(φ5)をあけてください。



- 躯体に取付けられない場合は、穴位置をずらし、再加工してください。

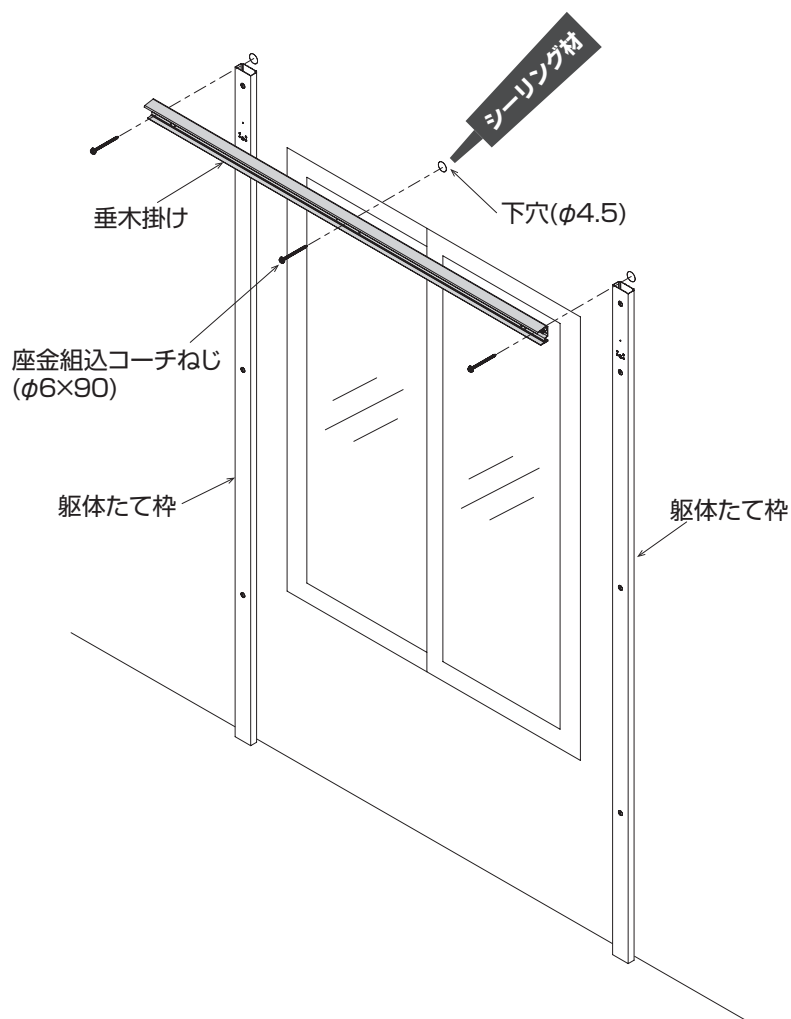


(単位：mm)

## 垂木掛けの取付

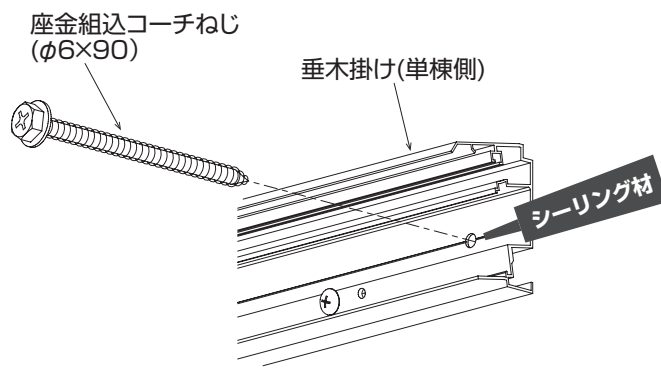
### 単棟の場合

1. 垂木掛けを躯体たて枠の上ののせてください。
2. 垂木掛けの加工穴位置にあわせ、躯体に下穴(φ4.5)をあけてください。
3. 下穴にシーリング材を充てんしてください。
4. 垂木掛けを躯体に取付けてください。

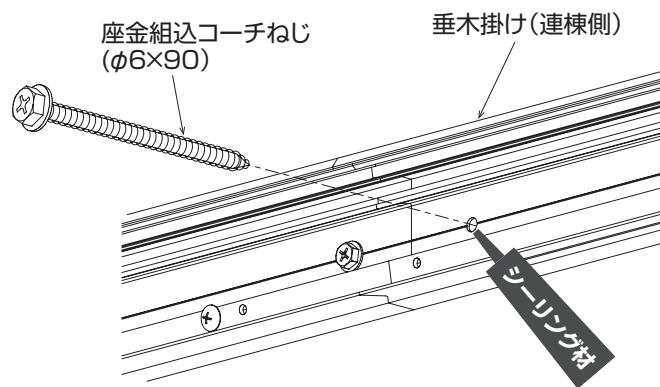


### 連棟の場合

1. 単棟側の垂木掛けを単棟の場合と同様に取付けてください。

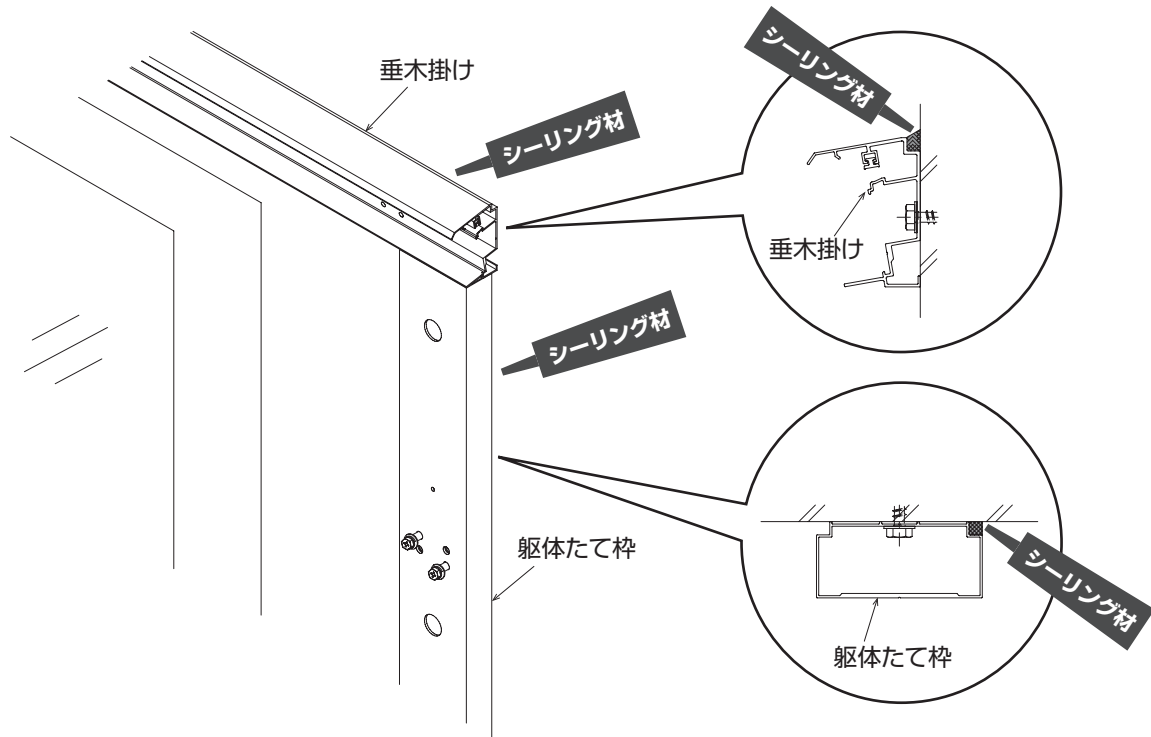


2. 連棟側の垂木掛けを単棟側と同様に取付けてください。



## 躯体たて枠・垂木掛けのシーリング

1. 躯体たて枠・垂木掛けの壁面にマスキングテープを貼付けてください。
2. プライマーを塗布し、シーリング溝に沿って、躯体たて枠・垂木掛けにシーリングを行ってください。
3. マスキングテープをはがしてください。

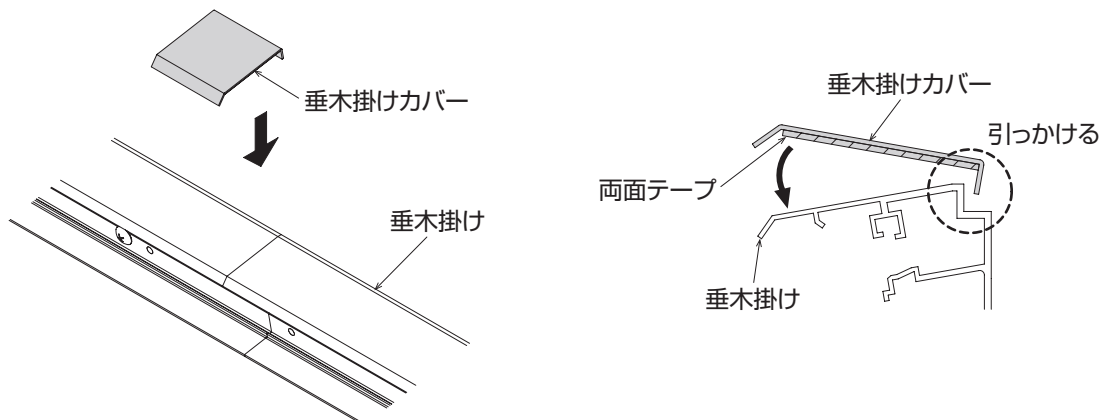


### 連棟の場合

4. 垂木掛けカバーの両面テープのハクリ紙をはがし、垂木掛け連棟部に貼付けてください。

#### お願い

- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。



# 本体フレームの施工

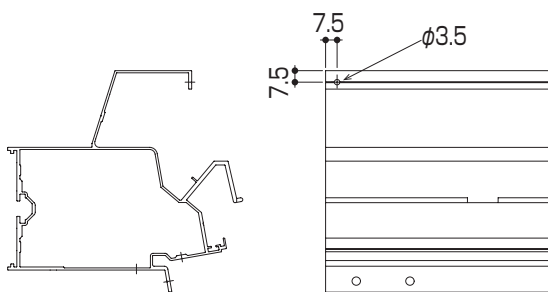
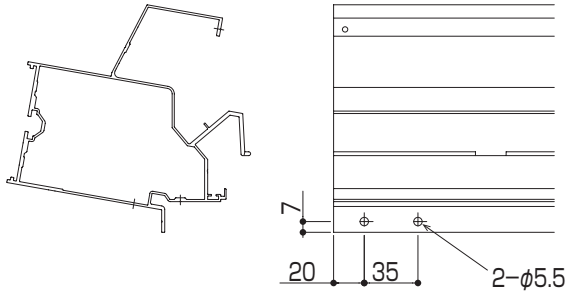
## 前枠の加工

### 連棟の場合

1. 前枠に穴をあけてください。

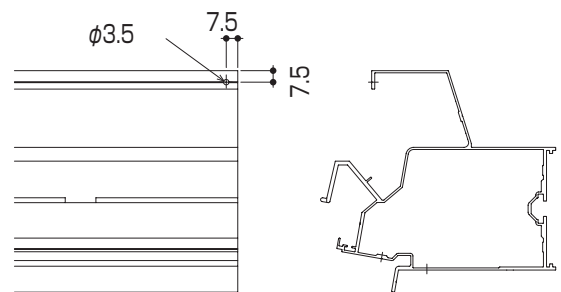
### 《Fタイプ》

#### 前枠(単棟用)

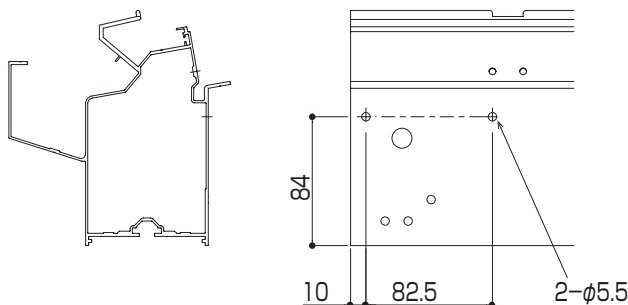
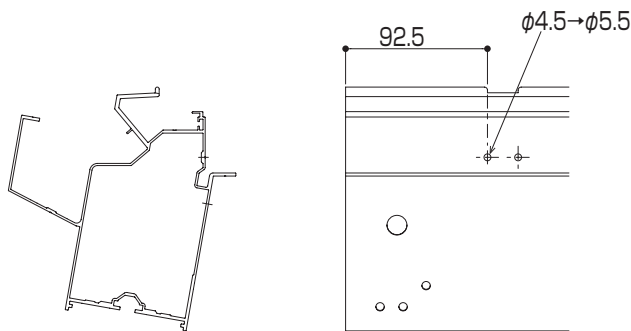


連棟側

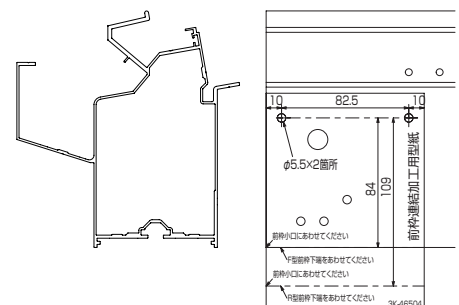
#### 前枠(連棟用)



連棟側



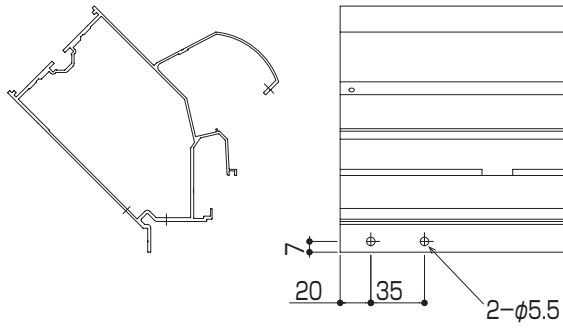
• 加工ラベルを使用すると穴位置が分かりやすくなります。



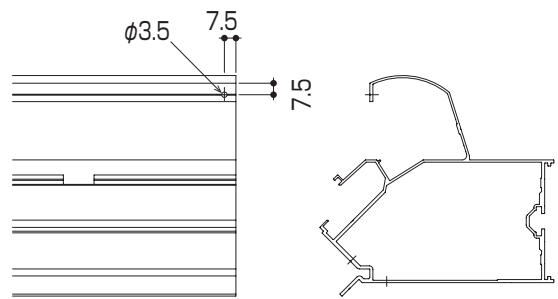
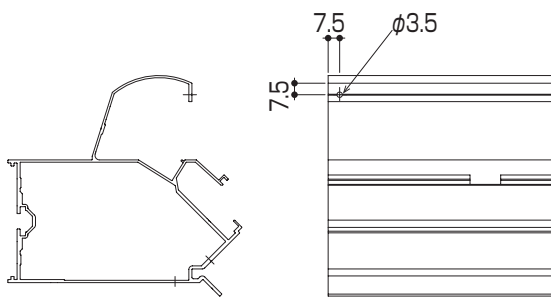
(単位 : mm)

《Rタイプ》

前枠(単棟用)

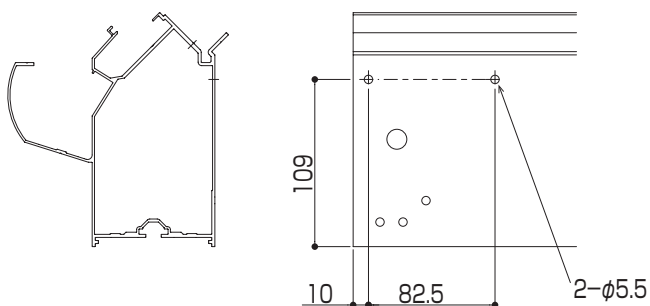
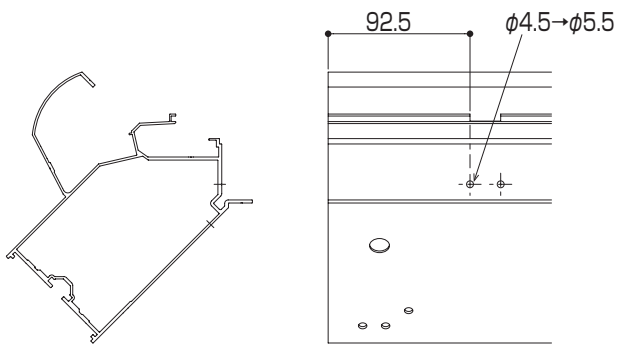


前枠(連棟用)

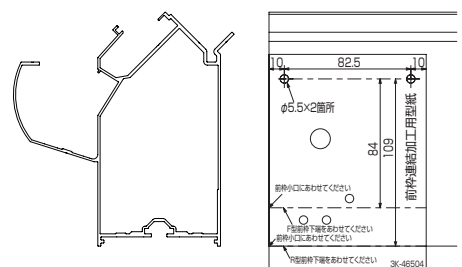


連棟側

連棟側



• 加工ラベルを使用すると穴位置が分かりやすくなります。



(単位 : mm)

## 前枠・柱・腕木の部品付

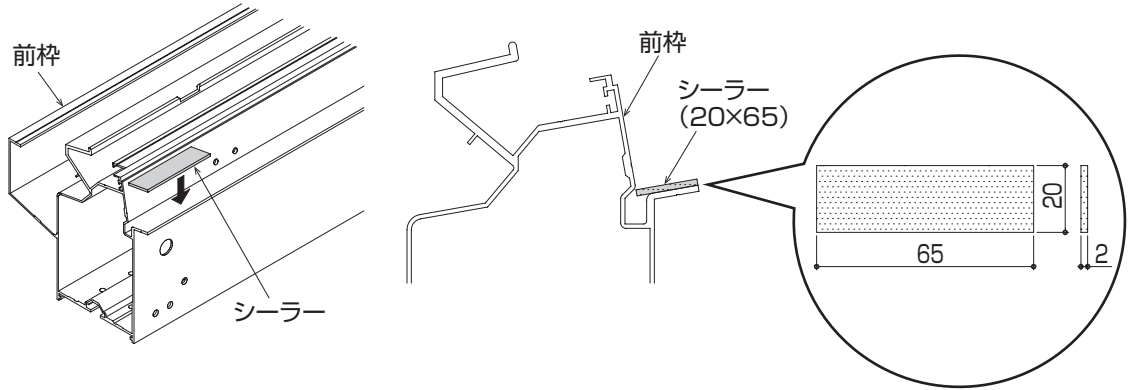
### 前枠の部品付

#### 単棟の場合

1.シーラーを前枠両端に貼付けてください。



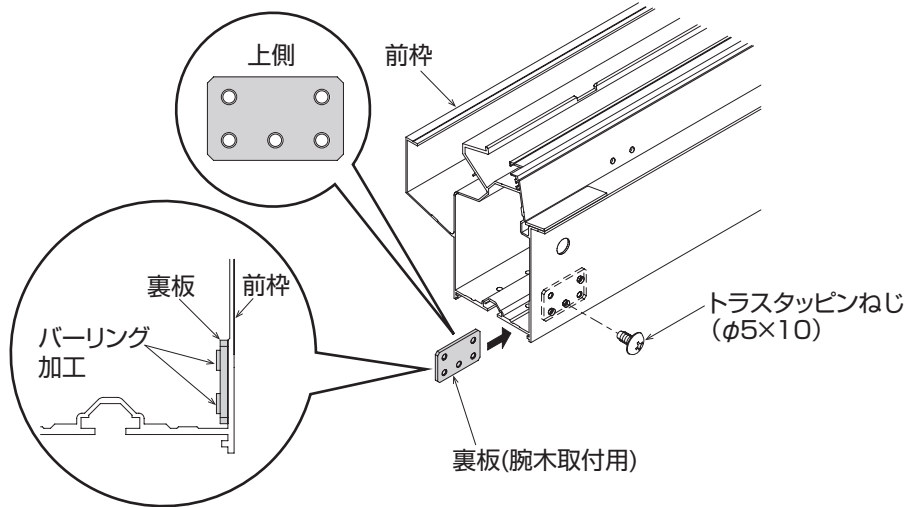
- 前枠用のシーラーの他に垂木、妻垂木用のシーラーも同梱されています。形状を確認して取付けてください。



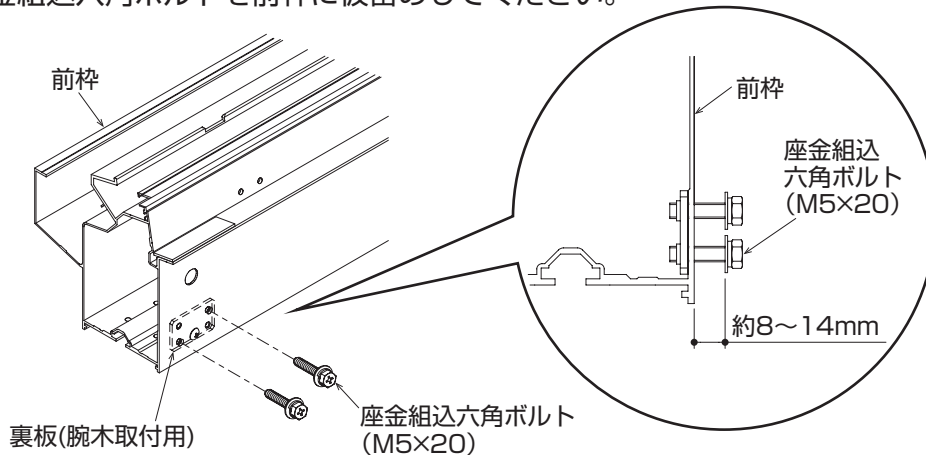
2.裏板（腕木取付用）を前枠両端に取付けてください。



- 裏板の上下・表裏に注意して取付けてください。



3.座金組込六角ボルトを前枠に仮留めしてください。

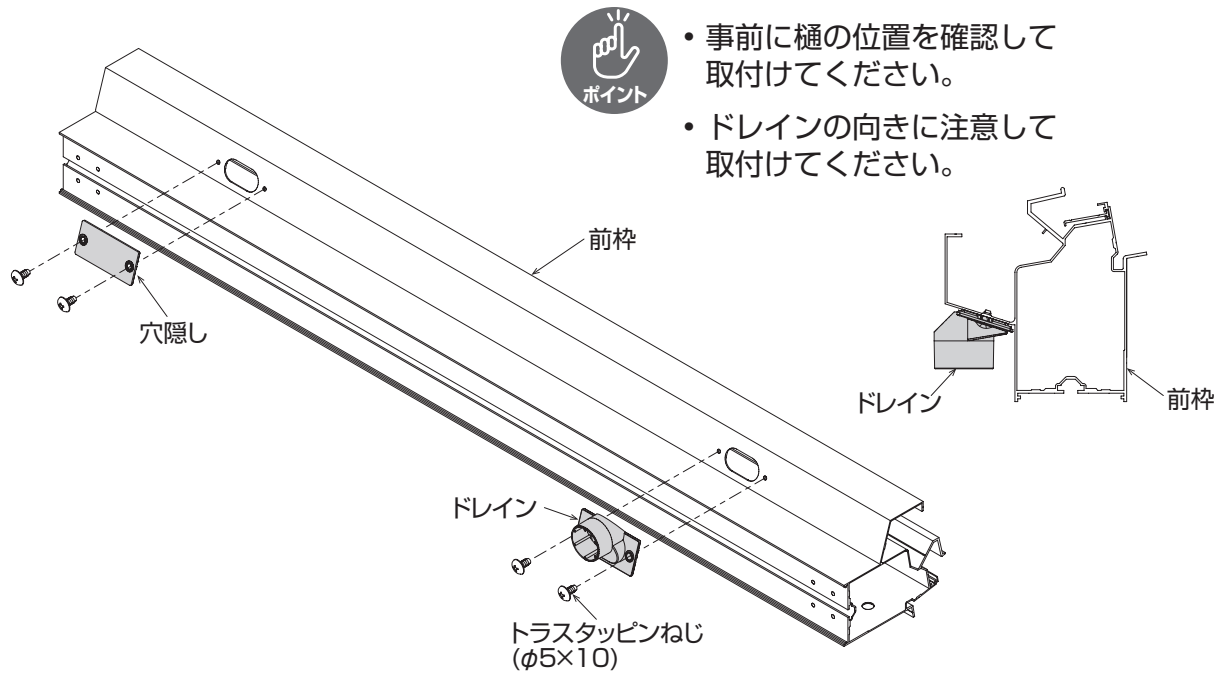


(単位：mm)

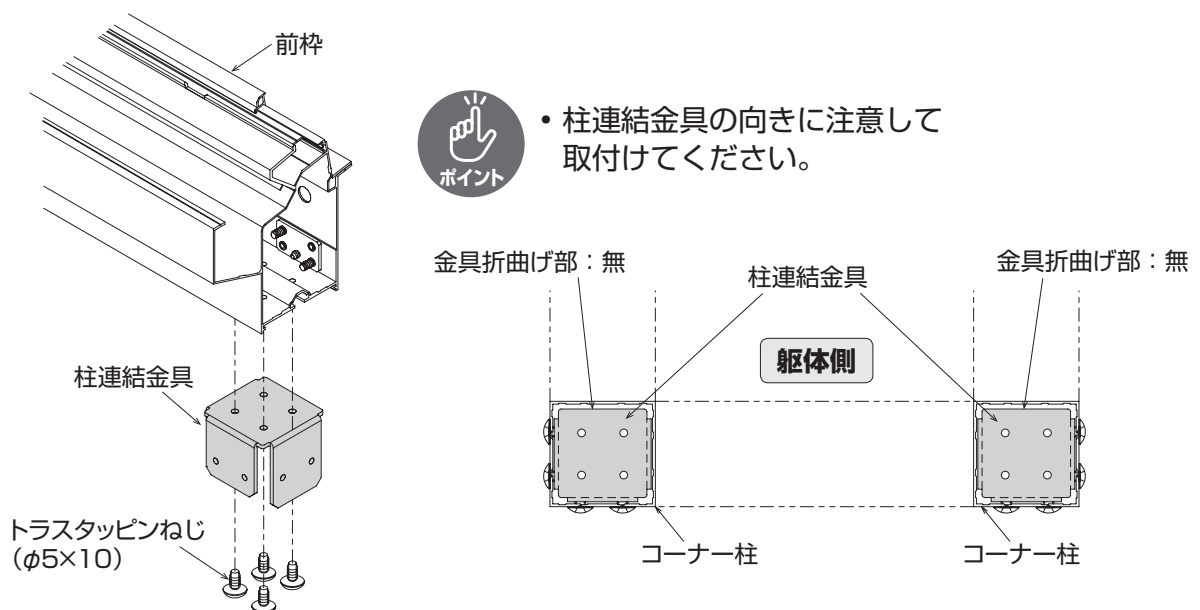


4. ドレインを前枠に取付けてください。

5. 穴隠しを前枠に取付けてください。

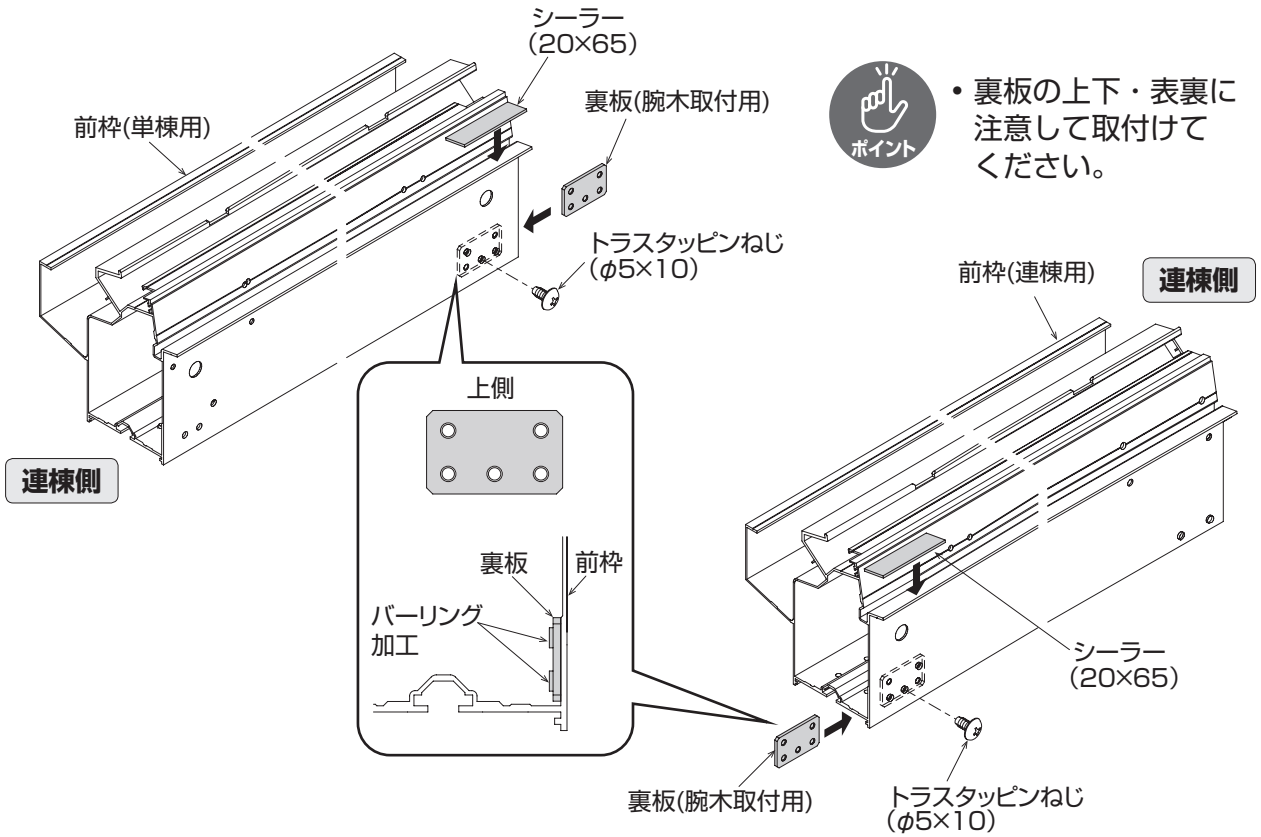


6. 柱連結金具を前枠に取付けてください。

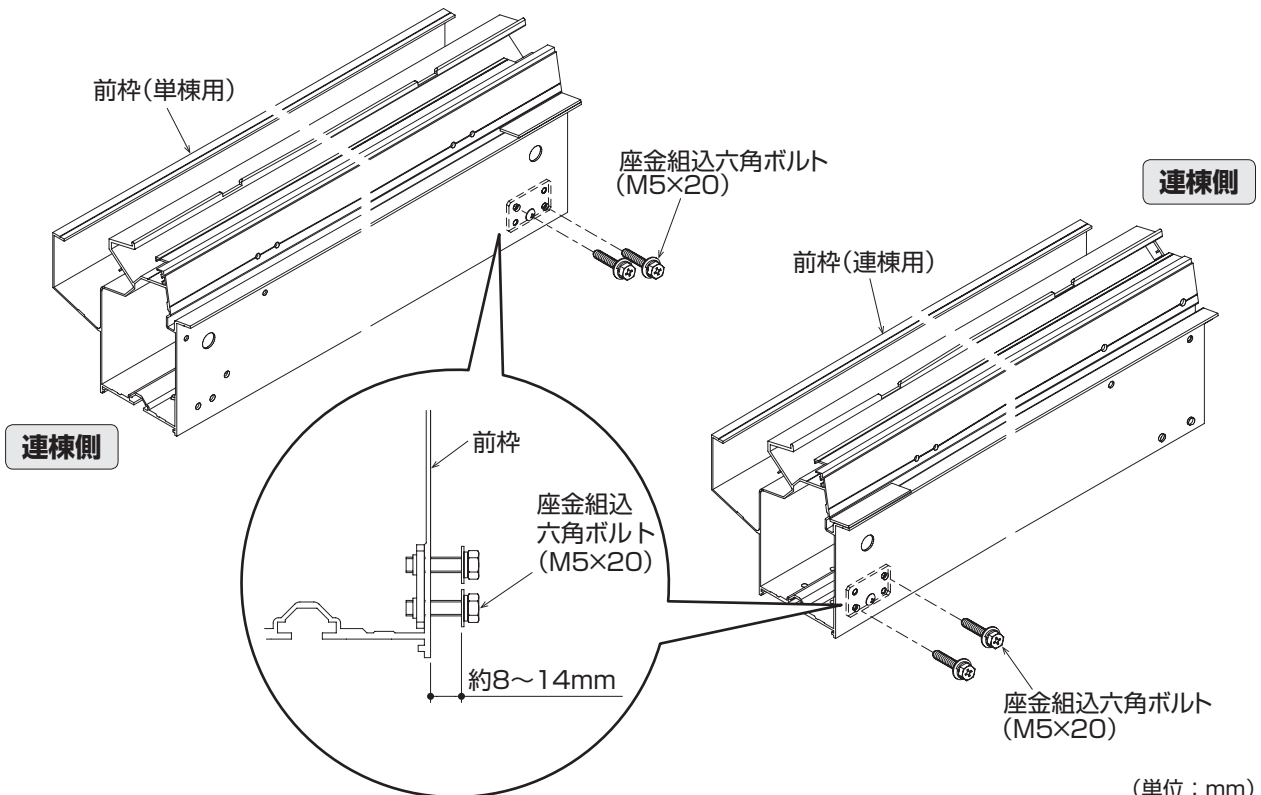


**連棟の場合**

- 1.シーラーを単棟用の前枠内観右側と連棟用の前枠内観左側に貼付けてください。
- 2.裏板（腕木取付用）を単棟用の前枠内観右側と連棟用の前枠内観左側に取付けてください。

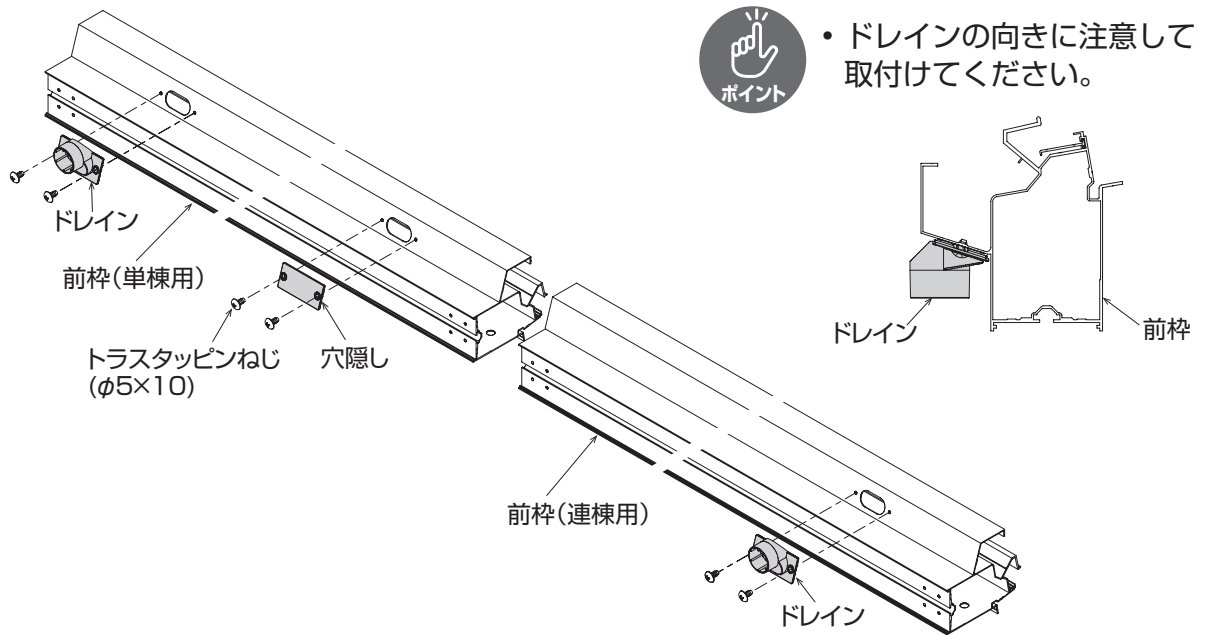


- 3.座金組込六角ボルトを前枠に仮留めしてください。

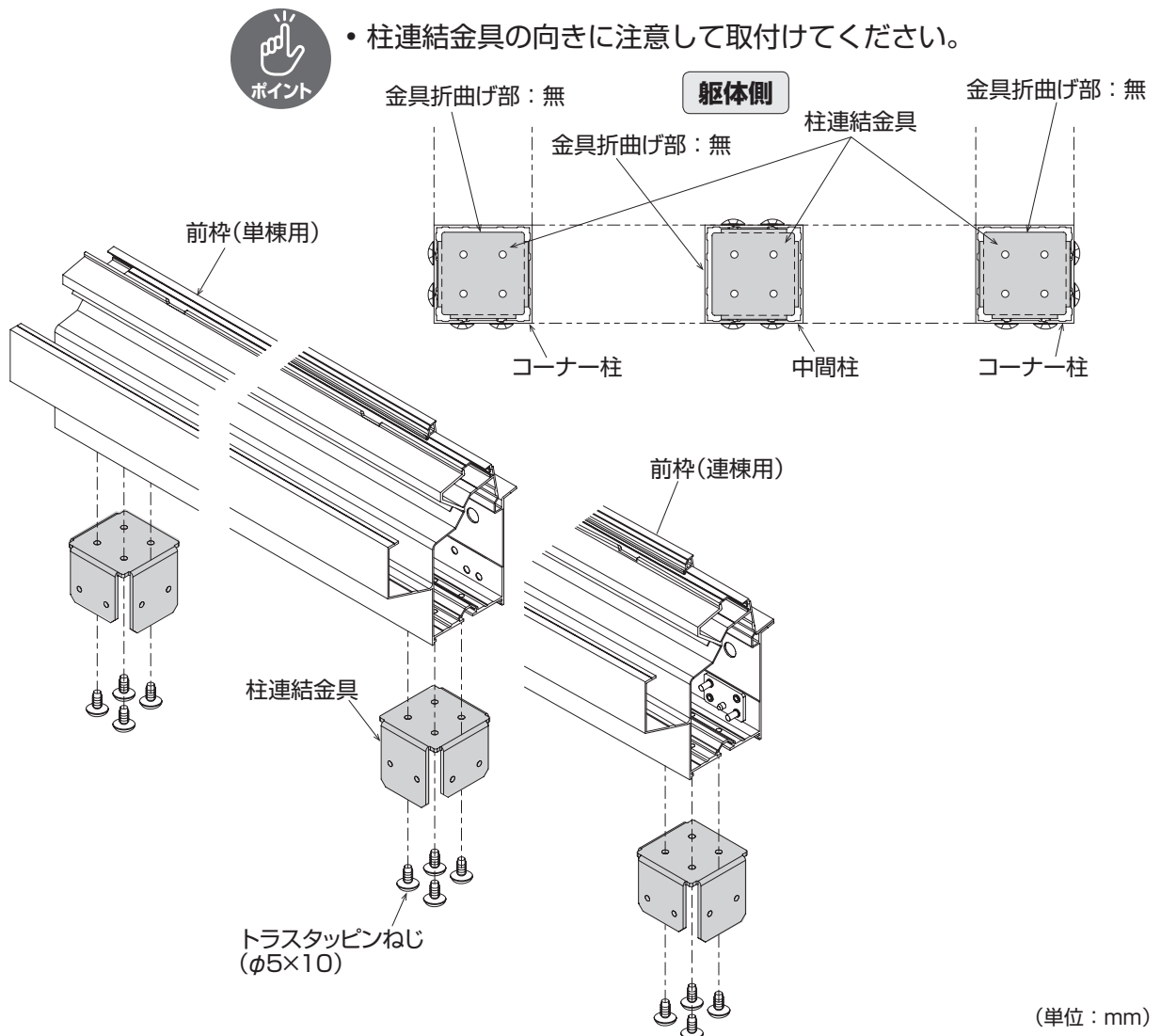


4. ドレインを単棟用と連棟用の前枠に取付けてください。

5. 穴隠しを単棟用の前枠に取付けてください。

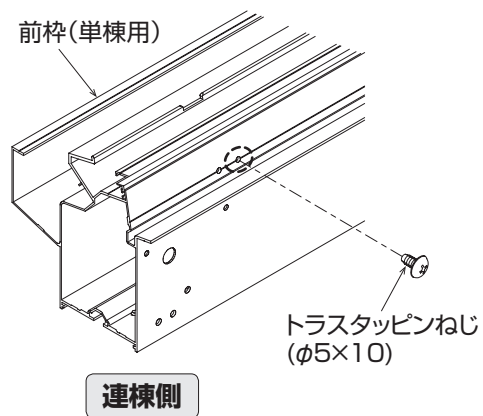


6. 柱連結金具を単棟用の前枠両端と連棟用の前枠外観右側に取付けてください。

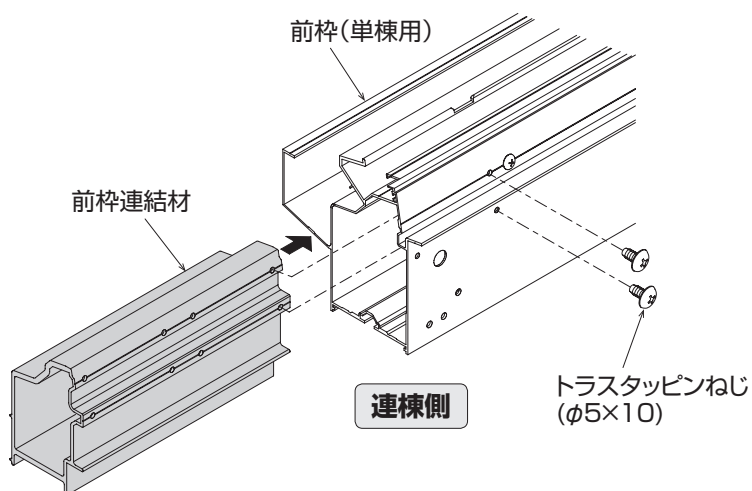


(単位：mm)

7. トラストッピンねじを単棟用の前枠連棟側の穴に取付けてください。

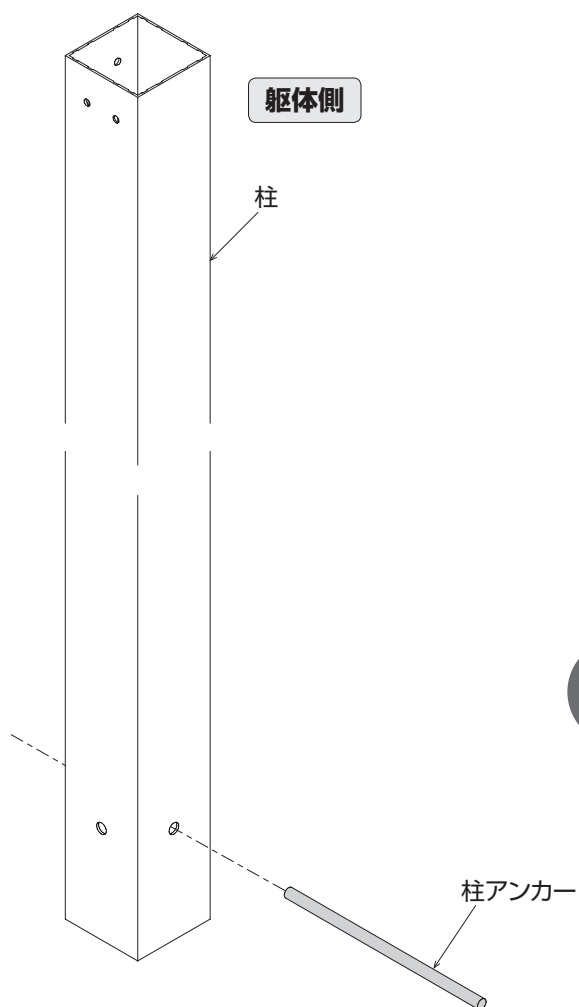


8. 前枠連結材を単棟用の前枠連棟側に取付けてください。

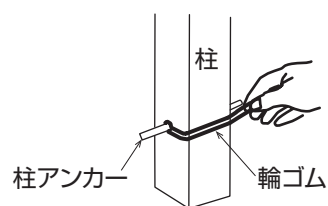


## 柱の部品付

1. 柱アンカーを柱に取付けてください。



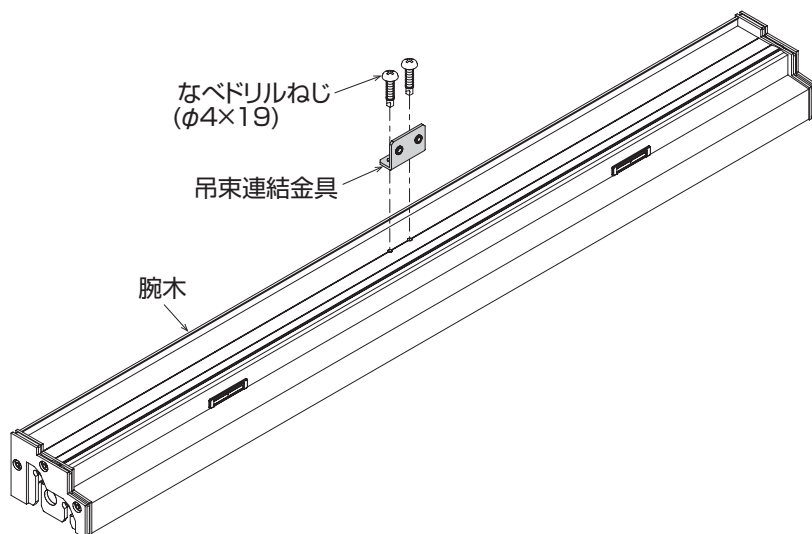
- 柱アンカーの脱落防止  
例：輪ゴムなどで固定する



## 腕木の部品付

### 出幅 7 ~ 9 尺の場合

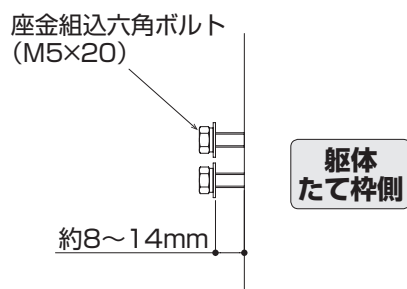
1. 吊束連結金具を腕木に取り付けてください。



## 本体フレームの取付

### 腕木の取付

1. 座金組込六角ボルトが8~14mm程浮かせて取付いていることを確認してください。



2. 腕木の連結金具を座金組込六角ボルトに引っ掛けてください。

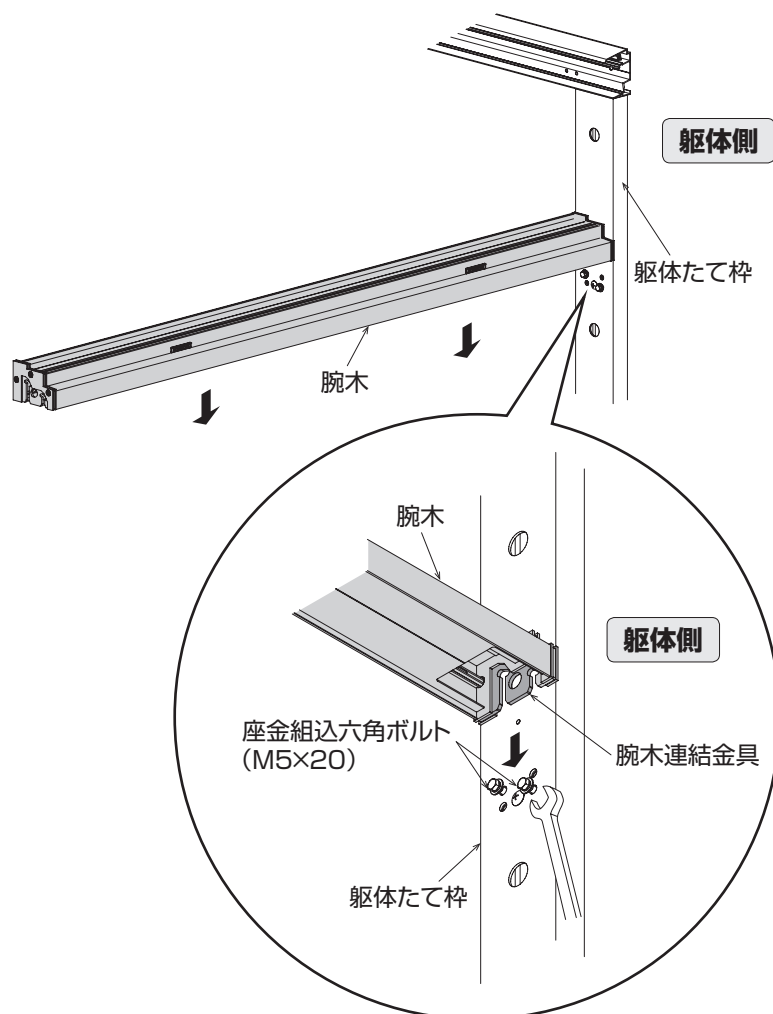
3. 腕木を躯体たて枠に取付けてください。

#### お願い

- 腕木連結金具のシーラーが確実につぶれるまでスパナなどでボルトを締めつけてください。



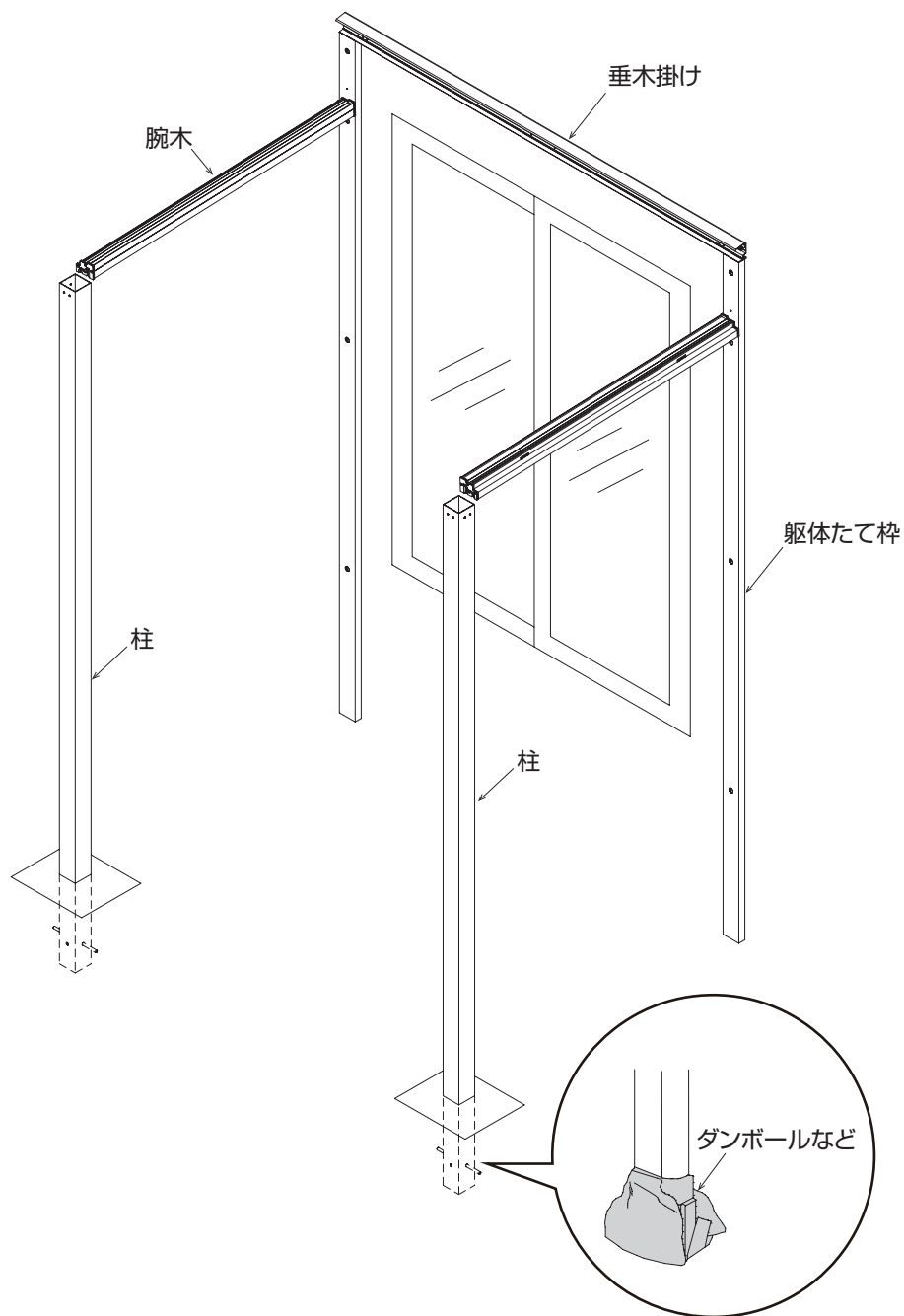
- 腕木は必要に応じて、仮支えしてください。



(単位 : mm)

## 柱の仮固定

1.土のう袋、木片などの固定具を利用して柱を仮固定してください。

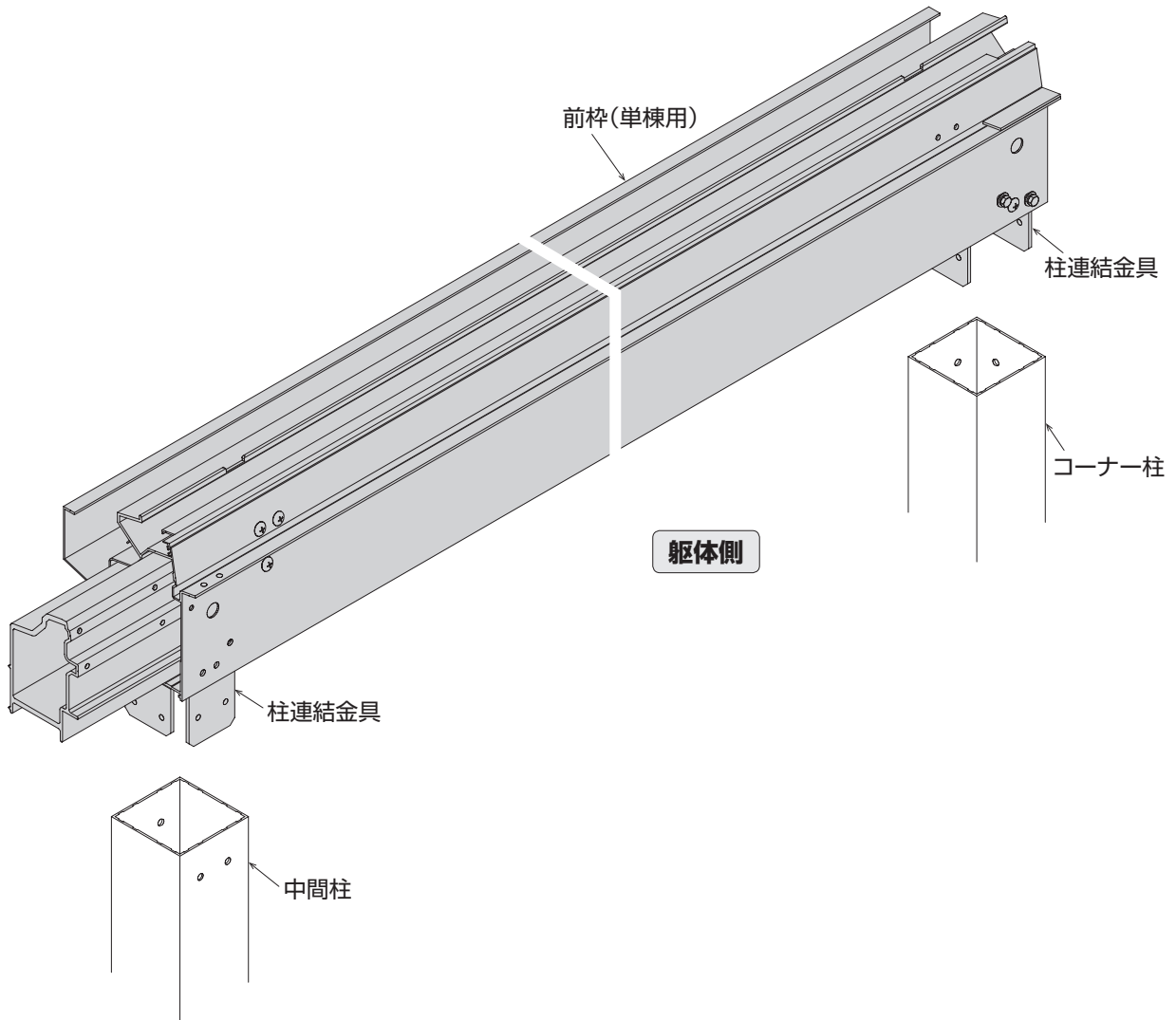




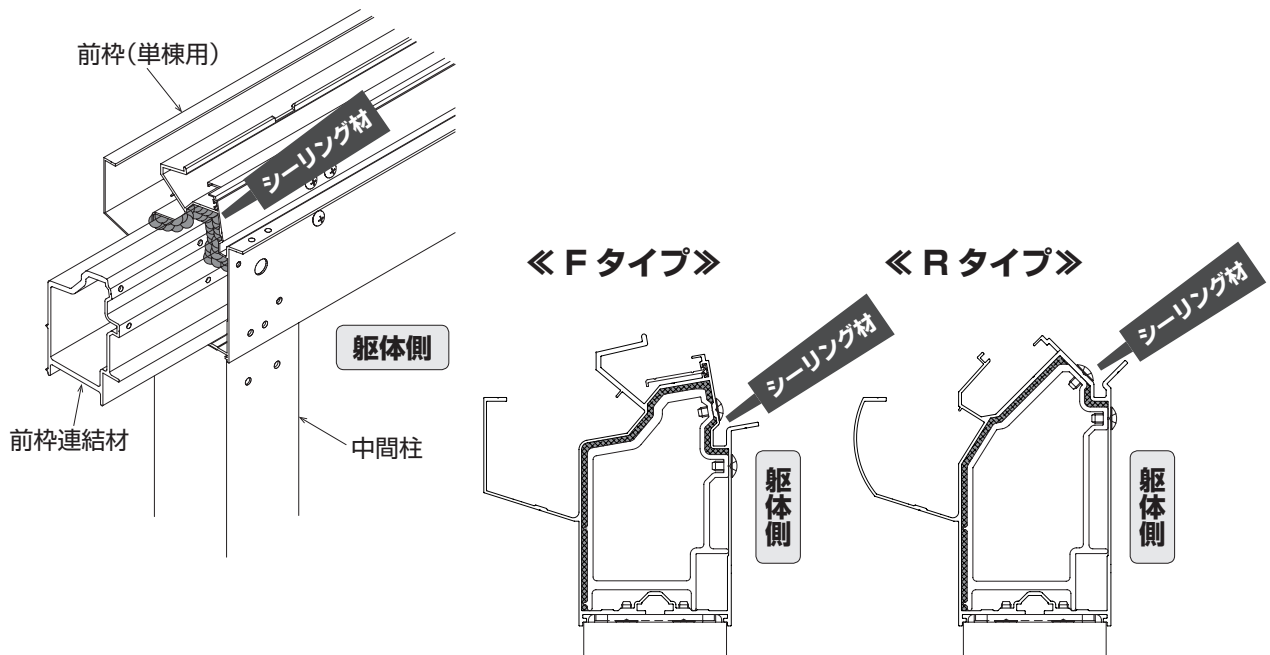


**連棟の場合**

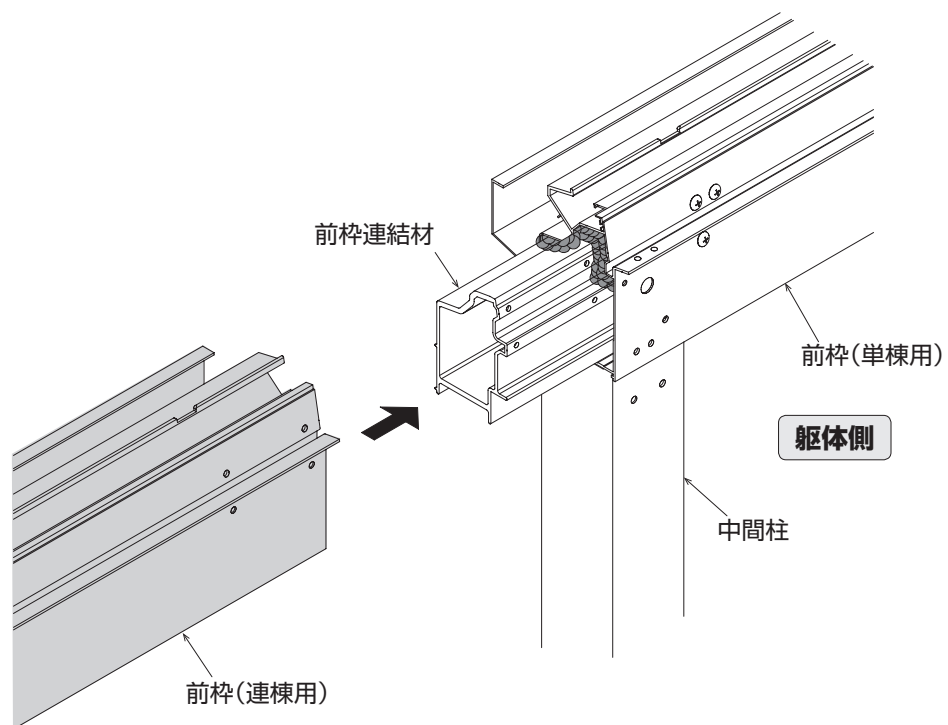
1. 単棟用の前枠の柱連結金具をコーナー柱と中間柱に挿入してください。



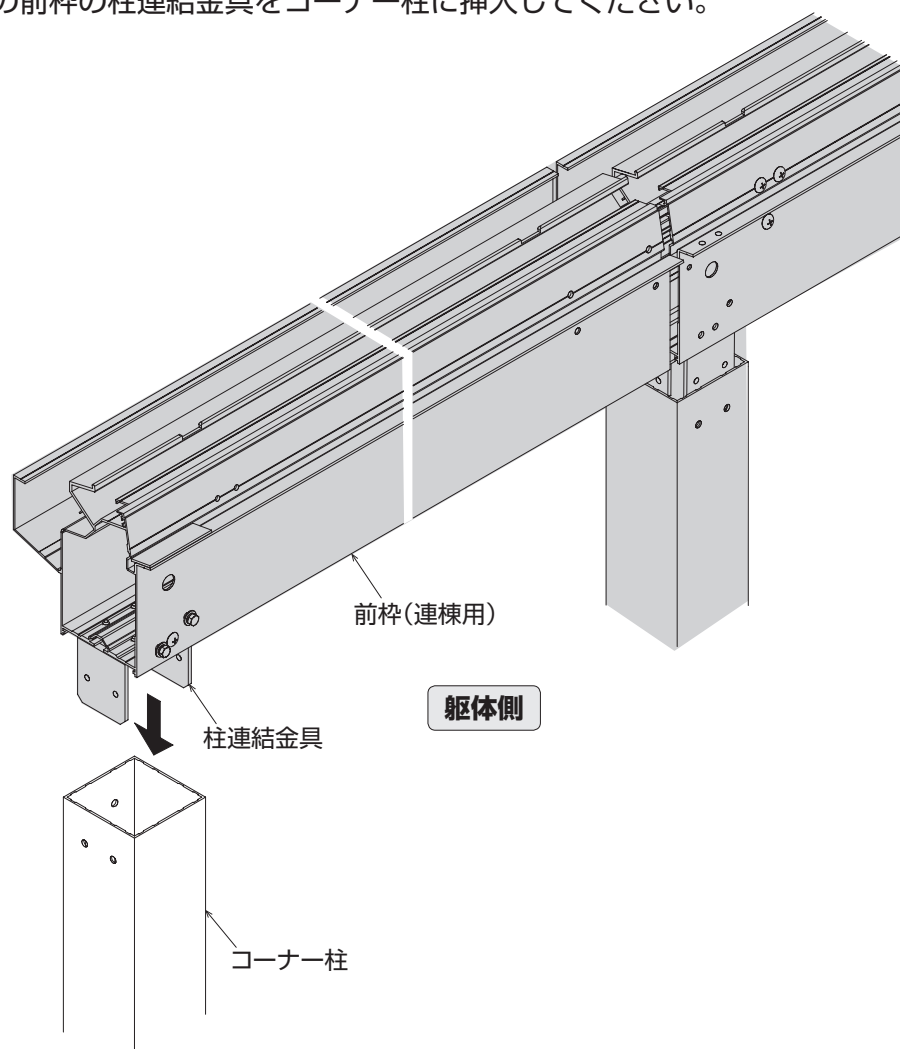
2. 単棟用の前枠の連結材にシーリング材を充てんしてください。



3. 連棟用の前枠を単棟用の前枠の連結材に挿入してください。



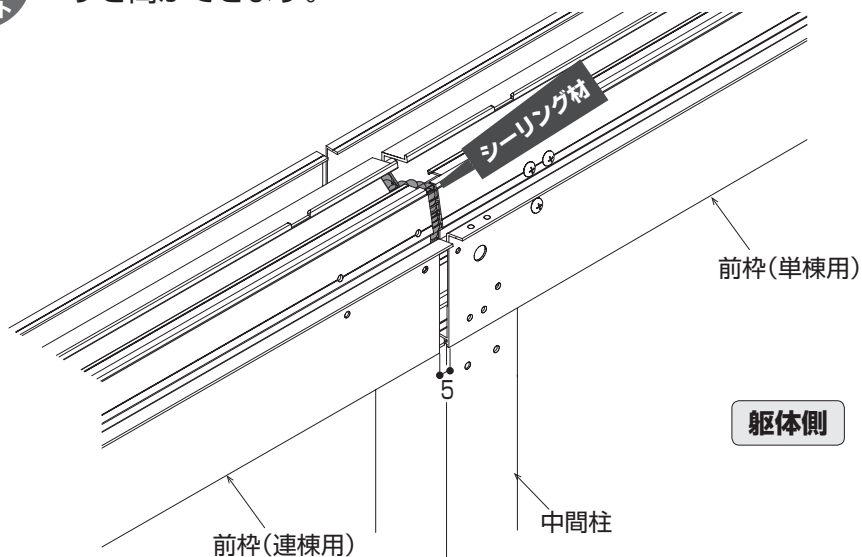
4. 連棟用の前枠の柱連結金具をコーナー柱に挿入してください。



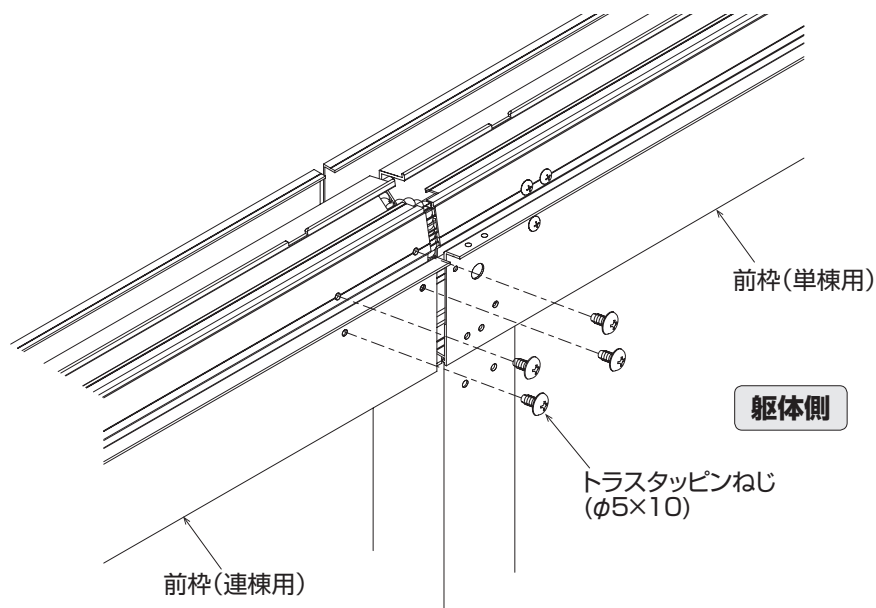
5. 連棟用の前枠ホロー内部にシーリング材を充てんしてください。



- 連棟部は、シーリング用に5mmのすき間ができます。

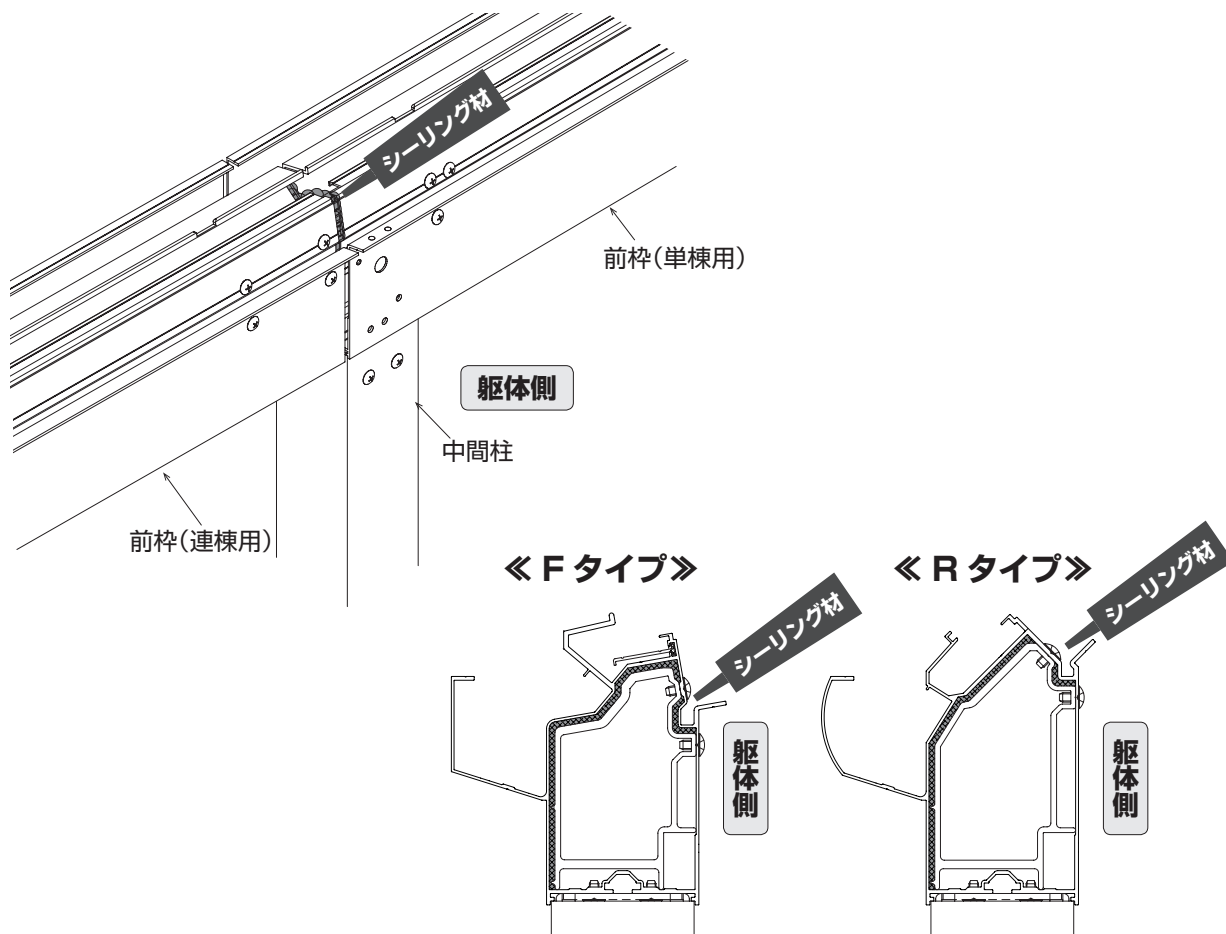


6. 連棟用の前枠を単棟用の前枠の連結材に取付けてください。

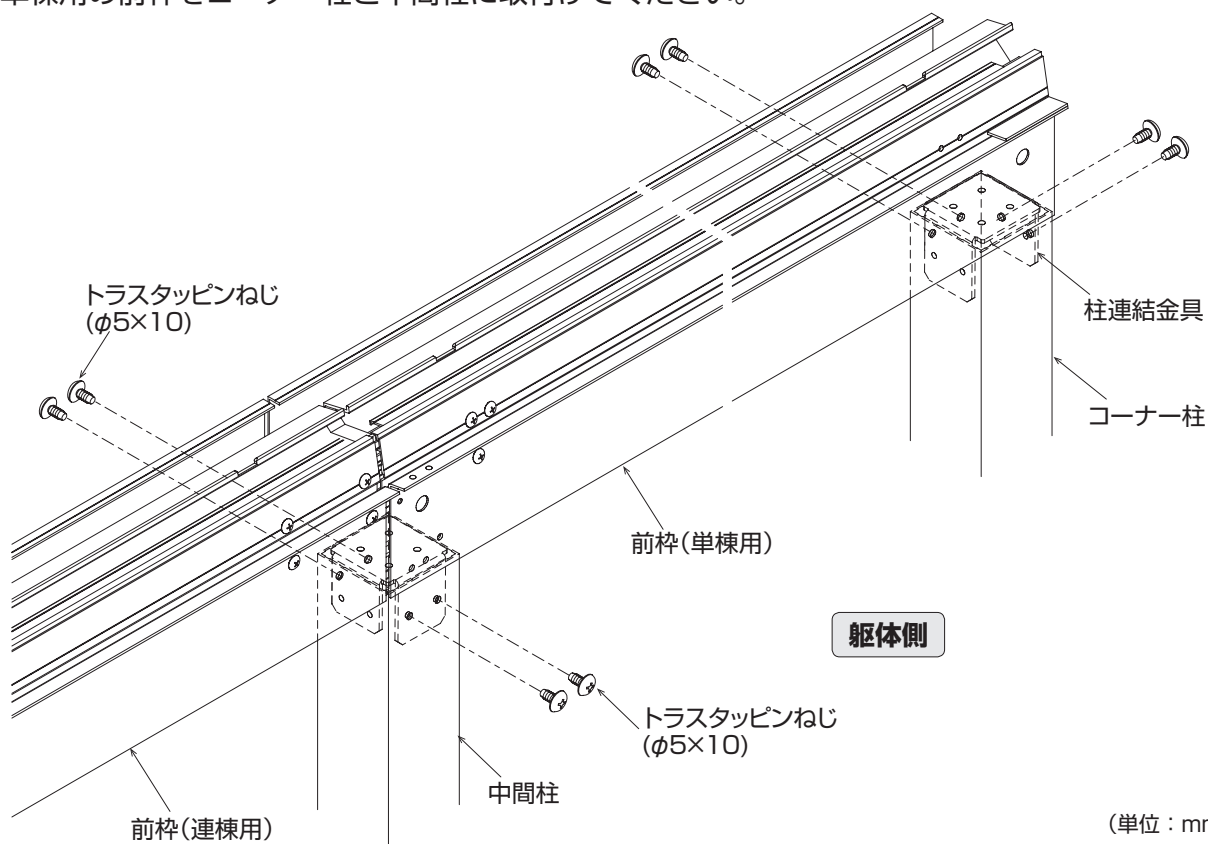


(単位：mm)

7. 前枠連棟部にシーリングを増打ちしてください。

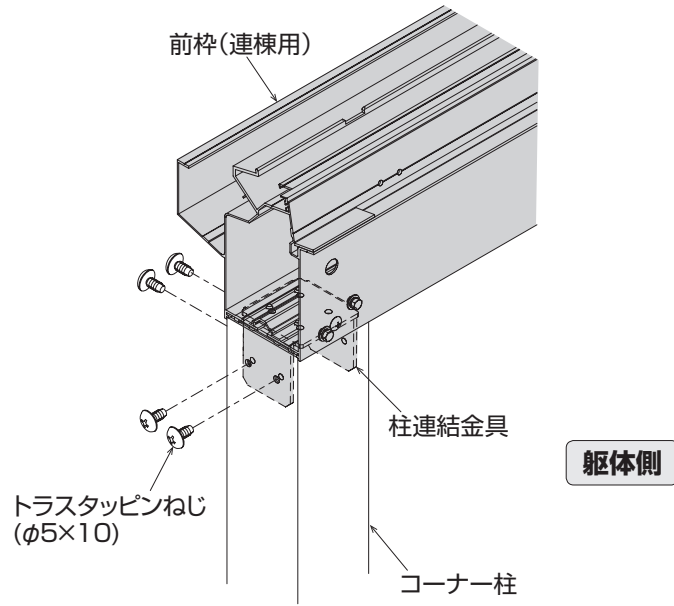


8. 単棟用の前枠をコーナー柱と中間柱に取付けてください。

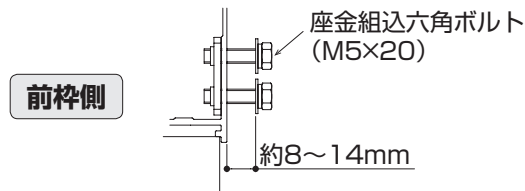


(単位：mm)

9. 連棟用の前枠をコーナー柱に取付けてください。



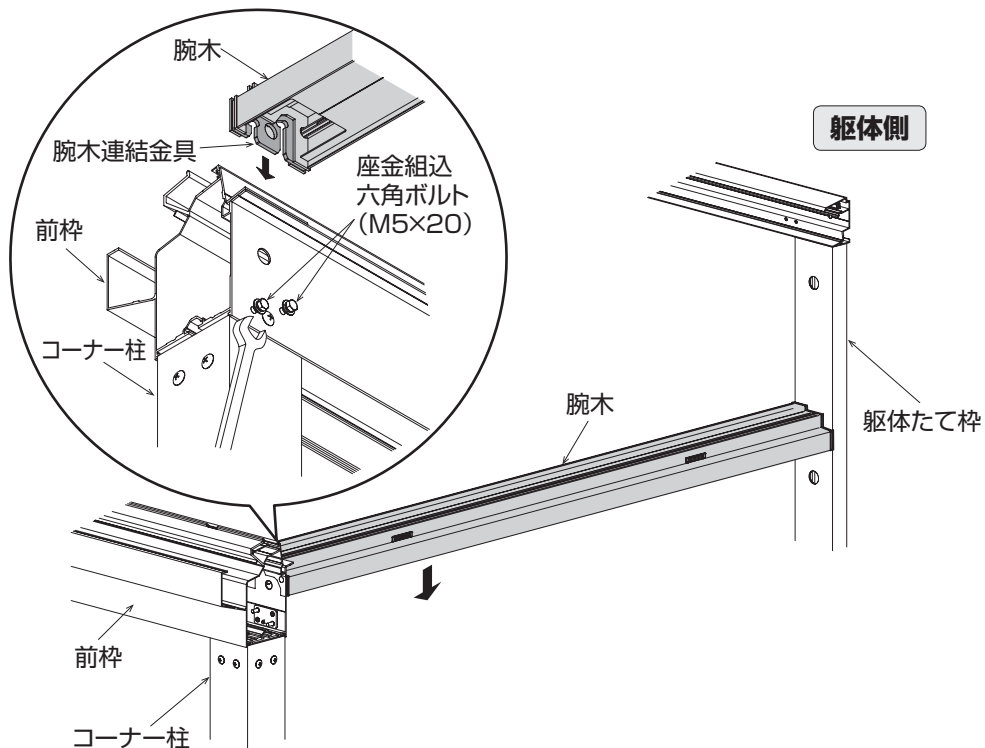
10. 座金組込六角ボルトが8~14mm程浮かせて取付していることを確認してください。



11. 単棟用と連棟用の前枠を腕木に取付けてください。

**お願い**

• 腕木連結金具のシーラーが確実につぶれるまでスパナなどでボルトを締めつけてください。



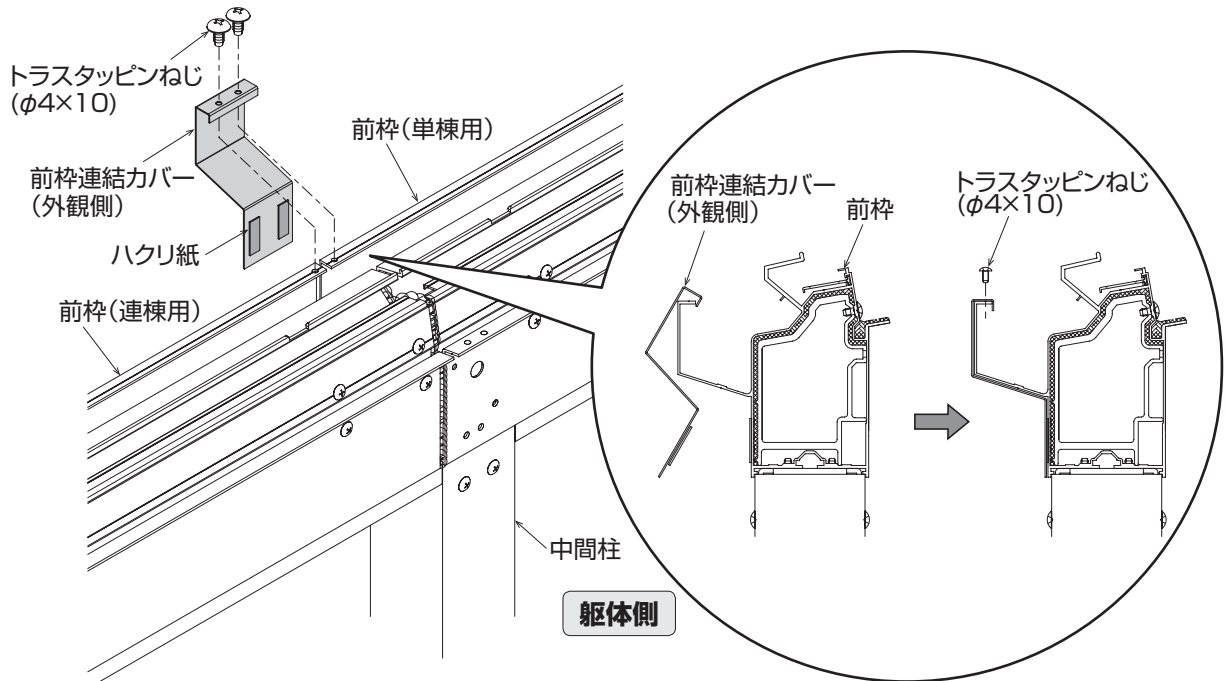
(単位 : mm)

## 前枠連棟部のシーリング（連棟の場合）

1. 外観側前枠連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがし、前枠連棟部に貼付けてください。
2. 外観側前枠連結カバーを前枠に取付けてください。

### お願い

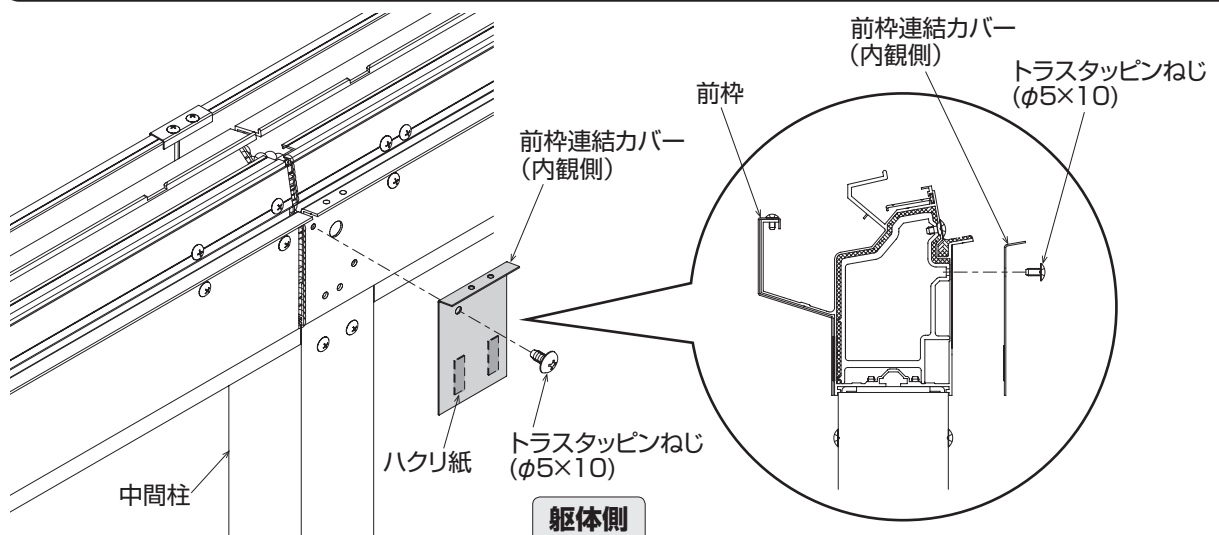
- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



3. 内観側前枠連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがし、前枠連棟部に貼付けてください。
4. 内観側前枠連結カバーを前枠に取付けてください。

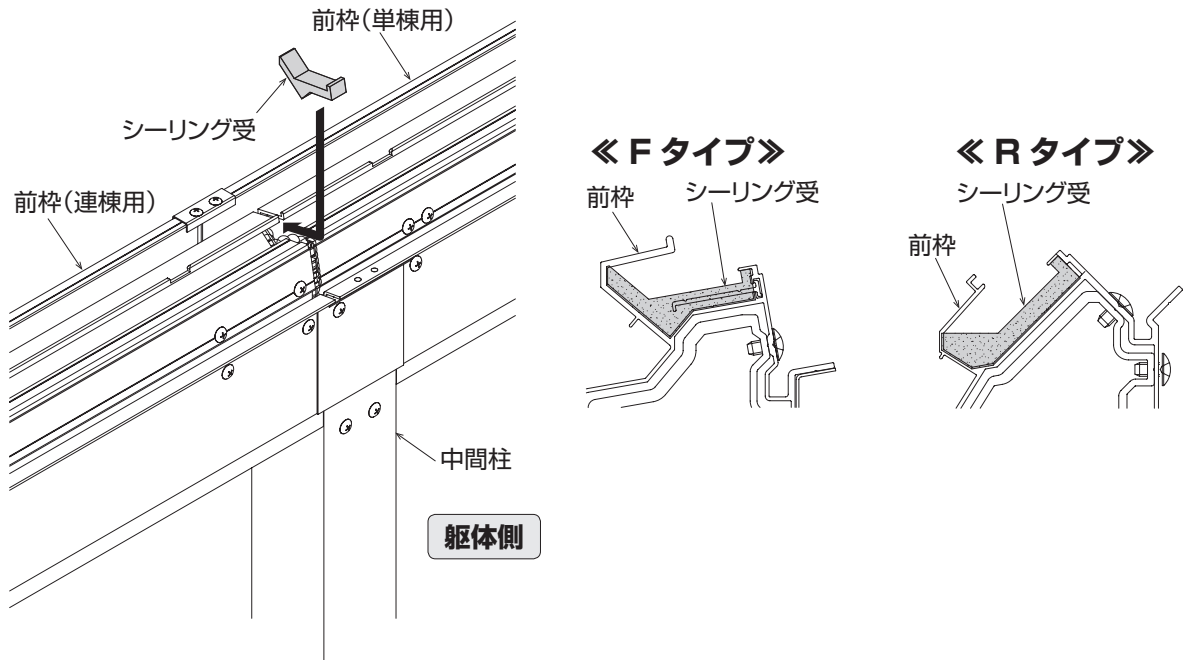
### お願い

- あらかじめ両面テープ貼付け部の汚れや油分などを落としてください。貼付け後、しっかりと押えつけ、テープを確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。

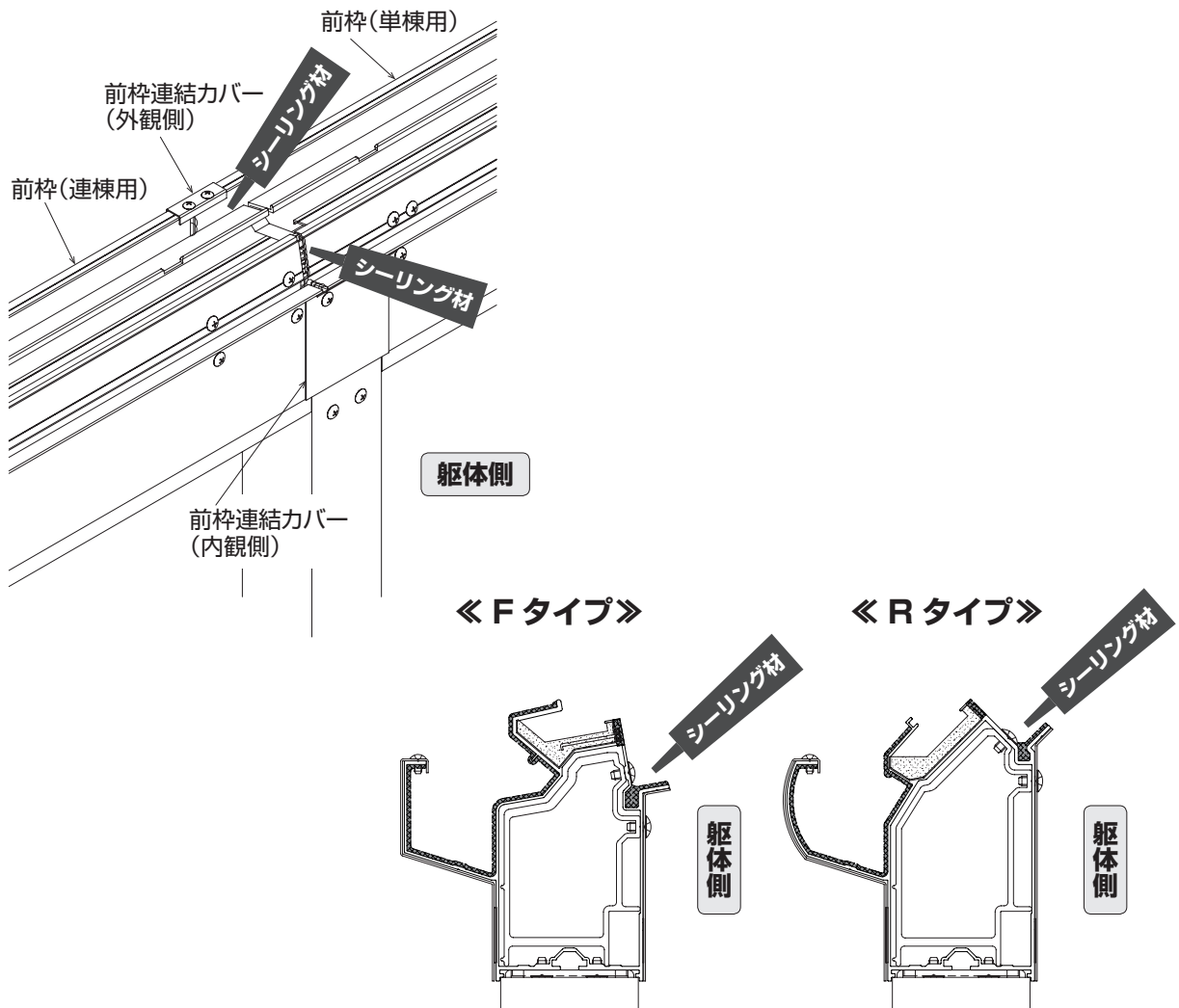


(単位：mm)

5. シーリング受を前枠連棟部に挿入してください。



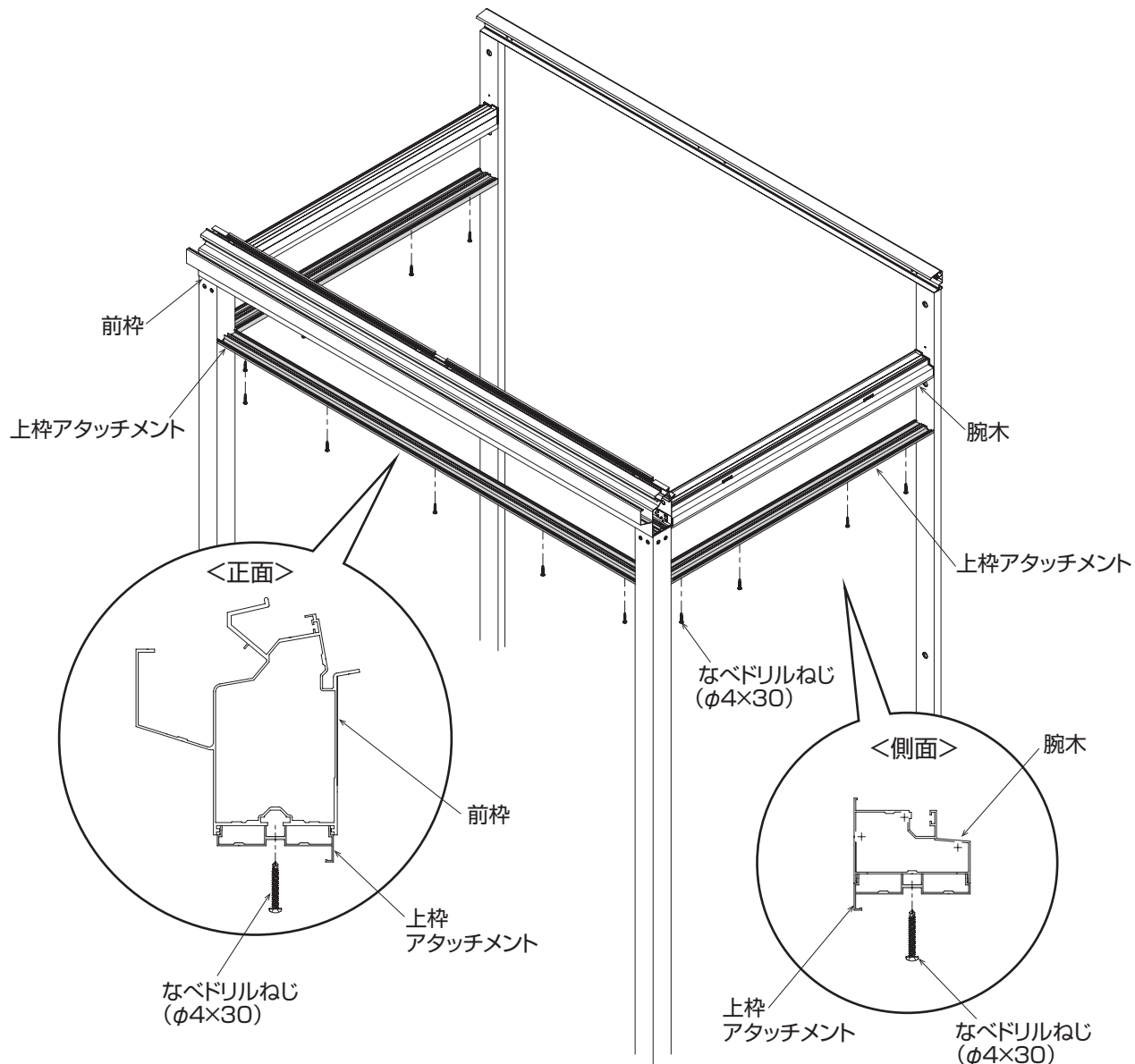
6. 前枠連棟部にシーリング材を充てんしてください。



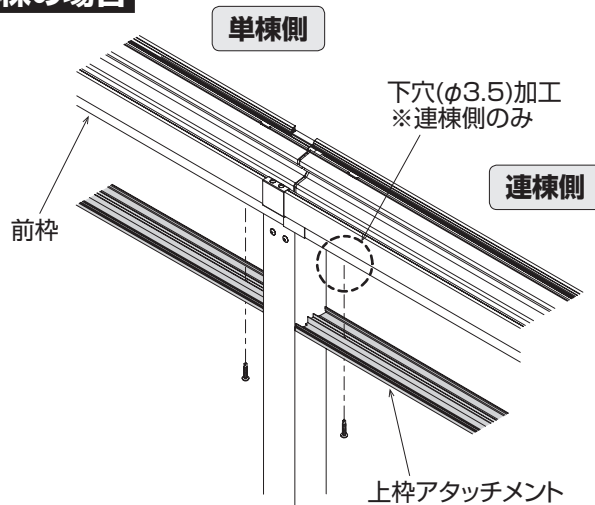


## 上枠アタッチメントの取付

1. 上枠アタッチメント(正面)を前枠に取付けてください。
2. 上枠アタッチメント(側面)を腕木に取付けてください。



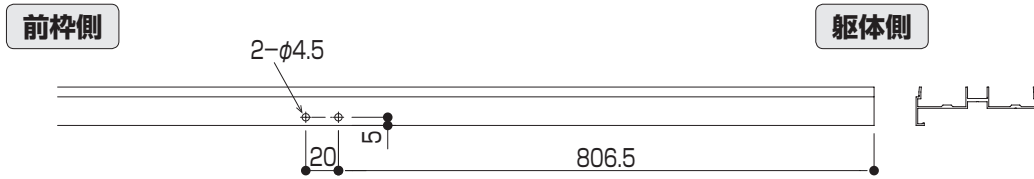
### 連棟の場合



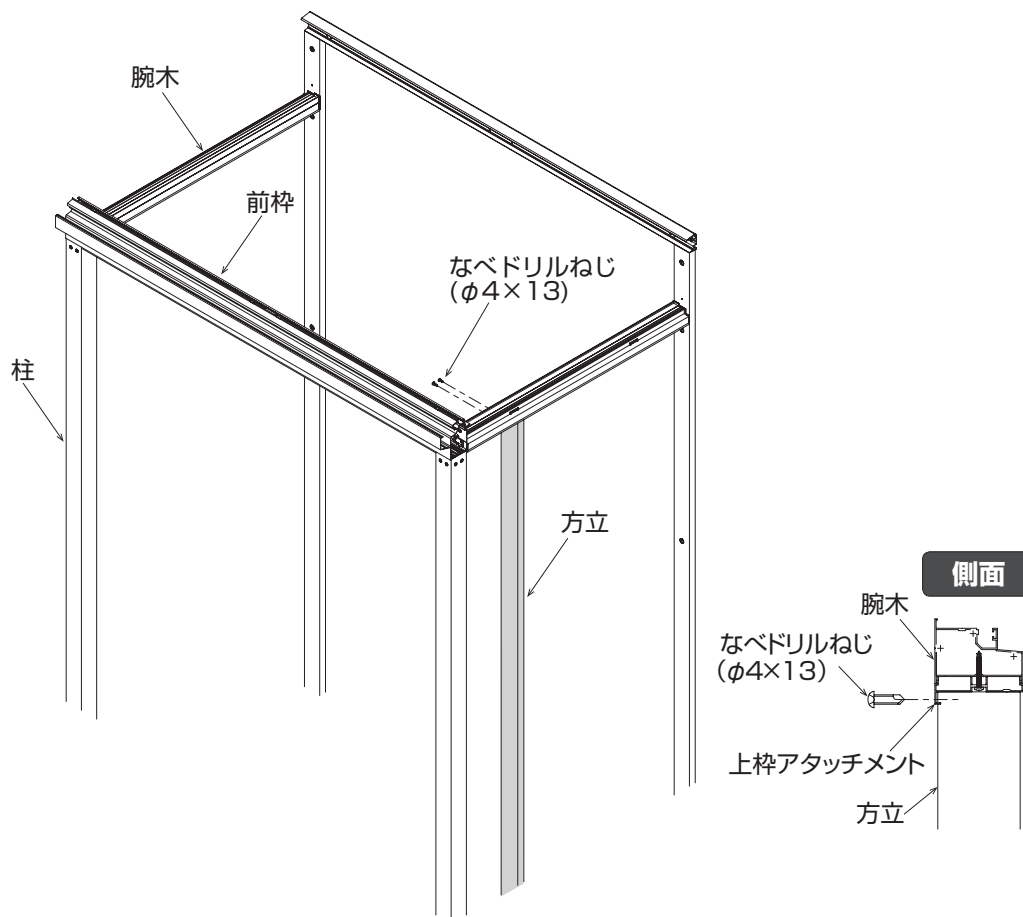
(単位 : mm)

## ドア（出幅 4～6 尺）を取付ける場合 方立の取付

1. 上枠アタッチメントに穴をあけてください。



2. 方立を上枠アタッチメントに取付けてください。



# 屋根部の施工

## 屋根部の施工（上から施工の場合）……………P.42

- 妻垂木の加工…………… P.42
- 妻垂木・垂木の部品付…………… P.43
- 妻垂木の組立…………… P.45
- 屋根部の取付…………… P.46

## 屋根部の施工（下から施工の場合）……………P.56

- 妻垂木の加工…………… P.56
- 妻垂木・垂木の部品付…………… P.57
- 妻垂木の組立…………… P.59
- 屋根部の取付…………… P.60

## 妻 FIX 部の施工……………P.68

- 前枠・妻 FIX パネル（面材）・吊束の部品付…………… P.68
- 吊束の組立…………… P.70
- 妻 FIX 部の取付…………… P.71

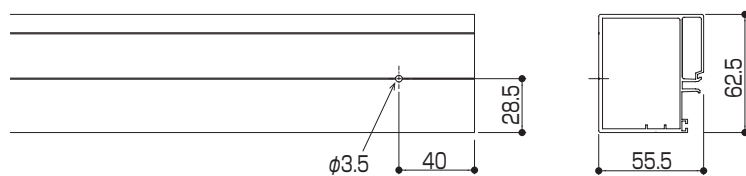
# 屋根部の施工（上から施工の場合）

## 妻垂木の加工

1. 妻垂木の見切り線に穴をあけてください。

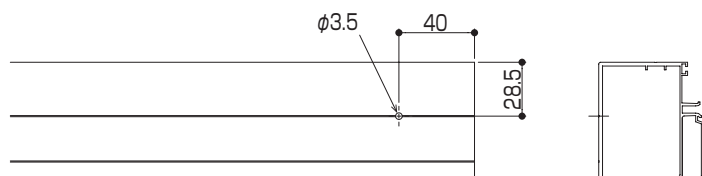
外觀右

躯体側



外觀左

躯体側



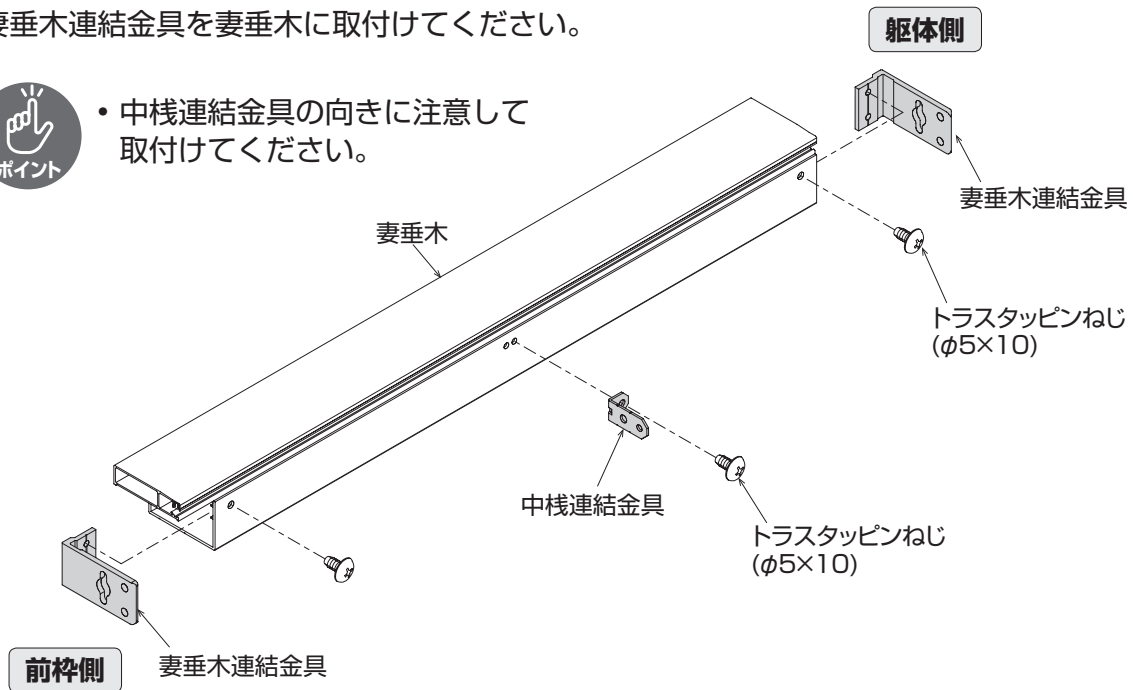
## 妻垂木・垂木の部品付

### 妻垂木の部品付

1. 中棧連結金具を妻垂木に取付けてください。
2. 妻垂木連結金具を妻垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

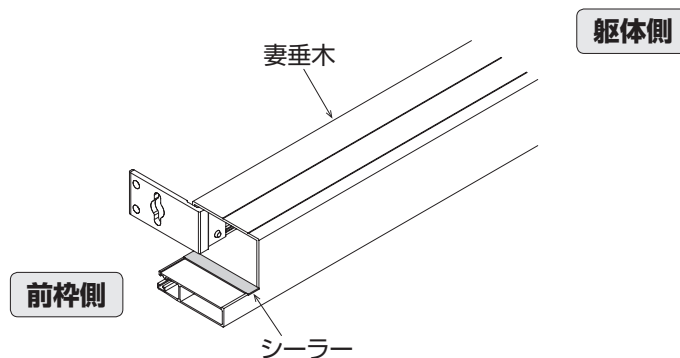


3. シーラーを妻垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用	下から施工用
妻垂木		
シーラー		



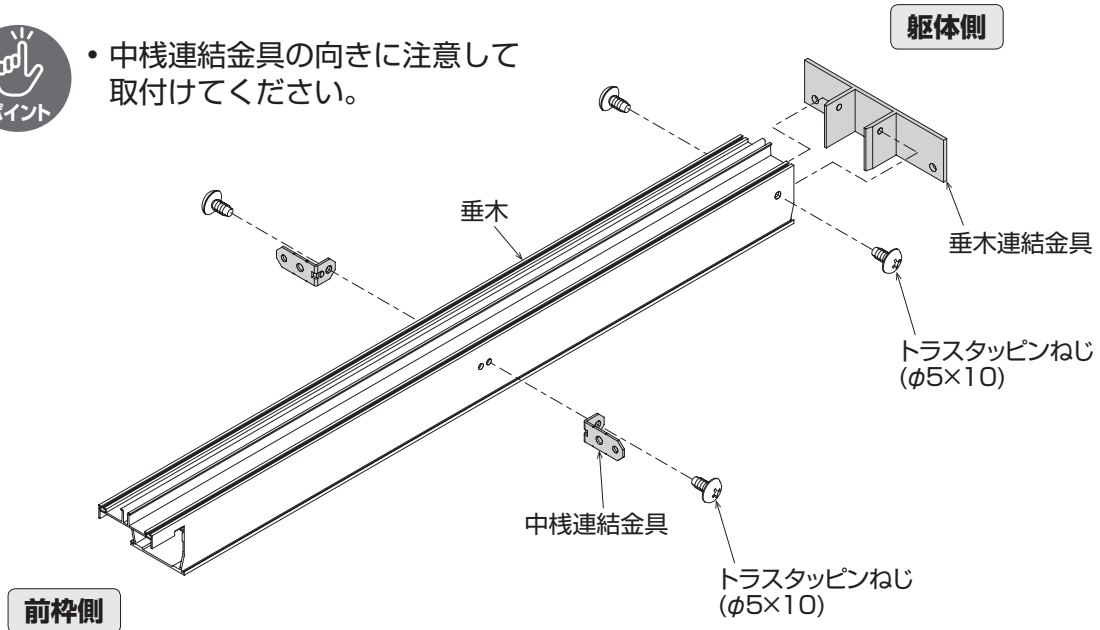
(単位：mm)

## 垂木の部品付

1. 中棧連結金具を垂木に取付けてください。
2. 垂木連結金具を垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

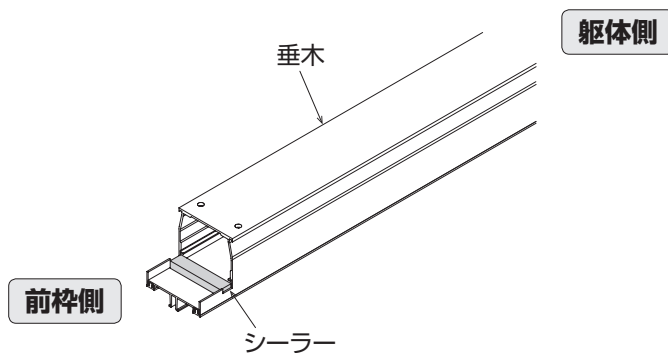


3. シーラーを垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枓・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用		下から施工用	
	薄肉	厚肉	薄肉	厚肉
垂木				
シーラー				



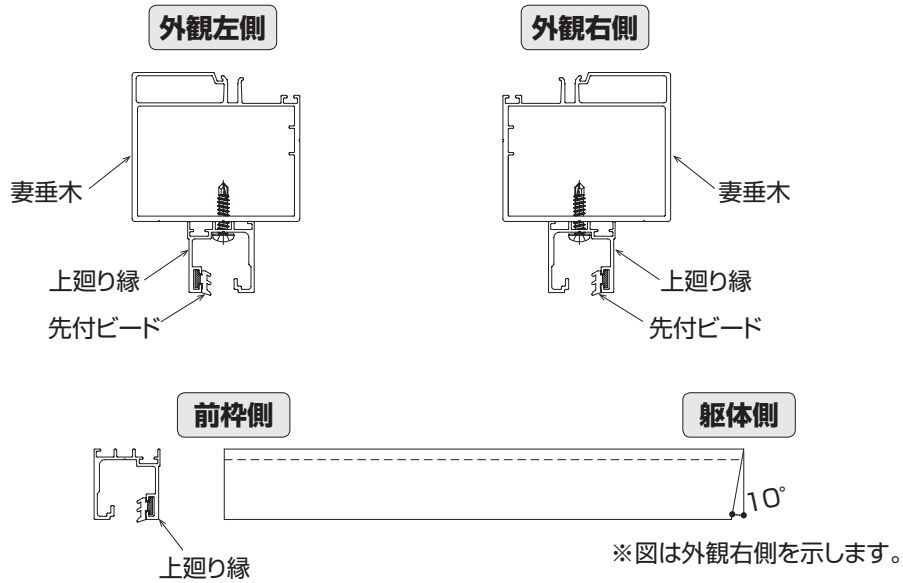
(単位：mm)

## 妻垂木の組立

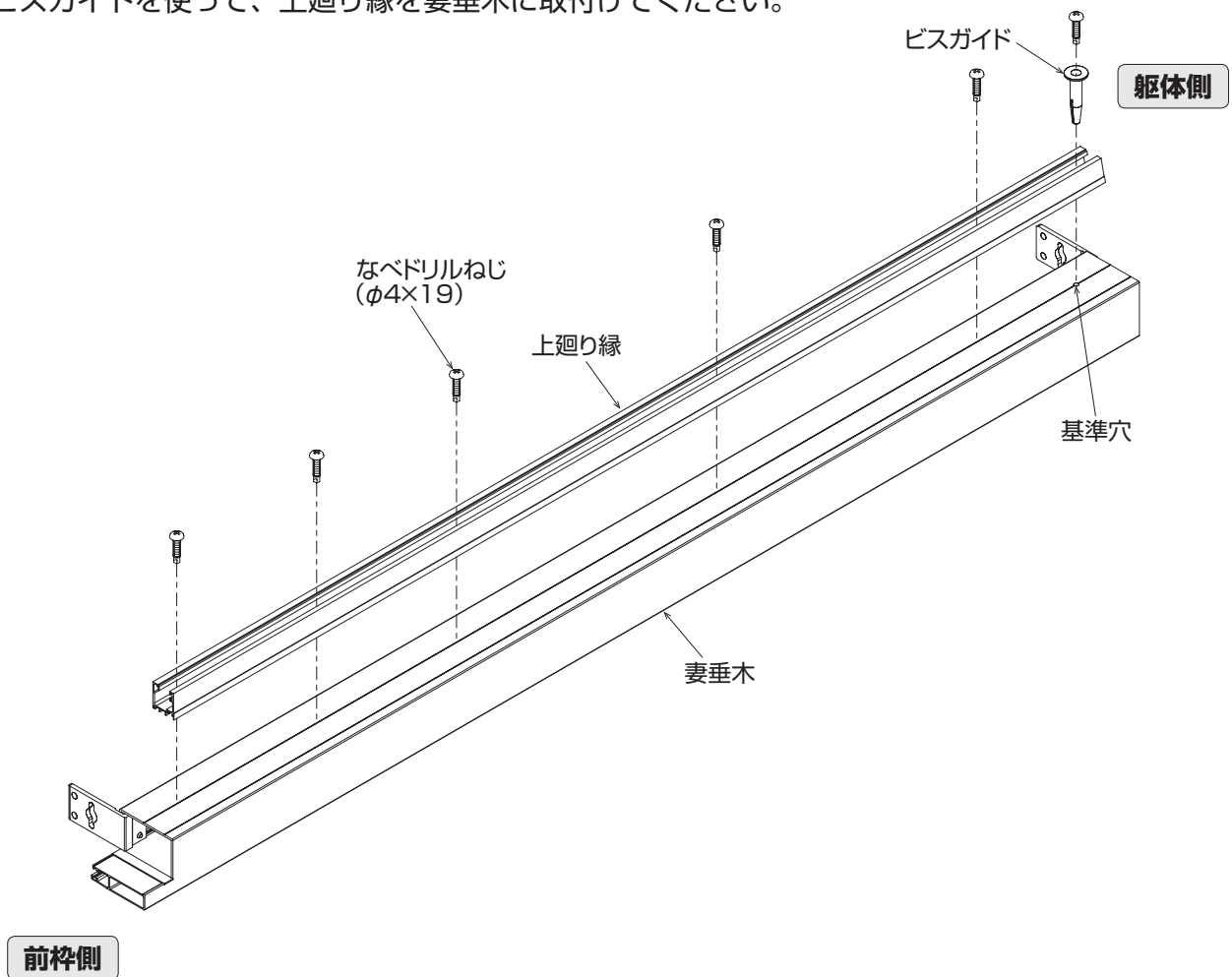
1. 上廻り縁の向きを確認してください。



- 先付ビード側が外観側、角度切断側が躯体側になります。



2. ビスガイドを使って、上廻り縁を妻垂木に取付けてください。

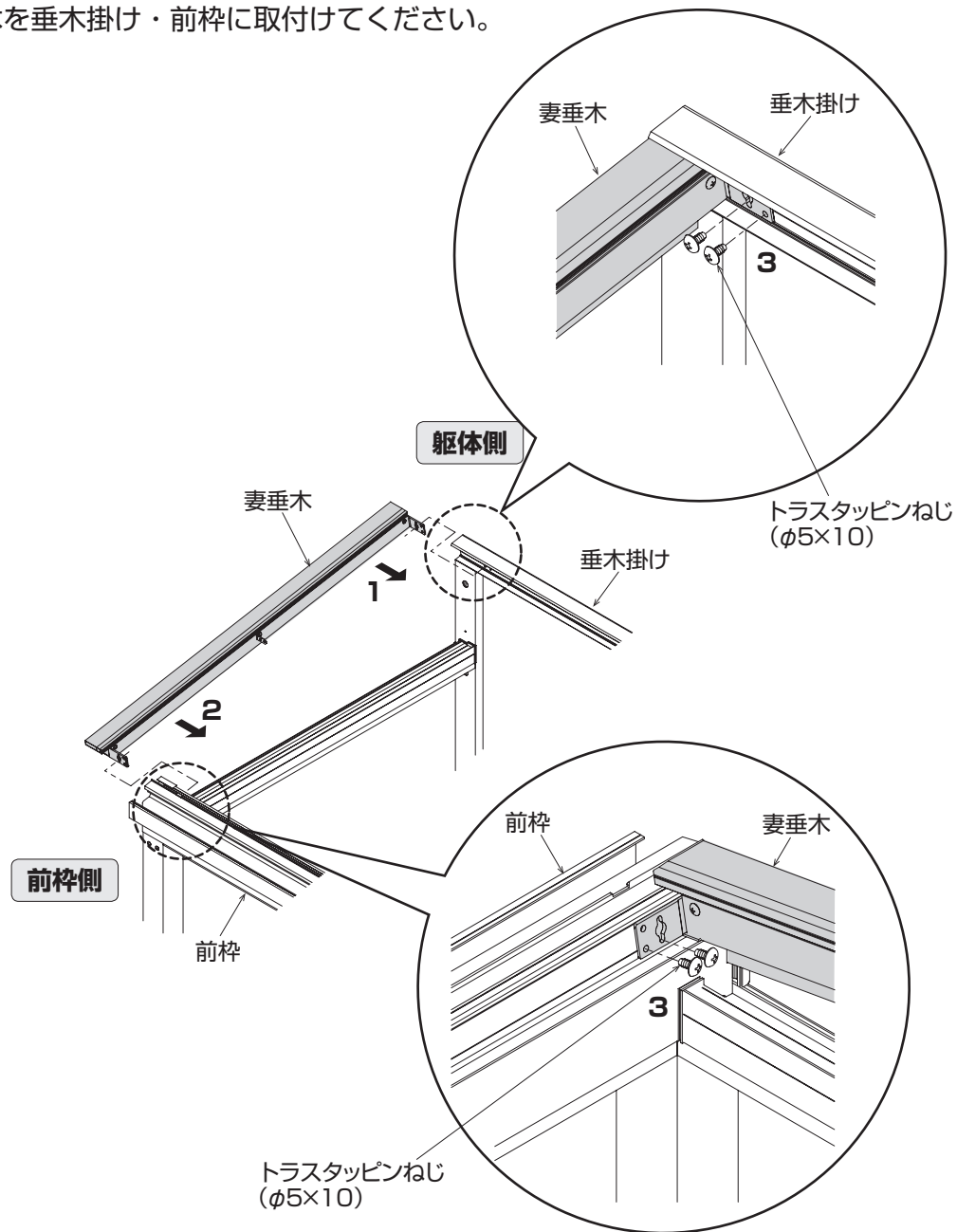


(単位：mm)

## 屋根部の取付

### 妻垂木の取付

1. 妻垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 妻垂木を前枠に挿入してください。
3. 妻垂木を垂木掛け・前枠に取付けてください。



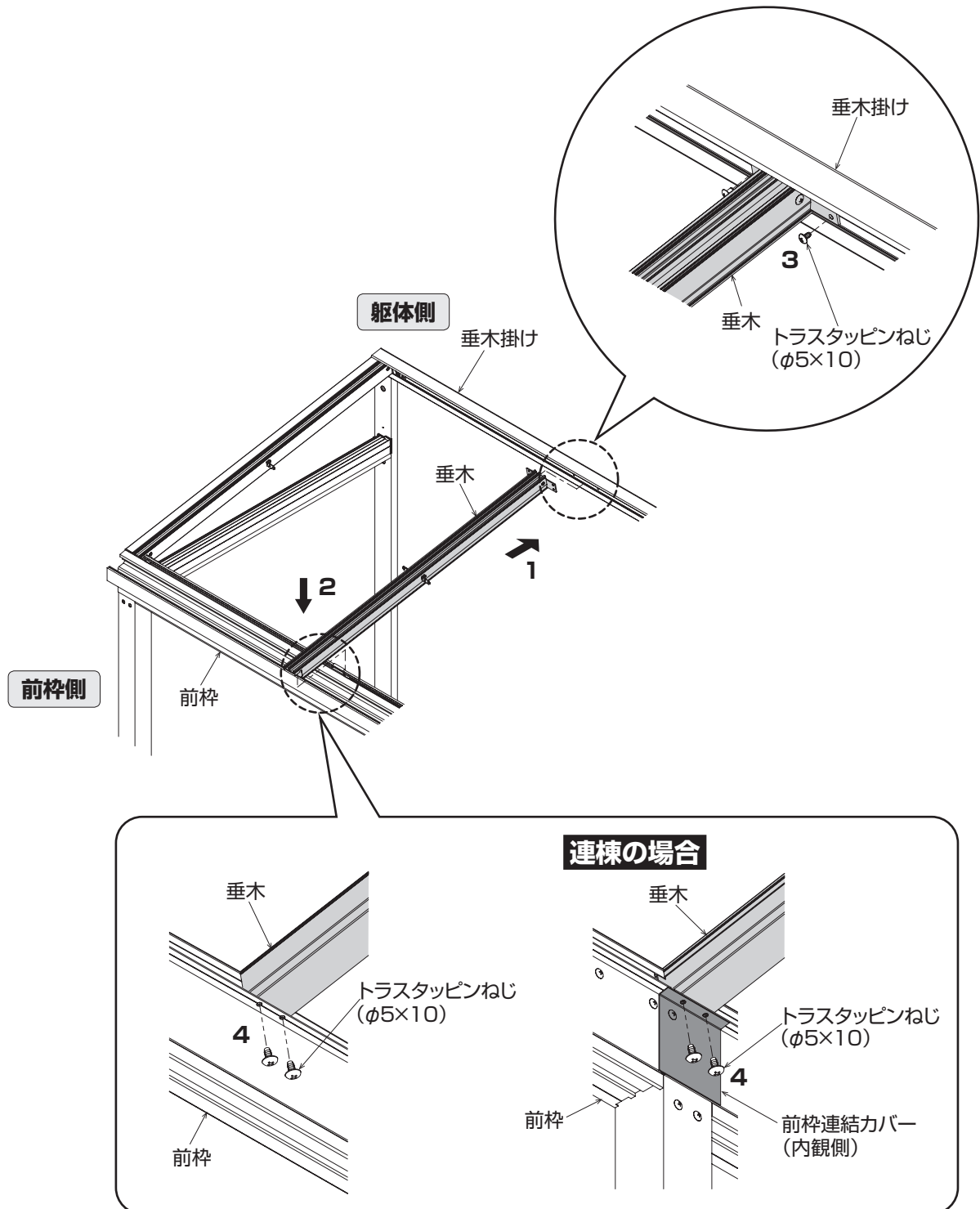


## 垂木の取付

1. 垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 垂木を前枠に挿入してください。
3. 垂木を垂木掛けに取付けてください。
4. 垂木を前枠に取付けてください。

### 連棟の場合

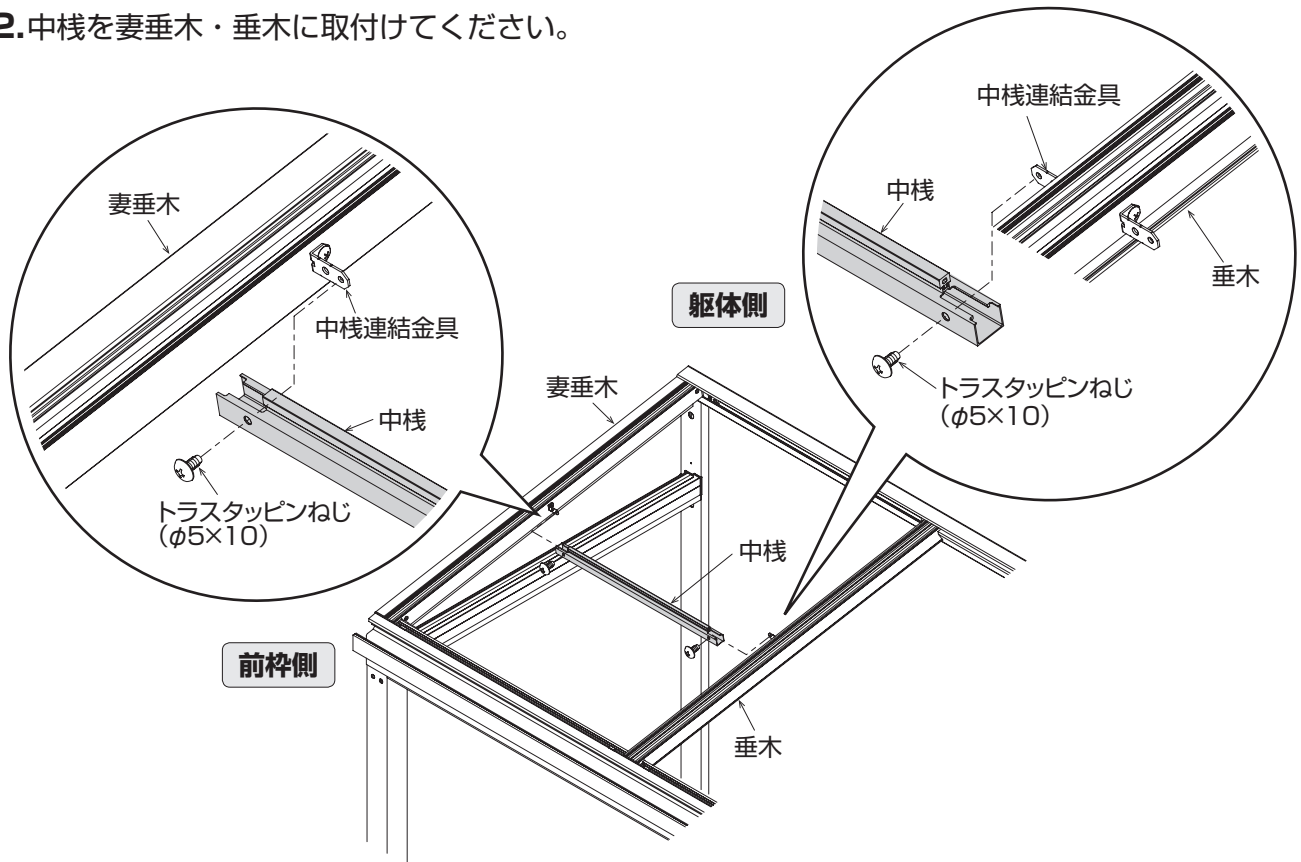
連棟部の垂木は、前枠連結カバー(内観側)と共締めしてください。



(単位：mm)

## 中棧の取付

1. 中棧を妻垂木・垂木の中棧連結金具に挿入してください。
2. 中棧を妻垂木・垂木に取付けてください。

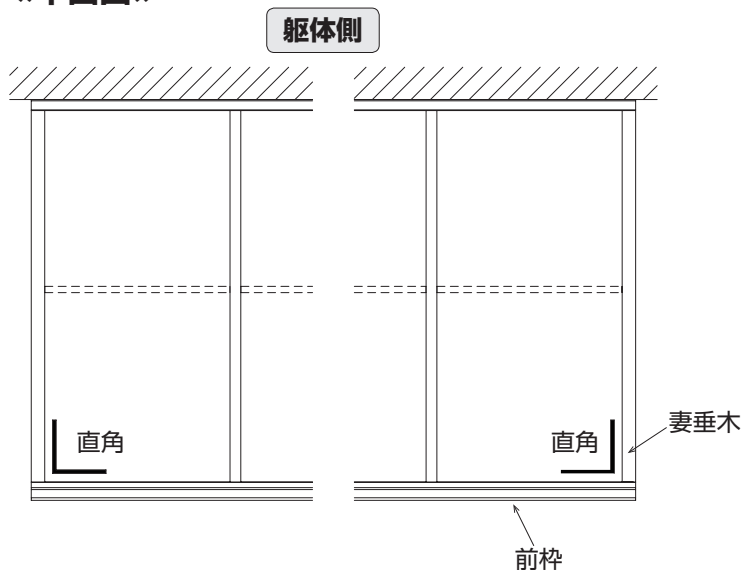


屋根部の施工

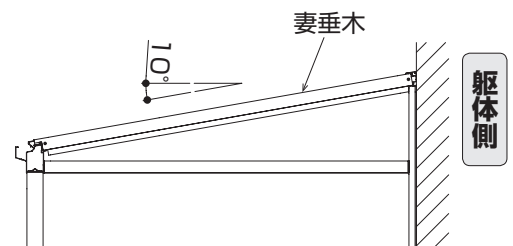
## フレームの寸法確認

1. 前枠・妻垂木の直角を確認してください。
2. 妻垂木の勾配（10°）を確認してください。

### 《平面図》



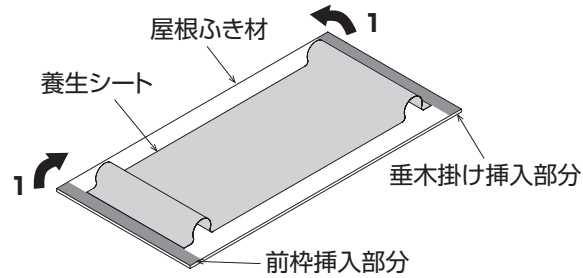
### 《側面図》



(単位：mm)

## 屋根ふき材の取付

1. 屋根ふき材養生シートの前枠・垂木掛け挿入部分をはがしてください。

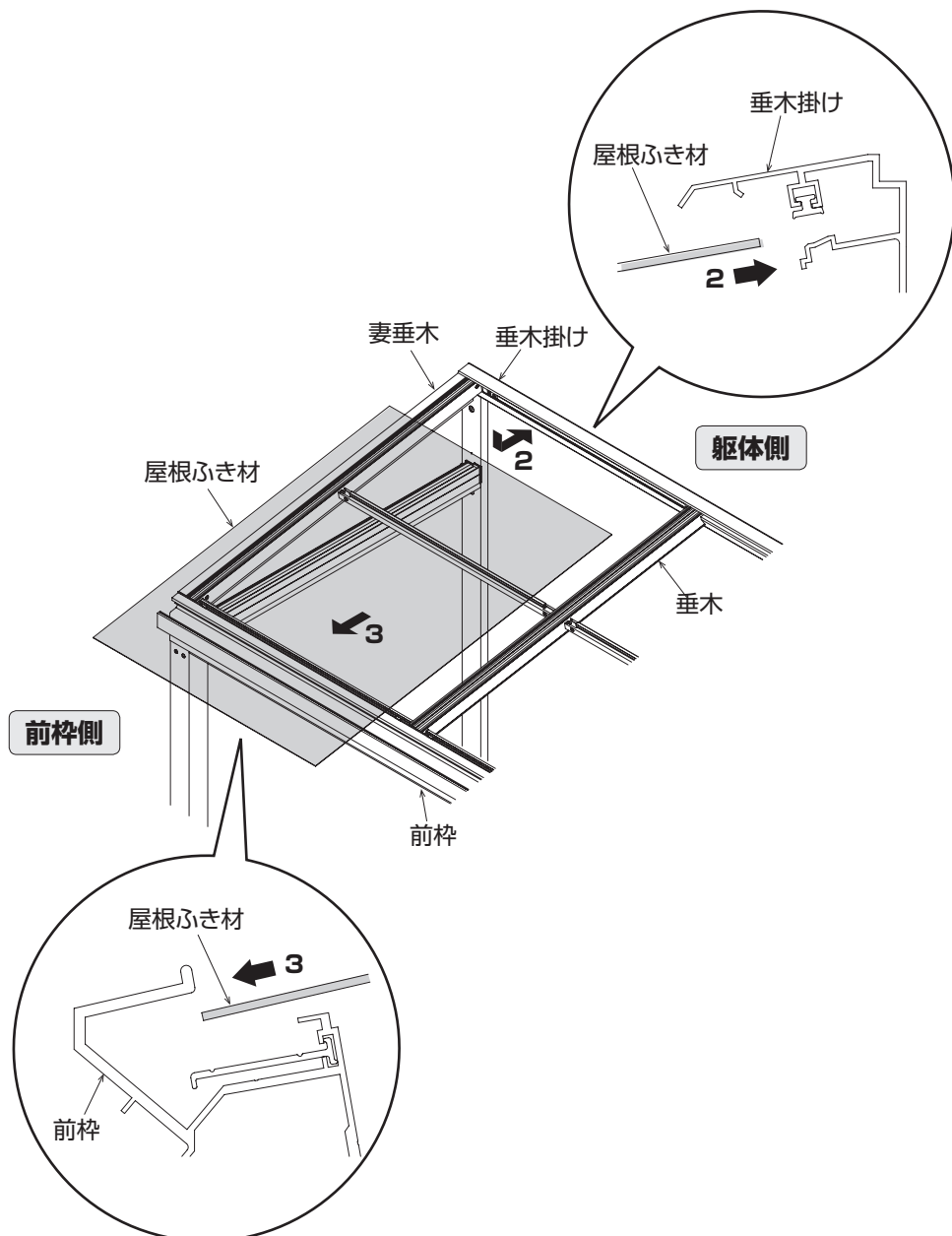


2. 屋根ふき材を垂木掛けに挿入してください。

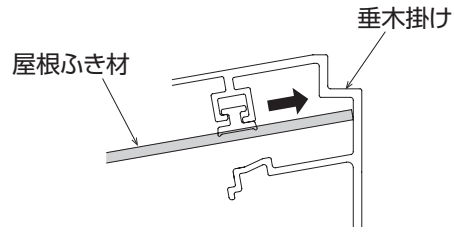
3. 屋根ふき材を前枠に挿入してください。



• 屋根ふき材がマット調の場合、マット面（凹凸面）を屋根下面にして取付けてください。



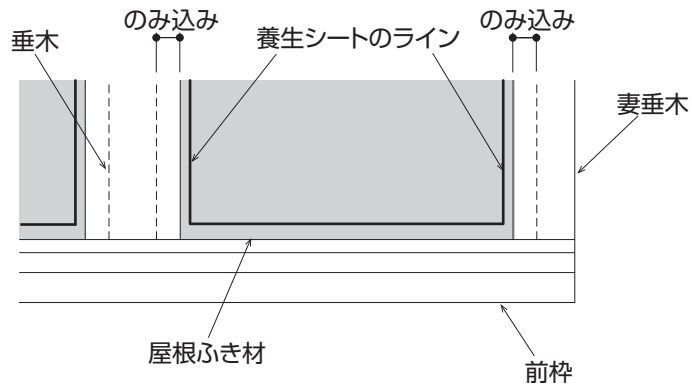
4. 屋根ふき材を垂木掛けにあたるまで、寄せてください。



5. 屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

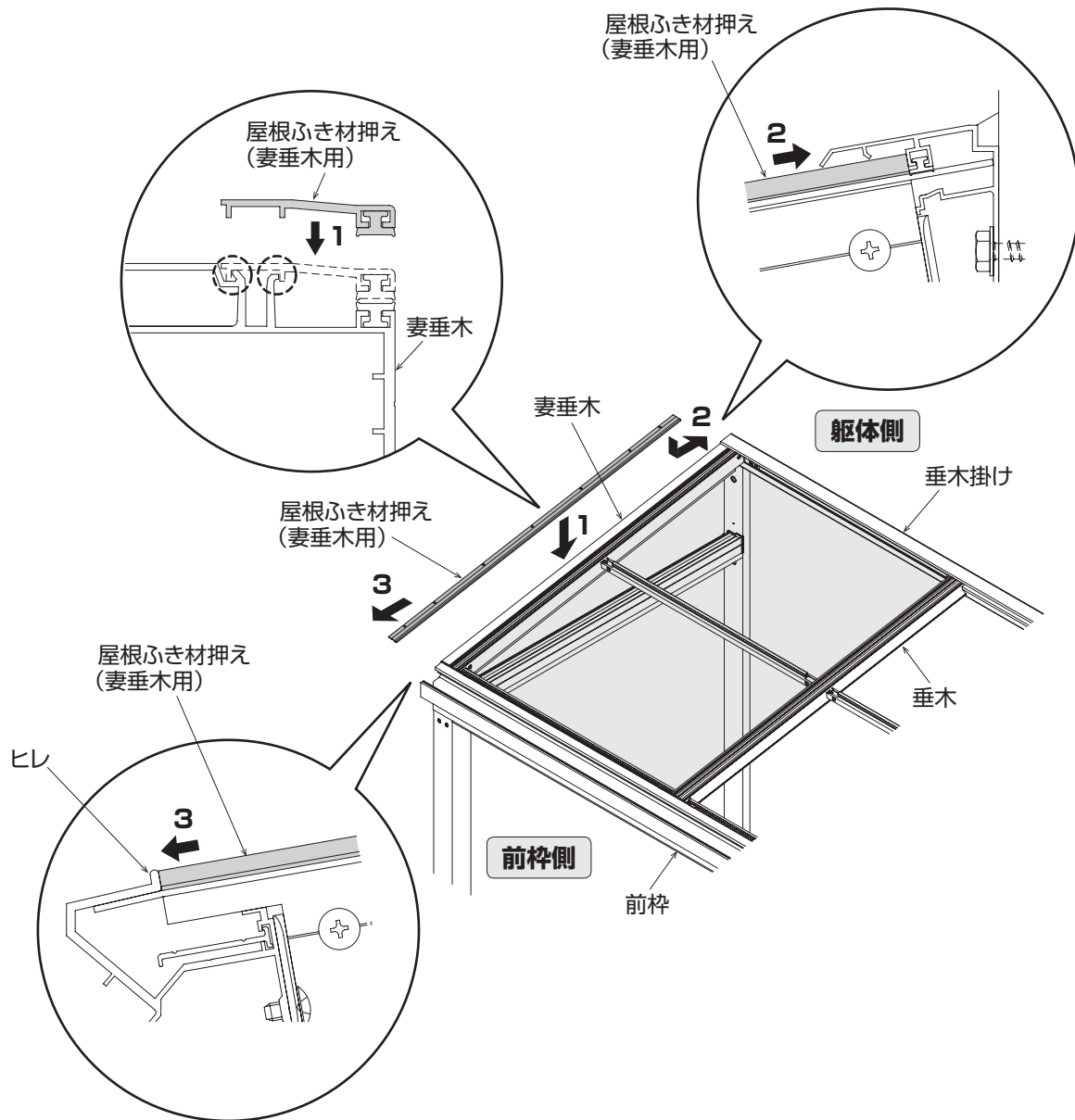
**お願い**

- 養生シートのラインを参考にし、屋根ふき材のみ込みが左右同じになるように調整してください。屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因となります。



## 屋根ふき材押えの取付

1. 屋根ふき材押えを妻垂木の上ののせてください。
2. 屋根ふき材押えを垂木掛け側に挿入してください。
3. 屋根ふき材押えを前枠のヒレにあててください。



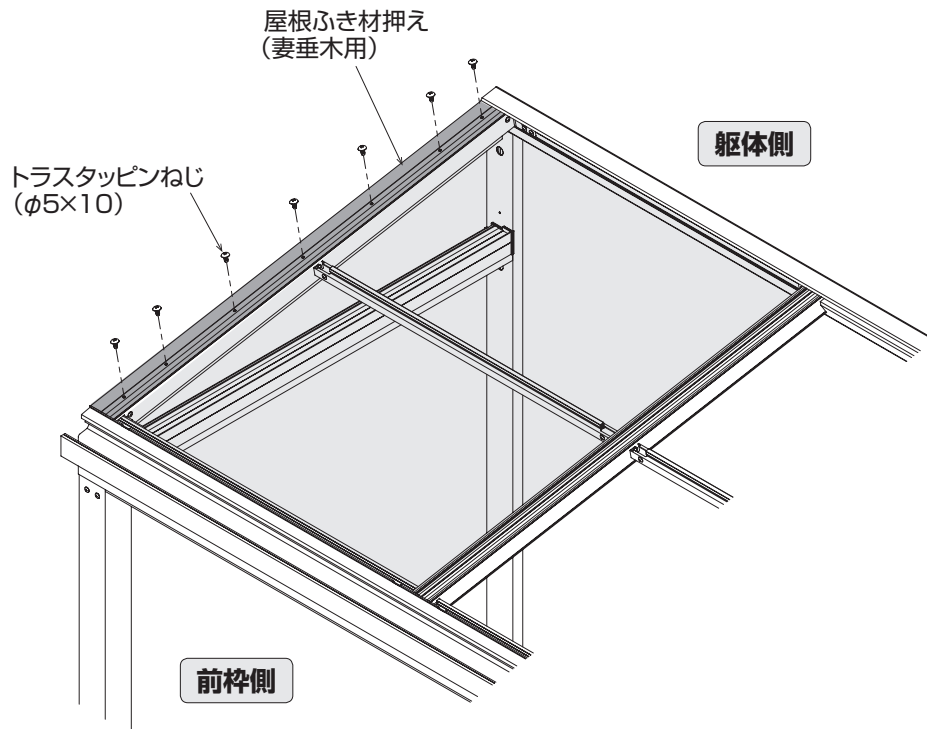
4. 屋根ふき材押えを妻垂木に取付けてください。

**お願い**

- 前枠側→垂木掛けの順に取付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えのねじは、垂直に取付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取付けは雨漏りの原因となります。

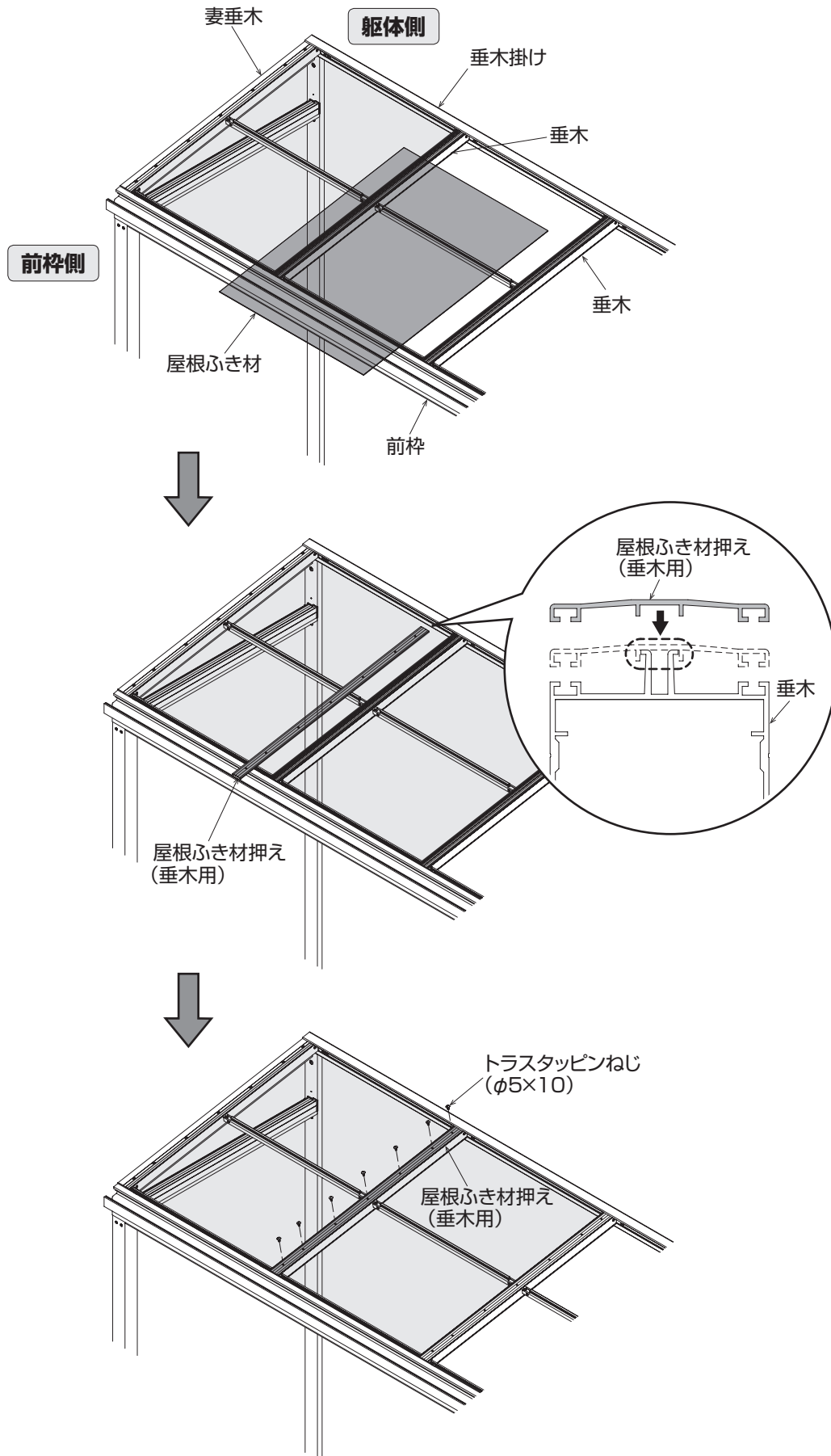


- 屋根ふき材押えと前枠にすき間がないことを確認してください。
- 屋根ふき材押えと妻垂木にずれがないことを確認してください。



## 「屋根ふき材の取付～屋根ふき材押えの取付」の繰返し

1.上記の作業（屋根ふき材の取付～屋根ふき材押えの取付）を繰返してください。



## 後付ビードの取付

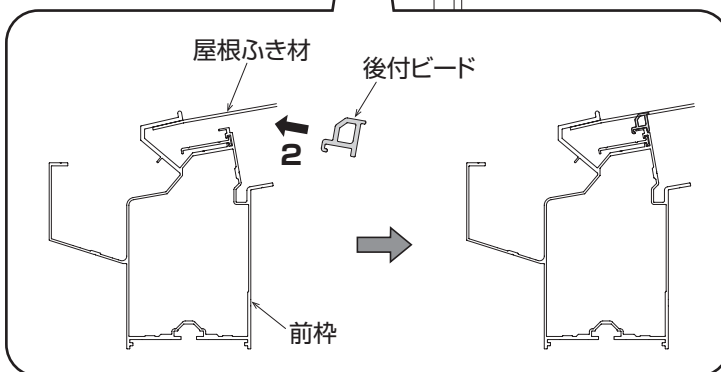
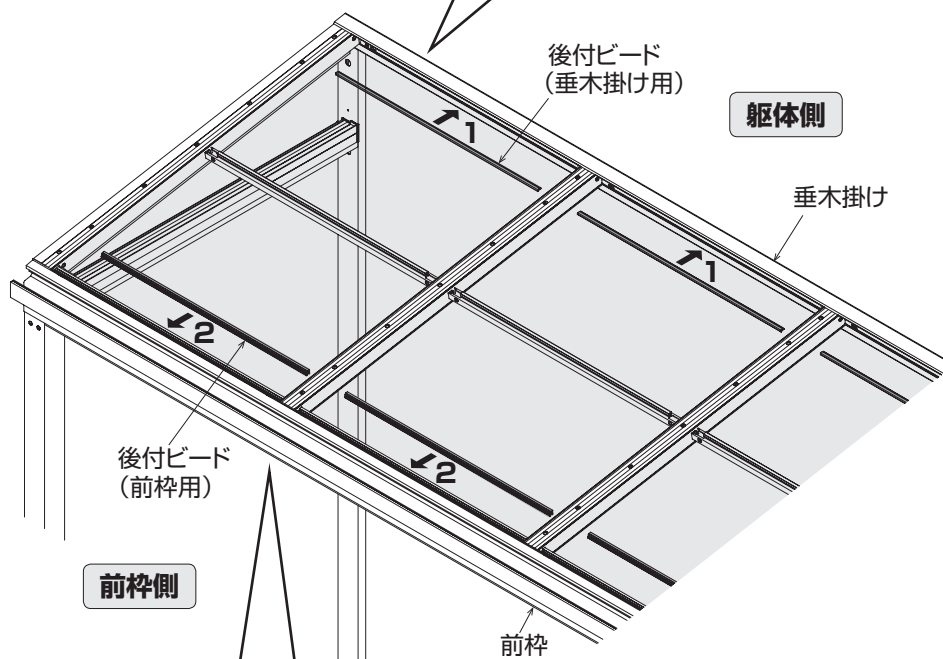
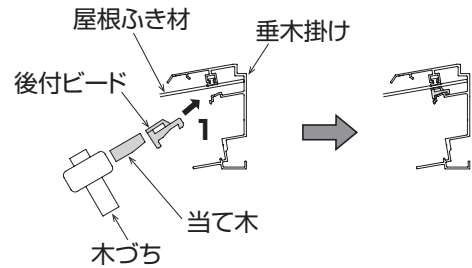
1. 後付ビードを垂木掛けに取付けてください。
2. 後付ビードを前枠に取付けてください。

### お願い

- 後付ビードの向きと押し込み量に注意し、取付けてください。  
屋根ふき材の固定強度が著しく低下し、外れの原因となります。



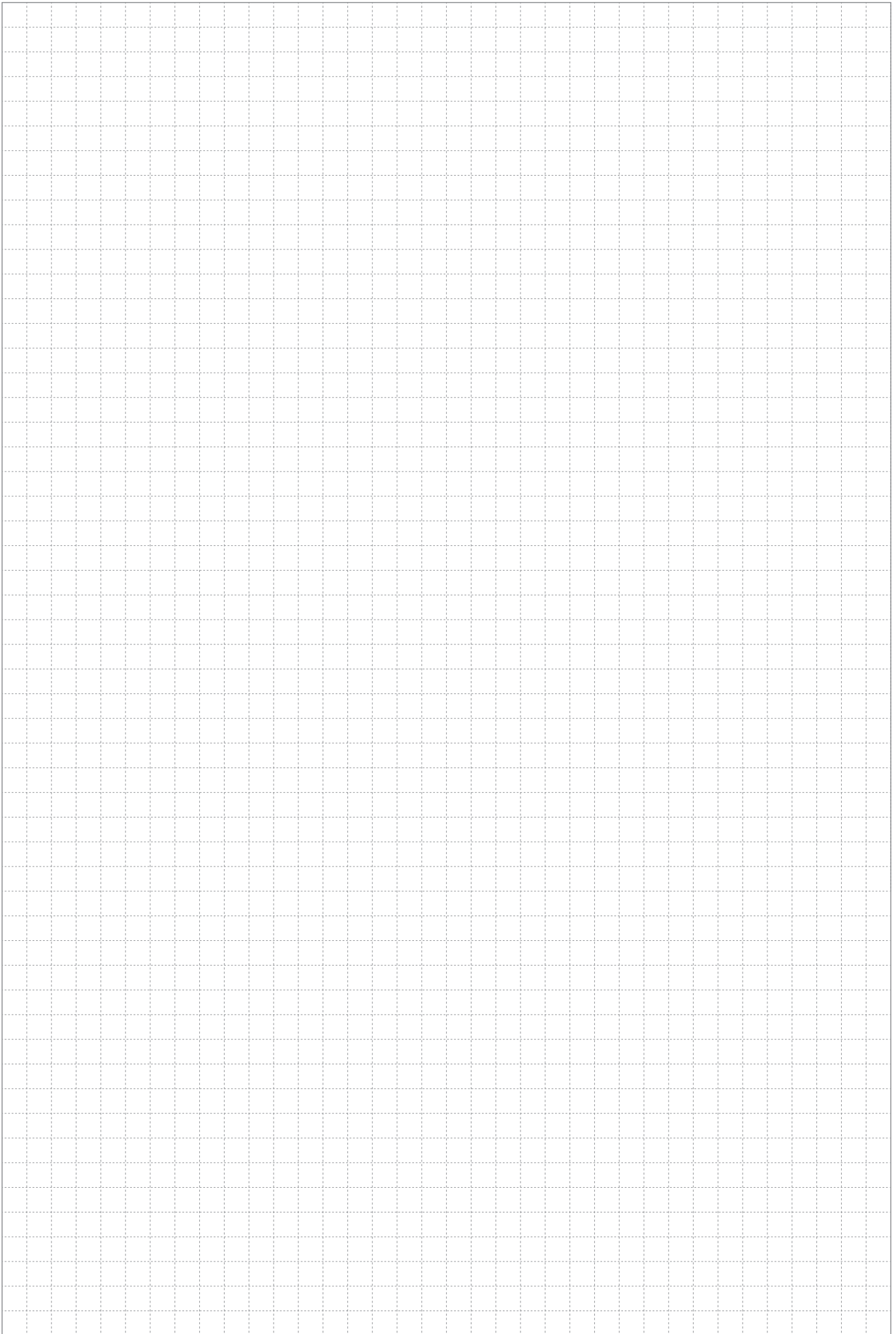
- 後付ビードを取付ける際、当て木を使用すると作業がしやすくなります。



## 屋根ふき材養生シートの取外し

1. 養生シートを屋根ふき材からすべてはがしてください。

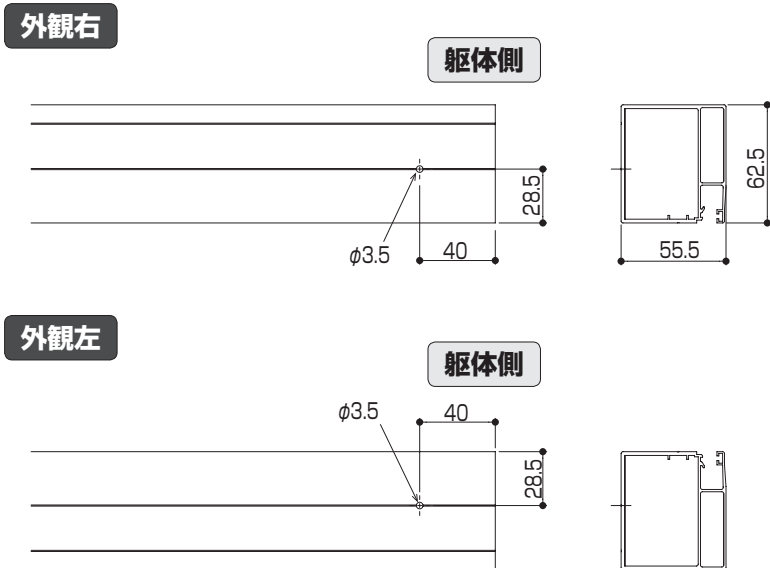




# 屋根部の施工（下から施工の場合）

## 妻垂木の加工

1. 妻垂木の見切り線に穴をあけてください。



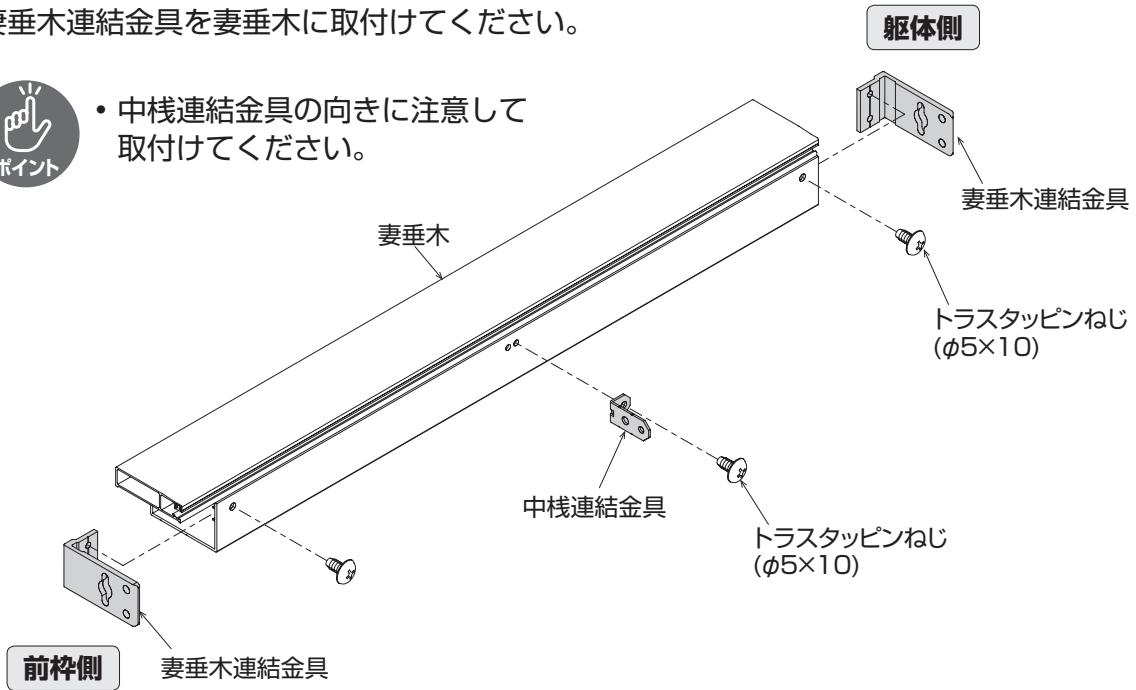
## 妻垂木・垂木の部品付

### 妻垂木の部品付

1. 中棧連結金具を妻垂木に取付けてください。
2. 妻垂木連結金具を妻垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

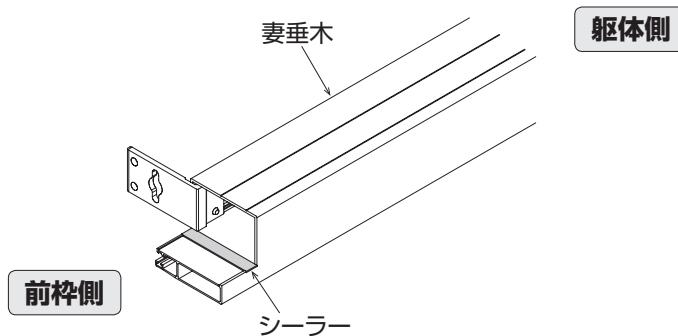


3. シーラーを妻垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用	下から施工用
妻垂木		
シーラー		



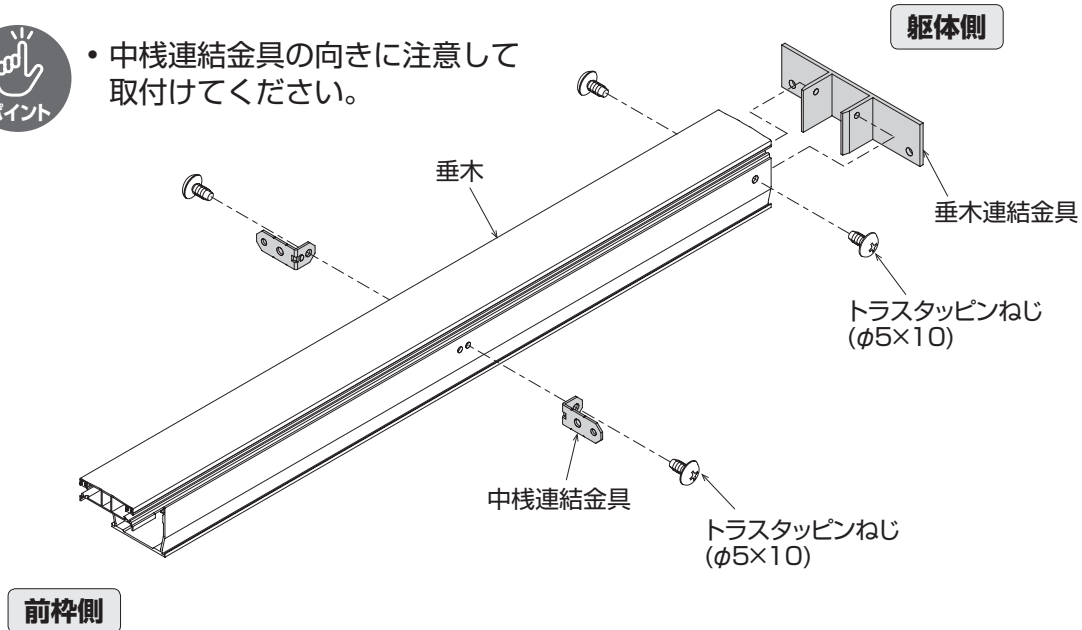
(単位：mm)

## 垂木の部品付

1. 中棧連結金具を垂木に取付けてください。
2. 垂木連結金具を垂木に取付けてください。



- 中棧連結金具の向きに注意して取付けてください。

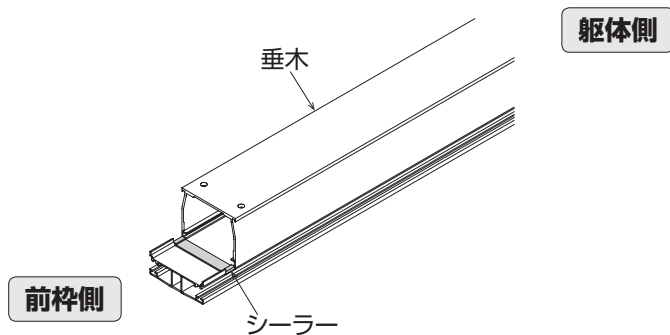


3. シーラーを垂木に貼付けてください。



- 上から施工用、下から施工用の両方のシーラーが前枠・垂木掛けユニットに同梱されています。下表で形状を確認して、シーラーを貼付けてください。

	上から施工用		下から施工用	
	薄肉	厚肉	薄肉	厚肉
垂木				
シーラー				



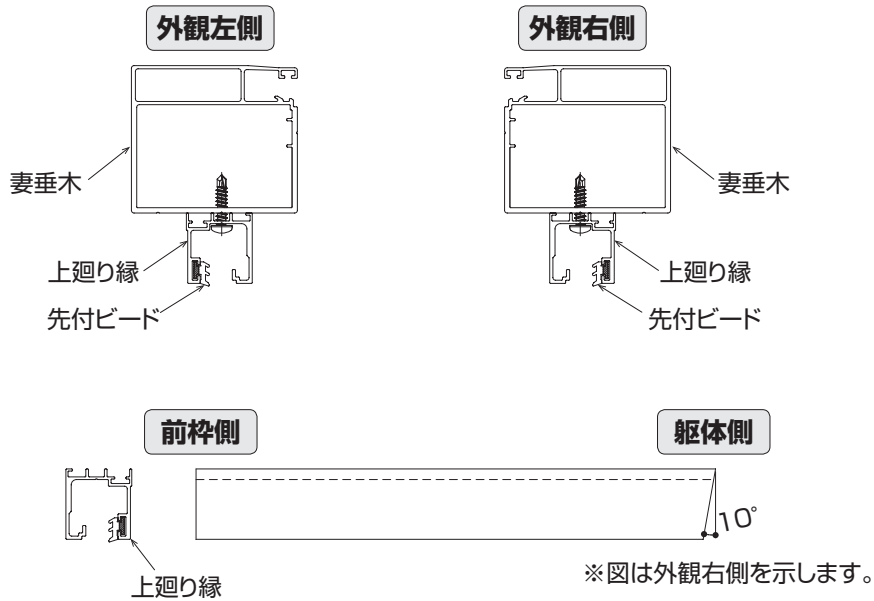
(単位：mm)

## 妻垂木の組立

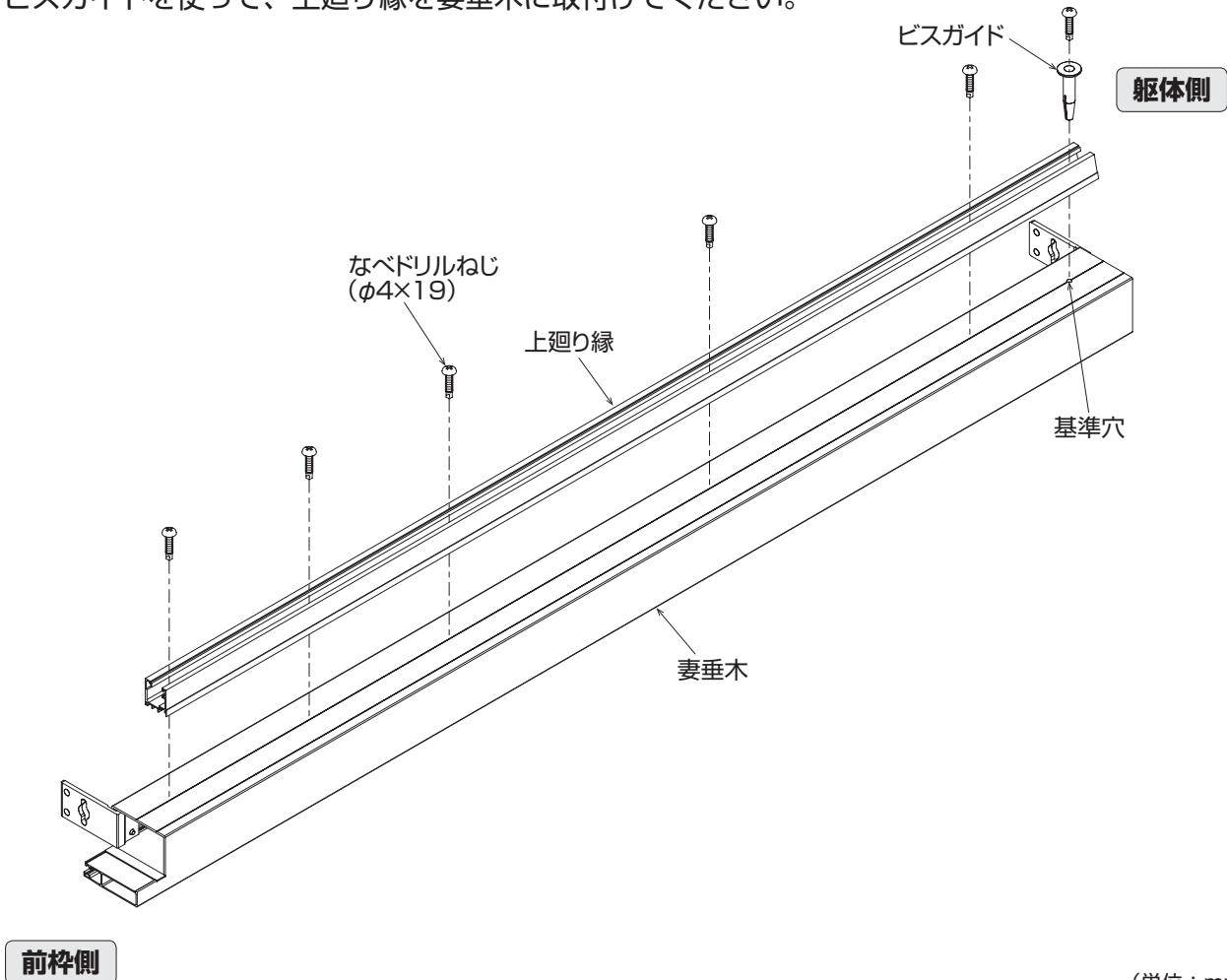
1. 上廻り縁の向きを確認してください。



• 先付ビード側が外観側、角度切断側が躯体側になります。



2. ビスガイドを使って、上廻り縁を妻垂木に取付けてください。

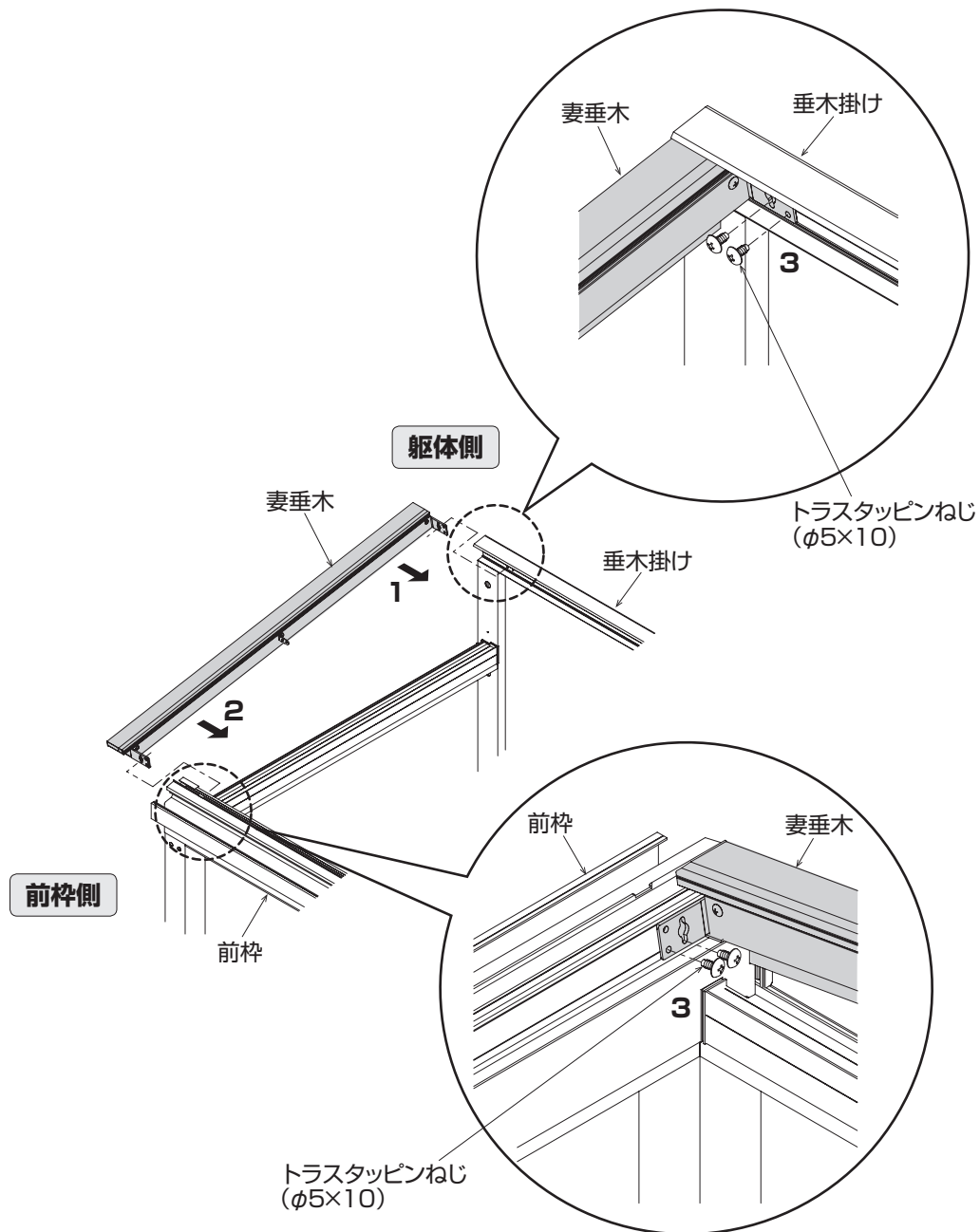


(単位：mm)

## 屋根部の取付

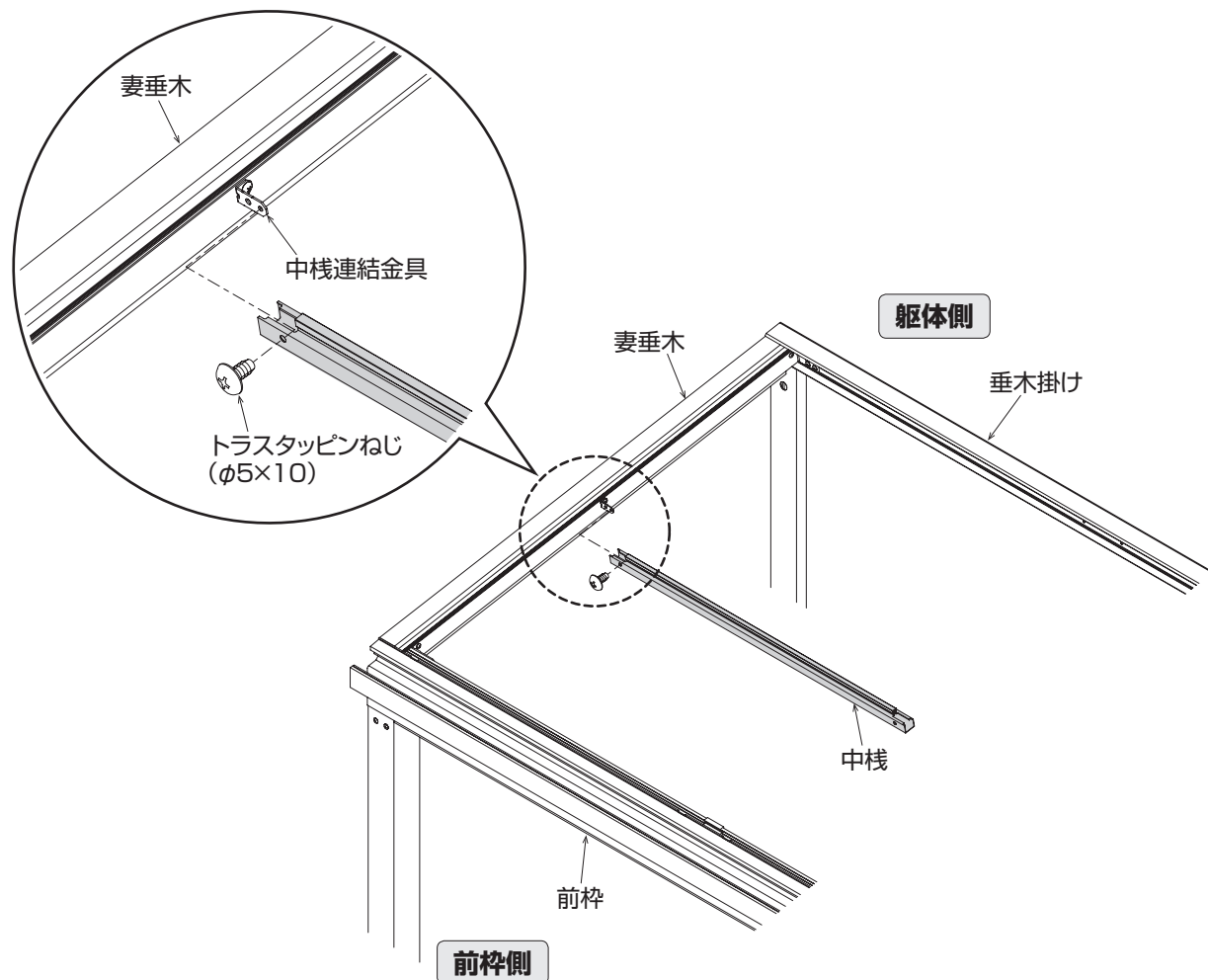
### 妻垂木の取付

1. 妻垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 妻垂木を前枠に挿入してください。
3. 妻垂木を垂木掛け・前枠に取付けてください。



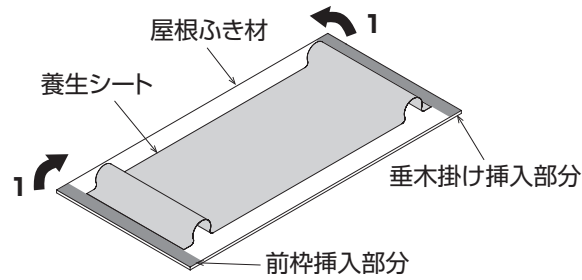
## 中棧の取付

1. 中棧を妻垂木の中棧連結金具に挿入してください。
2. 中棧を妻垂木に取付けてください。



## 屋根ふき材の取付

1. 屋根ふき材養生シートの前枠・垂木掛け挿入部分をはがしてください。



2. 屋根ふき材を垂木掛けに挿入してください。

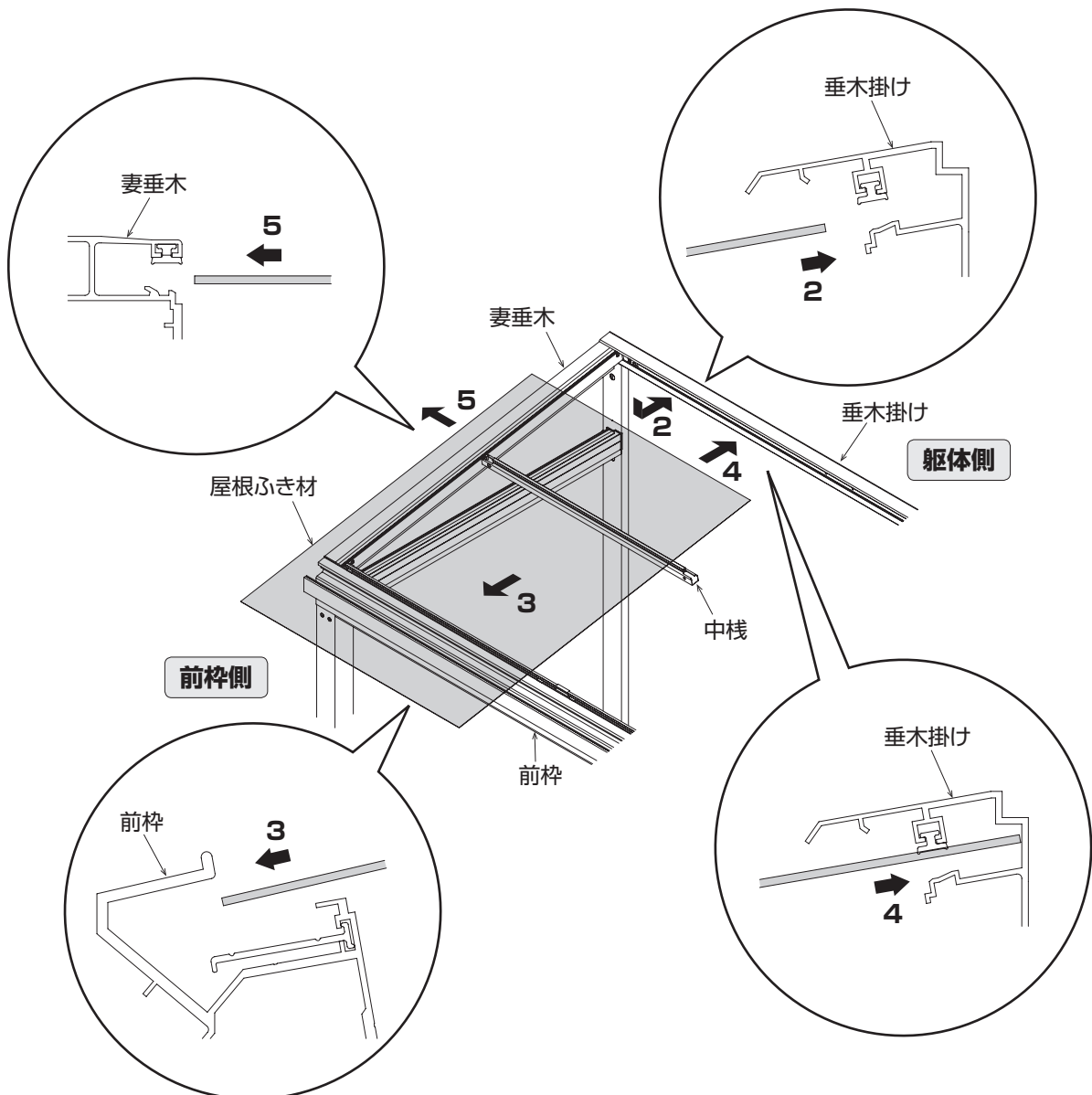
3. 屋根ふき材を前枠に挿入してください。

4. 屋根ふき材を垂木掛けにあたるまで、寄せてください。

5. 屋根ふき材を妻垂木に挿入してください。



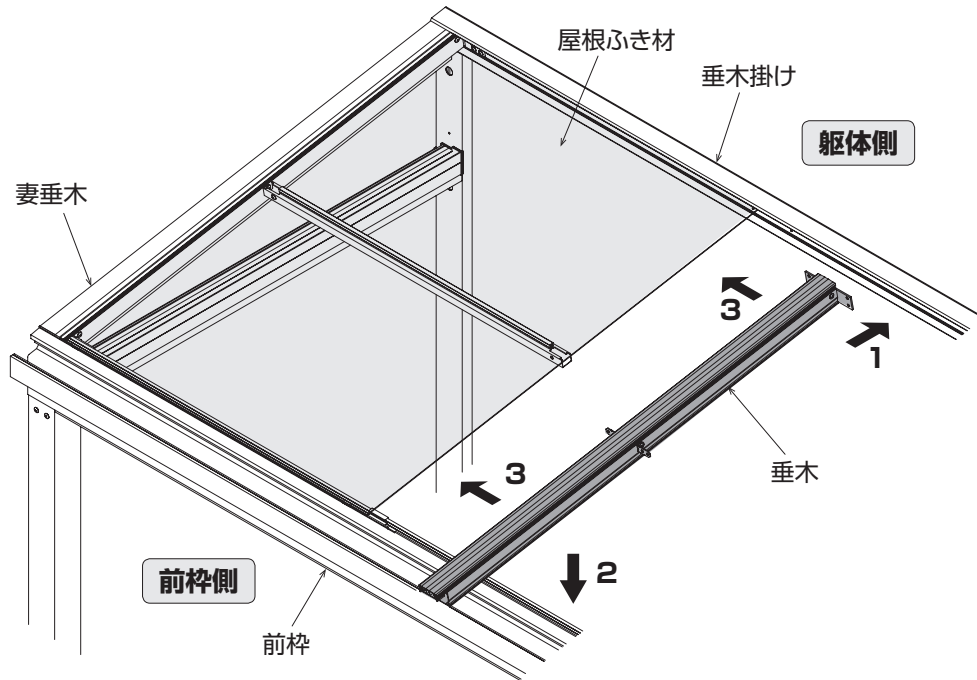
• 屋根ふき材がマット調の場合、マット面（凹凸面）を屋根下面にして取付けてください。





## 垂木の取付

1. 垂木を垂木掛けに挿入してください。
2. 垂木を前枠に挿入してください。
3. 垂木を横にスライドさせ、屋根ふき材に挿入してください。

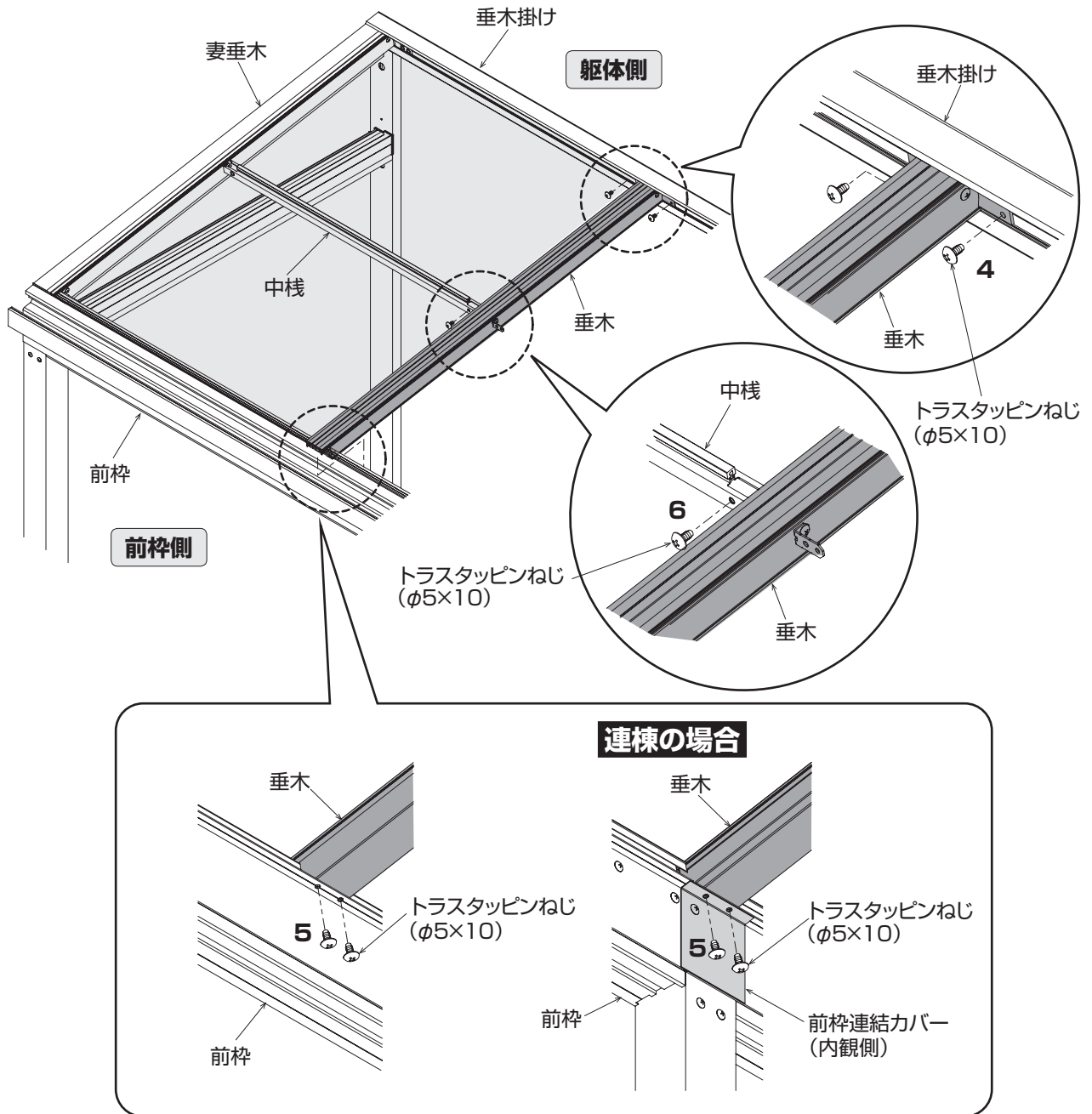


4. 垂木を垂木掛けに取付けてください。
5. 垂木を前枠に取付けてください。

**連棟の場合**

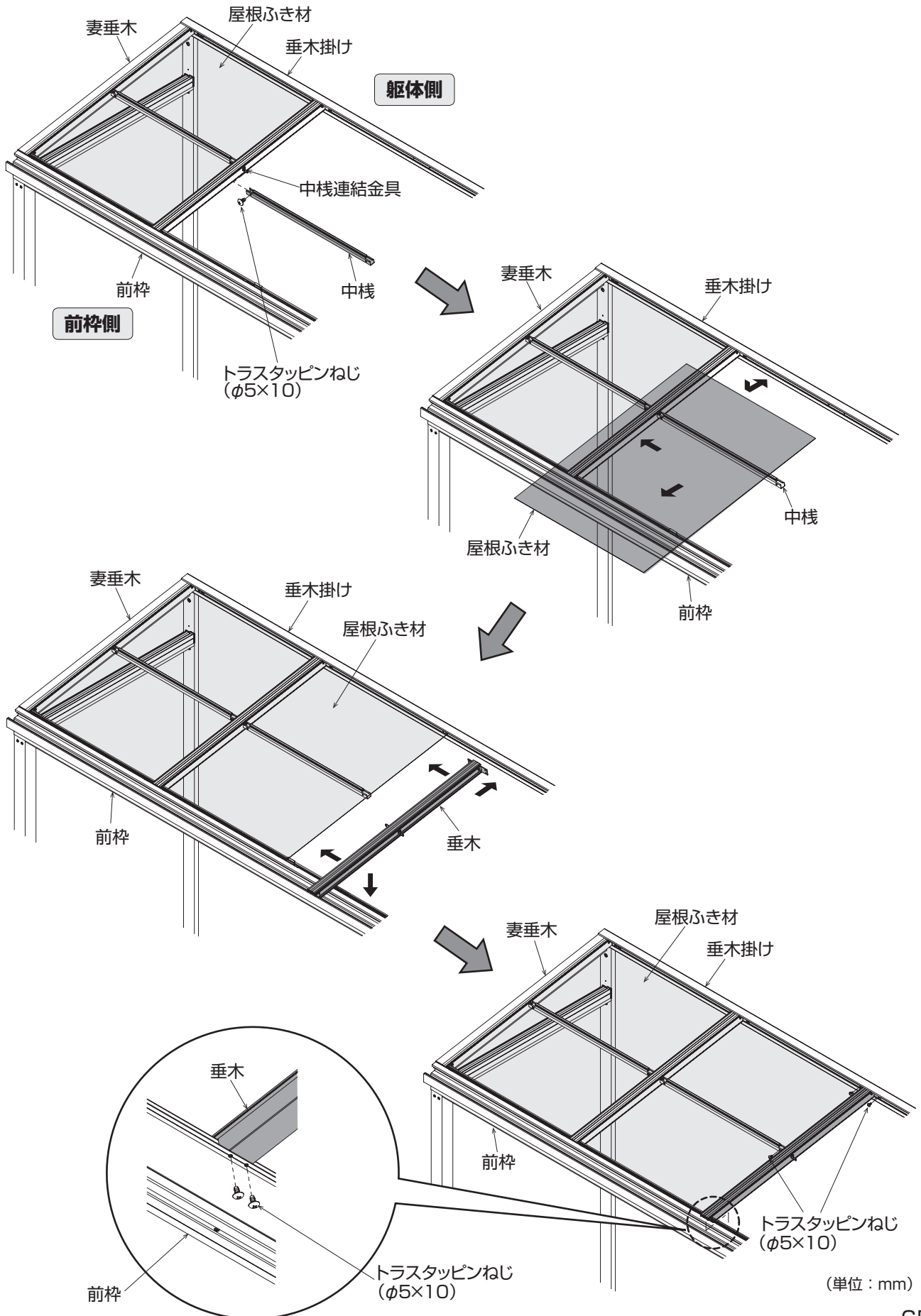
連棟部の垂木は、前枠連結カバー(内観側)と共締めしてください。

6. 垂木を中棧に取付けてください。



## 「中棧の取付～垂木の取付」の繰返し

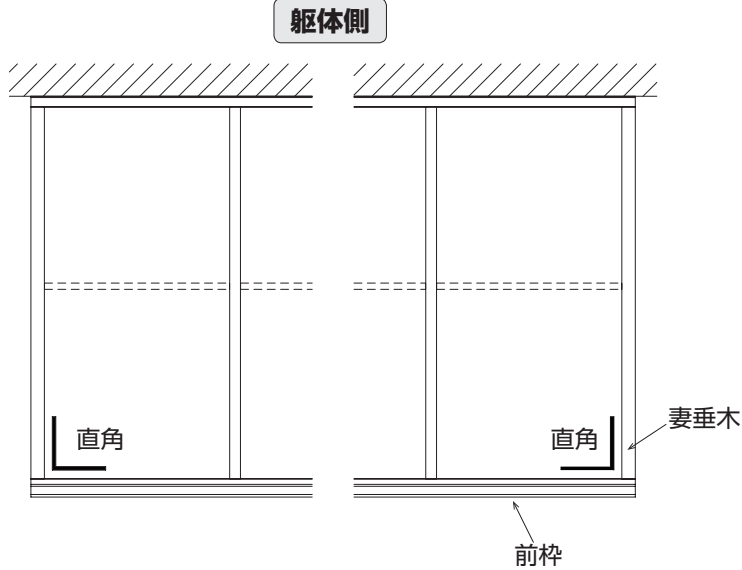
1.上記の作業（中棧の取付～垂木の取付）を繰返してください。



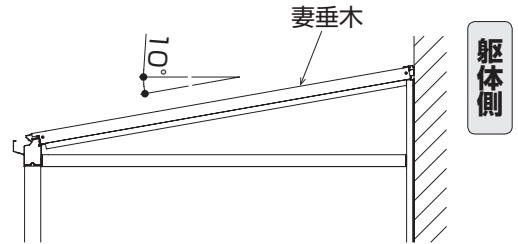
## フレームの寸法確認

- 1.前枠・妻垂木の直角を確認してください。
- 2.妻垂木の勾配（10°）を確認してください。

《平面図》



《側面図》

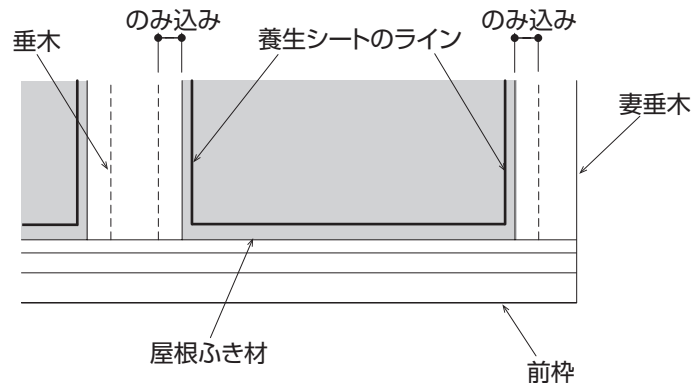


## 後付ビードの取付

- 1.屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

### お願い

- 養生シートのラインを参考にし、屋根ふき材のみ込みが左右同じになるように調整してください。屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因となります。



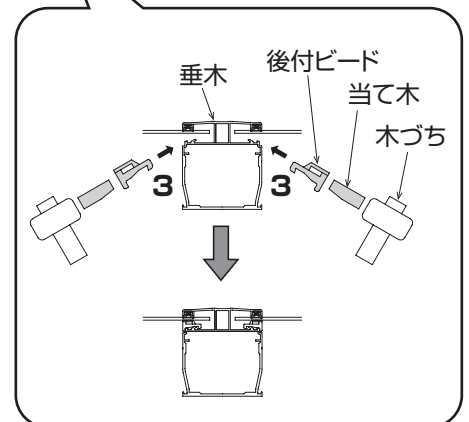
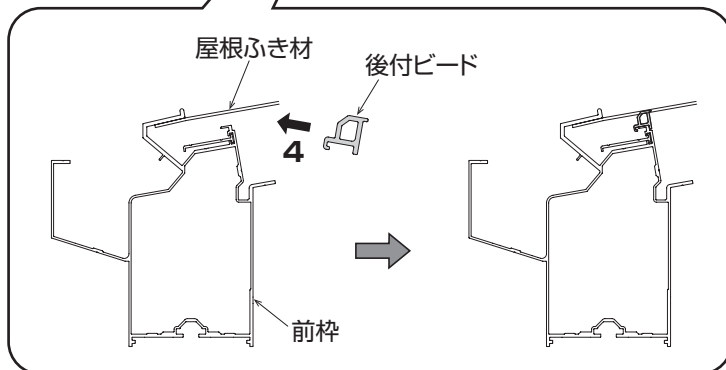
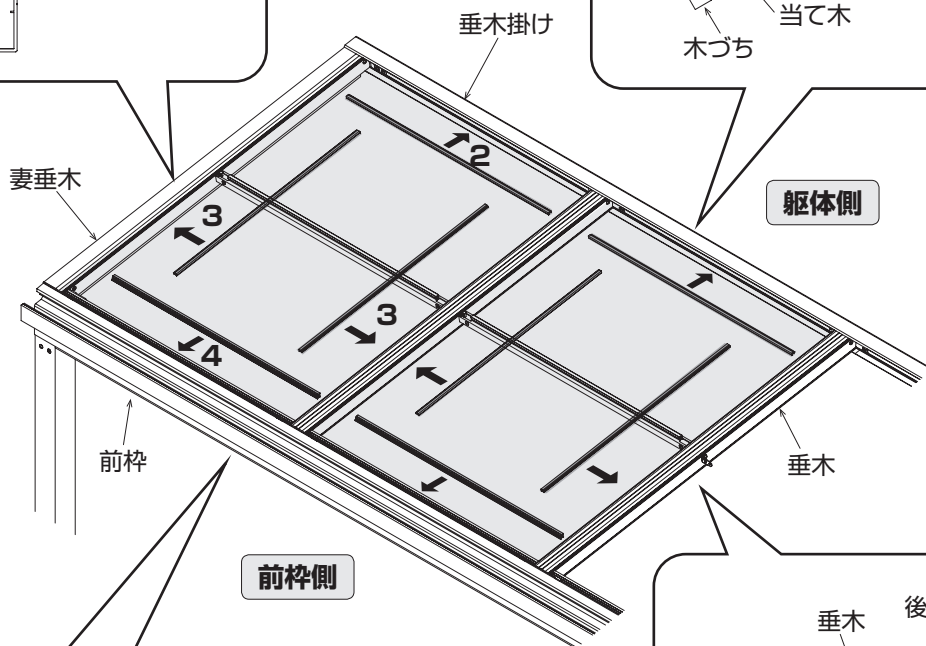
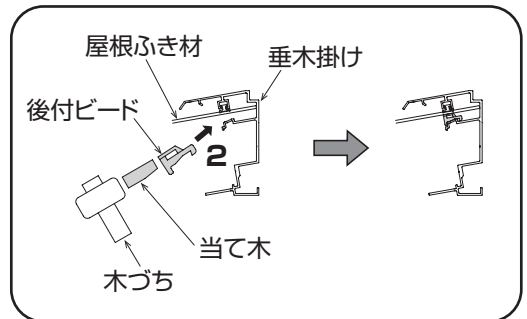
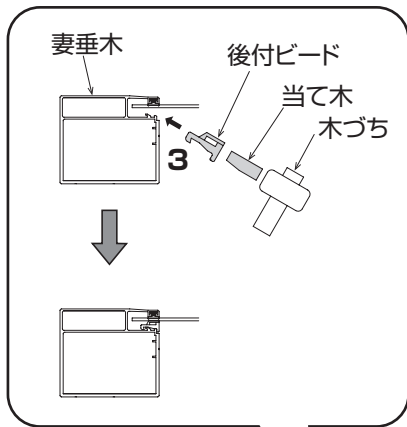
2. 後付ビードを垂木掛けに取付けてください。
3. 後付ビードを妻垂木・垂木に取付けてください。
4. 後付ビードを前枠に取付けてください。

**お願い**

- 後付ビードの向きと押込み量に注意し、取付けてください。  
屋根ふき材の固定強度が著しく低下し、外れの原因となります。
- 妻垂木・垂木の後付ビードは切断せずに、妻垂木・垂木の先端までのみ込ませてください。



- 後付ビードを取付ける際、当て木を使用すると作業がしやすくなります。



屋根部の施工

**屋根ふき材養生シートの取外し**

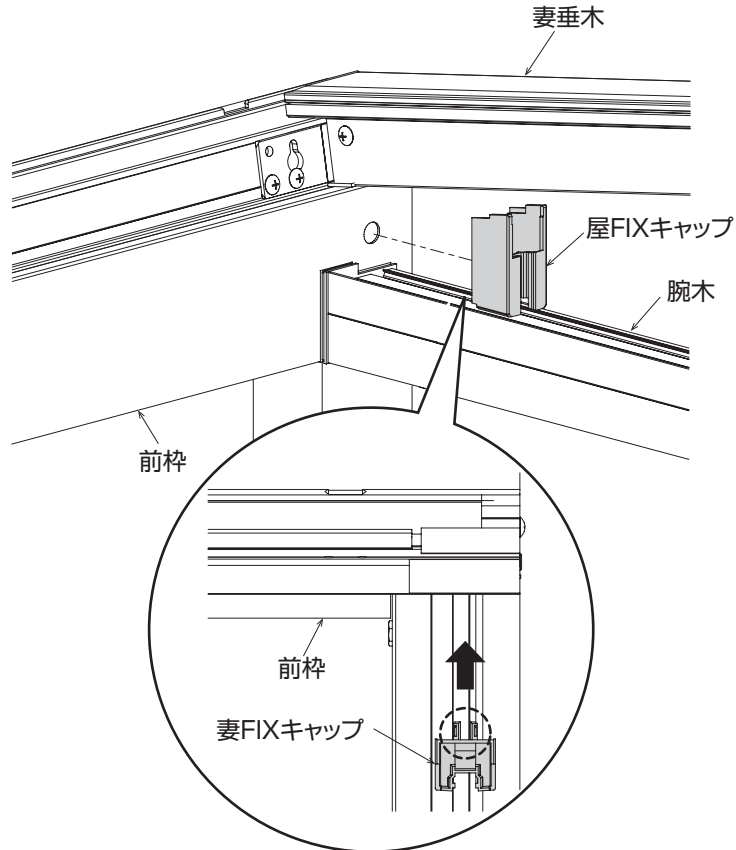
1. 養生シートを屋根ふき材からすべてはがしてください。

# 妻 FIX 部の施工

## 前枠・妻 FIX パネル（面材）・吊束の部品付

### 前枠の部品付（妻 FIX キャップの取付）

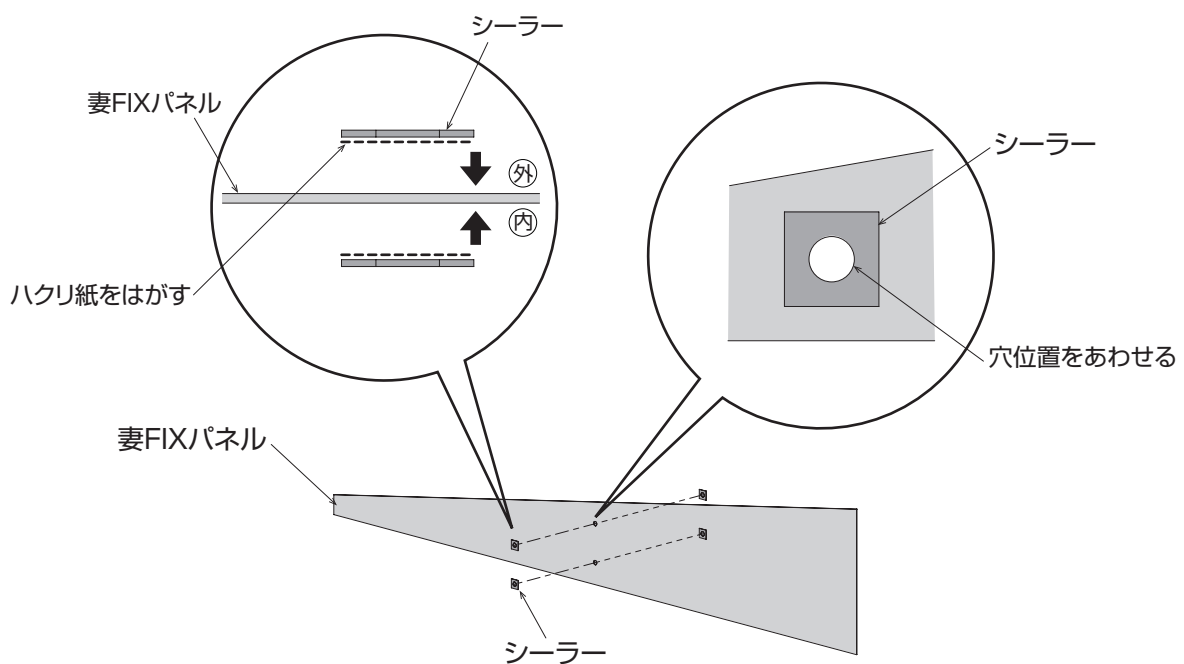
1. 妻FIXキャップを前枠の穴に挿入して取付けてください。



### 妻 FIX パネル（面材）の部品付（出幅 7～9 尺の場合）

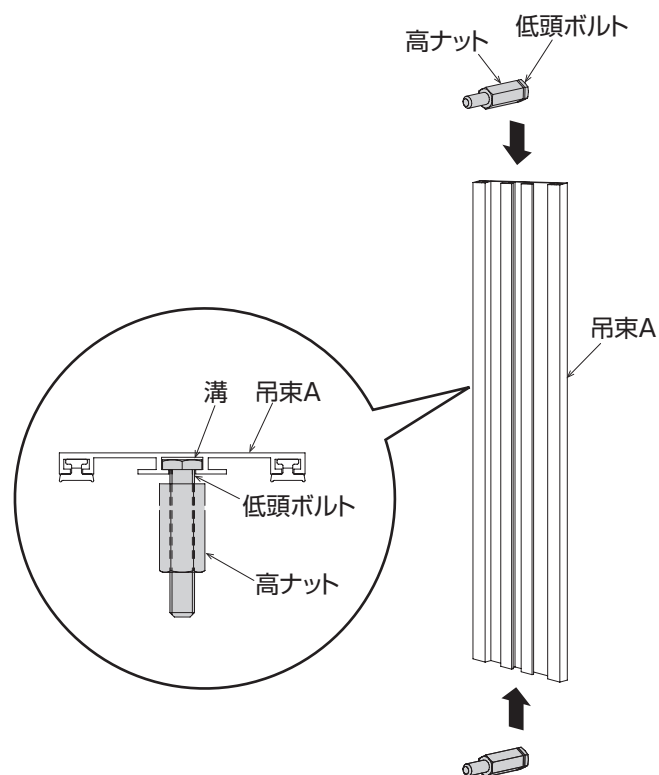
1. 妻FIXパネルの養生シートをはがしてください。

2. シーラーを妻FIXパネルの穴にあわせて貼付けてください。

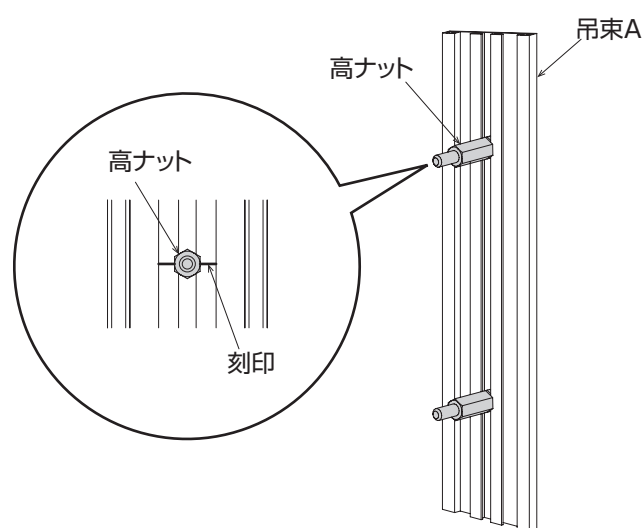


## 吊束 A の部品付（出幅 7 ～ 9 尺の場合）

1. 低頭ボルトの高ナットをゆるめ、吊束Aの溝に低頭ボルトを挿入してください。



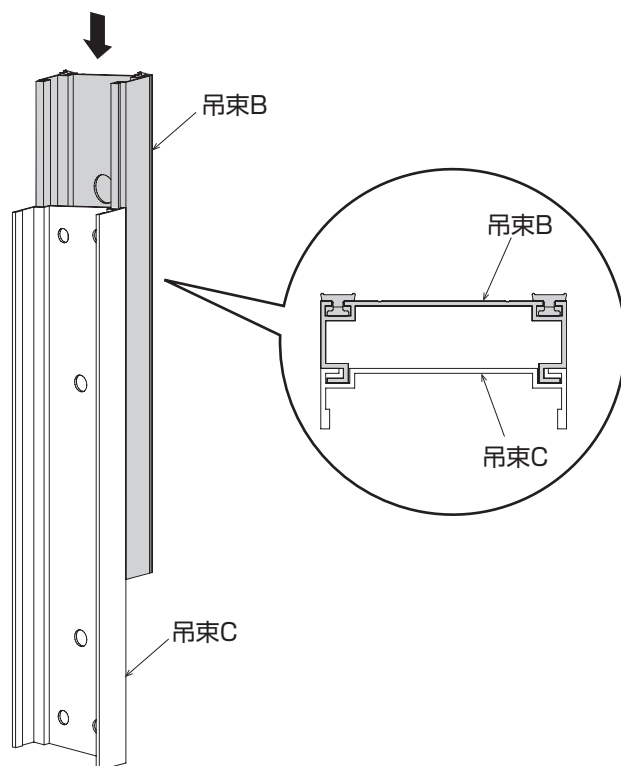
2. 低頭ボルトを吊束Aの刻印位置にあわせ、高ナットを締めてください。



## 吊束の組立

### 吊束 B、C の組立（出幅 7 ～ 9 尺の場合）

1. 吊束 B を吊束 C に挿入してください。

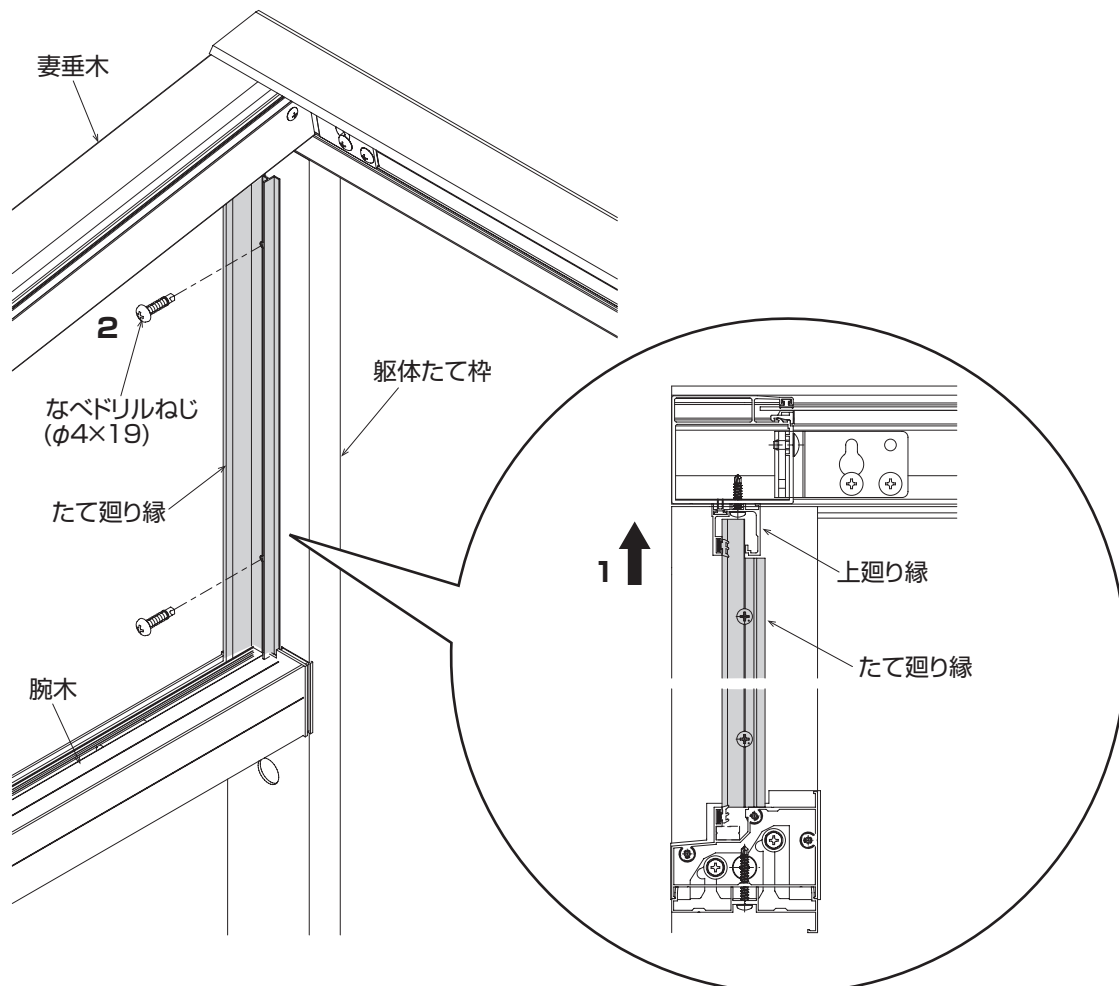




## 妻 FIX 部の取付

### たて廻り縁の取付

1. たて廻り縁を上廻り縁の溝に挿入してください。
2. たて廻り縁を躯体たて枠に取付けてください。



## 妻FIXパネル（面材）の取付

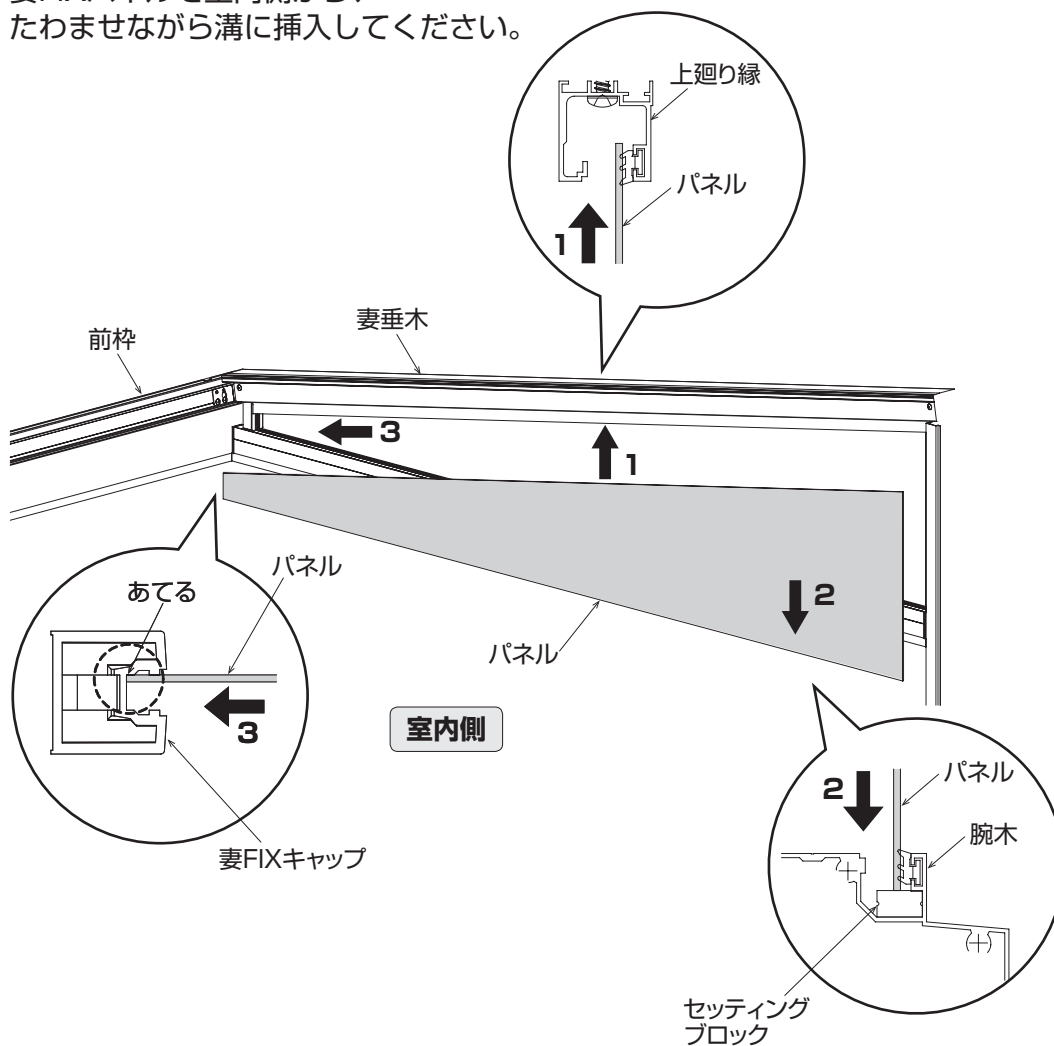


• マット面（凹凸面）を内観側にして取付けてください。

1. 妻FIXパネルを上廻り縁の溝に挿入してください。
2. 妻FIXパネルを腕木の溝に挿入してください。
3. 妻FIXパネルを妻FIXキャップにあたるまで、引寄せてください。

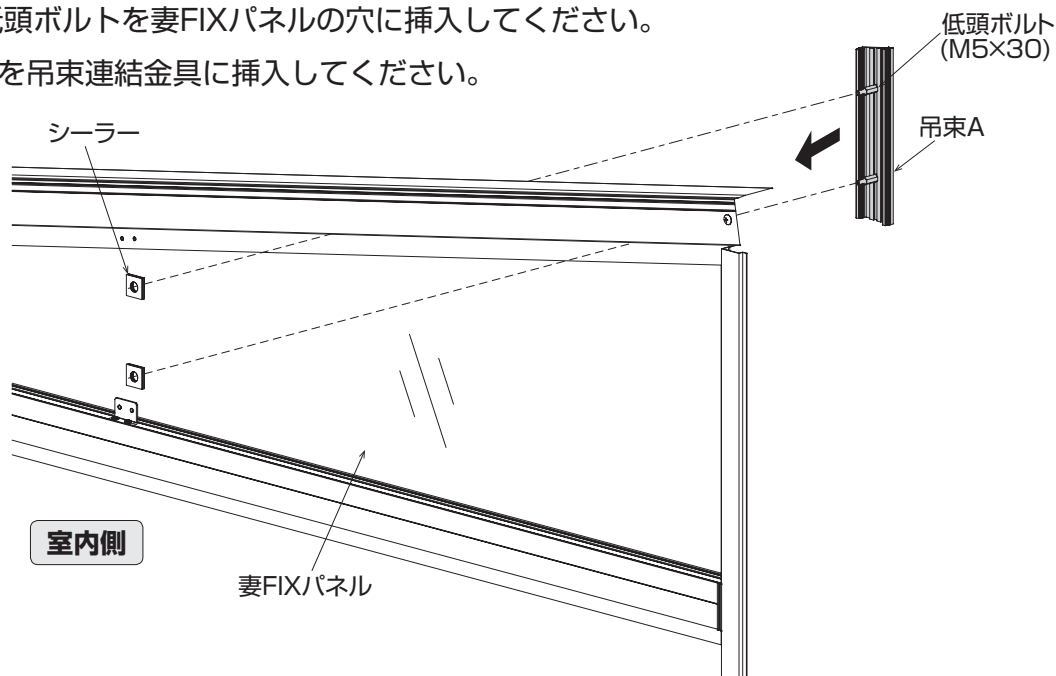


• 妻FIXパネルを室内側から、たわませながら溝に挿入してください。

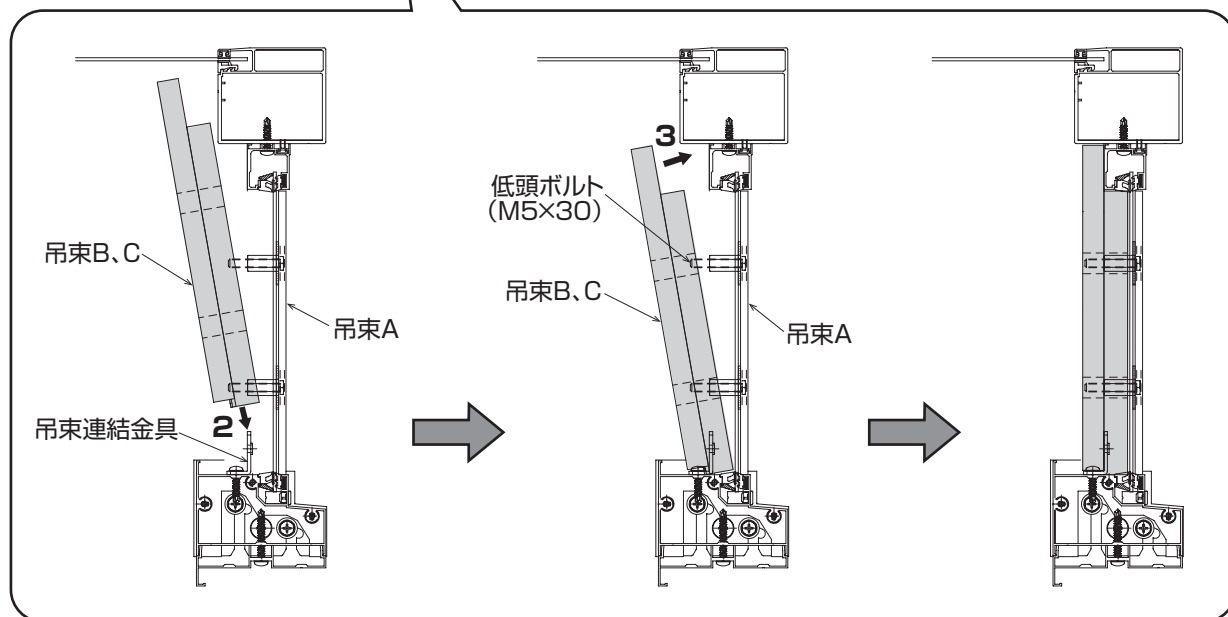
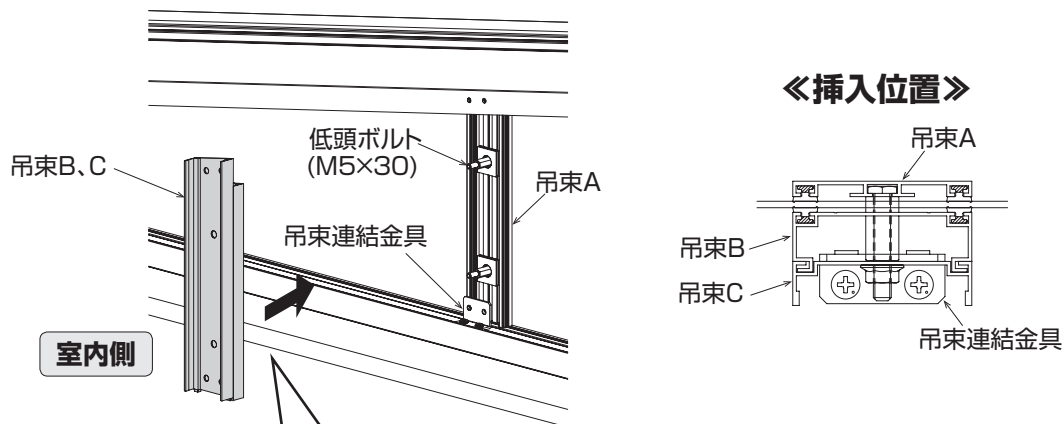


## 吊束の取付 (出幅 7 ~ 9 尺の場合)

1. 吊束Aの低頭ボルトを妻FIXパネルの穴に挿入してください。
2. 吊束B、Cを吊束連結金具に挿入してください。

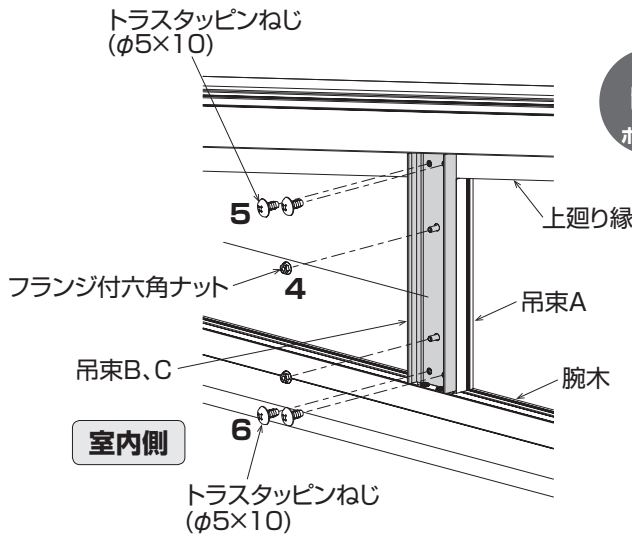


3. 吊束B、Cを吊束Aの低頭ボルトに挿入してください。
4. 吊束B、Cを吊束Aに仮留めしてください。



(単位 : mm)

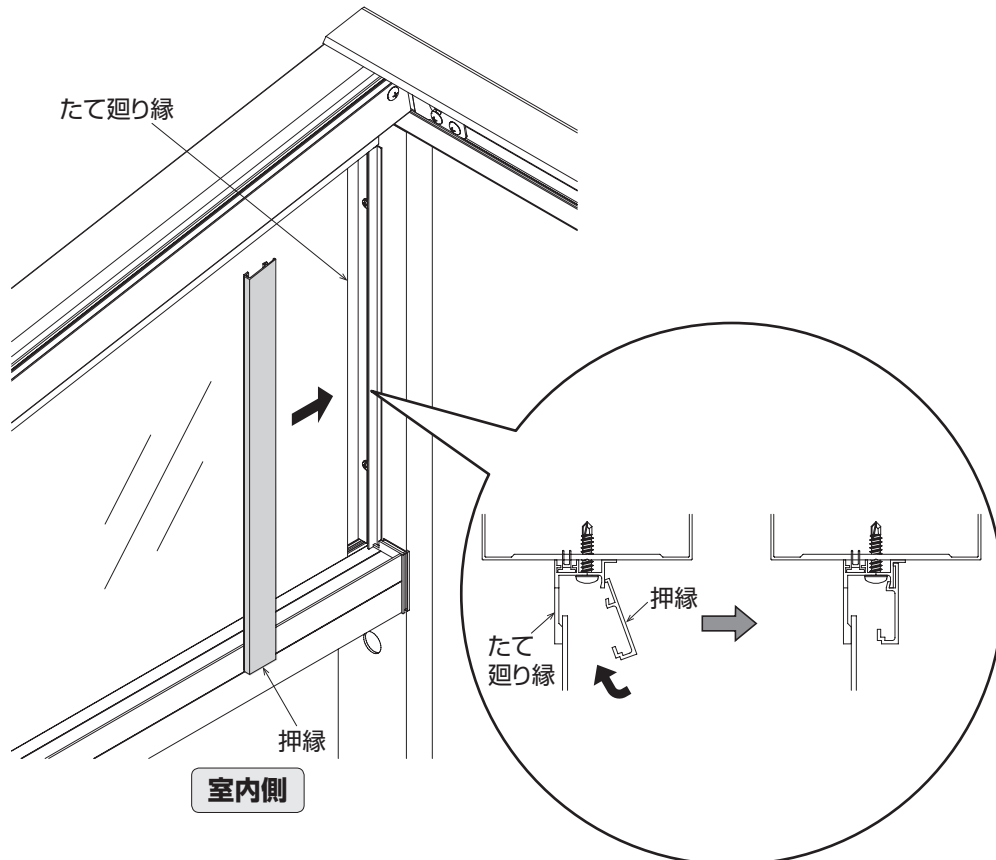
5. 吊束B、Cを上廻り縁に取付けてください。
6. 吊束B、Cを腕木に取付けてください。



• 吊束B、Cと腕木の間ですき間が出ないように腕木を持ち上げながら取付けてください。

## 押縁の取付

1. 押縁をたて廻り縁に取付けてください。

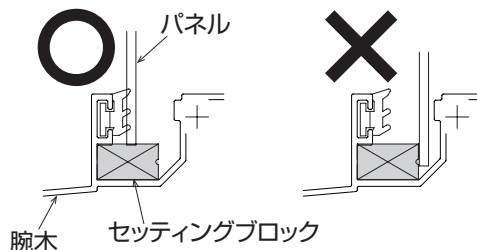


(単位：mm)

## 後付ビードの取付

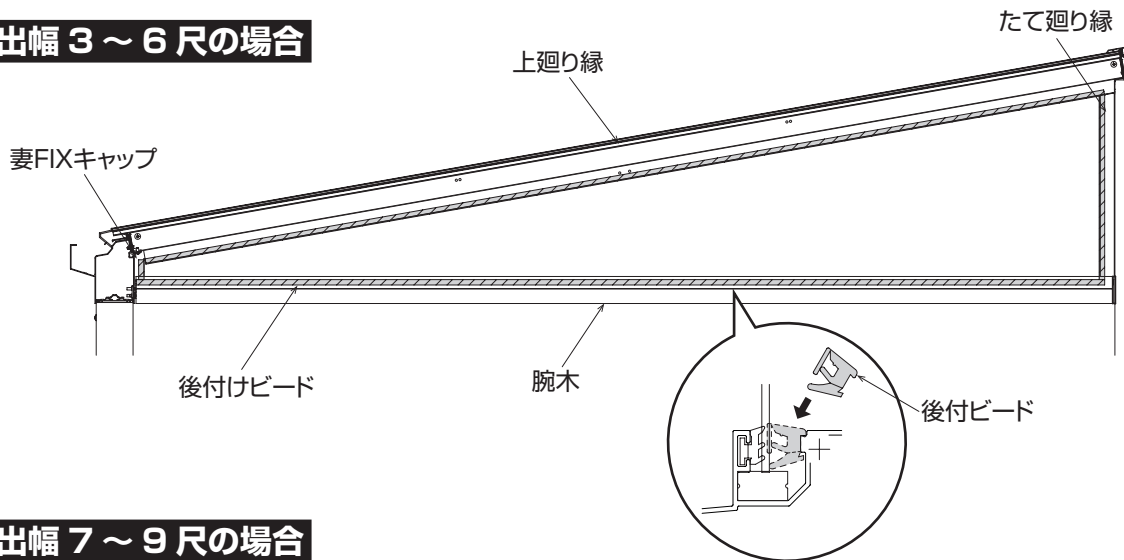


- 妻FIXパネルがセッティングブロックの上のっていることを確認し、後付ビードを取付けてください。



1. 後付ビードを上廻り縁、妻FIXキャップ、腕木、たて廻り縁に取付けてください。

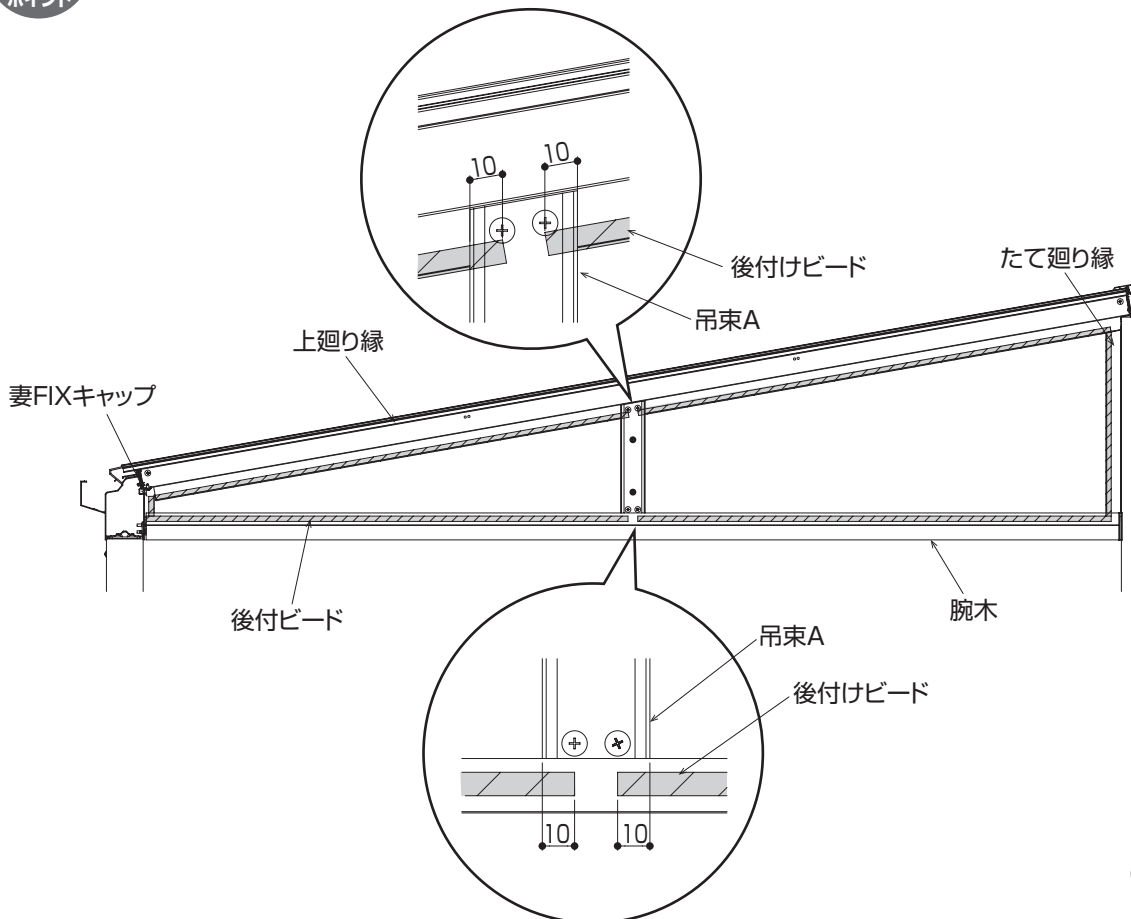
### 出幅 3 ~ 6 尺の場合



### 出幅 7 ~ 9 尺の場合



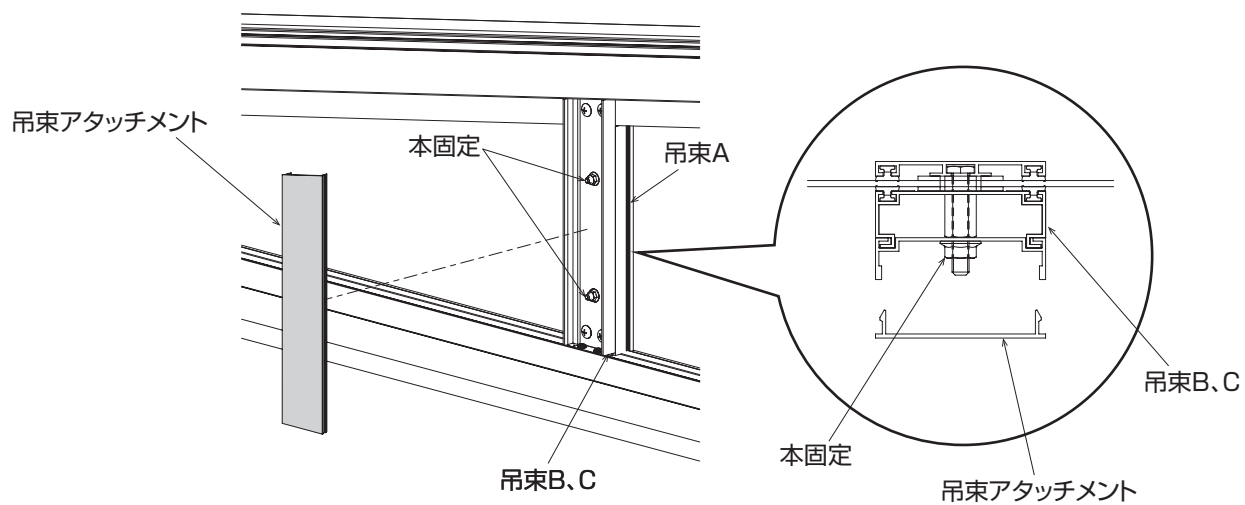
- 吊束の前後で分割して取付けてください。後付ビードの先端を吊束上下に10mm程挿入してください。



(単位：mm)

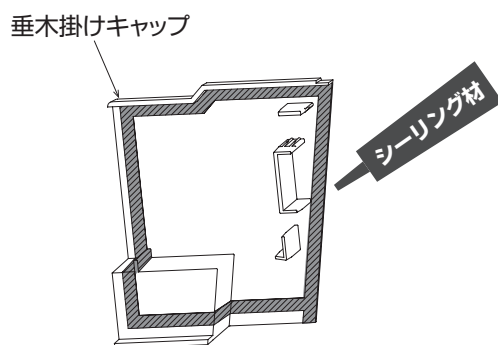
## 吊束アタッチメントの取付（出幅 7～9 尺の場合）

1. 吊束 B、C を吊束 A に本固定してください。
2. 吊束アタッチメントを吊束 B、C に取付けてください。



## 垂木掛けキャップの取付

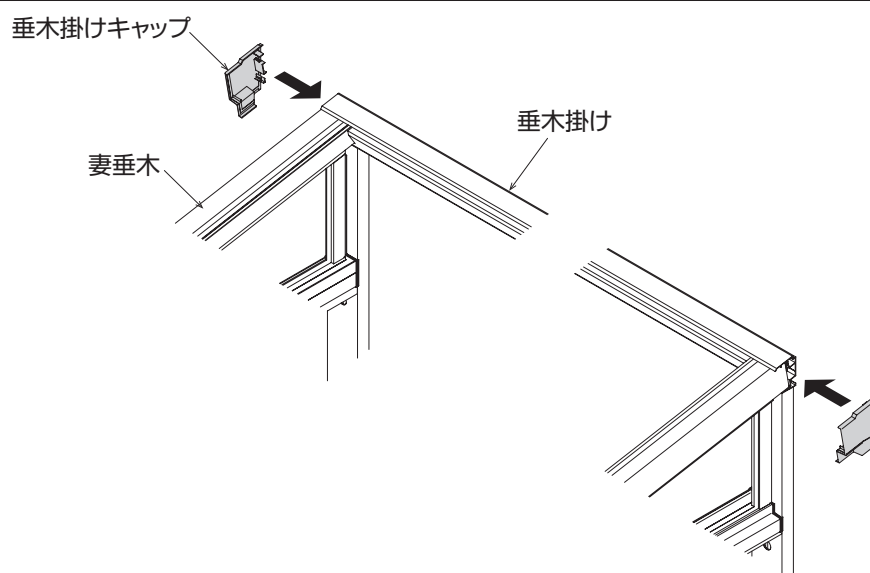
1. 垂木掛けキャップにシーリングを行ってください。



2. 垂木掛けキャップを垂木掛けに取付けてください。

### お願い

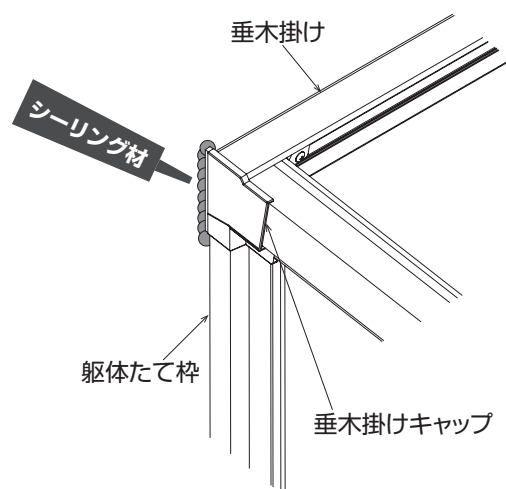
- 確実に挿入されていることを確認してください。



3. 垂木掛けキャップの壁面にマスキングテープを貼付けてください。

4. シーリング溝に沿って垂木掛けキャップにシーリングを行ってください。

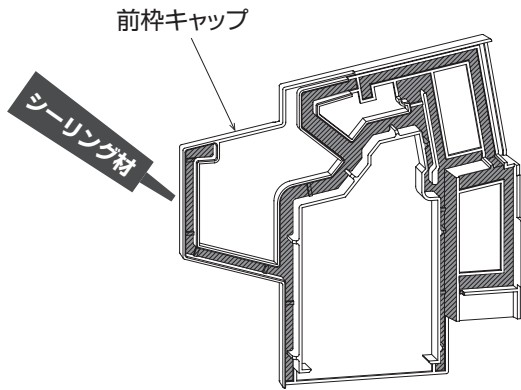
5. マスキングテープをはがしてください。



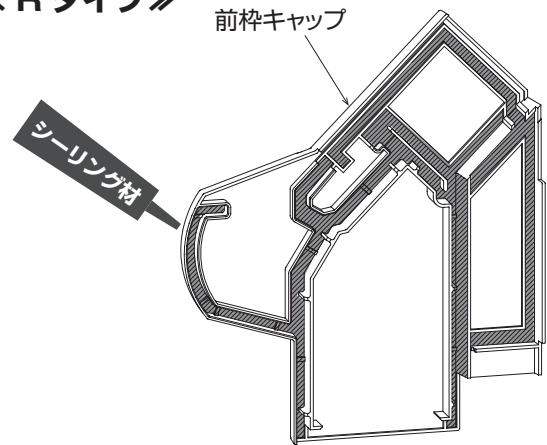
## 前枠キャップの取付

1. 前枠キャップにシーリング材を充てんしてください。

《 F タイプ 》



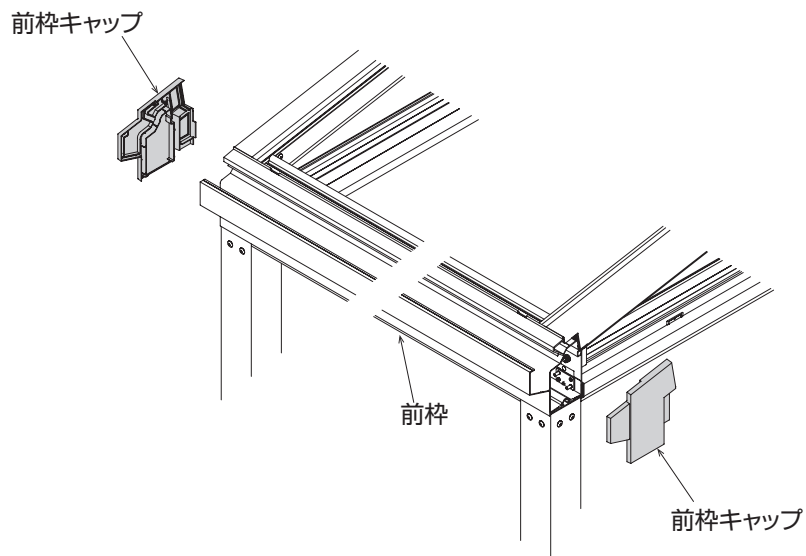
《 R タイプ 》



2. 前枠キャップを前枠に取付けてください。

**お願い**

- 確実に挿入されていることを確認してください。





# 基礎工事

基礎（柱・方立）の固定 .....	P.80
基礎コンクリートの打込み .....	P.80

# 基礎（柱・方立）の固定

## ⚠ 注意

- アルミ柱を建ててからコンクリートを打設してください。アルミ柱内部にコンクリートが入り、水が溜まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎コンクリートには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。

## お願い

- コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。（目安：4日～7日）
- コンクリートなどが製品に付着した場合はすみやかに拭取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。

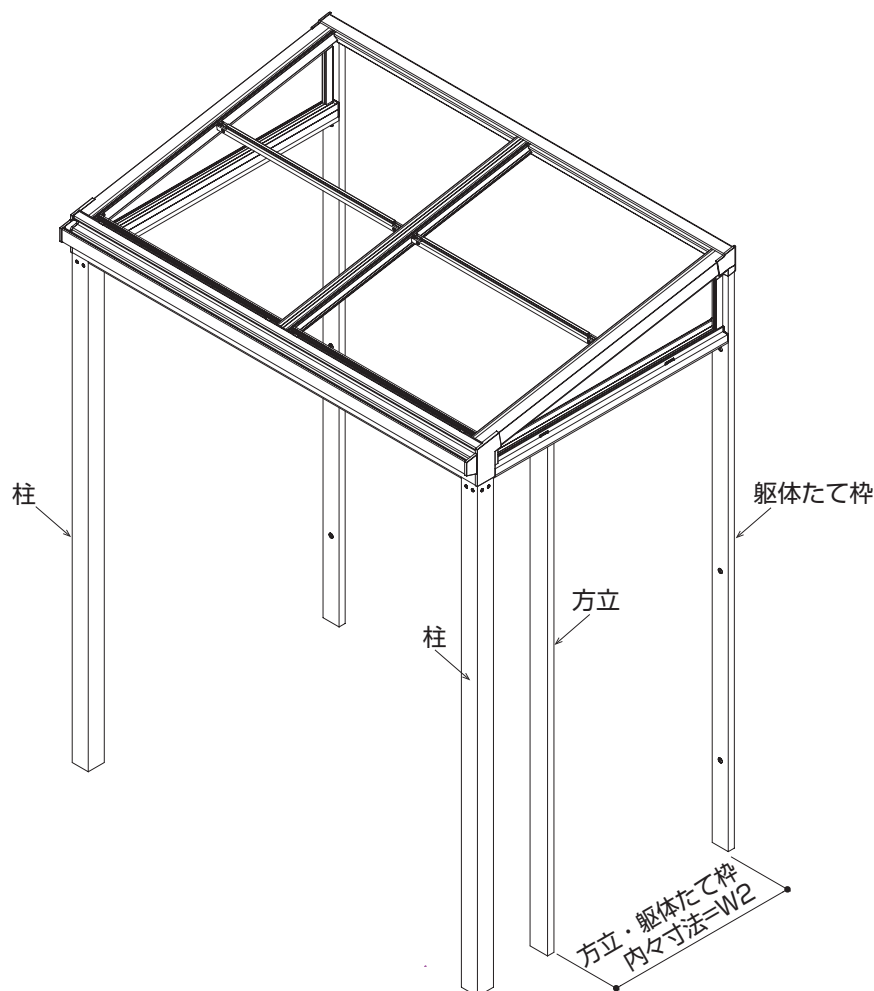


- 方立の固定は、ドア(出幅4～6尺)を取付ける場合のみとなります。

## 基礎コンクリートの打込み

### 柱・方立の寸法確認

1. 柱・方立の垂直を確認してください。
2. 方立を取付ける場合は、方立・躯体たて枠の内々寸法を測定し、開口部のW2寸法が確保されていることを確認してください。  
(W2寸法はP.173「姿図」参照)



(単位：mm)

## 基礎コンクリートの打込み

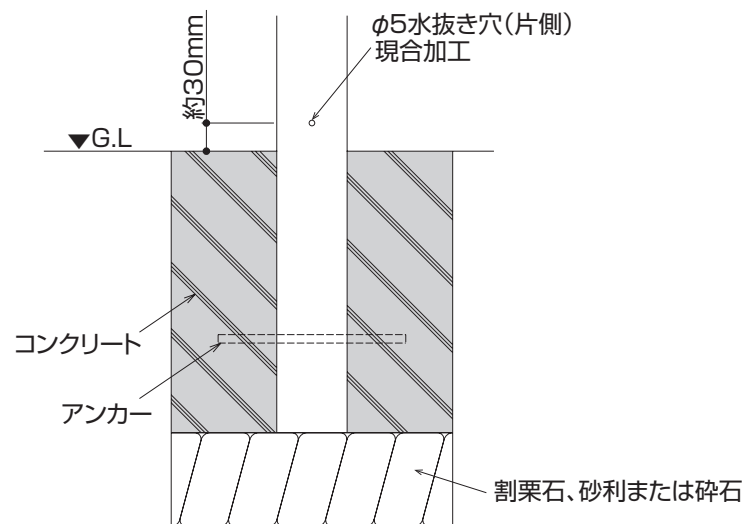
1. 柱・方立に水抜き穴をあけてください。（穴位置は図を参照）
2. 柱・方立に基礎コンクリートを打込んでください。

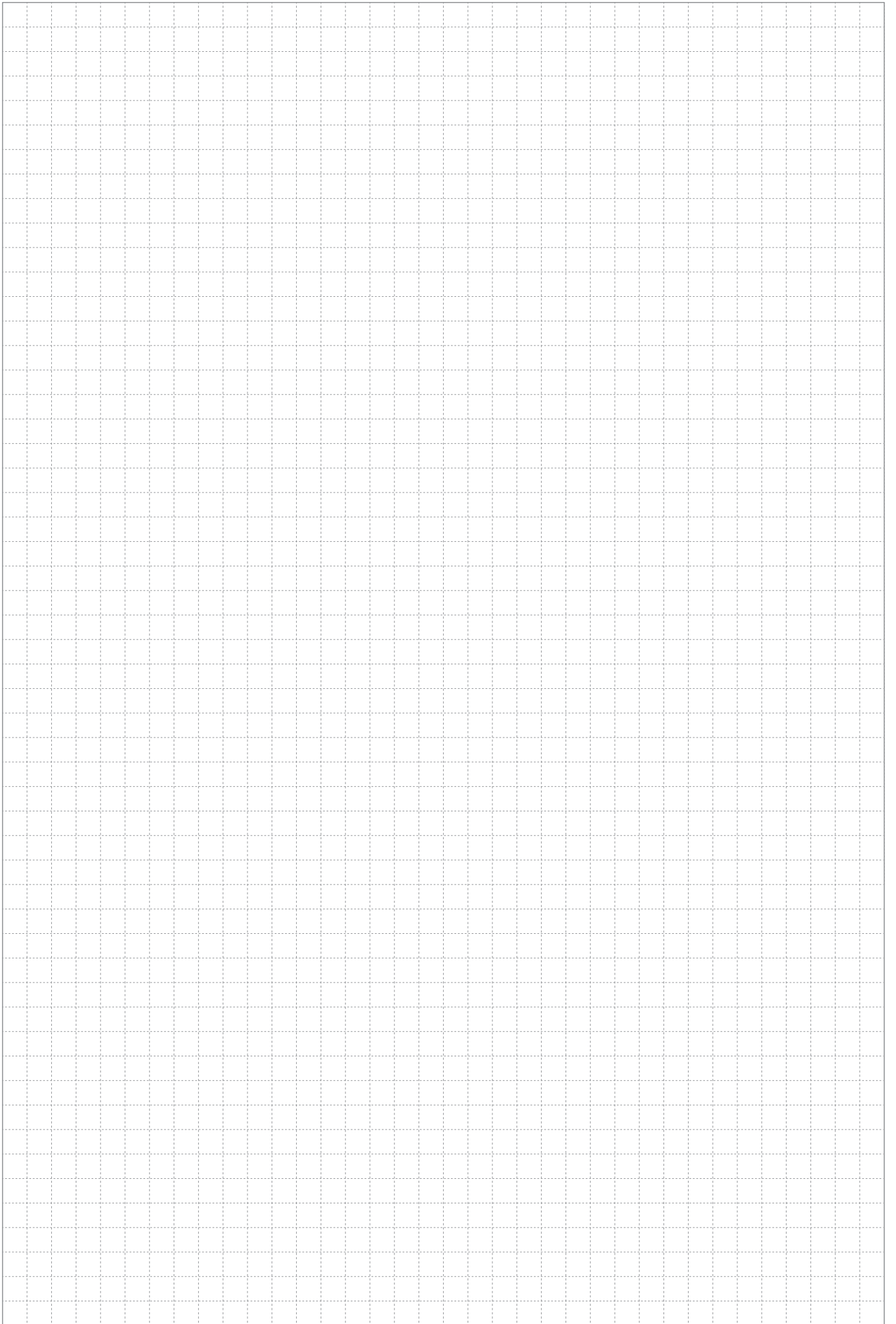
### ⚠ 注意

- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。  
凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

### お願い

- コンクリートは十分に締固めてください。  
ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。





# 開口部の施工

<b>作業前の確認</b> .....	<b>P.84</b>
作業前の確認.....	P.84
<b>掃出しサッシ（土間）・高窓の施工</b> .....	<b>P.85</b>
枠の組立.....	P.85
障子組立前の確認.....	P.111
障子の組立.....	P.113
枠の取付.....	P.118
ガラスの組込み.....	P.123
障子の吊込み.....	P.125
障子の建付調整.....	P.126
高窓・ランマ引違い窓の障子はずれ止めのセット.....	P.128
高窓・ランマ引違い窓の補助錠の作動確認.....	P.129
網戸の吊込み.....	P.130
網戸の建付調整.....	P.133
網戸の取外し方法.....	P.135
下枠のシーリング.....	P.136
<b>壁 FIX の施工</b> .....	<b>P.137</b>
枠の組立.....	P.137
枠の取付.....	P.141
ガラスの組込み.....	P.142
下枠のシーリング.....	P.143
<b>ドアの施工</b> .....	<b>P.144</b>
枠の組立.....	P.144
ドアの組立.....	P.146
錠の取付.....	P.147
枠の取付.....	P.148
ガラスの組込み.....	P.149
ドアの吊込み.....	P.151
ドアの建付調整.....	P.152
ドアクローザーの取付.....	P.154
下枠のシーリング.....	P.155
<b>止水処理</b> .....	<b>P.156</b>
下枠のシーリング.....	P.156

# 作業前の確認

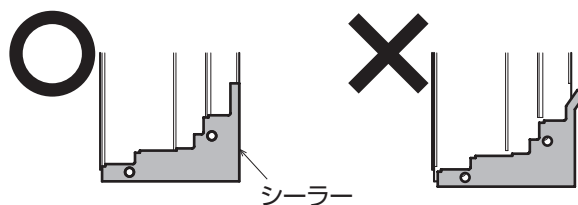
## 作業前の確認

### ⚠ 注意

- 落下防止のため、障子・網戸のはずれ止め部品の調整は必ず行ってください。

### お願い

- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。  
組立不良は漏水につながるおそれがあります。
- シーラーの位置ずれ・折曲がりがないことを確認してください。

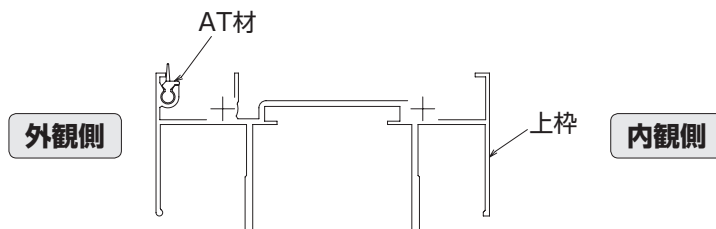


- 枠・障子組立時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締付けトルクは以下を目安に設定してください。

**2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度**



- 上枠の取付向きに注意してください。



# 掃出しサッシ（土間）・高窓の施工

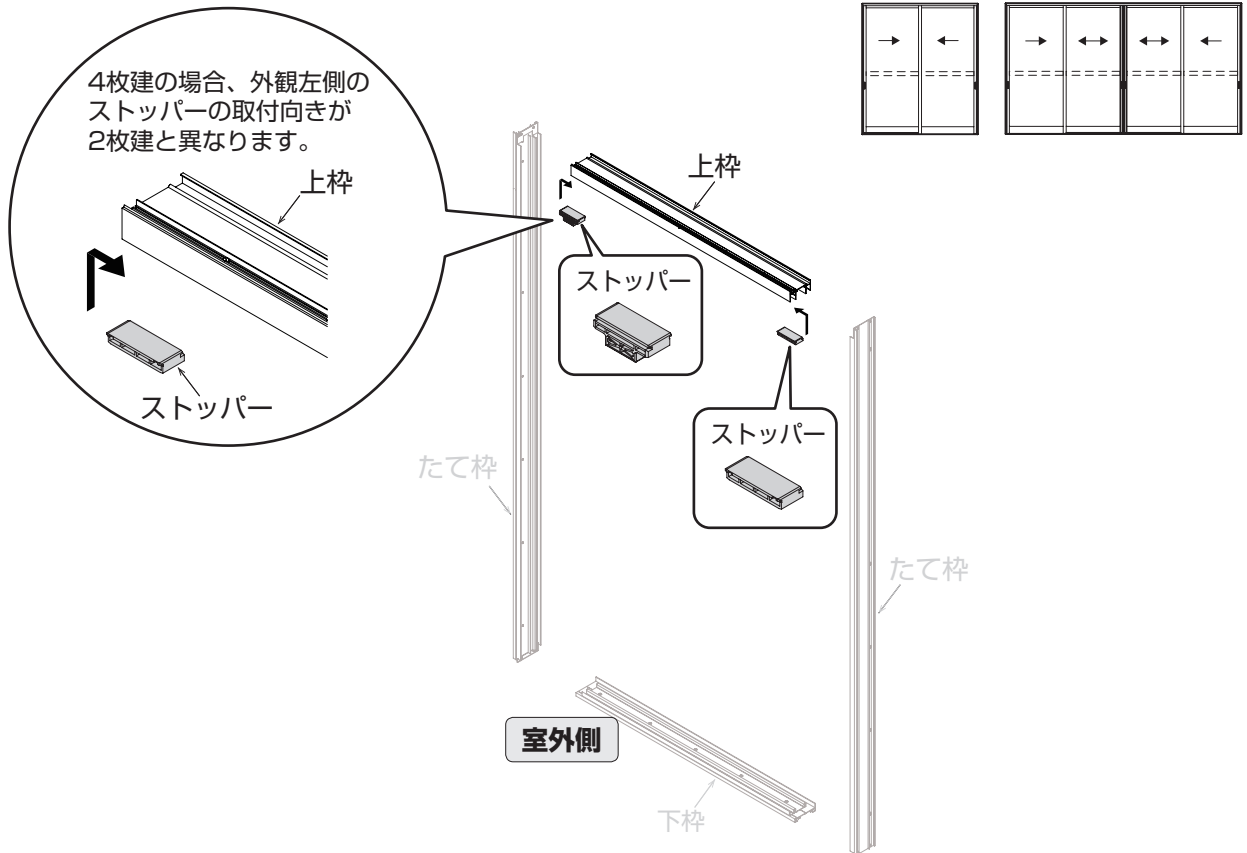
## 枠の組立

### 枠の組立

#### 掃出しサッシ（土間）の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. ストッパーを上枠に取付けてください。



#### 【ストッパー取付位置】

2枚建

室内側

ストッパー

室外側

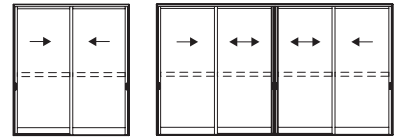
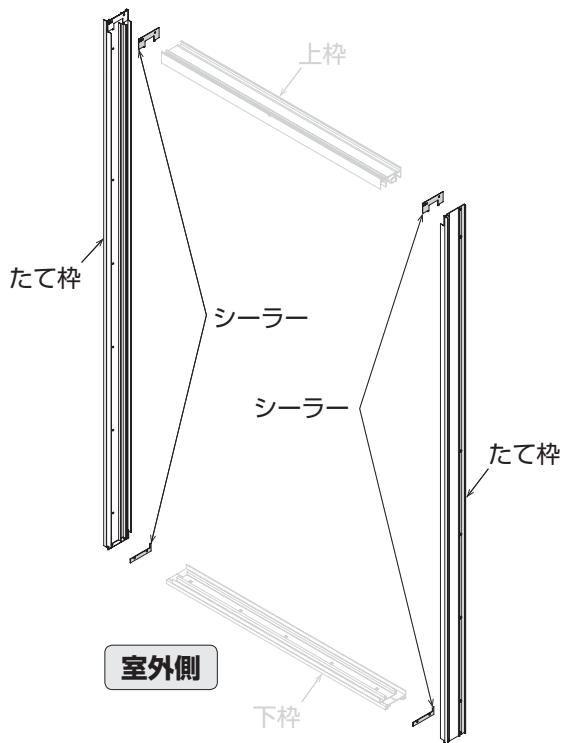
4枚建

室内側

ストッパー

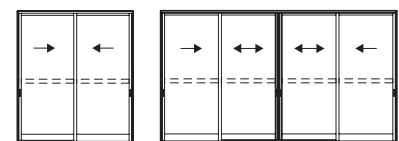
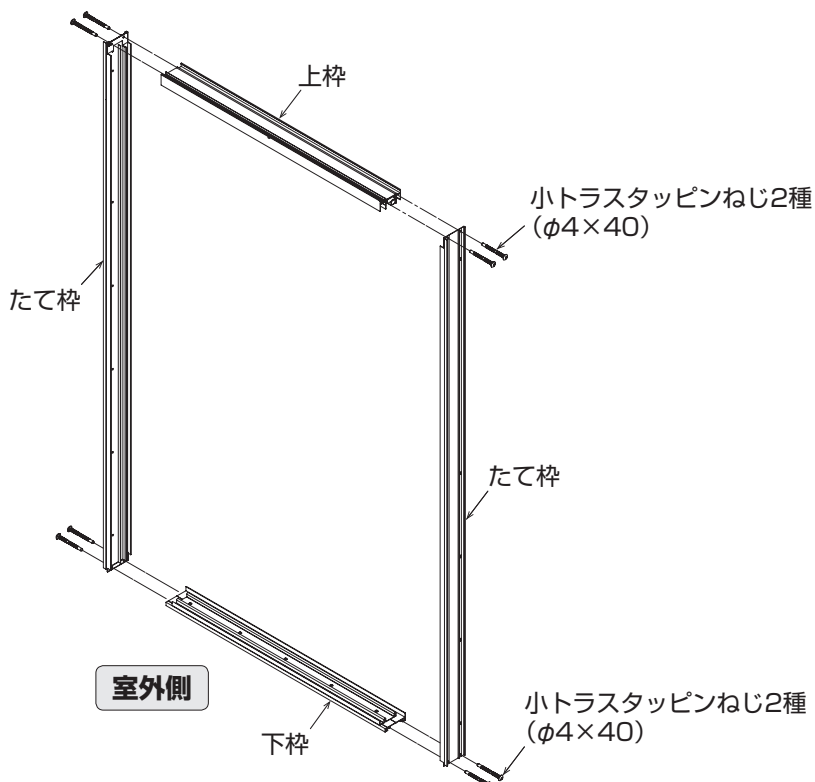
室外側

2. シーラーを取付けてください。



3. 枠を組立ててください。

組立て後、P.110「枠組立後の確認」に進んでください。



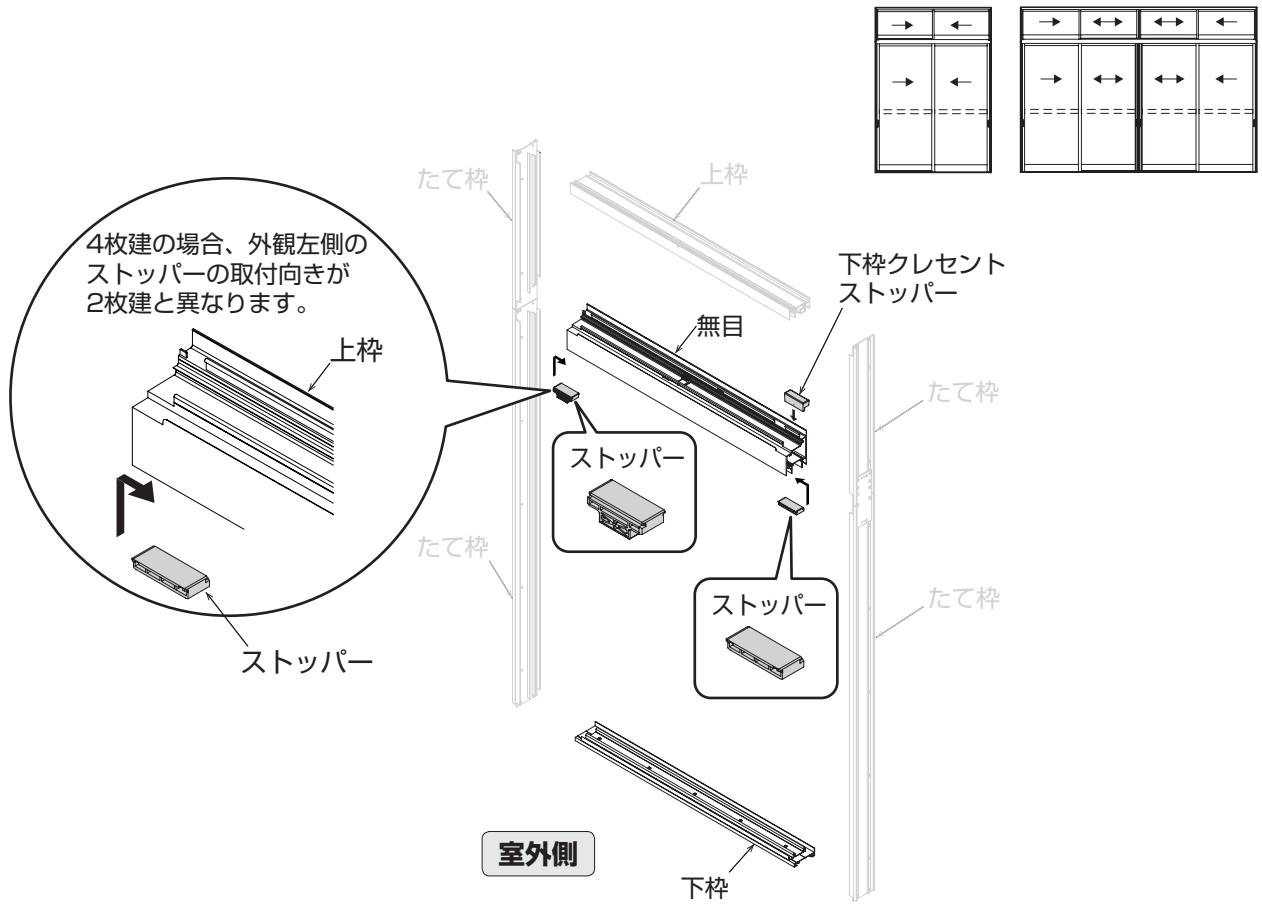
(単位：mm)



**掃出しサッシ（土間）+ランマ引違い窓の場合**

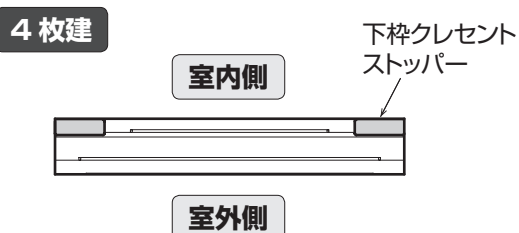
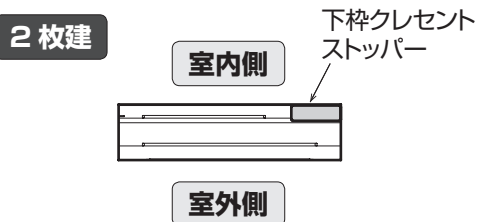
・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. ストッパーを無目に取り付けてください。

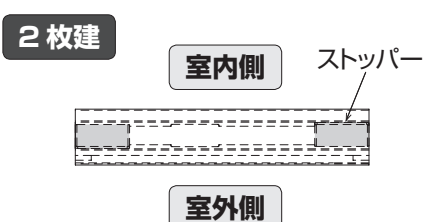


**【ストッパー取付位置】**

《下枠クレセントストッパー》

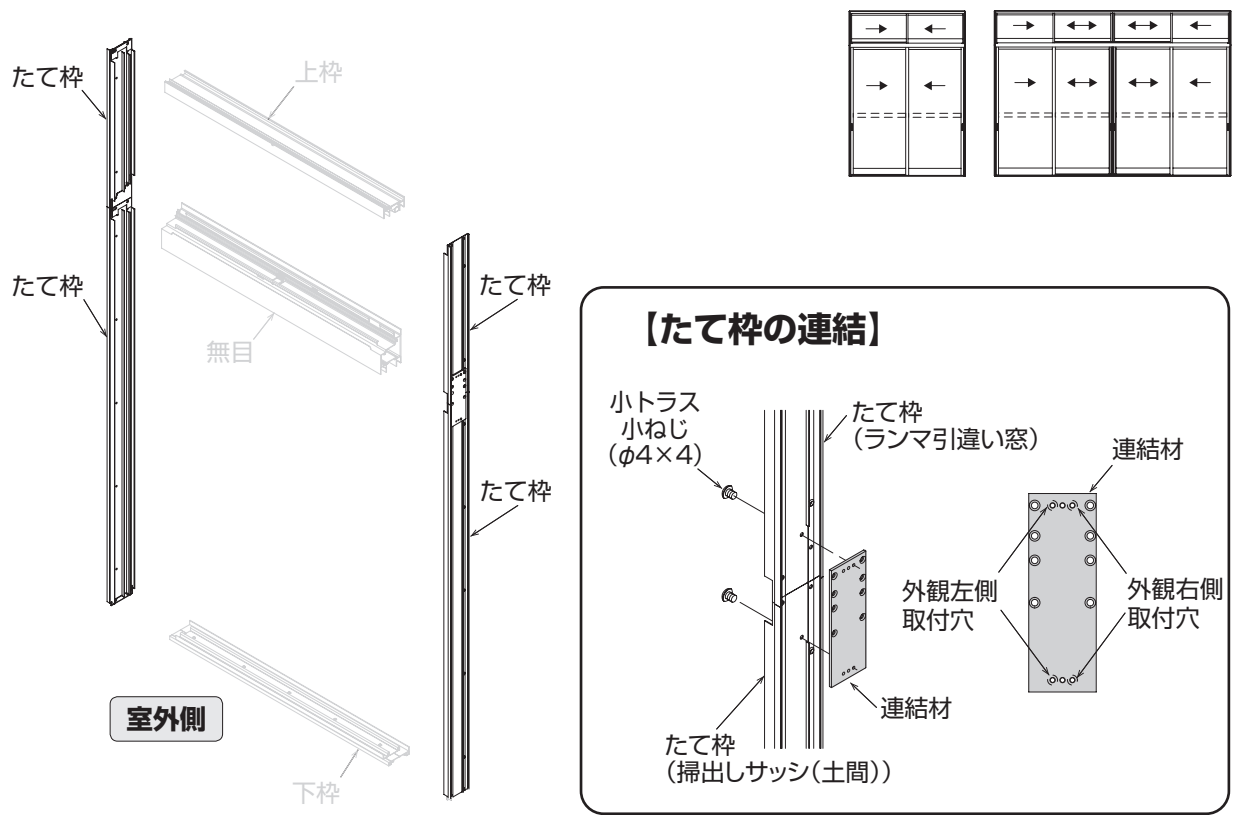


《ストッパー》

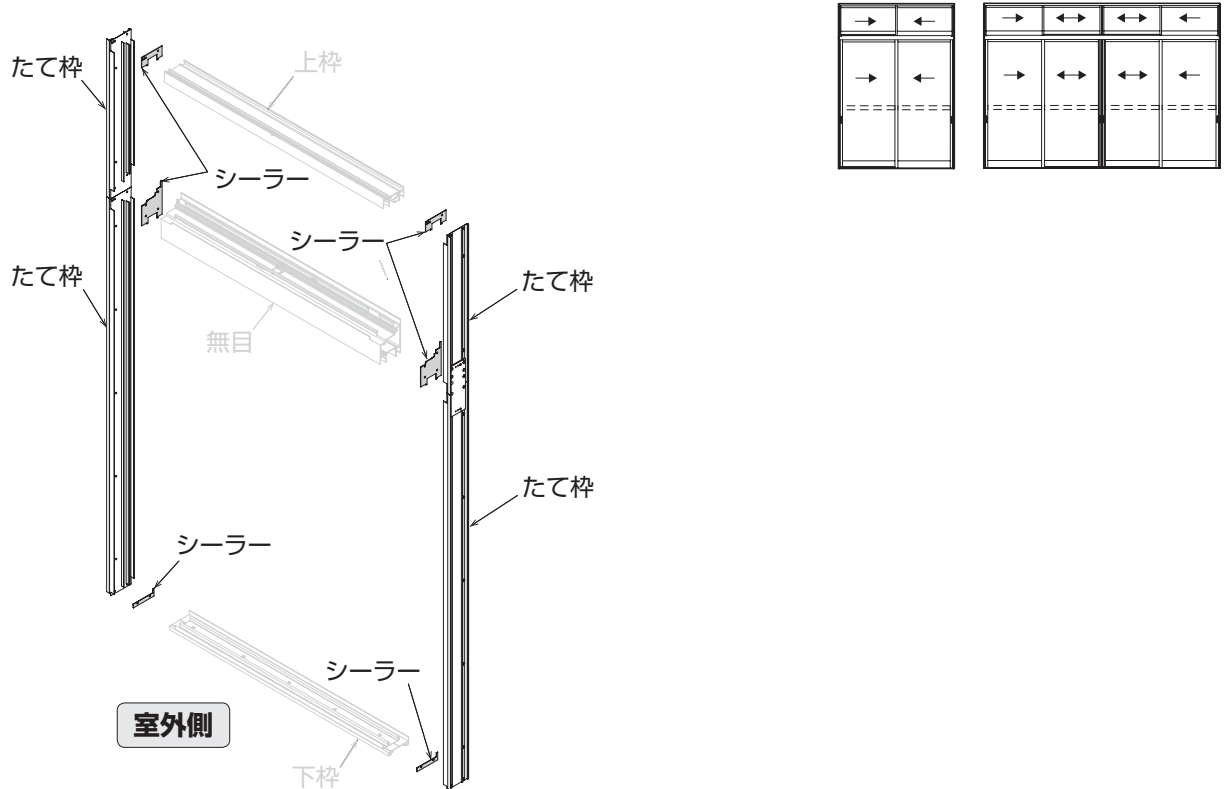


2. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

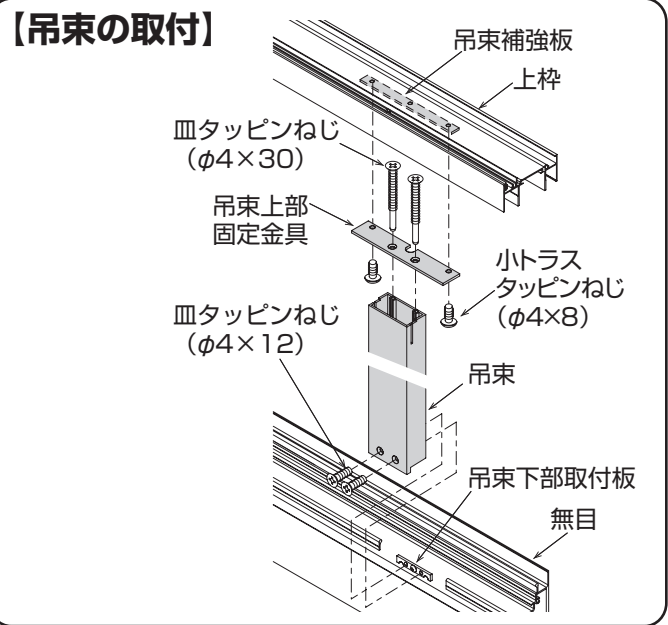
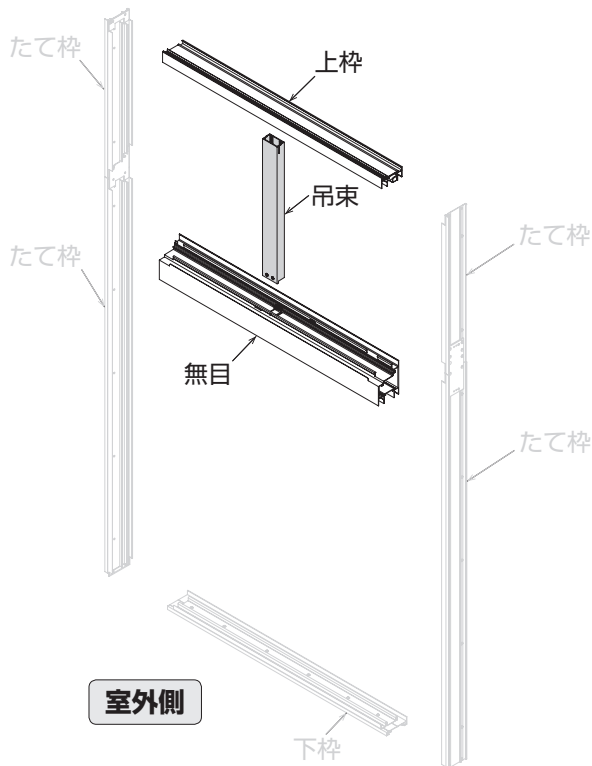
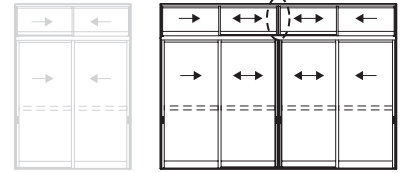


3. シーラーを取付けてください。



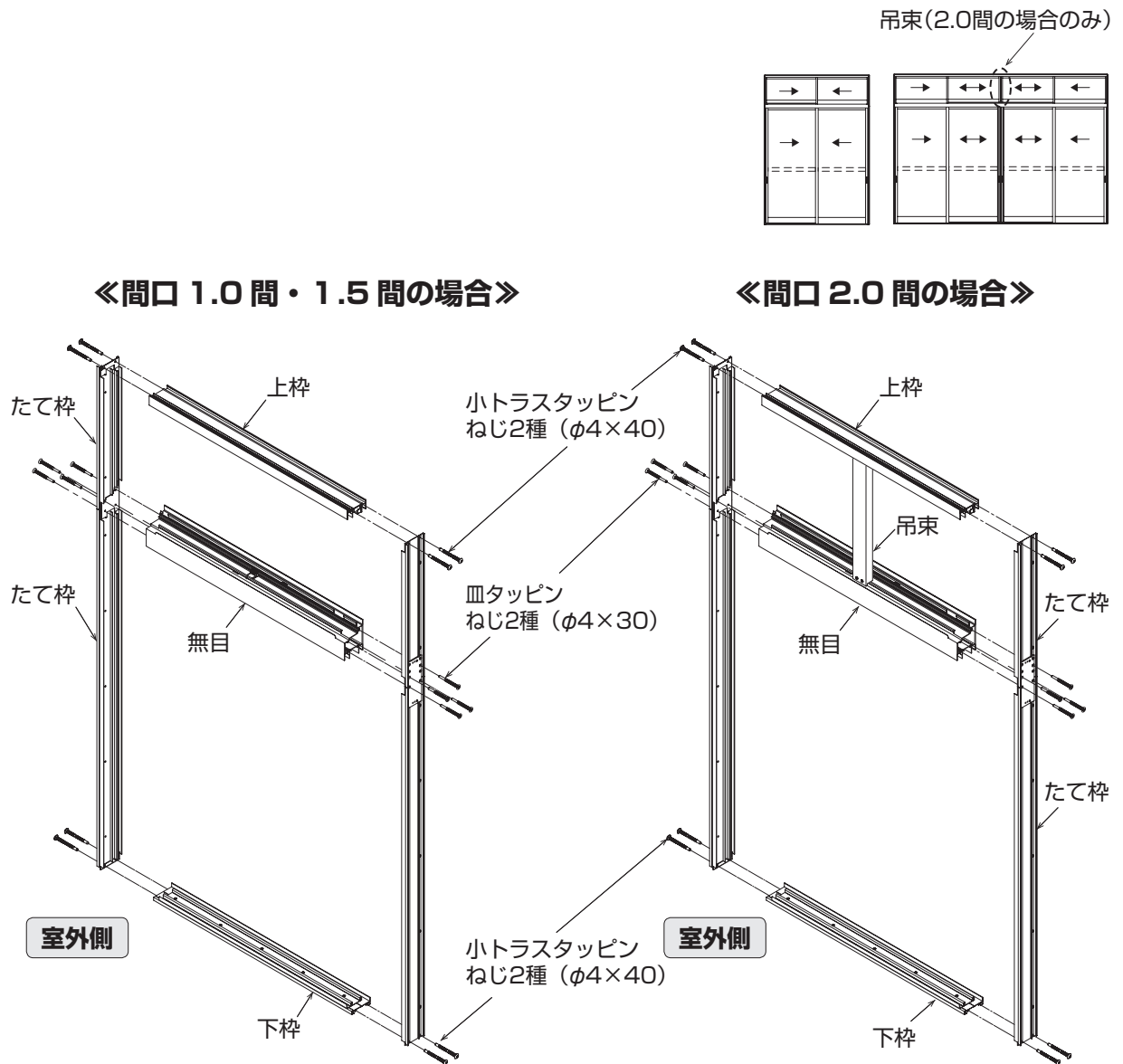
4. 間口2.0間の場合は、吊束を取付けてください。  
 間口1.0間・1.5間の場合は、手順5に進んでください。

吊束(2.0間の場合のみ)

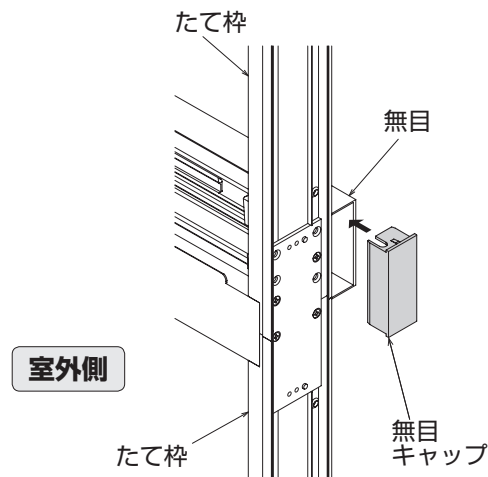


(単位：mm)

5. 枠を組立ててください。



6. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。  
取付け後、P.110「枠組立後の確認」に進んでください

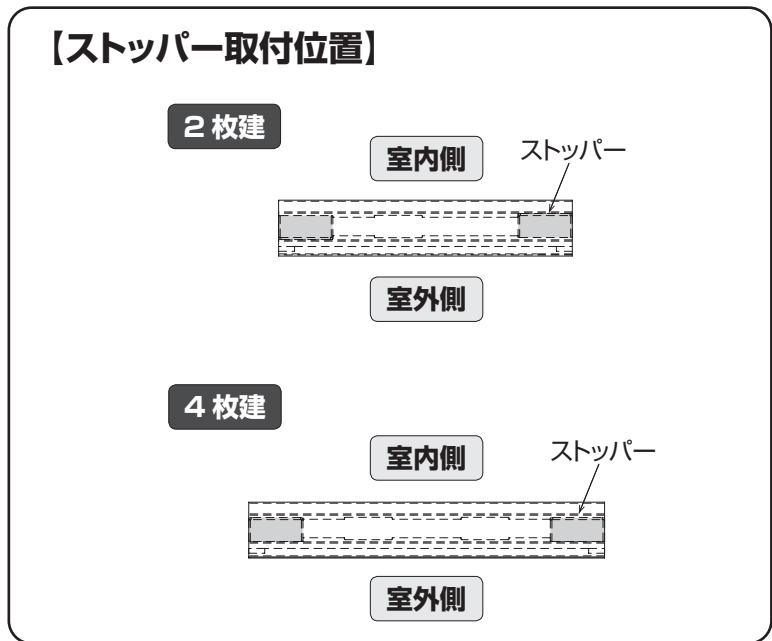
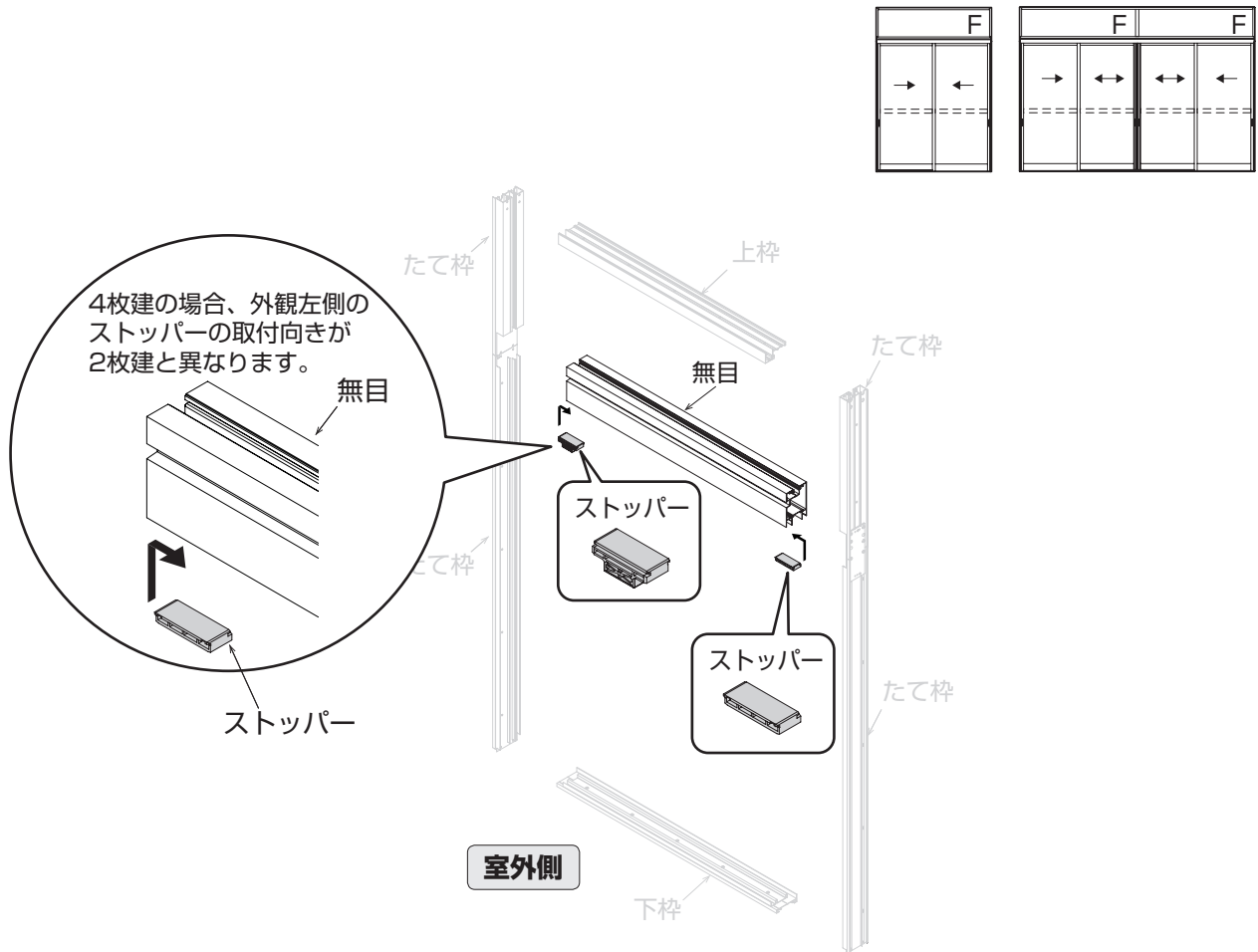


(単位：mm)

**掃出しサッシ（土間）+ランマFIXの場合**

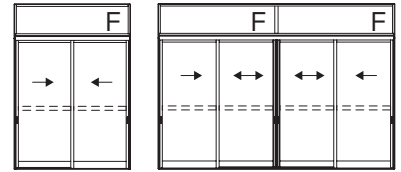
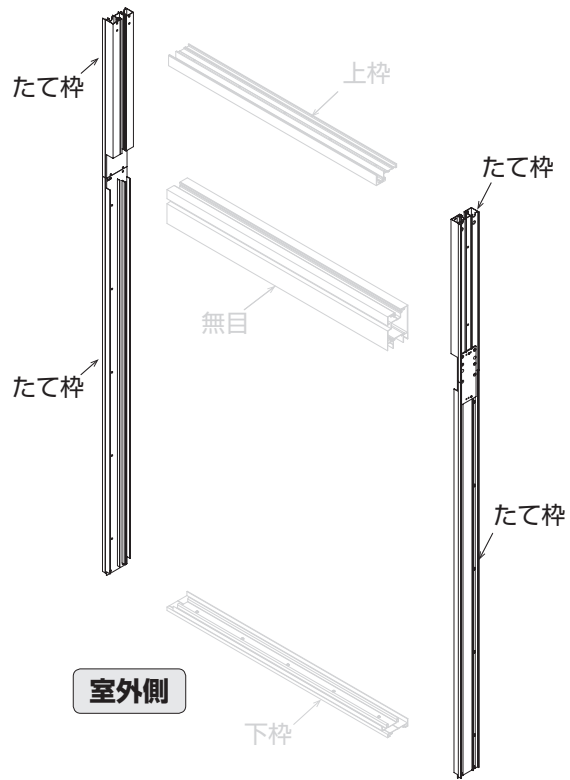
・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. ストッパーを無目に取り付けてください。

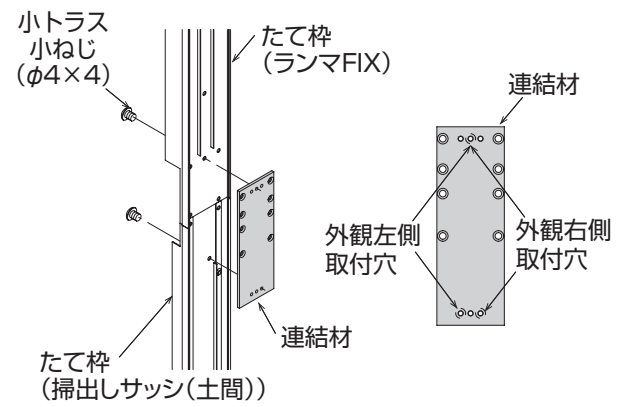


**2. たて枠を連結してください。**

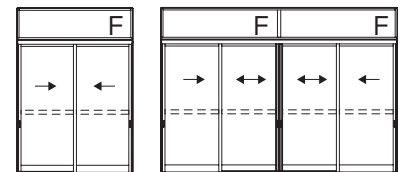
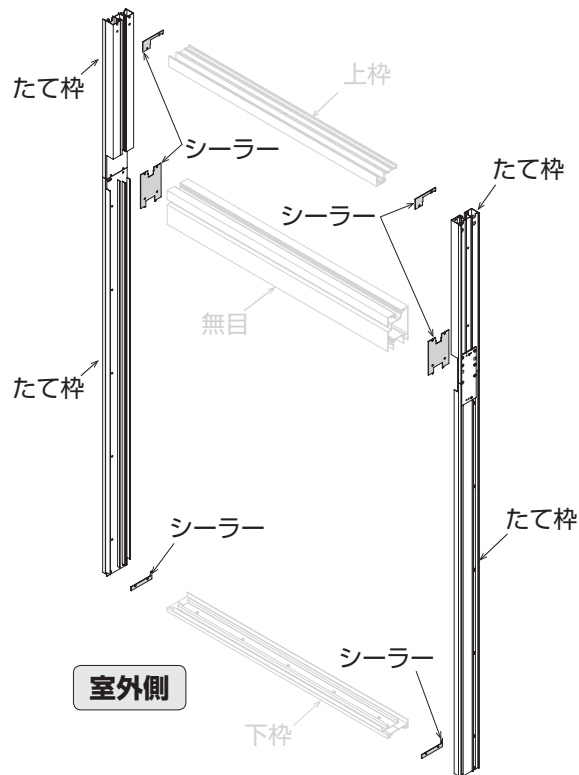
連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。



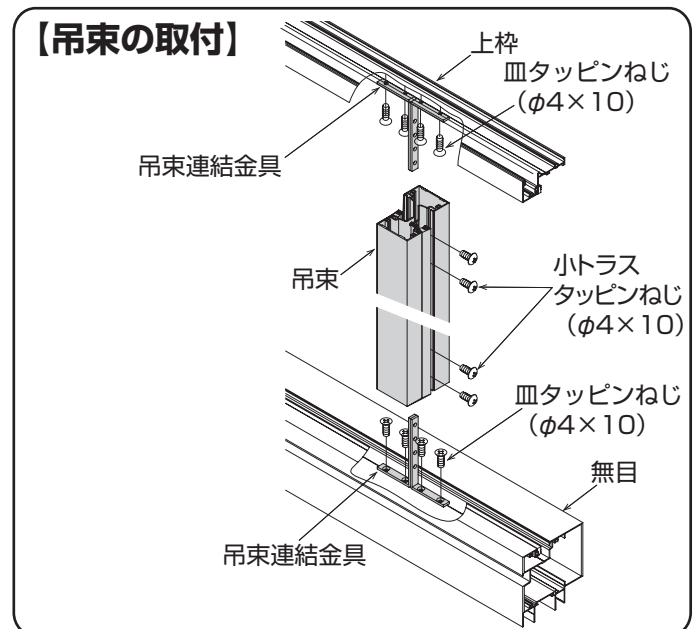
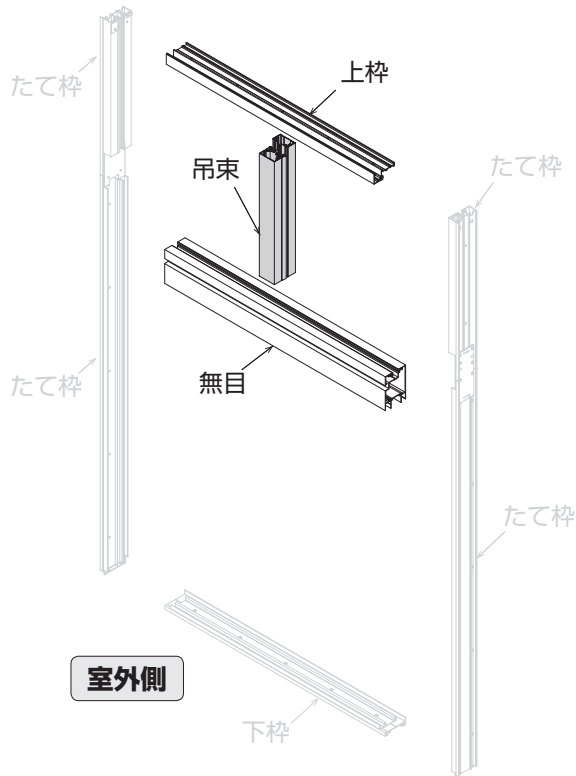
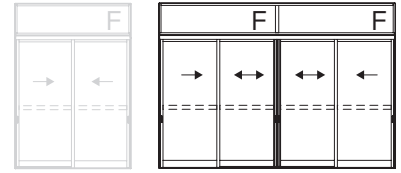
**【たて枠の連結】**



**3. シーラーを取付けてください。**

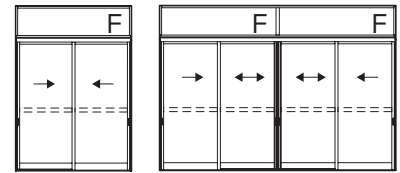


4. 間口1.5間・2.0間、出幅7～9尺の場合は、吊束を取付けてください。  
 間口1.0間、出幅3～6尺の場合は、手順4に進んでください。



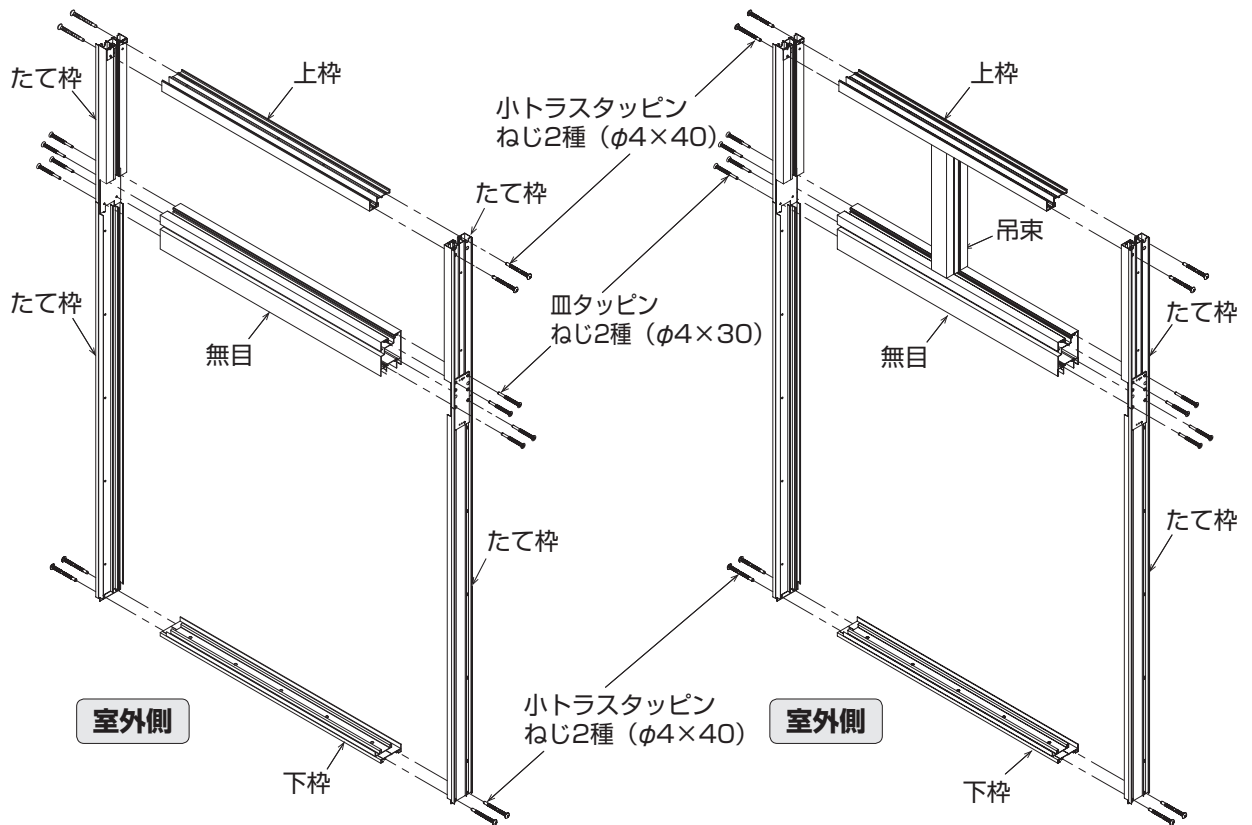
(単位：mm)

5. 枠を組み立ててください。



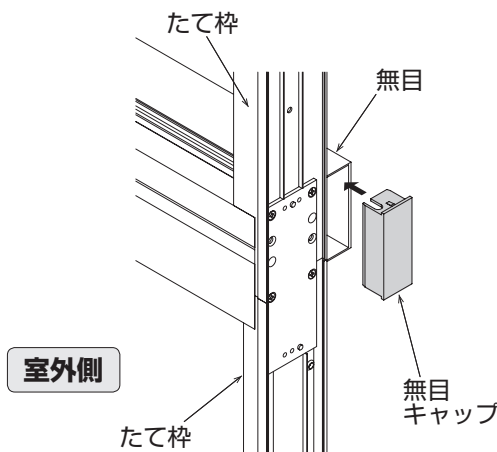
《間口 1.0 間の場合》  
《出幅 3 ~ 6 尺の場合》

《間口 1.5 間・2.0 間の場合》  
《出幅 7 ~ 9 尺の場合》



開口部の施工

6. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。  
取付け後、P.110「枠組立後の確認」に進んでください。



(単位：mm)

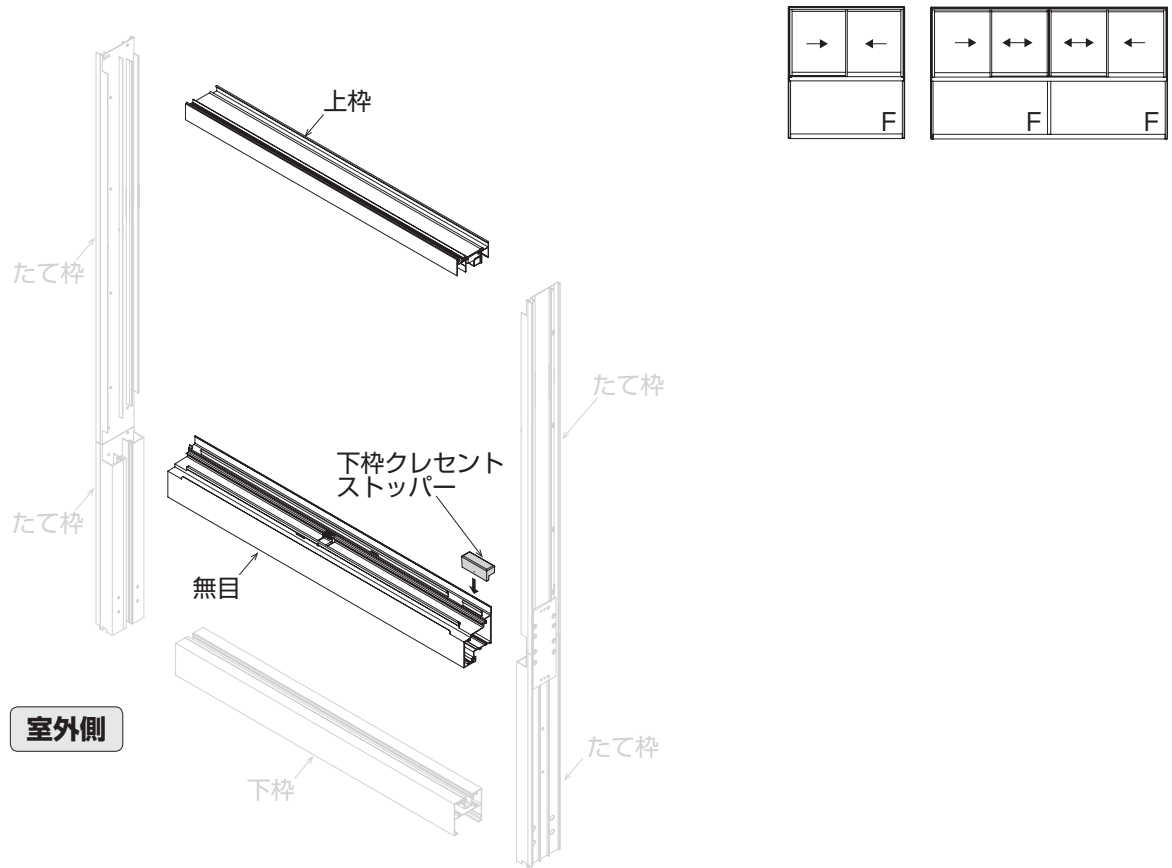


## 高窓の場合

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。  
切欠きがないと室内側に漏水します。P.164「高さ方向の切詰め」を参照してください。

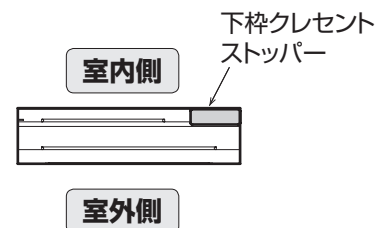
2. クレセントストッパーを無目に取り付けてください。



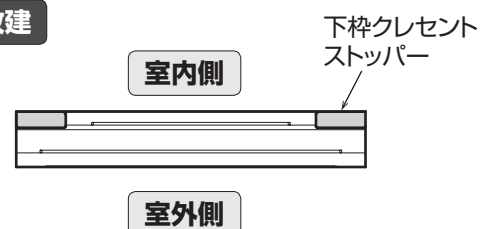
### 【クレセントストッパー取付位置】

#### 《下枠クレセントストッパー》

2枚建

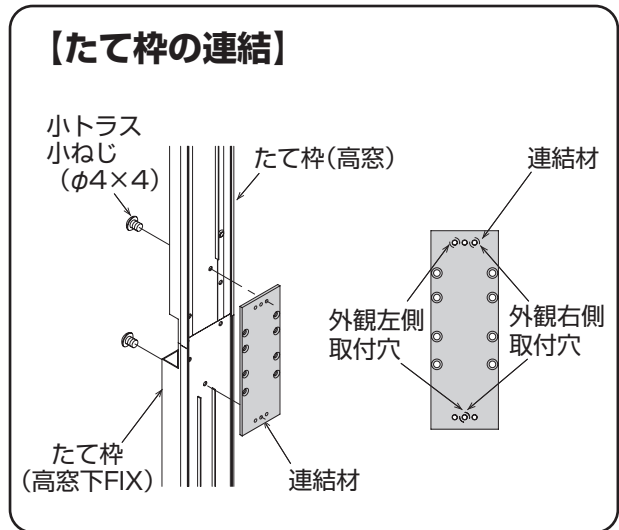
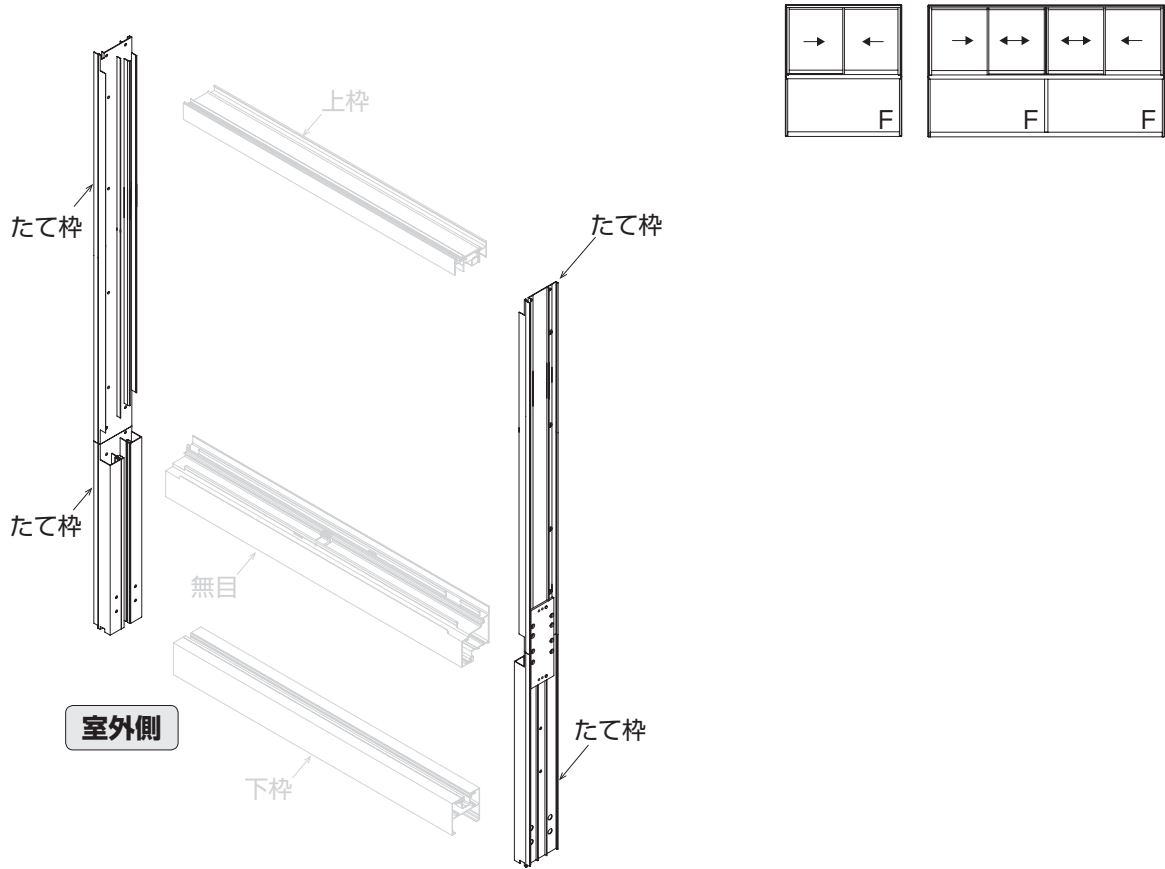


4枚建

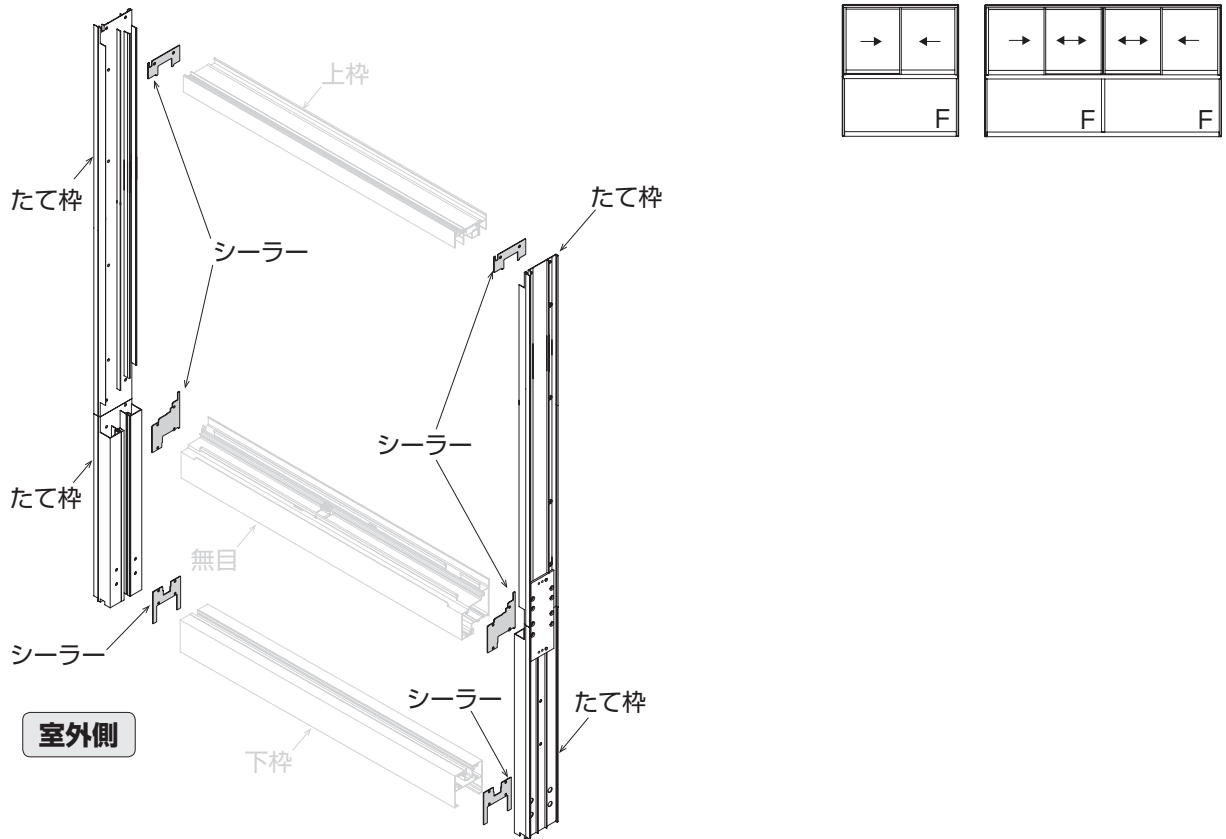


**3. たて枠を連結してください。**

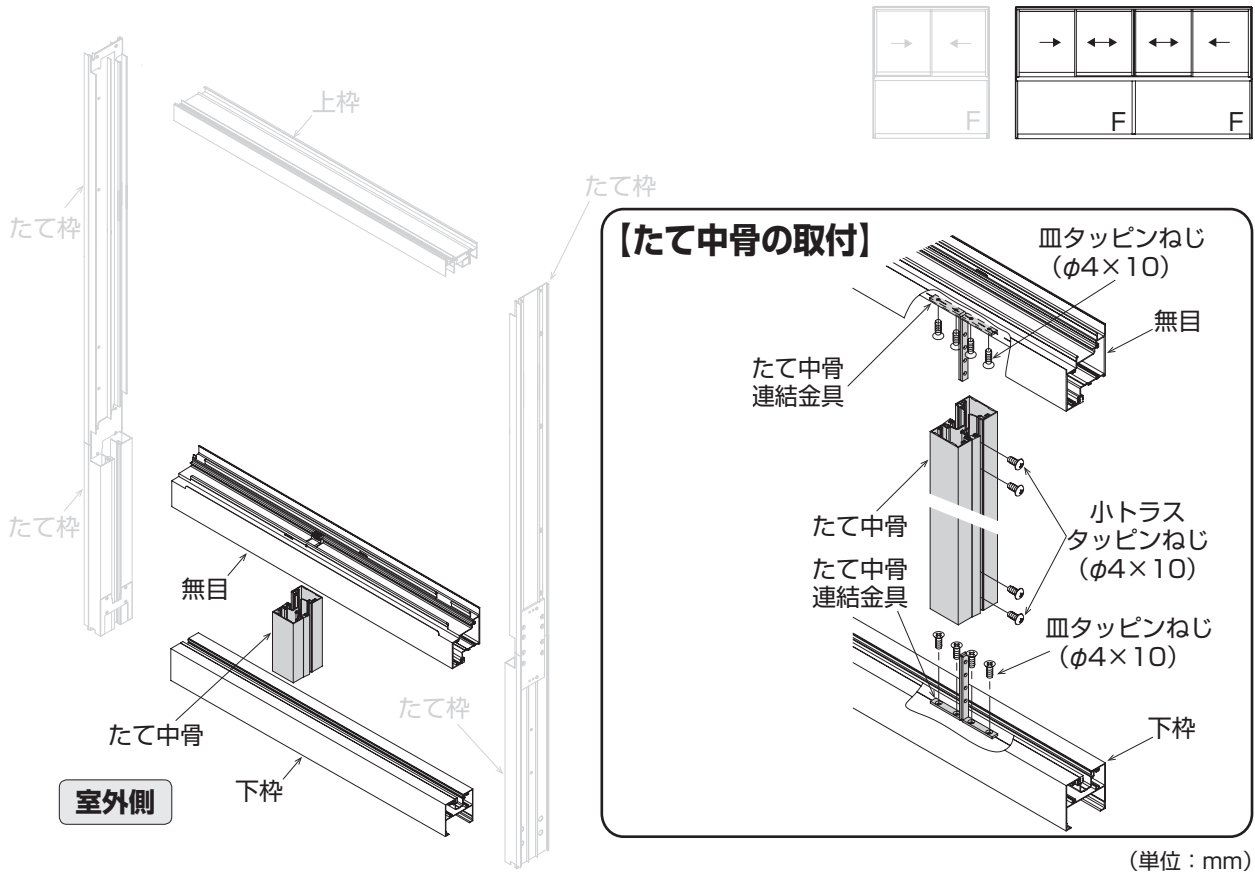
連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。



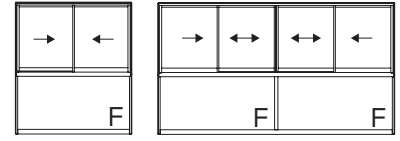
4.シーラーを取付けてください。



5.間口1.5間・2.0間、出幅7~9尺の場合は、たて中骨を取付けてください。  
間口1.0間、出幅3~6尺の場合は、手順6に進んでください。

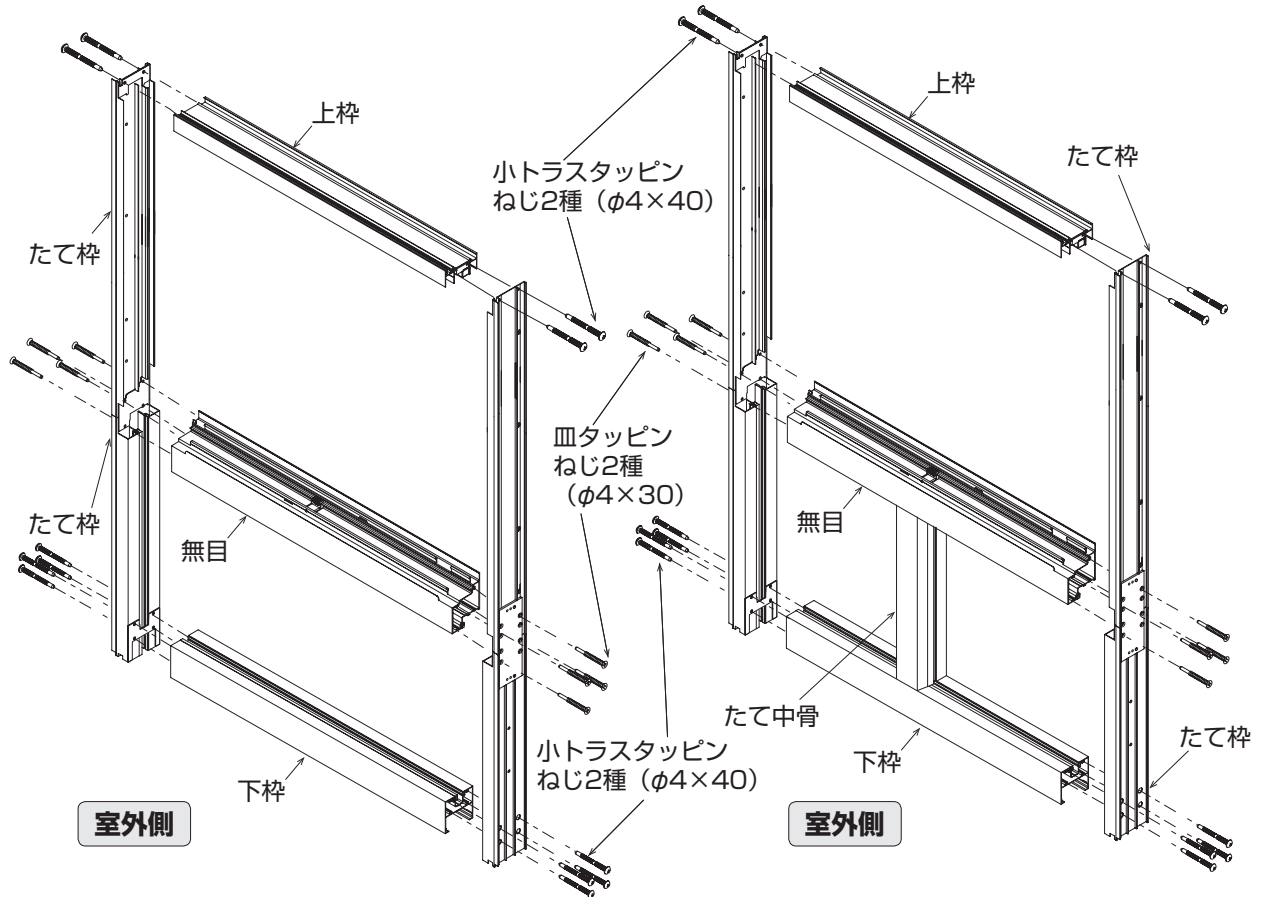


6. 枠を組立ててください。



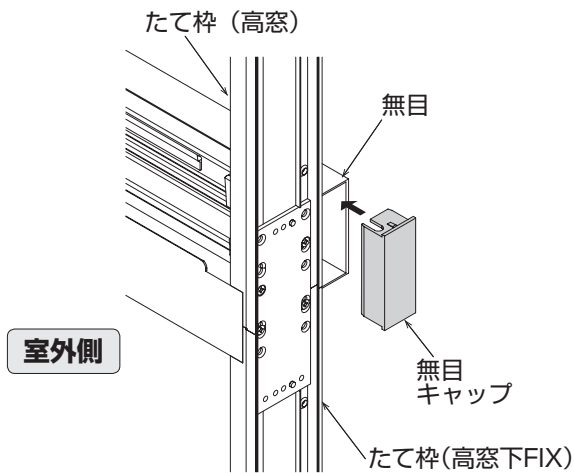
《間口 1.0 間の場合》  
《出幅 3 ~ 6 尺の場合》

《間口 1.5 間・2.0 間の場合》  
《出幅 7 ~ 9 尺の場合》



開口部の施工

7. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。  
取付後、P.110「枠組立後の確認」に進んでください。



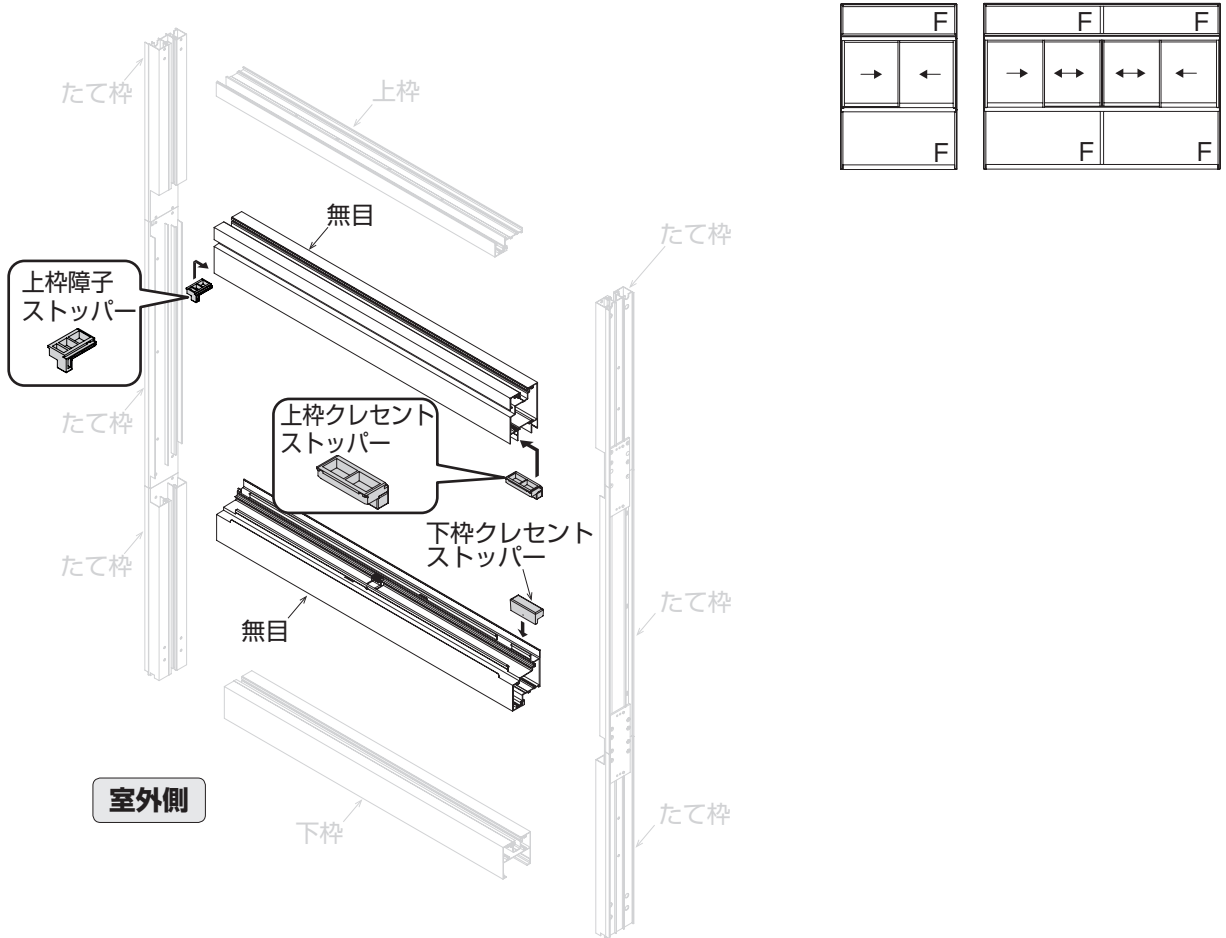
(単位：mm)

**高窓 + ランマ FIX の場合**

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。  
切欠きがないと室内側に漏水します。P.164「高さ方向の切詰め」を参照してください。

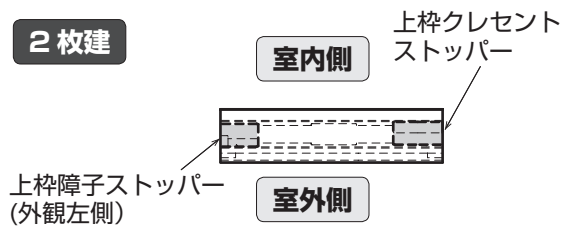
2. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを無目に取り付けてください。



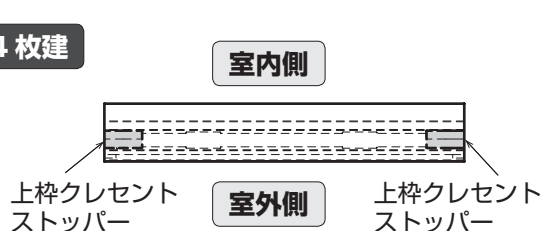
**【クレセントストッパー取付位置】**

《上枠クレセントストッパー》

2 枚建

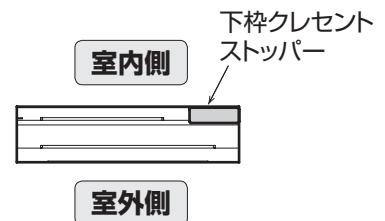


4 枚建

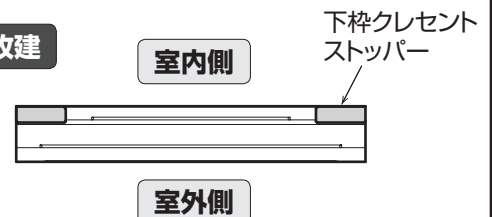


《下枠クレセントストッパー》

2 枚建

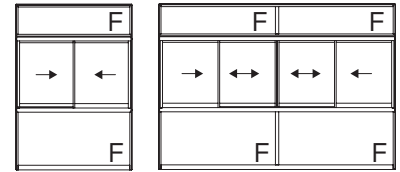


4 枚建

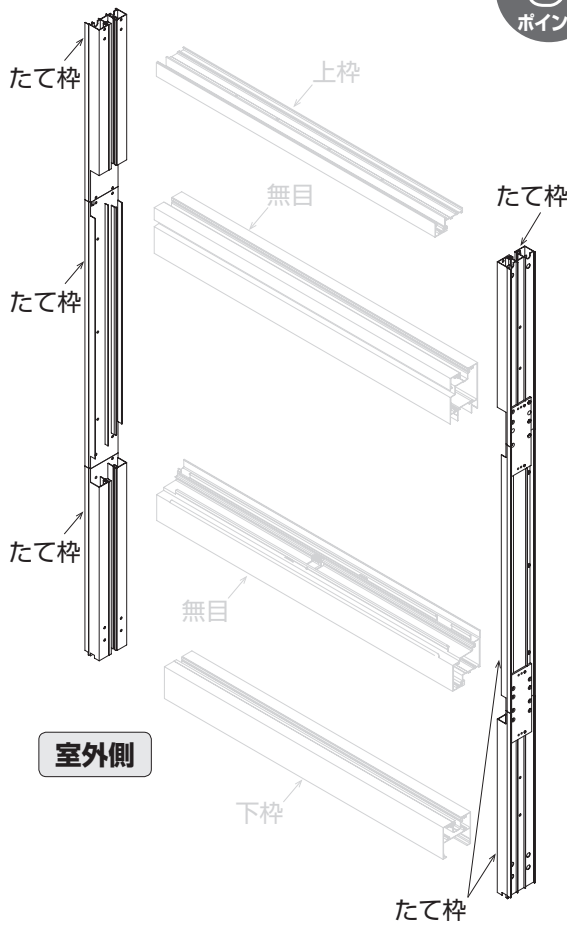


3. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

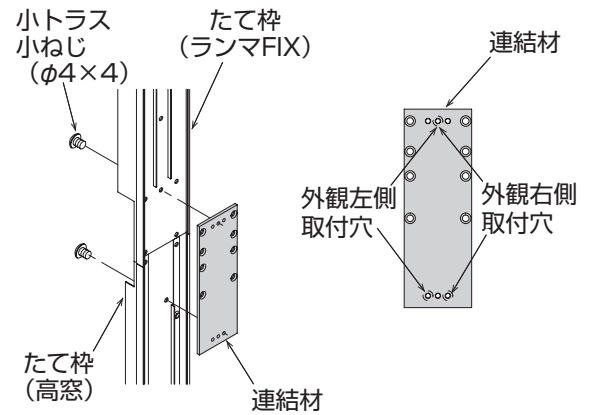


- 連結材は上部・下部で形状が異なります。穴位置に注意してください。

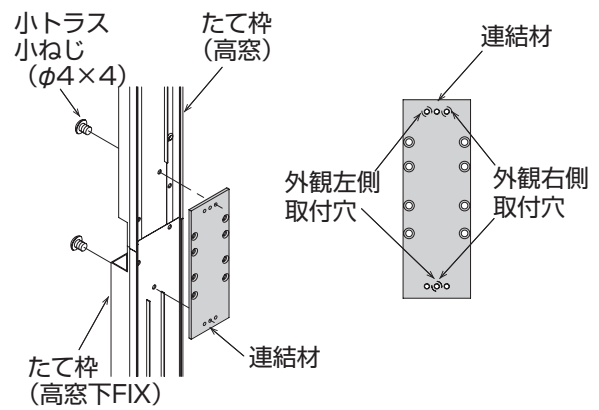


【たて枠の連結】

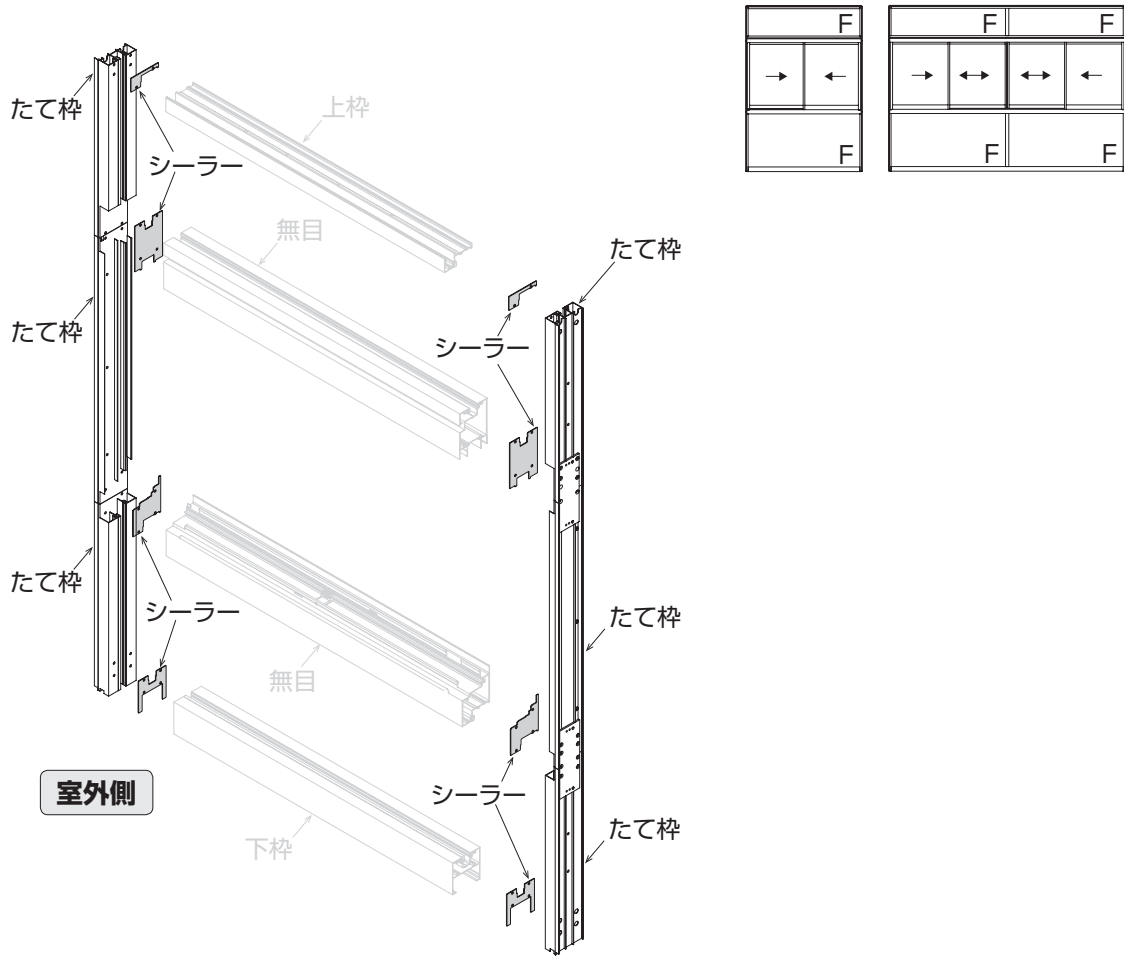
上部



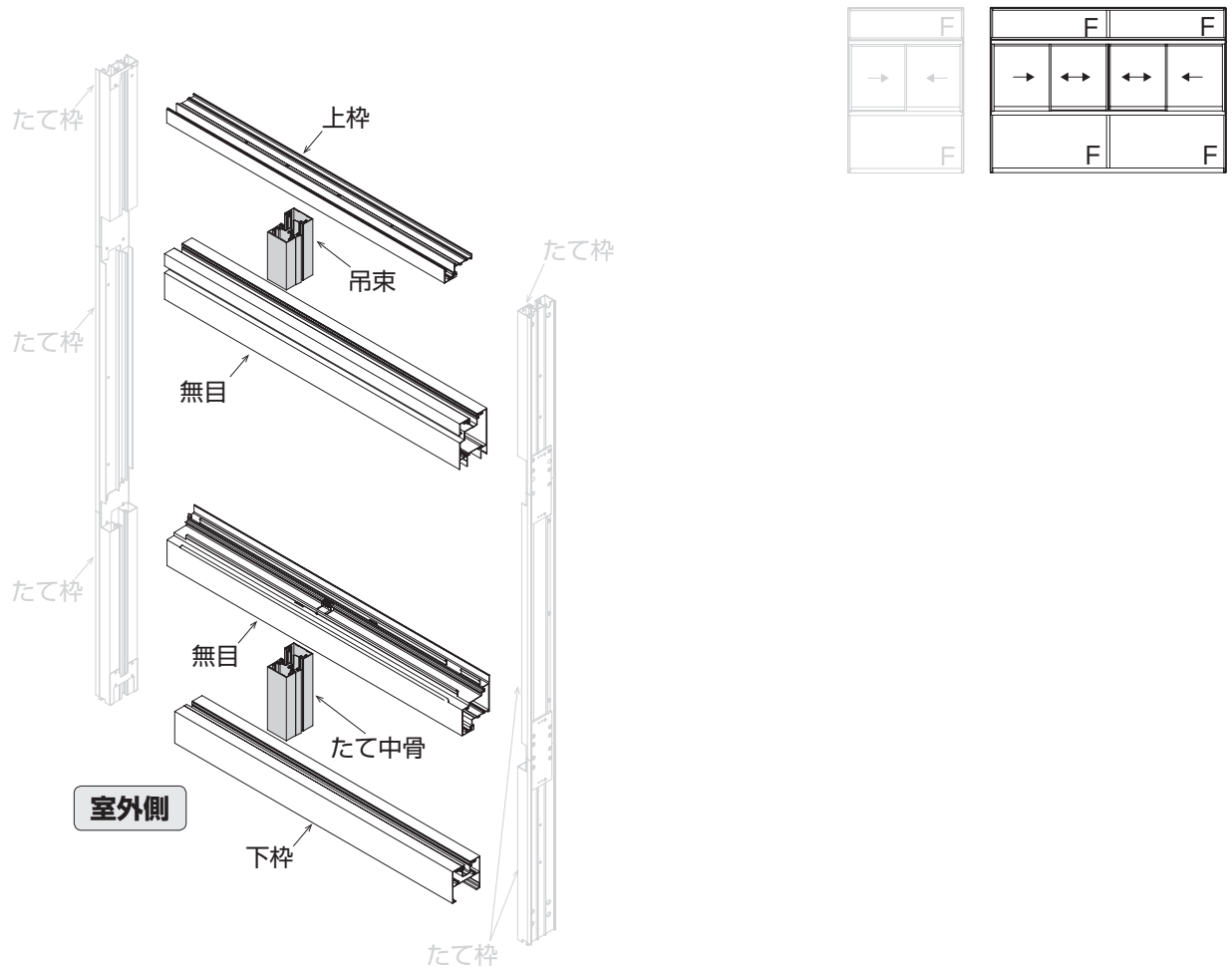
下部



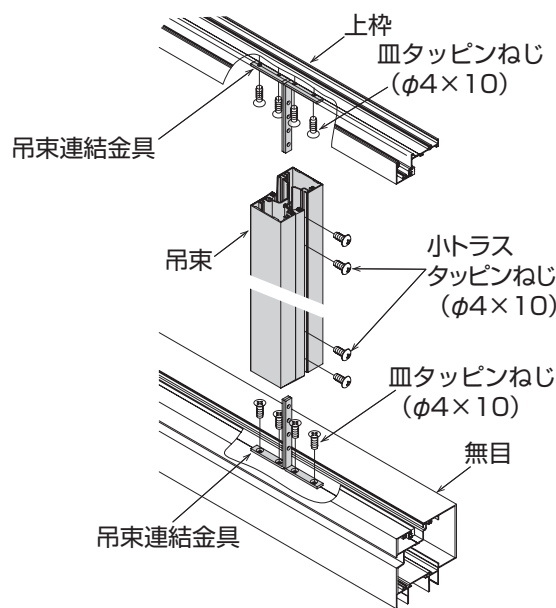
4.シーラーを取付けてください。



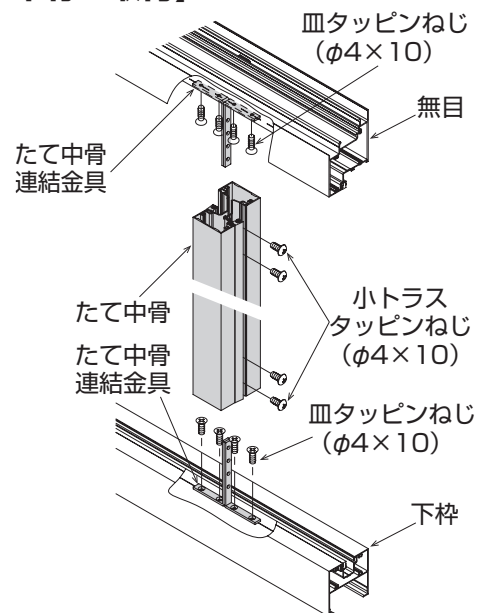
5. 間口1.5間・2.0間、出幅7～9尺の場合は、吊束、たて中骨を取付けてください。  
 間口1.0間、出幅3～6尺の場合は、手順6に進んでください。



**【吊束の取付】**



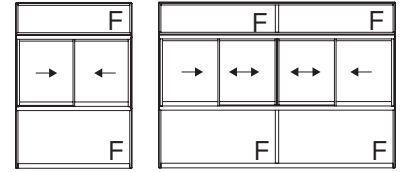
**【たて中骨の取付】**



(単位：mm)

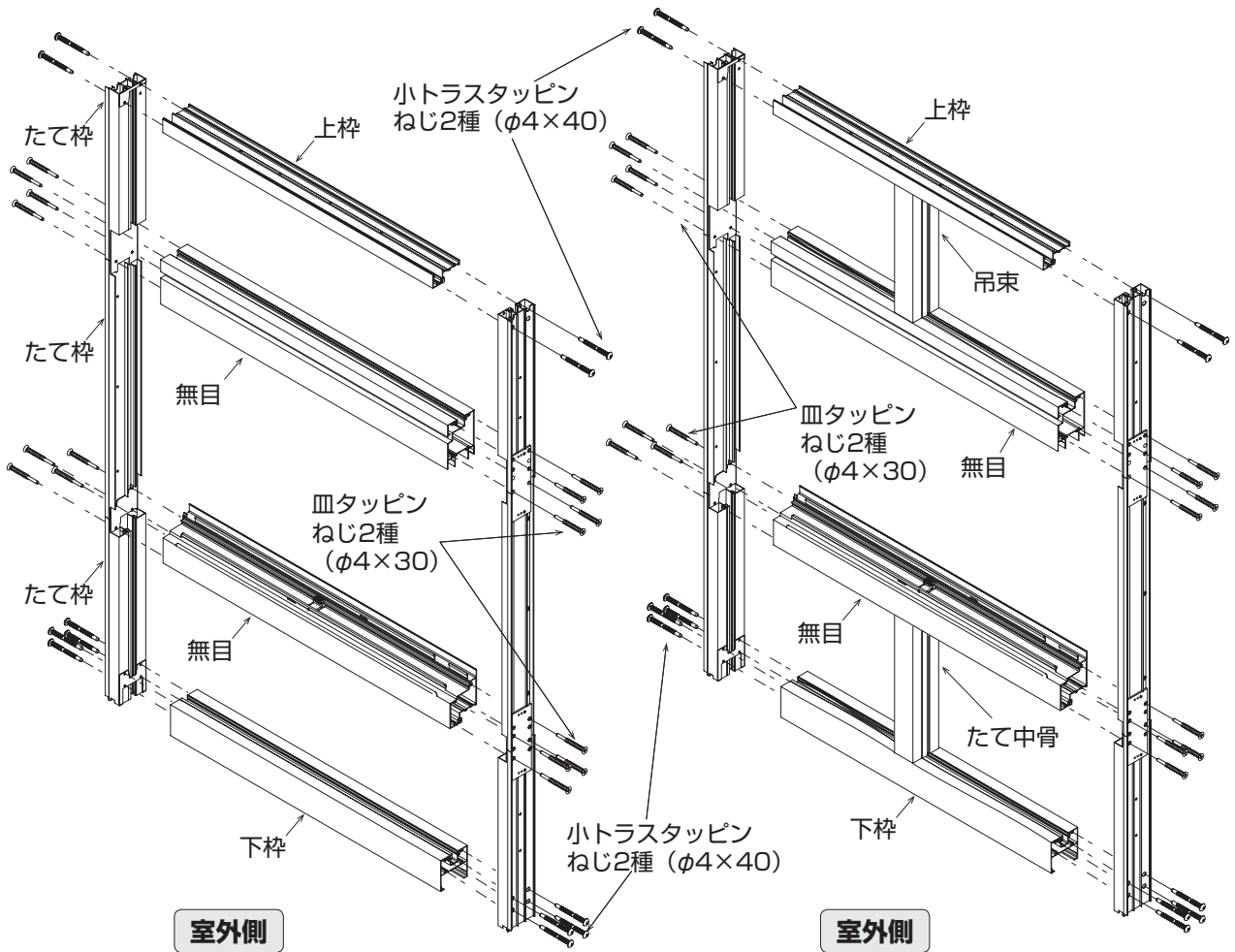


6. 枠を組立ててください。



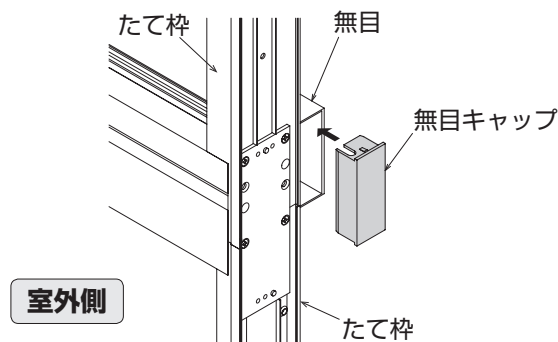
《間口 1.0 間の場合》  
《出幅 3 ~ 6 尺の場合》

《間口 1.5 間・2.0 間の場合》  
《出幅 7 ~ 9 尺の場合》



開口部の施工

7. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。  
取付後、P.110「枠組立後の確認」に進んでください。

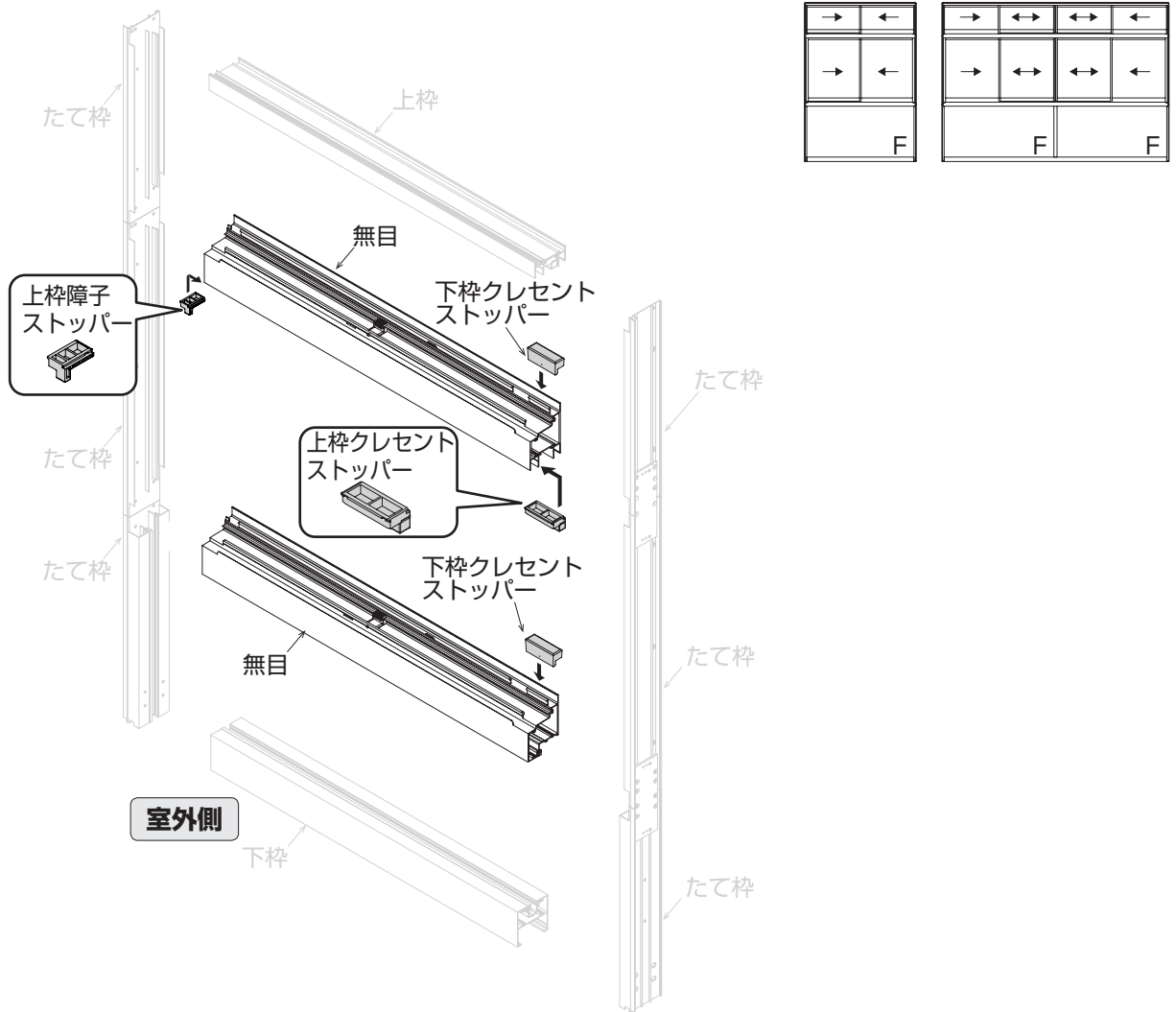


(単位：mm)

**高窓 + ランマ引違い窓の場合**

・特に指定がない部分については、図は2枚建の場合を示します。

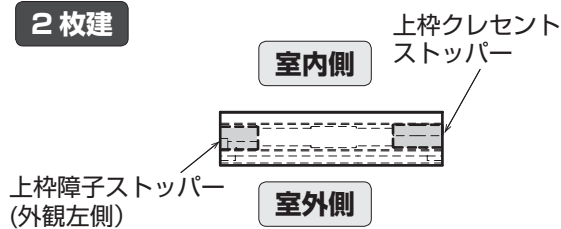
1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。切欠きがないと室内側に漏水します。P.164「高さ方向の切詰め」を参照してください。
2. クレセントストッパー、上枠障子ストッパーを無目に取り付けてください。



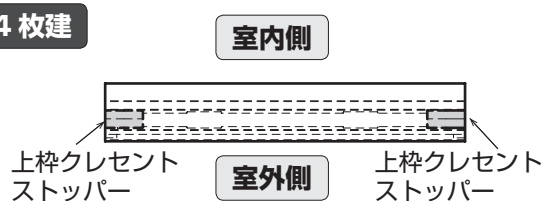
**【クレセントストッパー取付位置】**

《上枠クレセントストッパー》

2 枚建

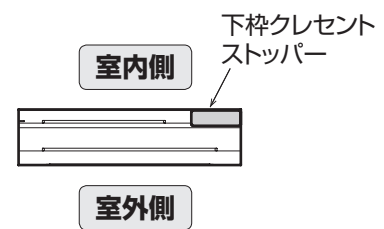


4 枚建

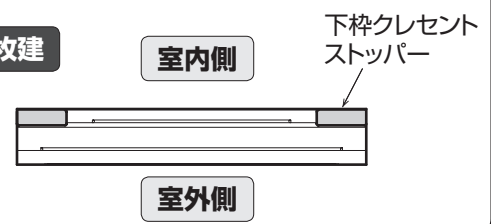


《下枠クレセントストッパー》

2 枚建

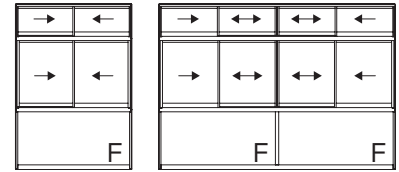


4 枚建

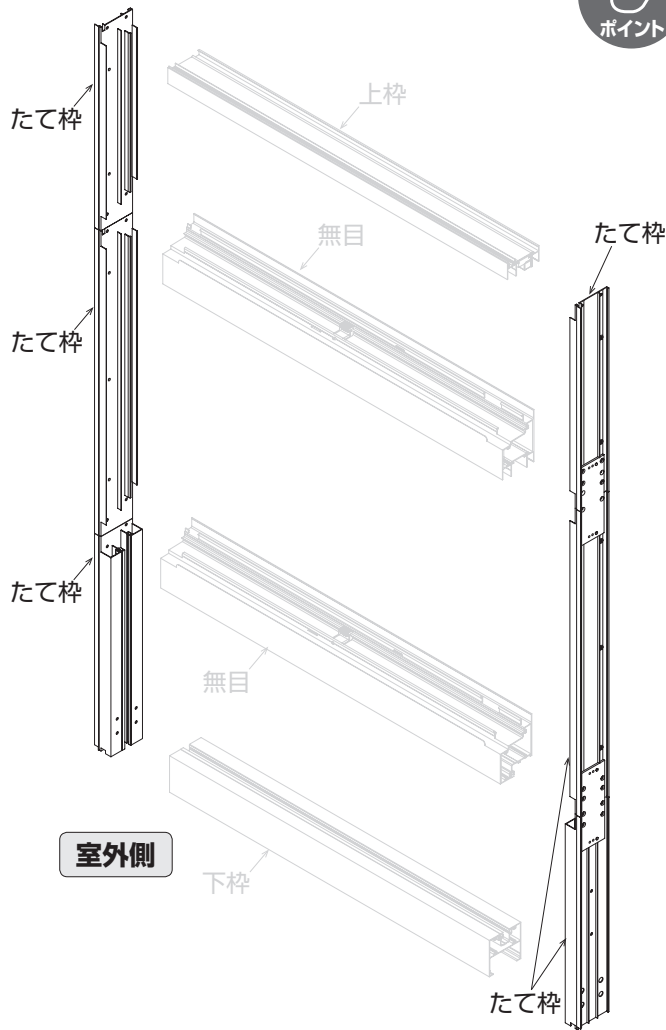


3. たて枠を連結してください。

連結は、上下枠・無目を組立てる前に行ってください。

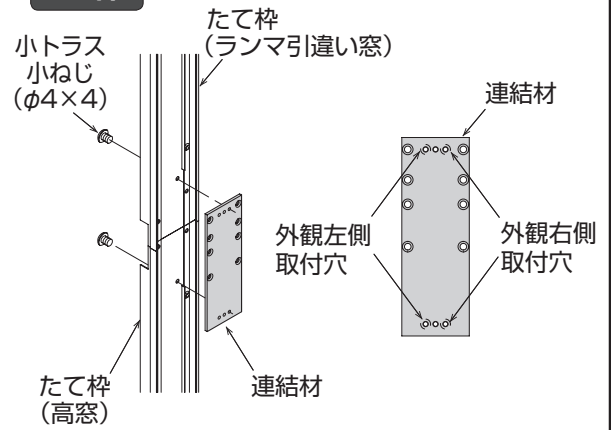


- 連結材は上部・下部で形状が異なります。穴位置に注意してください。

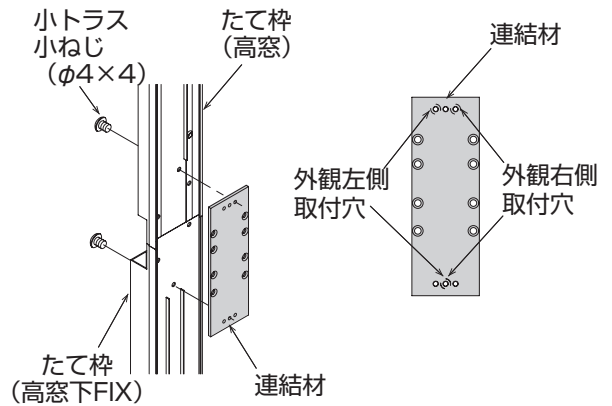


【たて枠の連結】

上部

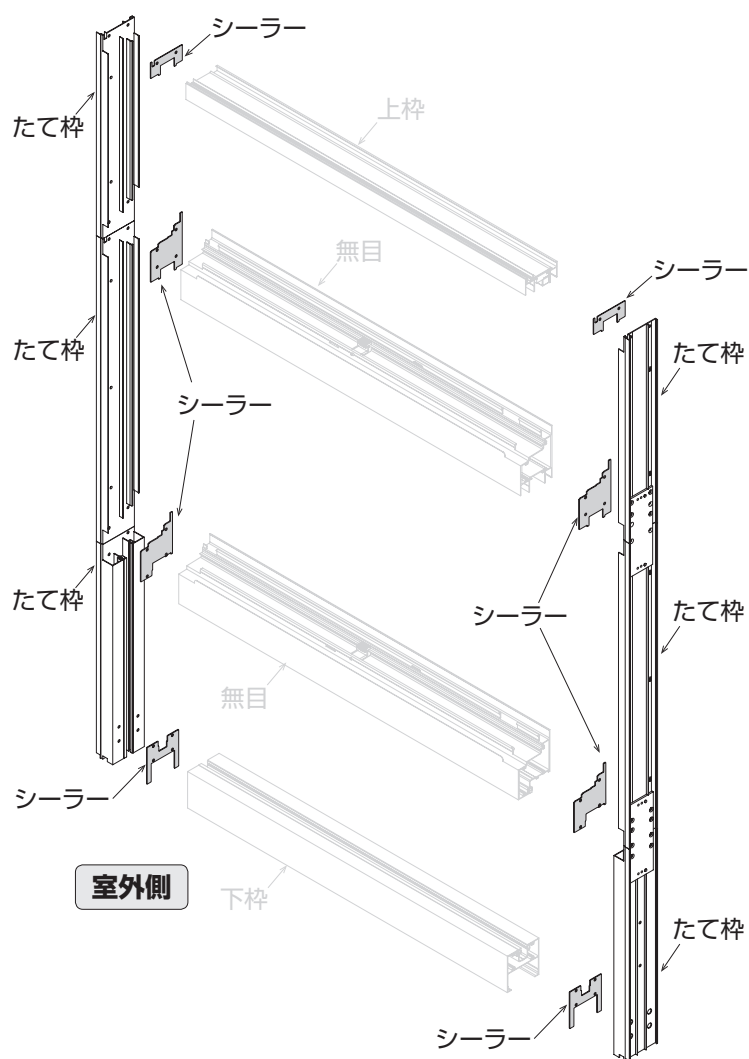
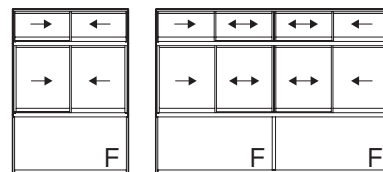


下部



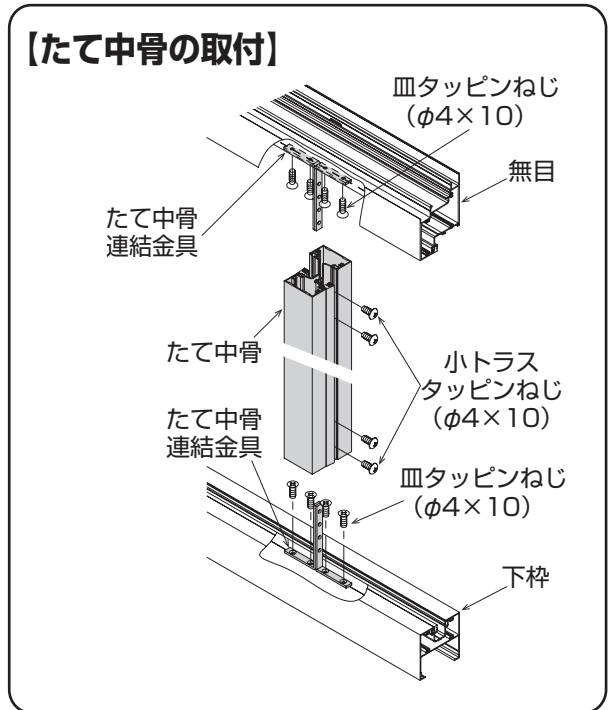
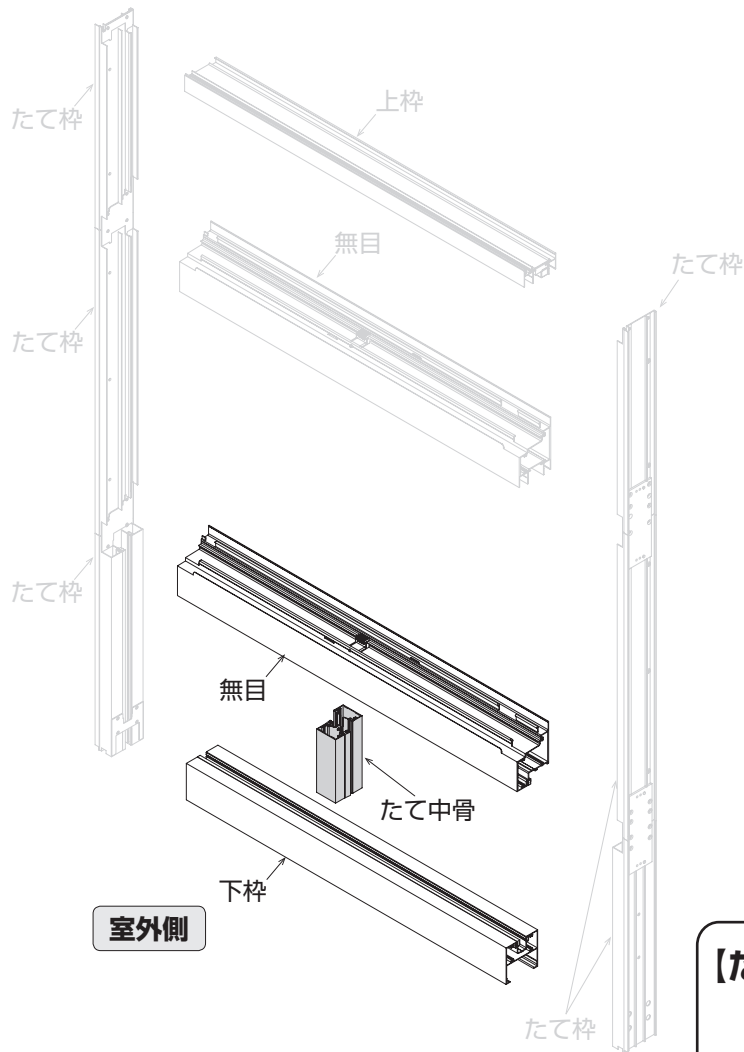
(単位：mm)

4.シーラーを取付けてください。



開口部の施工

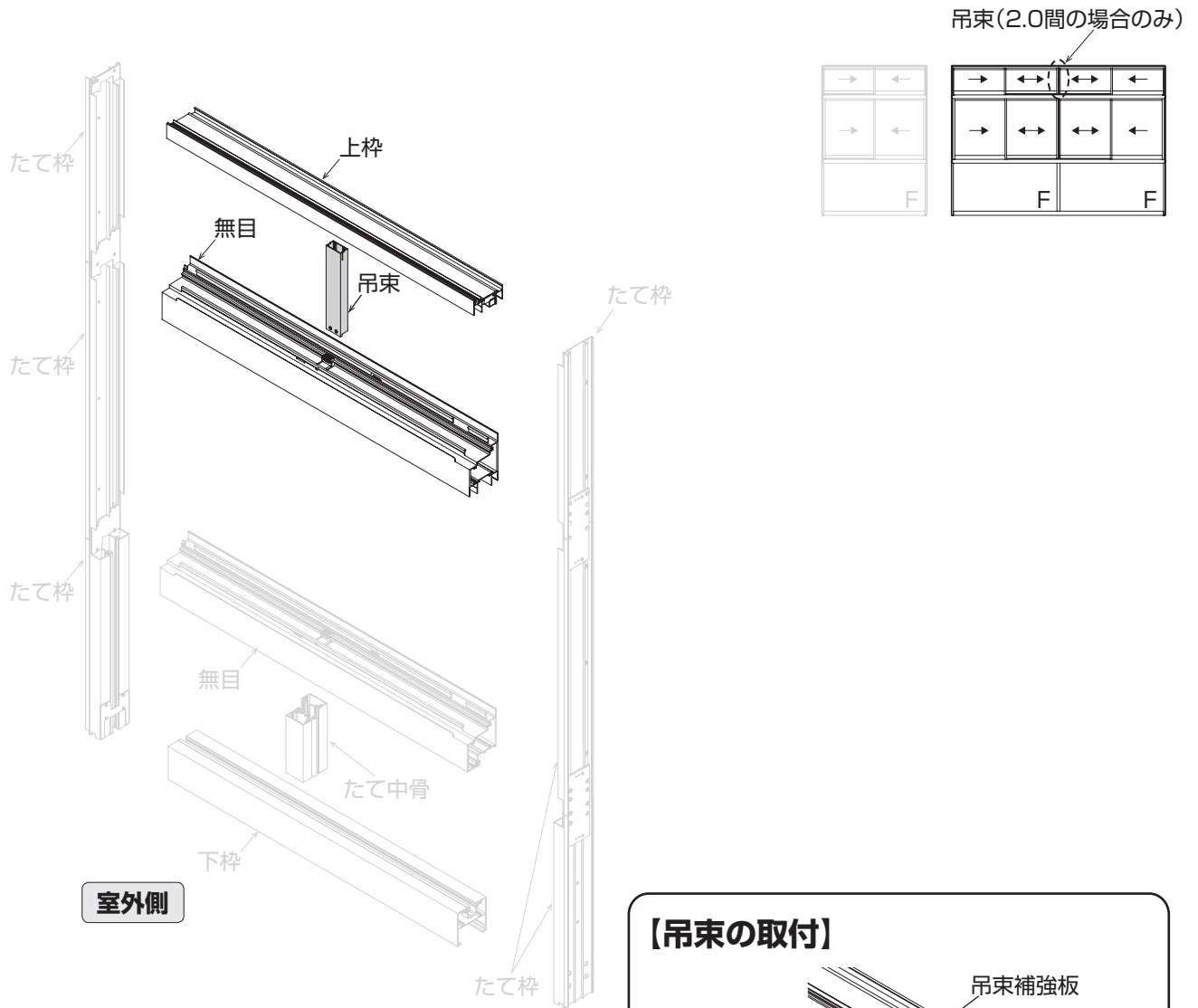
5. 間口1.5間・2.0間、出幅7～9尺の場合は、たて中骨を取付けてください。  
 間口1.0間、出幅3～6尺の場合は、手順7に進んでください。



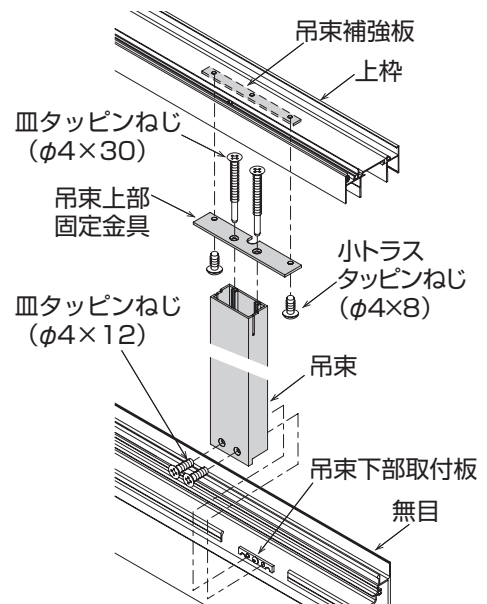
開口部の施工

(単位：mm)

6. 間口2.0間の場合は、吊束を取付けてください。  
 間口1.5間、出幅7～9尺の場合は、手順7に進んでください。



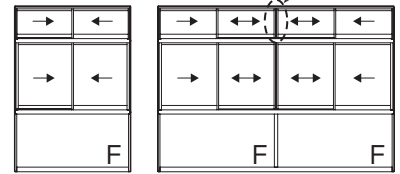
【吊束の取付】



(単位：mm)

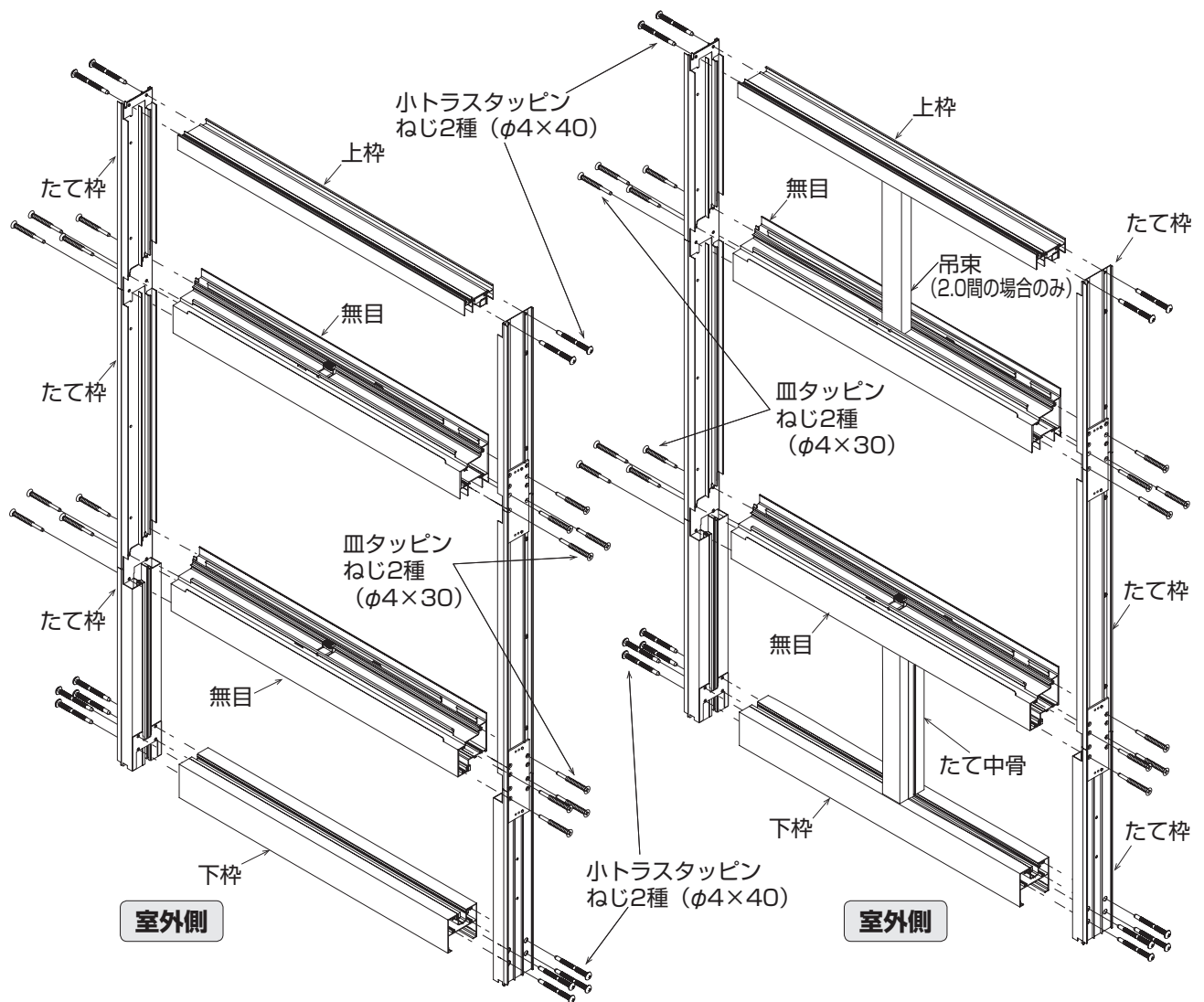
7. 枠を組立ててください。

吊束(2.0間の場合のみ)



《間口 1.0 間の場合》  
《出幅 3 ~ 6 尺の場合》

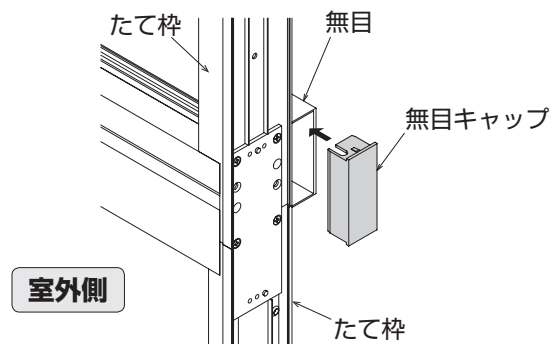
《間口 1.5 間・2.0 間の場合》  
《出幅 7 ~ 9 尺の場合》



開口部の施工

(単位 : mm)

8. 間口2.0間の場合は、無目キャップを取付けてください。  
取付後、「枠組立後の確認」に進んでください。



## 枠組立後の確認

1. 上下枠・無目まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。



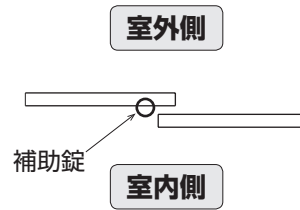
## 障子組立前の確認

### 補助錠の確認

#### 高窓・ランマ引違い窓の場合

1. 補助錠の位置を確認して組立ててください。

#### 《2枚建》

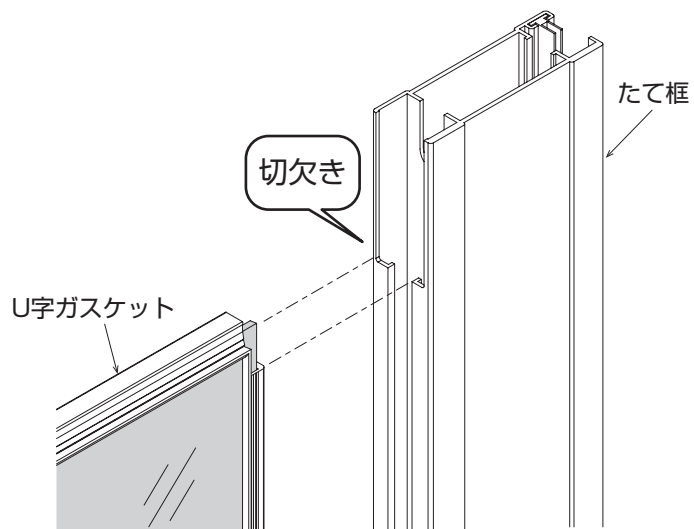


#### 《4枚建》

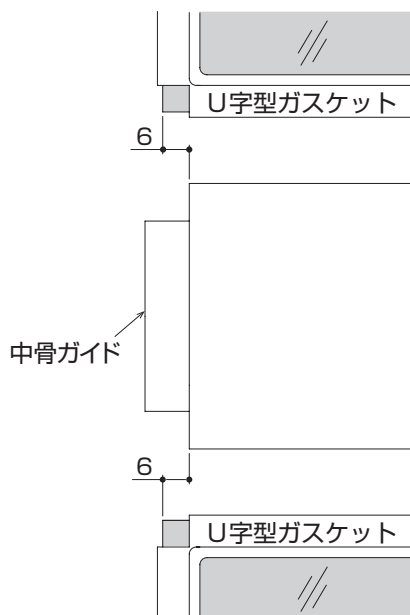


## ガラス位置の確認

1. 図のようにU字ガスケットと枠の切欠きをあわせて組立ててください。



### 《中棧付の場合》




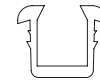


# 障子の組立

**お願い**

・網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

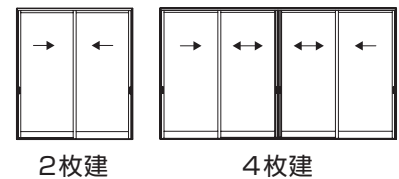
■U字ガスケット一覧

ガラス厚	3.4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
姿 図				
品 番	K-6426	K-20358	K-20866	K-6413

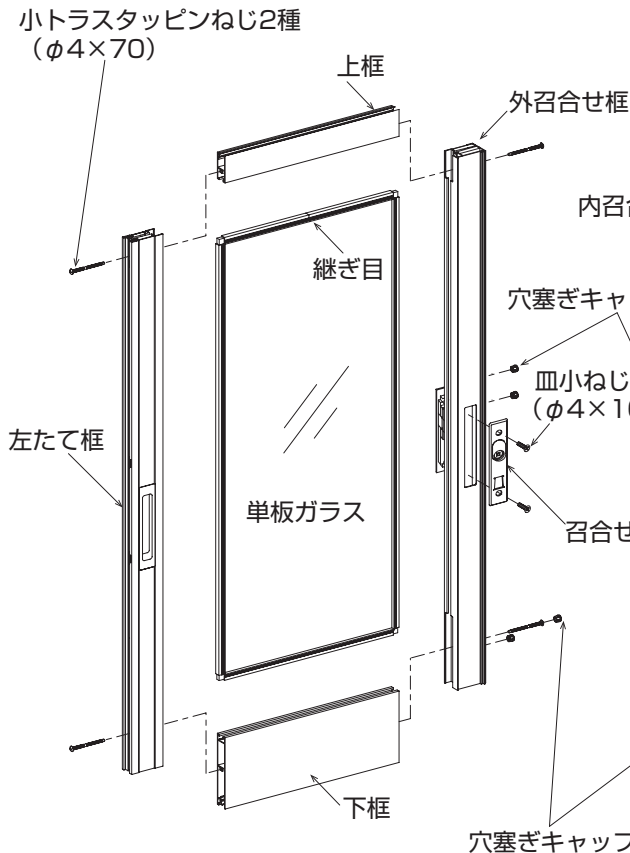
## 障子の組立

### 掃出しサッシ (土間) ・中棧無の場合

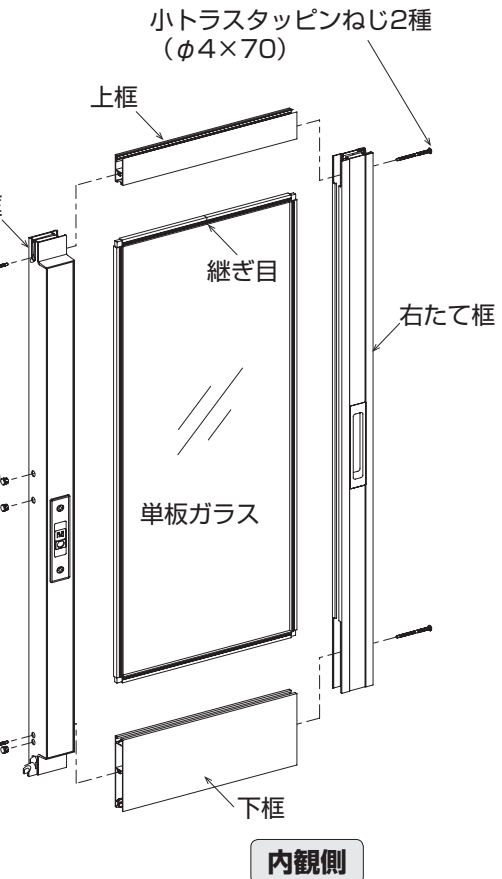
1. たて框をガラスにはめ込んでください。
2. 上下框をガラスにはめ込んでください。
3. 障子を組立ててください。



#### 外障子



#### 内障子

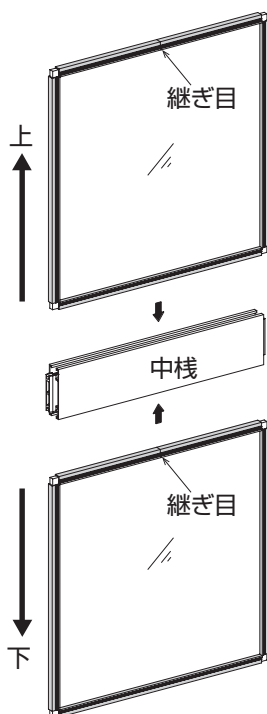
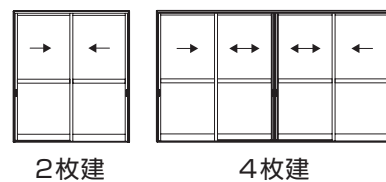


開口部の施工

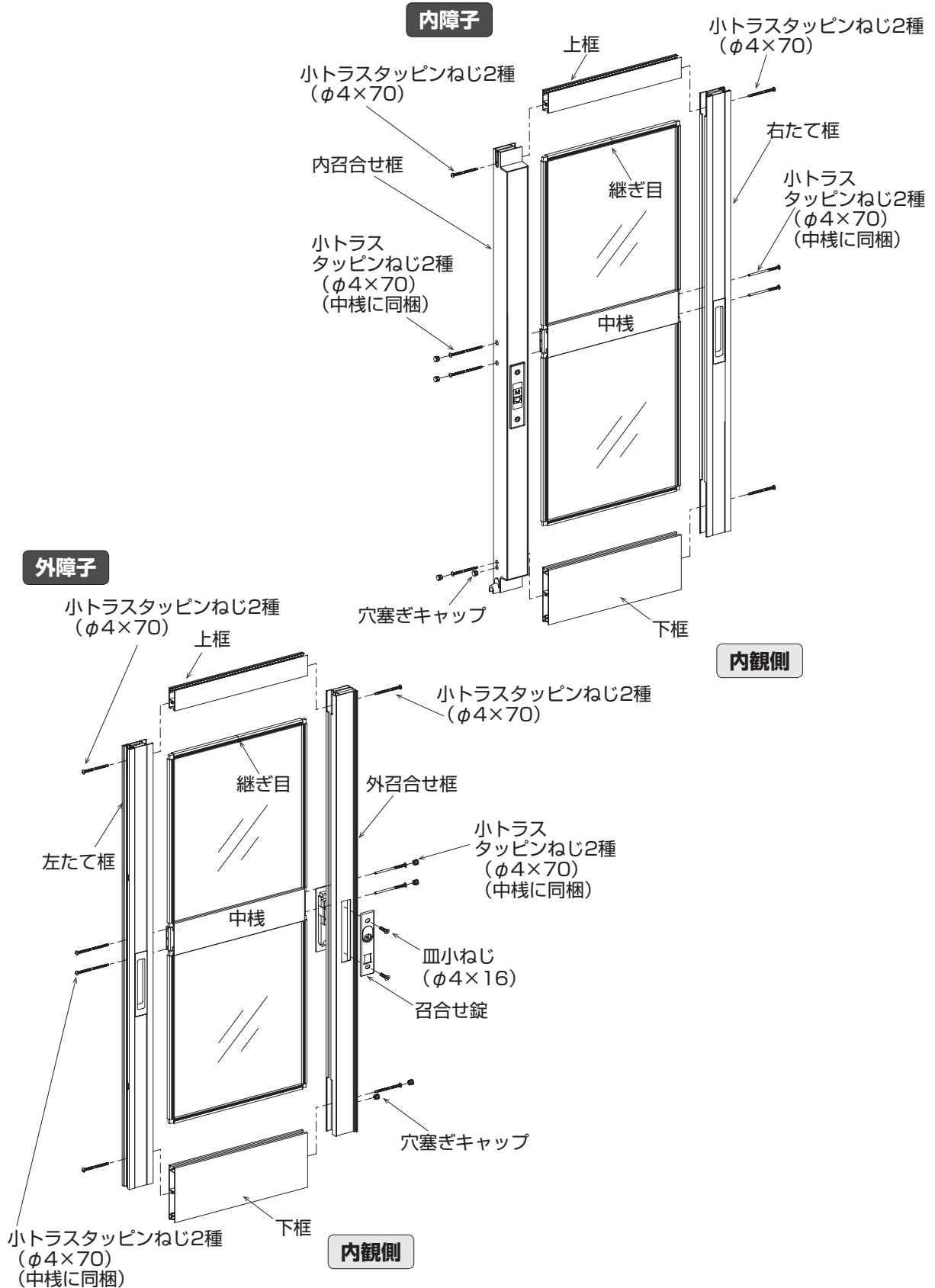
(単位 : mm)

**掃出しサッシ（土間）・中棧付の場合**

1. 中棧をガラスにはめ込んでください。



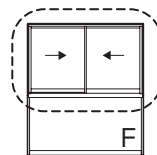
2. たて框をガラスにはめ込んでください。
3. 上下框をガラスにはめ込んでください。
4. 障子を組立ててください。



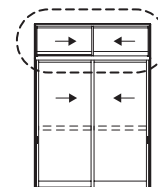
(単位：mm)

**高窓・ランマ引違い窓の場合**

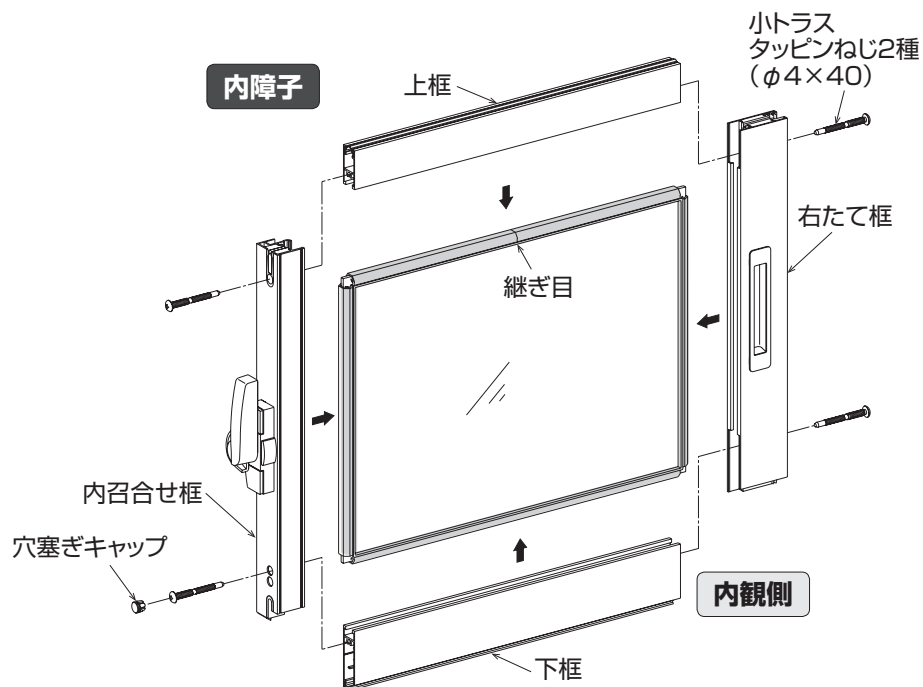
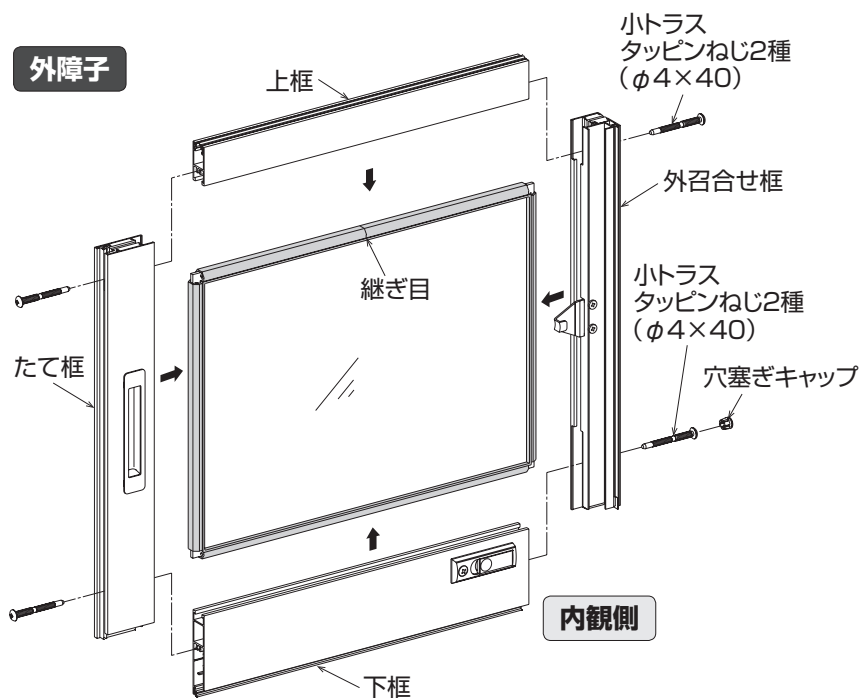
1. たて框をガラスにはめ込んでください。
2. 上下框をガラスにはめ込んでください。
3. 障子を組立ててください。



高窓  
(引違い窓部)

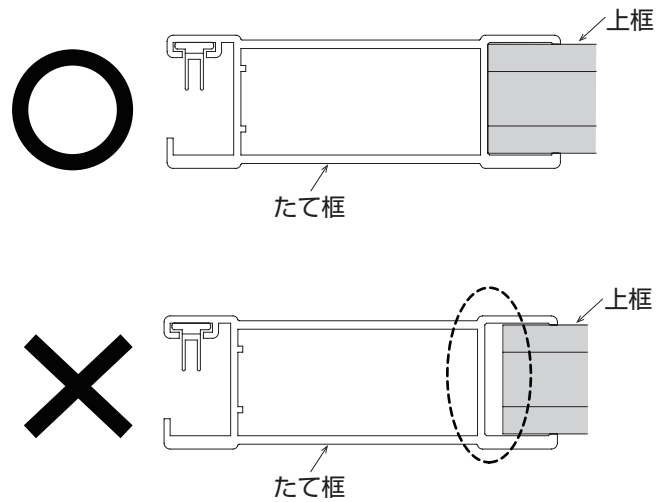


掃出しサッシ(土間)・高窓  
(ランマ引違い窓部)



## ねじ締め前の確認

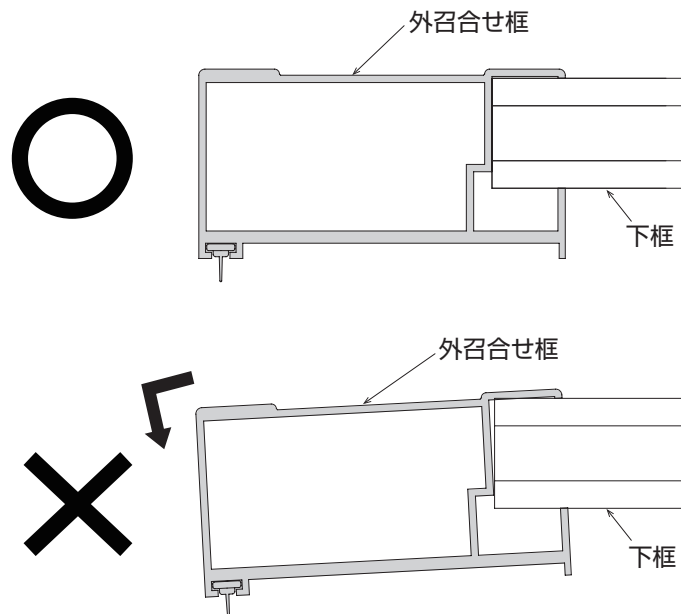
1. たて框に上下框がしっかりとみこまれていることを確認してください。



## 障子組立後の確認

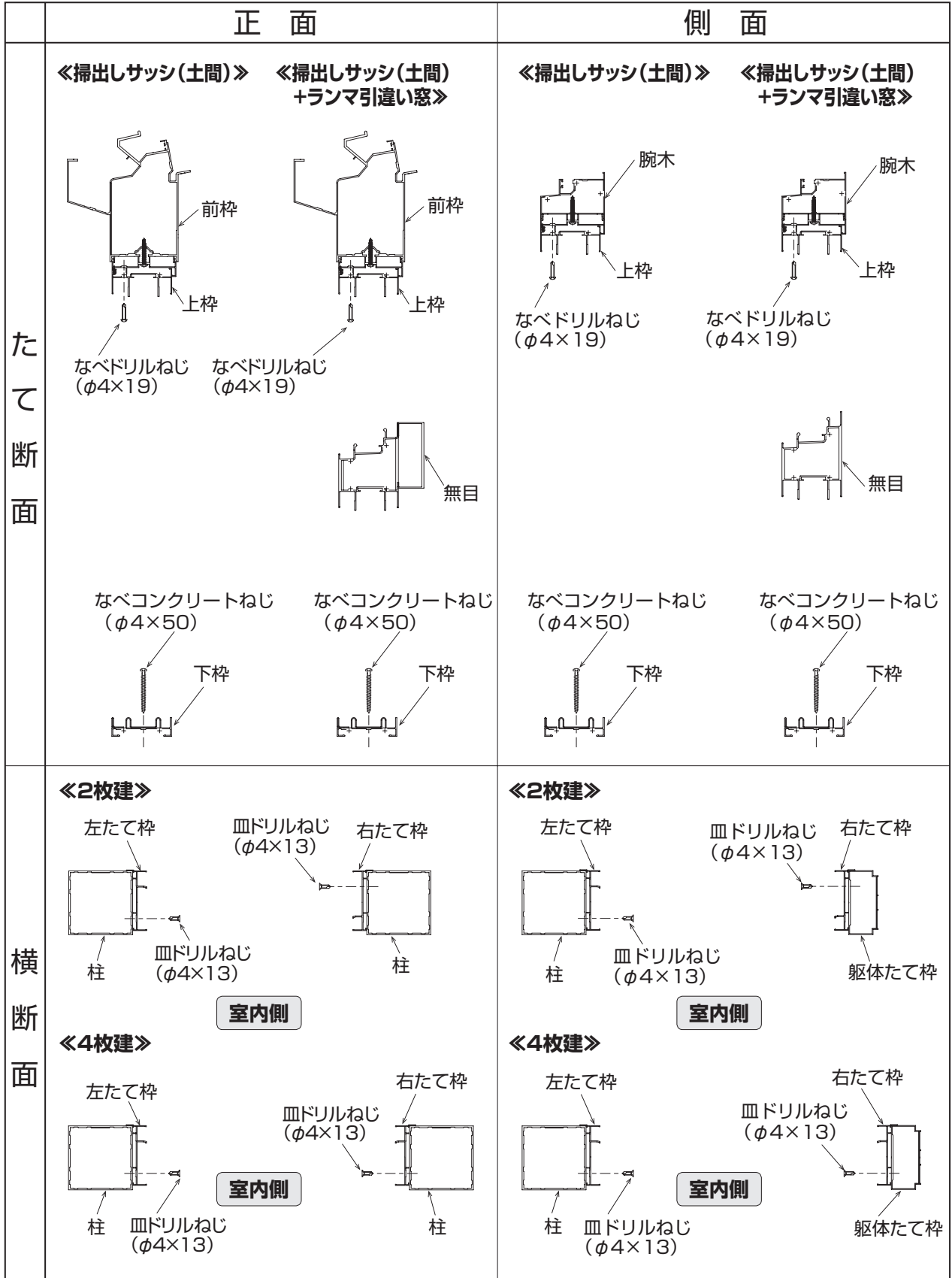
1. 上下框とたて框の接合部にすき間が無いことを確認してください。

2. 框の転びが無いことを確認してください。



# 枠の取付

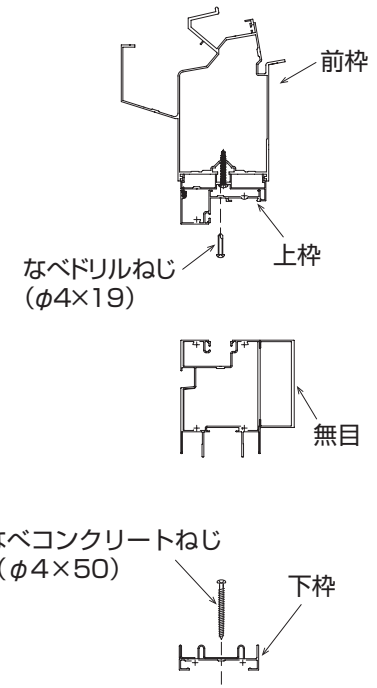
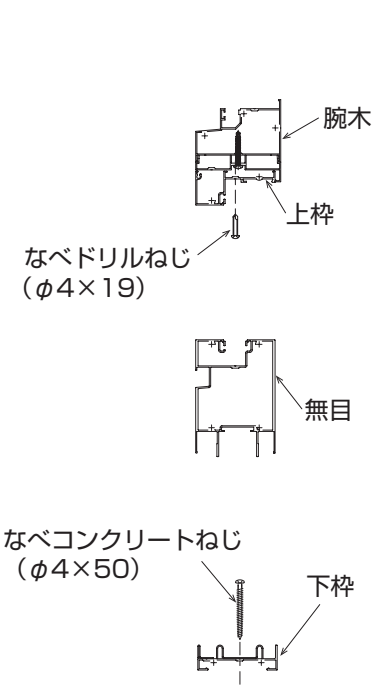
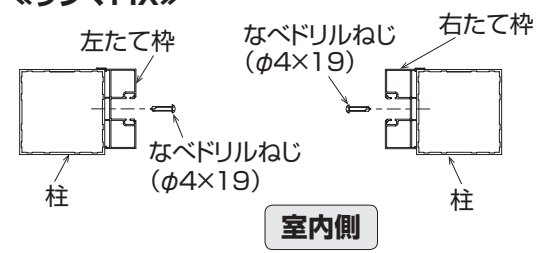
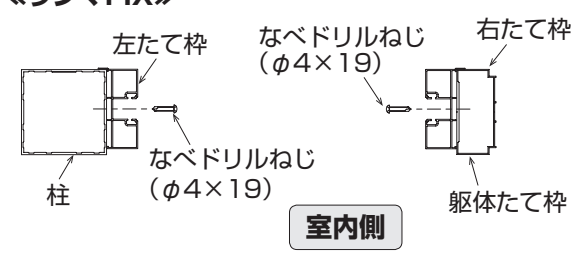
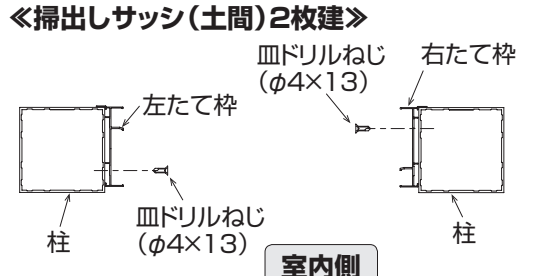
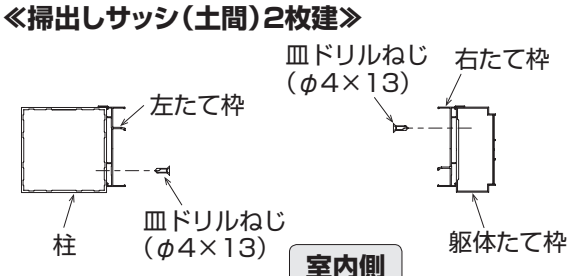
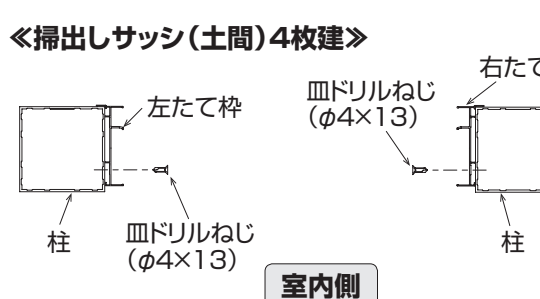
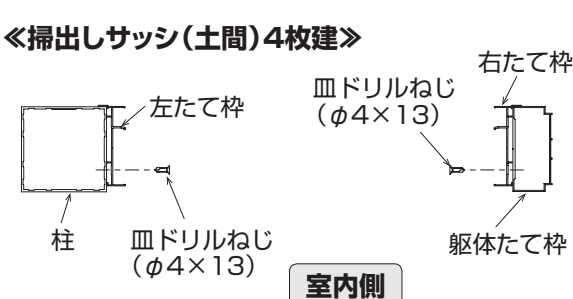
1. 枠を取付けてください。



横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位: mm)



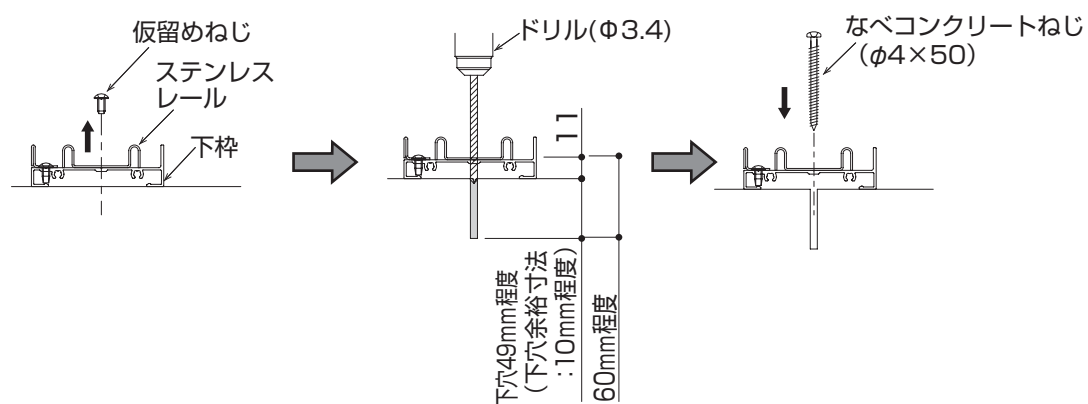
	正面	側面
たて断面	<p>《掃出しサッシ(土間)+ランマFIX》</p> 	<p>《掃出しサッシ(土間)+ランマFIX》</p> 
横断面	<p>《ランマFIX》</p> 	<p>《ランマFIX》</p> 
	<p>《掃出しサッシ(土間)2枚建》</p> 	<p>《掃出しサッシ(土間)2枚建》</p> 
	<p>《掃出しサッシ(土間)4枚建》</p> 	<p>《掃出しサッシ(土間)4枚建》</p> 

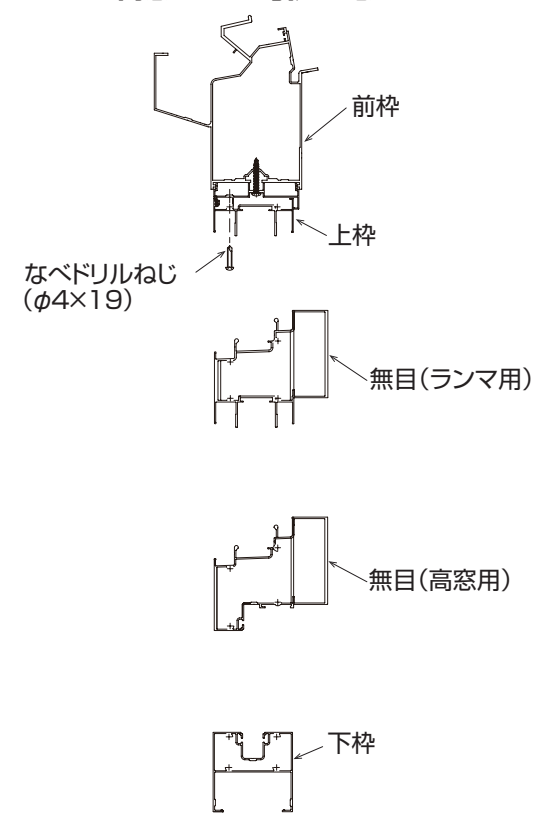
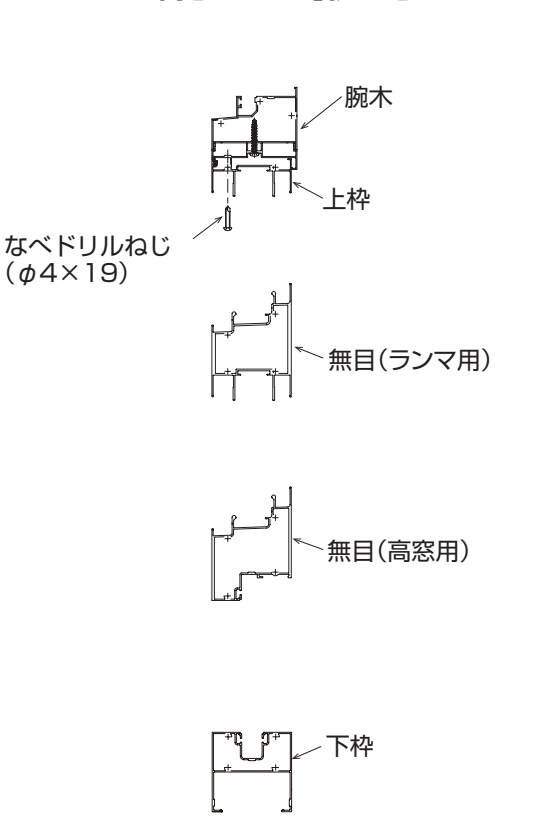
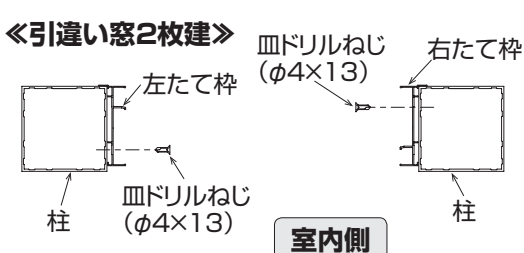
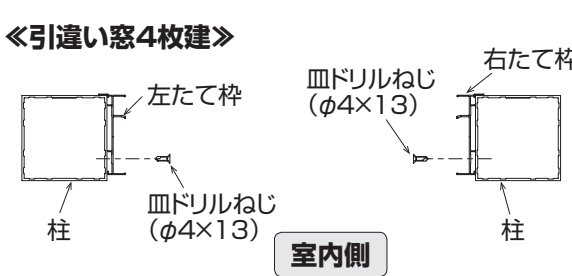
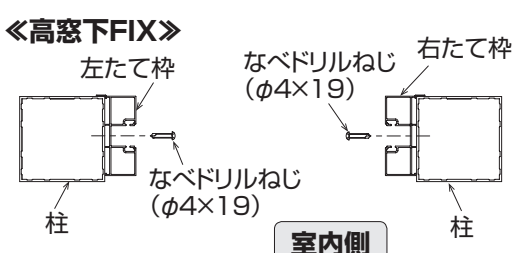
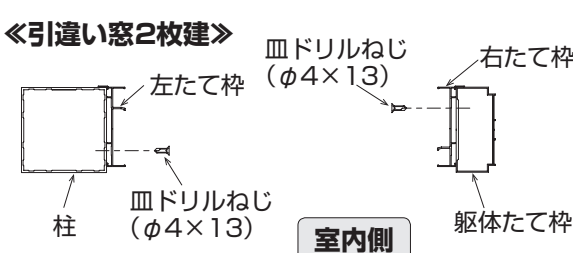
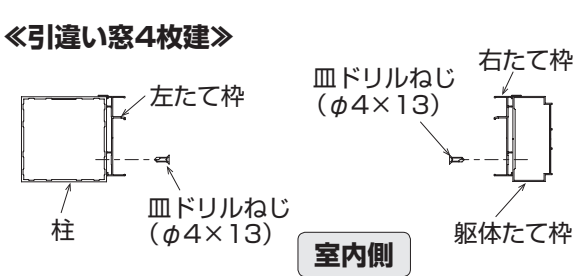
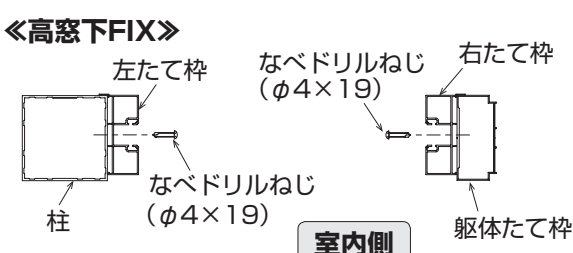
横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)

### 掃出しサッシ（土間）の場合

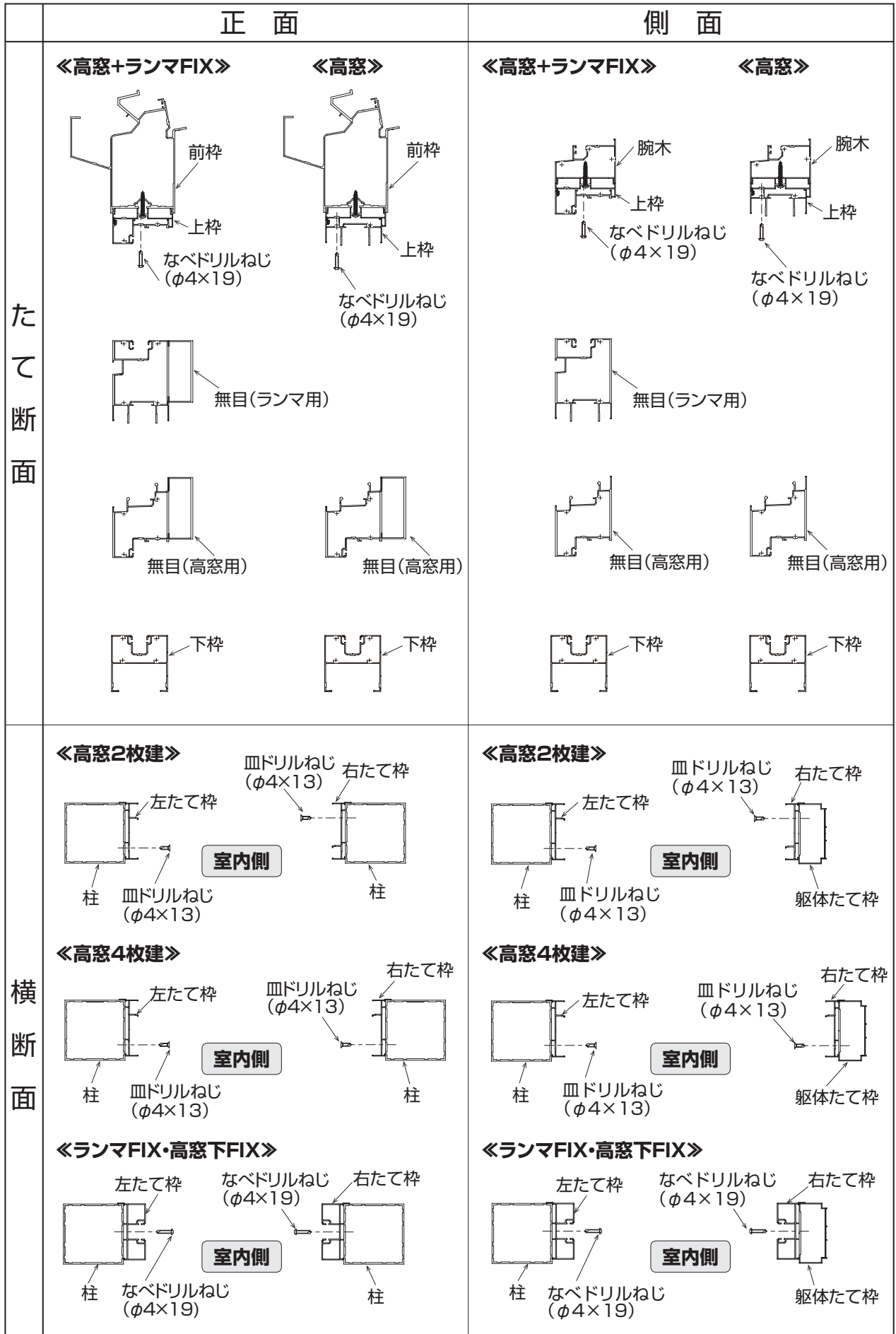
1. 下枠のステンスレールのねじを外してください。
2. 下枠の穴にあわせて土間にΦ3.4のドリルで下穴をあけてください。
3. 下穴の切粉を除去してください。
4. 下枠を土間に取付けてください。



	正面	側面
た て 断 面	<p>《高窓+ランマ引違い窓》</p> 	<p>《高窓+ランマ引違い窓》</p> 
横 断 面	<p>《引違い窓2枚建》</p>  <p>《引違い窓4枚建》</p>  <p>《高窓下FIX》</p> 	<p>《引違い窓2枚建》</p>  <p>《引違い窓4枚建》</p>  <p>《高窓下FIX》</p> 

横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)



横断面は室内側から見て左右を示します。

(単位：mm)

## ガラスの組み込み

### お願い

- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

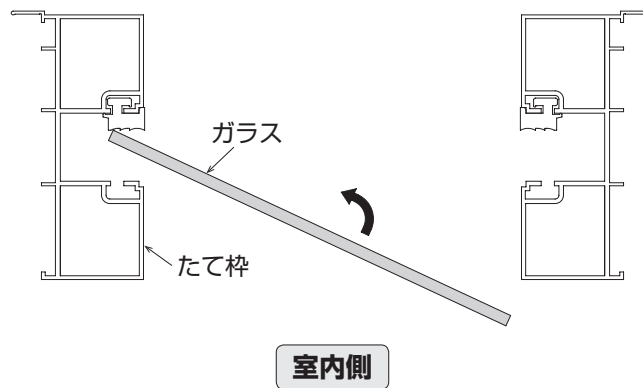
#### 掃出しサッシ（土間）＋ランマFIXの場合

#### 高窓の場合

#### 高窓＋ランマFIXの場合

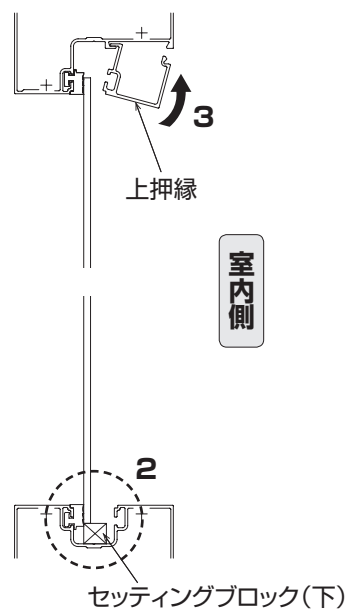
#### 高窓＋ランマ引違い窓の場合

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック(下)の上におわせてください。

3. 上押縁を取付けてください。



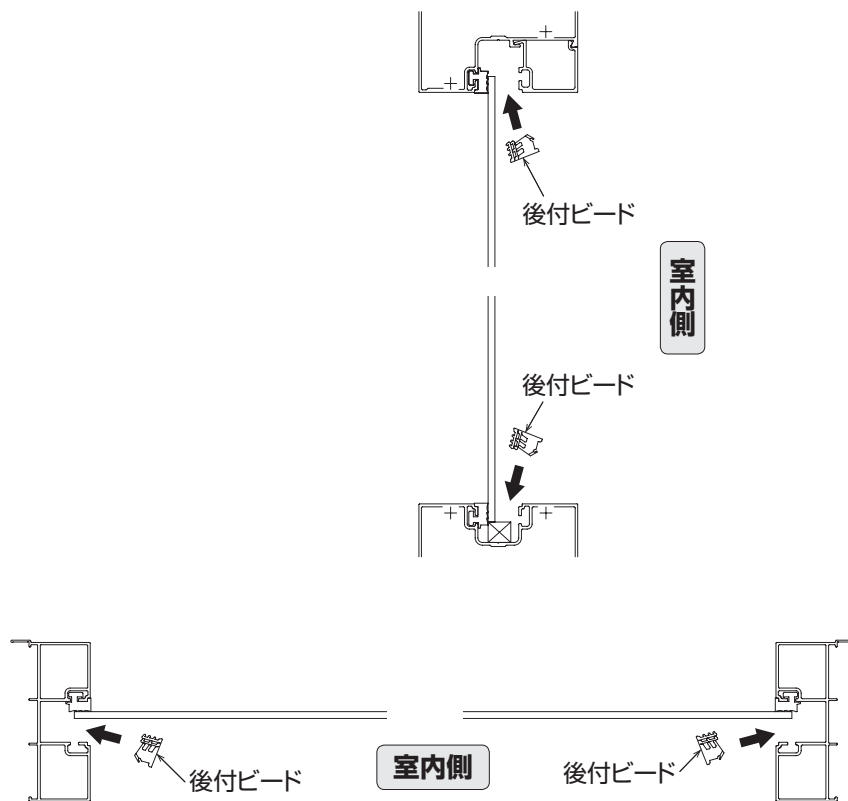
4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



- 型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



- 後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。



開口部の施工

■後付ビード一覧

ガラス厚	3mm用	4mm用（型板ガラス）	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			

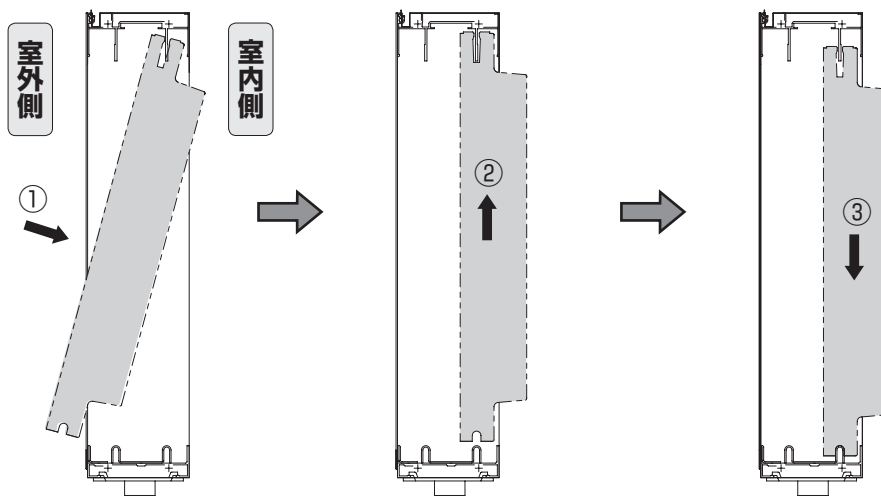
## 障子の吊込み

1. 障子を吊込んでください。

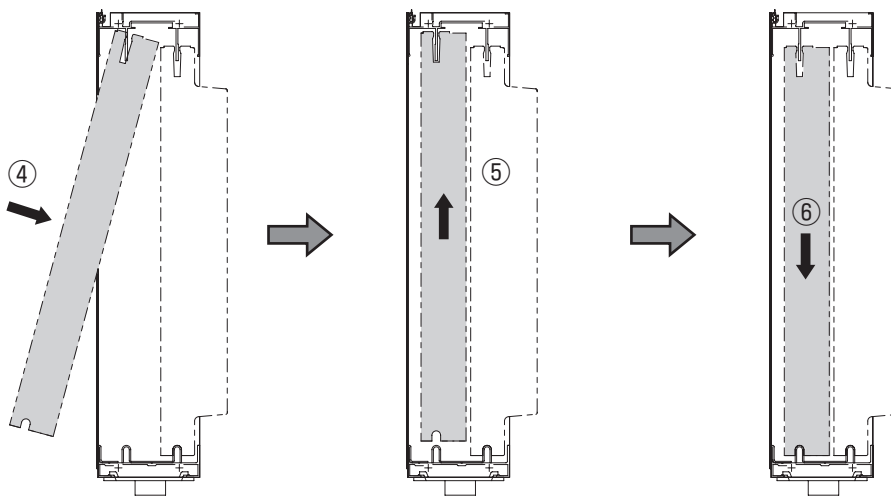
### お願い

- レールにゴミが付着していないことを確認してください。  
開閉の際、戸車にゴミがかみこんだりするおそれがあります。

### 《内障子》



### 《外障子》



## 障子吊込み後の確認

1. スムーズに開閉できることを確認してください。

## 障子の建付調整

### 戸車・下部摺動片の調整



- 障子を閉じた状態で、障子がガタつく場合（たて枠と障子にすき間がある場合）は、すき間風や雨水が入ってくるおそれがあるため、戸車の調整を行い、障子の傾きを修正してください。

1. 下側の穴塞ぎキャップを外してください。

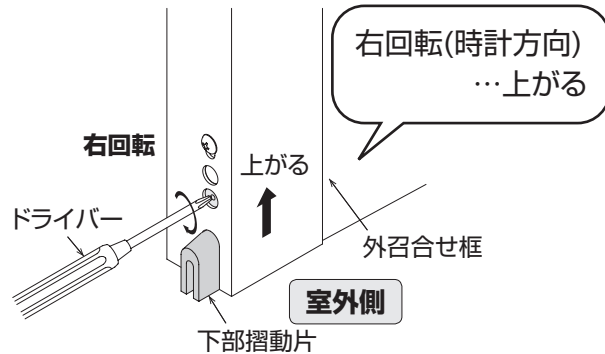
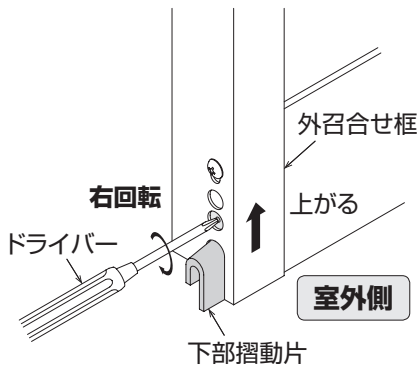
2. ねじ穴にドライバーを差込み、調整ねじをまわして戸車を調整してください。  
右回転で障子が上がります。



- 出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりません。上げたい場合のみ、戸車を調整してください。

#### 《高窓・ランマ引違い窓》

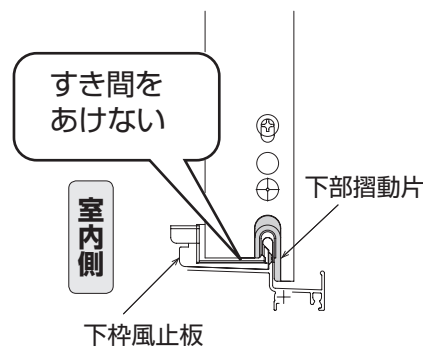
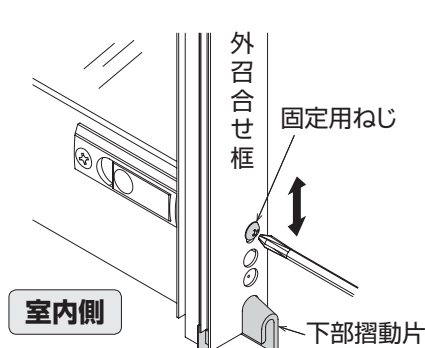
#### 《掃出しサッシ（土間）》



3. 手順1で取外した穴塞ぎキャップを取付けてください。高窓・ランマ引違い窓の場合は、手順4、5へ進んでください。

4. 下部摺動片のねじをゆるめて、下部摺動片と下枠風止板とのすき間がなくなるように調整してください。

5. 調整後、必ずねじを締めてください。





## 高窓・ランマ引違い窓のクレセント・クレセント受の調整

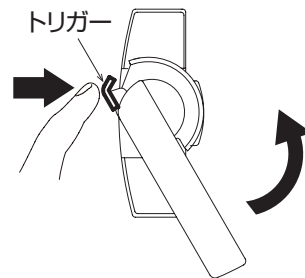
### お願い

- 固定ねじは絶対に外さないでください。  
ねじが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。



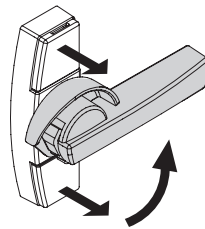
- クレセントを施錠した状態で障子がガタつく、クレセントがかかりにくいなどの場合は、クレセント・クレセント受の調整をしてください。

- トリガーを指で押えながらクレセントを中間位置まで回してください。

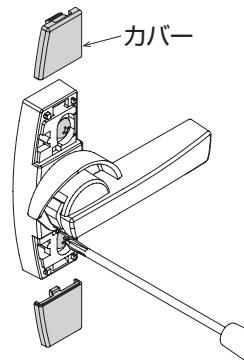


- クレセントの上下カバーを外してください。

- クレセントのねじをゆるめ、上下に動かして位置を調整してください。

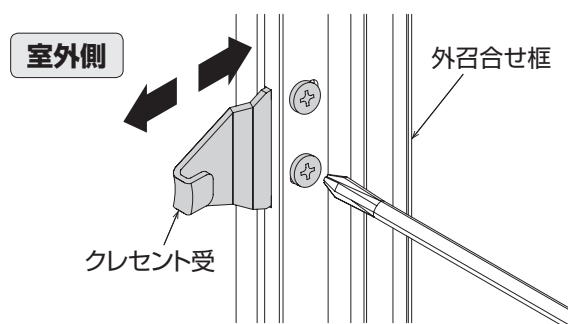


- 調整後、必ずねじを締めてカバーを元に戻してください。



- クレセント受のねじを緩め、左右に動かしてください。

- 調整後、必ずねじを締めてください。



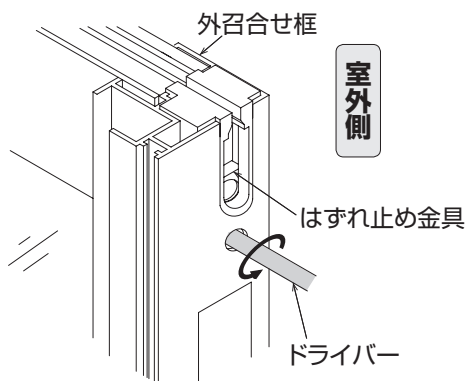
## 高窓・ランマ引違い窓の障子ははずれ止めのセット

### 障子ははずれ止めのセット

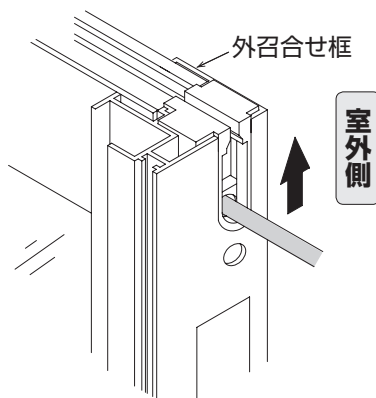
#### お願い

- はずれ止めをセットしないと障子が外れて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

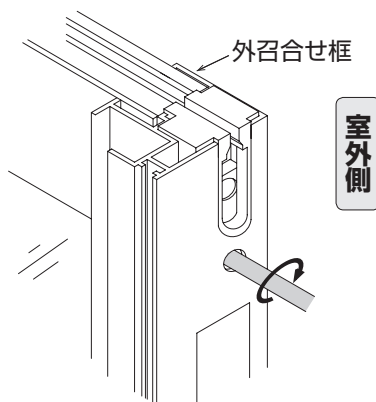
1.調整ねじをゆるめてください。



2.はずれ止めを障子の開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げてください。  
調整ねじの動きに連動して、はずれ止めが上下に動きます。



3.調整後、ねじを締めてください。

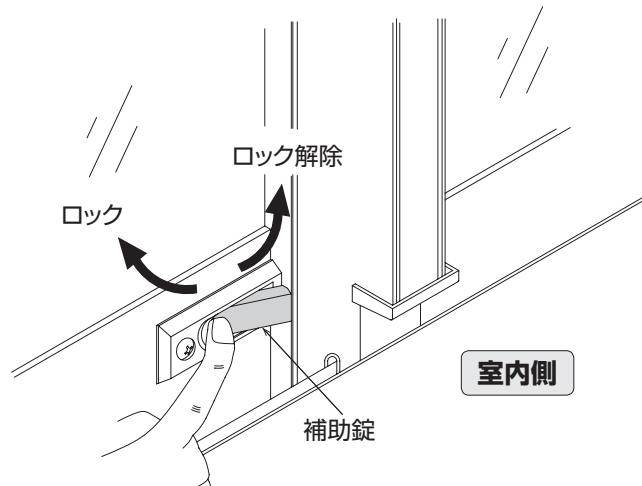


### 障子ははずれ止めセット後の確認

- 1.スムーズに開閉できることを確認してください。  
開閉しにくい場合は、はずれ止めを少しずつ下げて調整してください。  
窓を持上げるようにして、窓がレールから外れないことを確認してください。

## 高窓・ランマ引違い窓の補助錠の作動確認

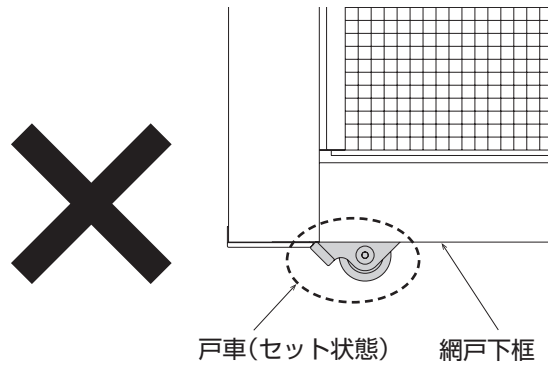
1. クレセントのほかに補助錠が装備されています。正常に作動することを確認してください。



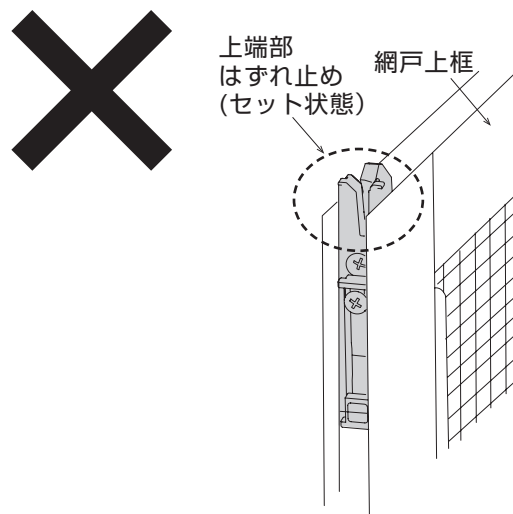
## 網戸の吊込み

### 網戸吊込み前の確認

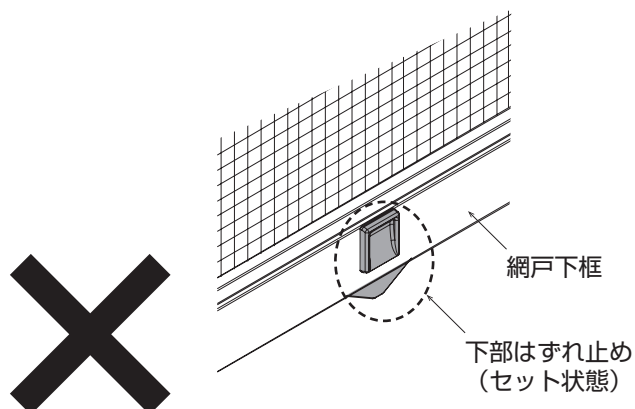
1. 網戸下框から戸車が飛出していないこと（解除状態）を確認してください。



2. 上端部はずれ止めが網戸上框から飛出していないこと（解除状態）を確認してください。

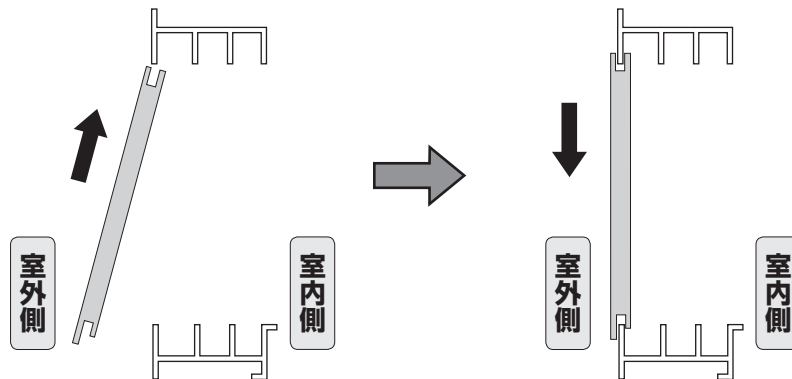


3. 下部はずれ止めが網戸下框から飛出していないこと（解除状態）を確認してください。



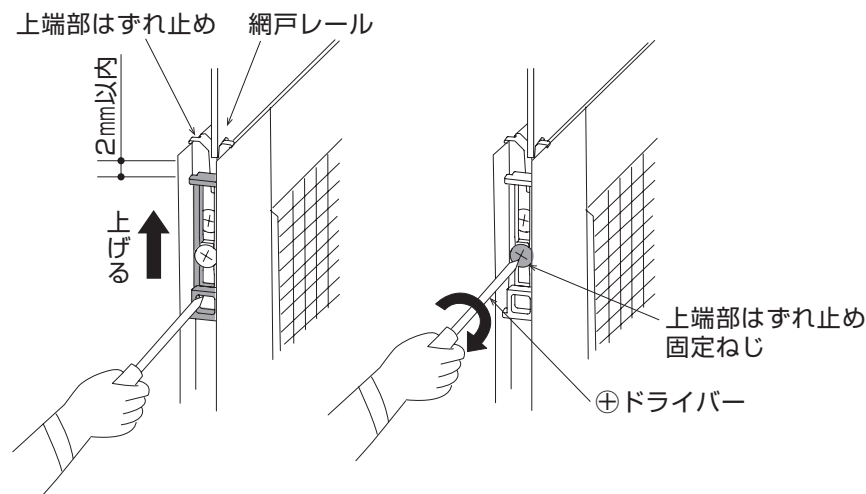
## 網戸の吊込み

1. 網戸を上下ケンドン式に吊込んでください。

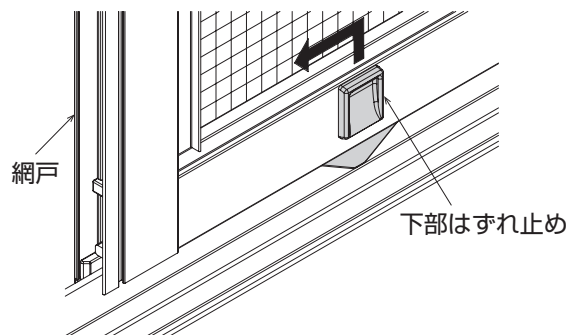


## はずれ止めのセット

1. 上端部はずれ止め部品の固定ねじをゆるめてください。
2. 上端部はずれ止め部品を網戸レールとのすき間が2mm以内になるまで上げてください。
3. 上端部はずれ止め固定ねじをゆるまないよう、しっかり締めてください。
4. 手順1～3を行い、もう一方の上端部はずれ止め部品をセットしてください。



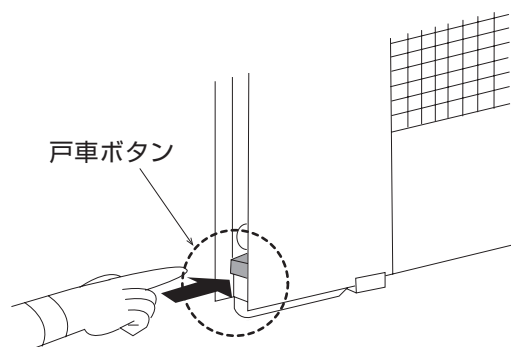
5. 高窓・ランマ引違い窓の場合、網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かし、セットしてください。  
掃出しサッシ（土間）の場合は、手順6に進んでください。



6. 網戸を持上げながら内外にゆすり、枠から網戸が外れないことを必ず確認してください。

## 戸車の脱輪防止機構のセット

1. 左右2つの戸車ボタンを押し、脱輪防止機構をセットしてください。



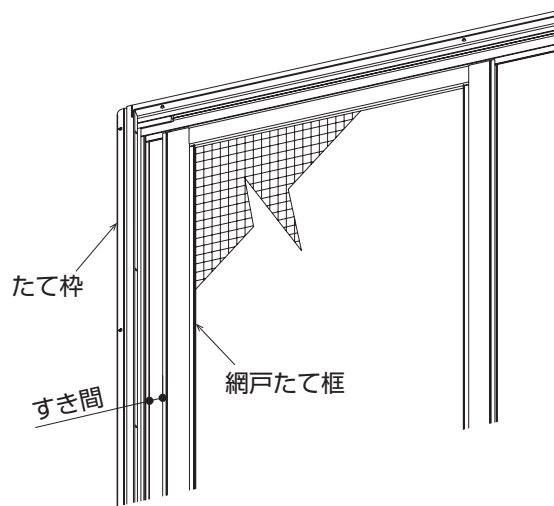
## 網戸の建付調整

### 建付状態の確認

1. 網戸をたて枠にあたる位置まで動かしてください。
2. 網戸たて枠とたて枠のすき間が均一になっているか確認してください。



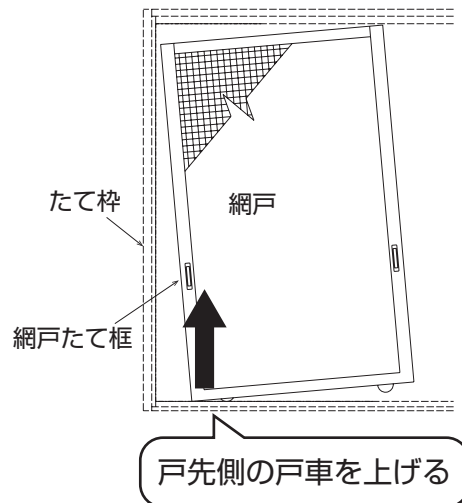
- すき間が均一ではない場合、建付調整が必要です。  
戸車の調整ねじを回すことにより建付調整することができます。



## 戸車の調整

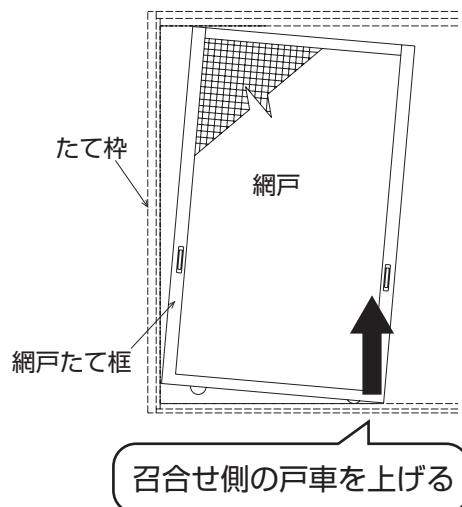
### 網戸たて枠とたて枠下部のすき間が大きい場合

1. 戸先側の上端部はずれ止め部品を解除してください。  
(P.135 「はずれ止めの解除」参照)
2. 戸先側の戸車を調整し、網戸たて枠とたて枠のすき間が均一となるよう調整してください。
3. 再度上端部はずれ止め部品をセットしてください。(P.131 「はずれ止めのセット」参照)



### 網戸たて枠とたて枠上部のすき間が大きい場合

1. 召合せ側の上端部はずれ止め部品を解除してください。  
(P.135 「はずれ止めの解除」参照)
2. 召合せ側の戸車を調整し、網戸たて枠とたて枠のすき間が均一となるよう調整してください。
3. 再度上端部はずれ止め部品をセットしてください。(P.131 「はずれ止めのセット」参照)

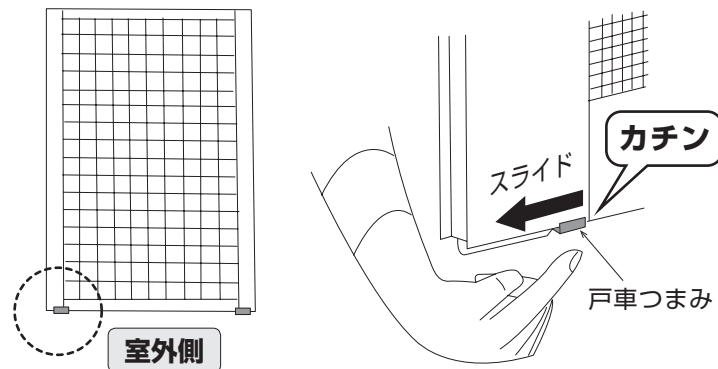




## 網戸の取外し方法

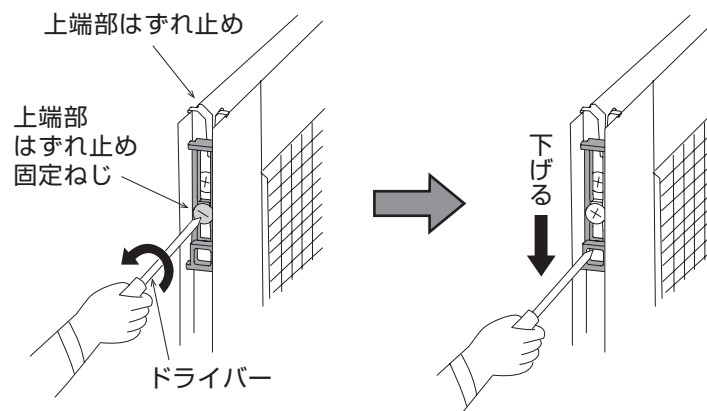
### 戸車の脱輪防止機構の解除

1. 室外側に戸車のつまみがあります。つまみを矢印の方向にカチンと音がするまで横にスライドして、脱輪防止機構を解除してください。

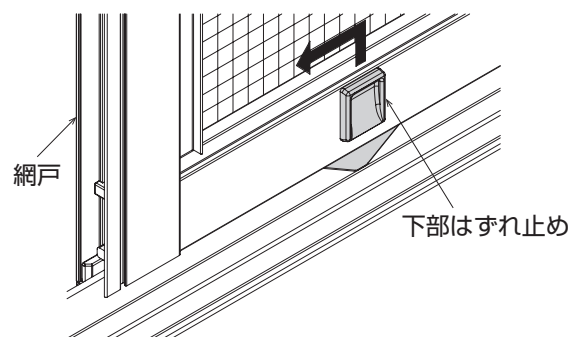


### はずれ止めの解除

1. 上端部はずれ止め部品の固定ねじをゆるめてください。
2. 上端部はずれ止め部品を下げてください。

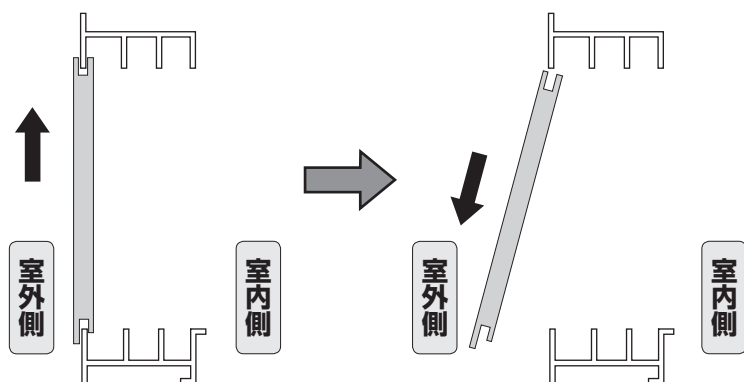


3. 高窓・ランマ引違い窓の場合、網戸が動かないように支えながら下部はずれ止めを矢印方向に動かし、解除してください。



## 網戸の取外し

1. 網戸を上下ケンドン式で外してください。



## 下枠のシーリング

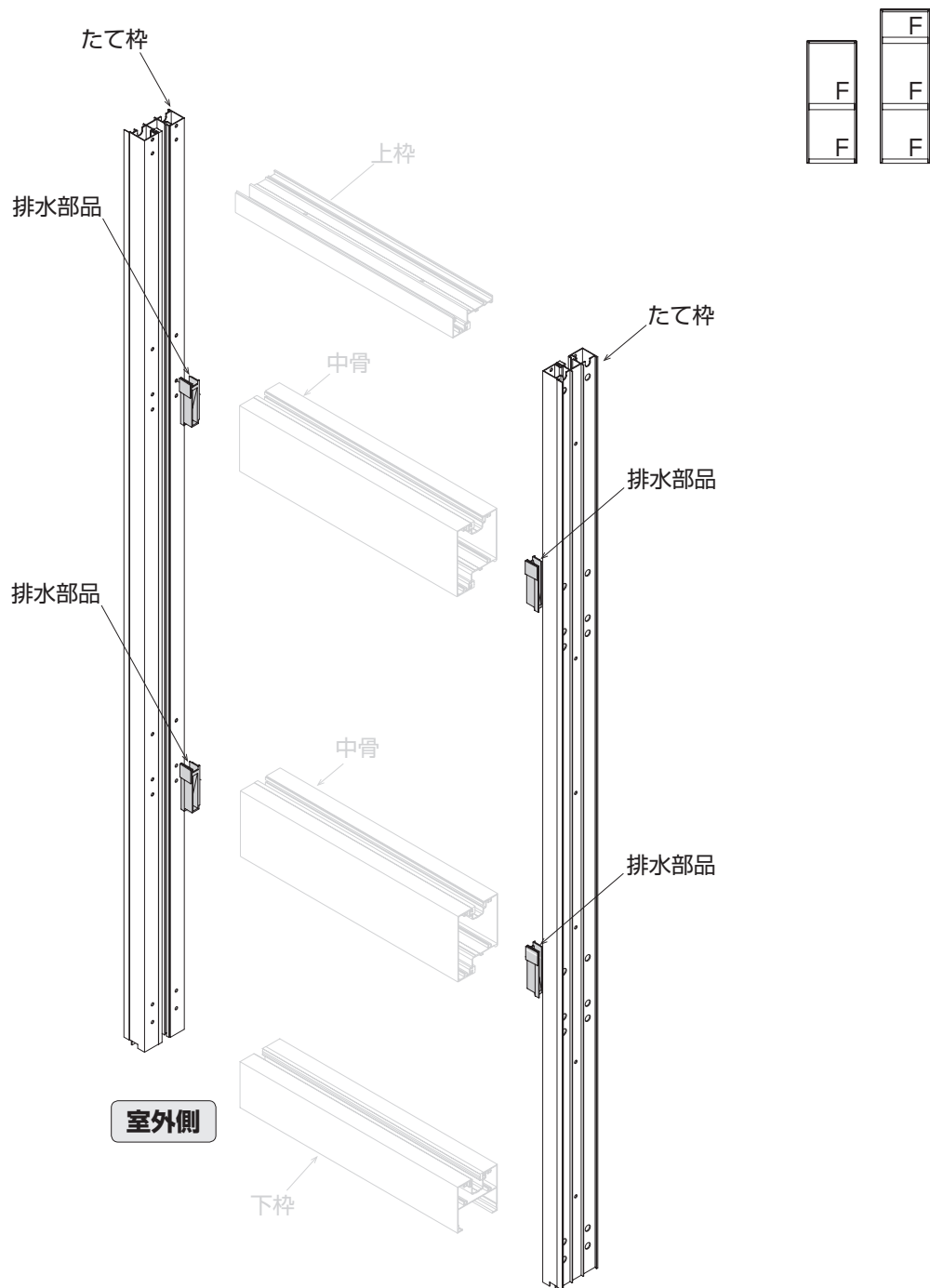
1. 下枠のシーリングをしてください。（P.156「下枠のシーリング」参照）

# 壁 FIX の施工

## 枠の組立

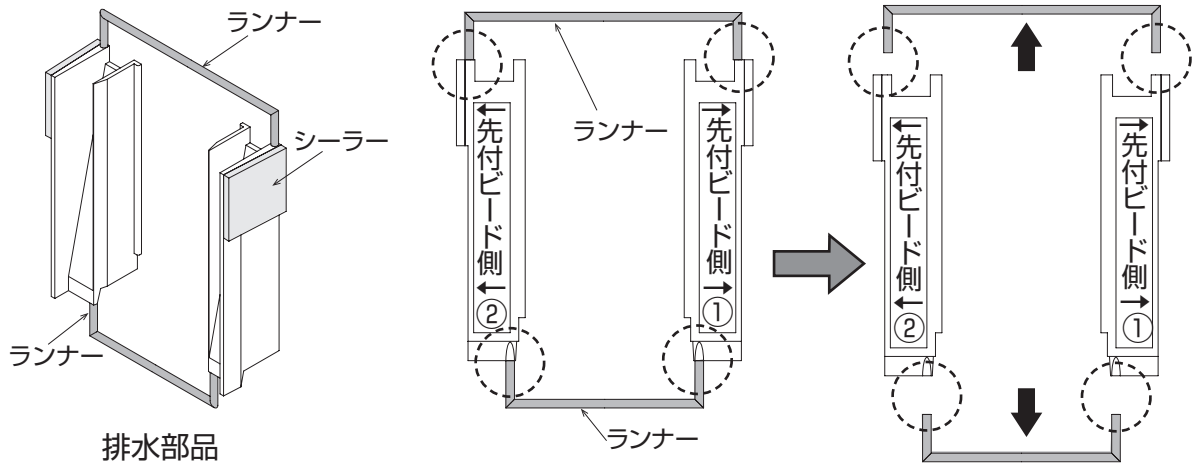
### 枠の組立

1. たて枠の高さ方向の切詰めを下から行った場合は、水抜き穴の切欠きを再加工してください。  
切欠きがないと室内側に漏水します。P.164「高さ方向の切詰め」を参照してください。
2. 排水部品を取付けてください。  
排水部品の取付け方は、P.138【排水部品の取付】を参照してください。

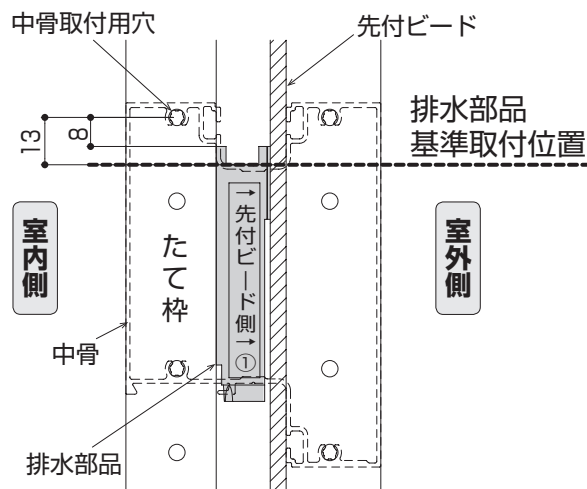


## 【排水部品の取付】

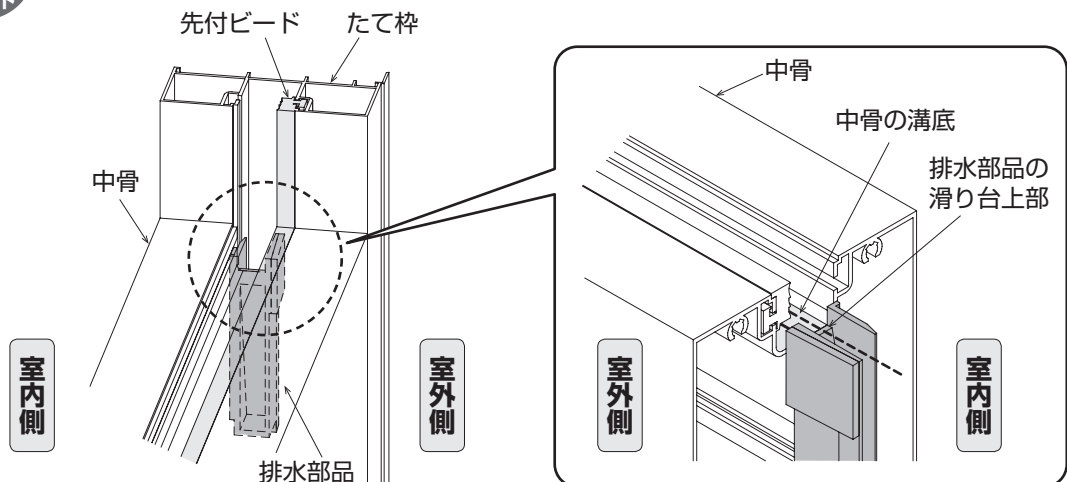
① 印部でランナーを切離してください。



② たて枠の中骨取付用穴の中心から13mm下がった位置に部品の滑り台上部を配置して取付けてください。  
部品裏面の刻印「先付ビード側」の→方向に先付ビードがあるように取付けてください。

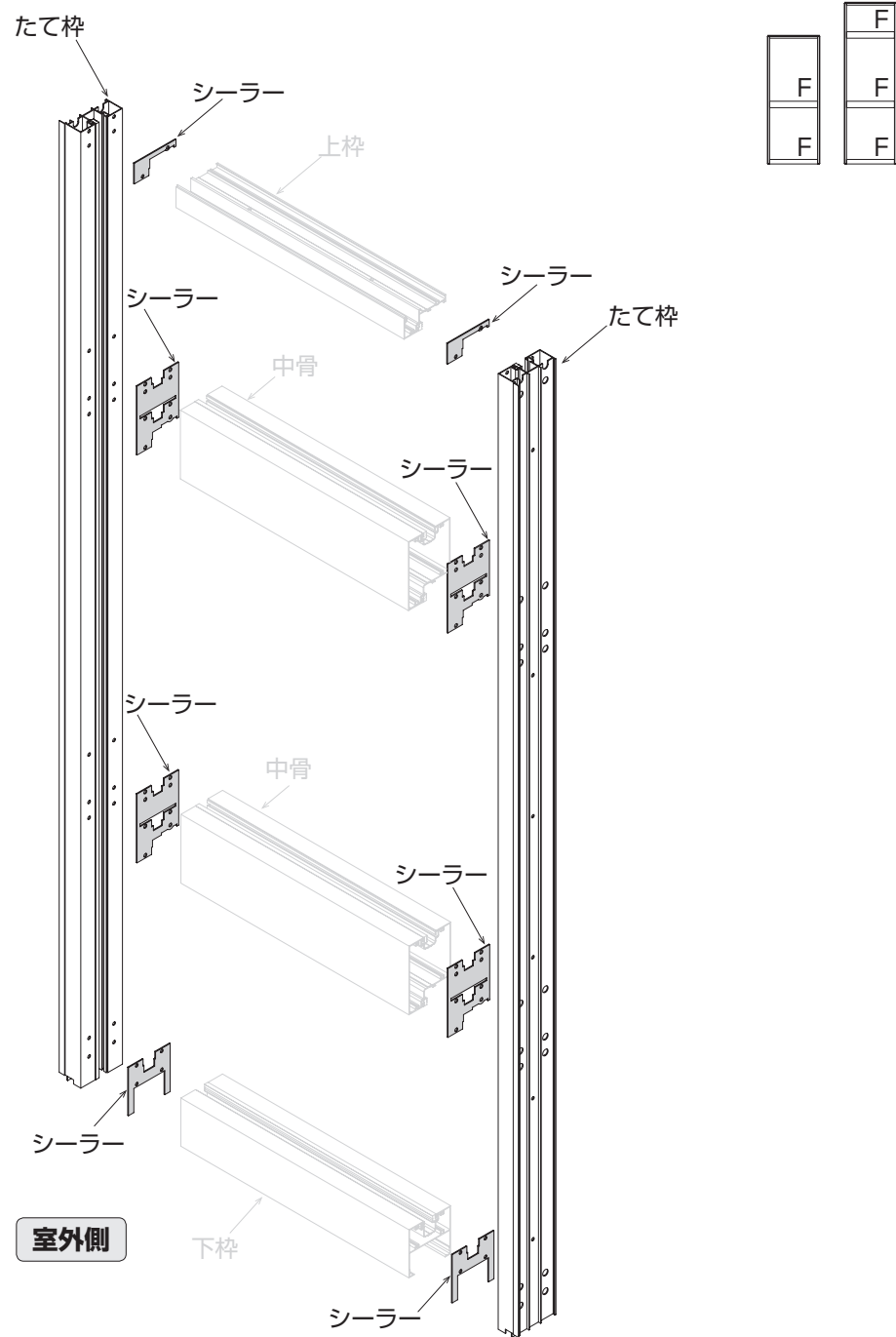


・「中骨の溝底」と「排水部品の滑り台上部」の面が同じ位置になるように取付けてください。



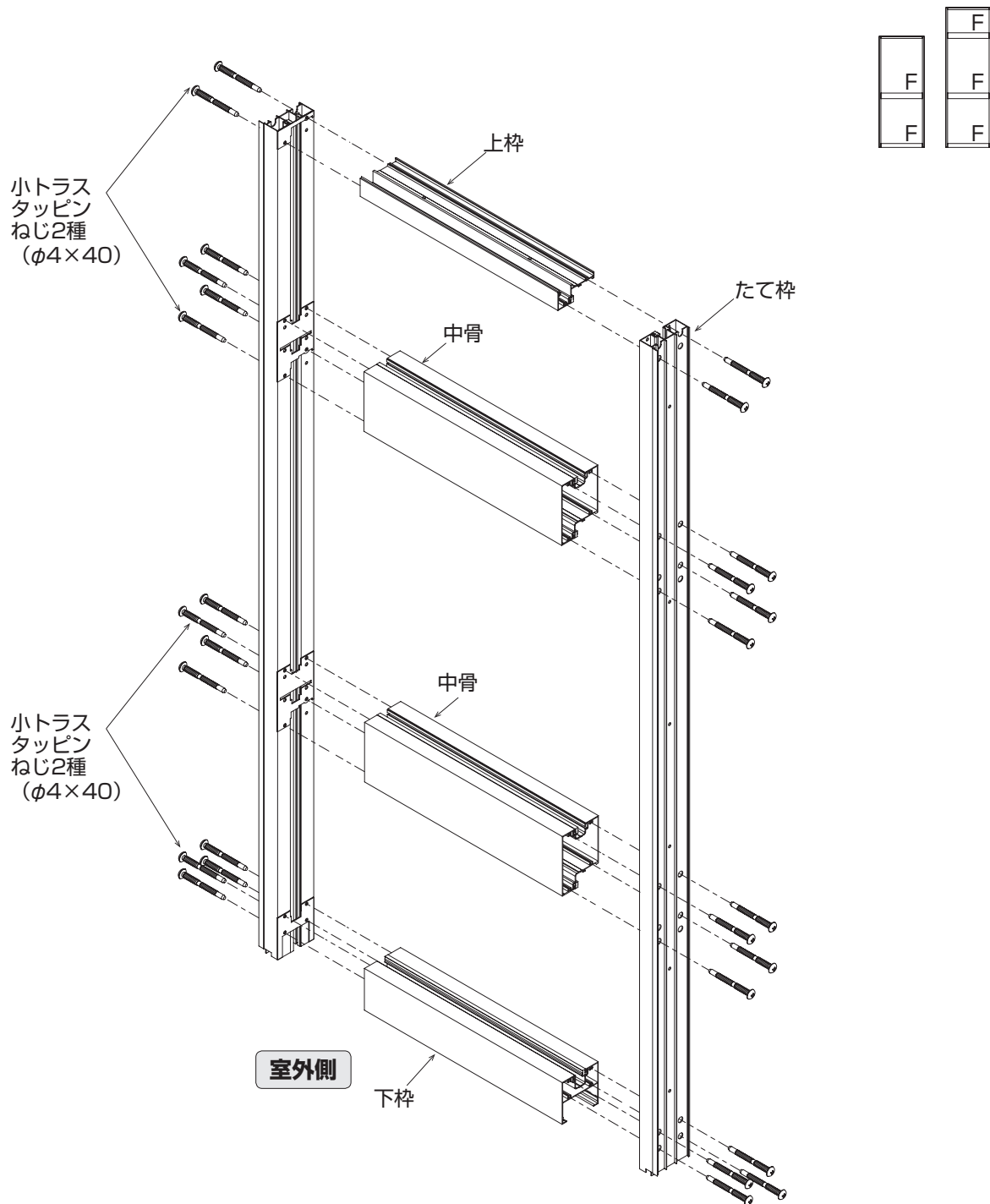
(単位：mm)

3. シーラーを取付けてください。



開口部の施工

4. 枠を組立ててください。



開口部の施工

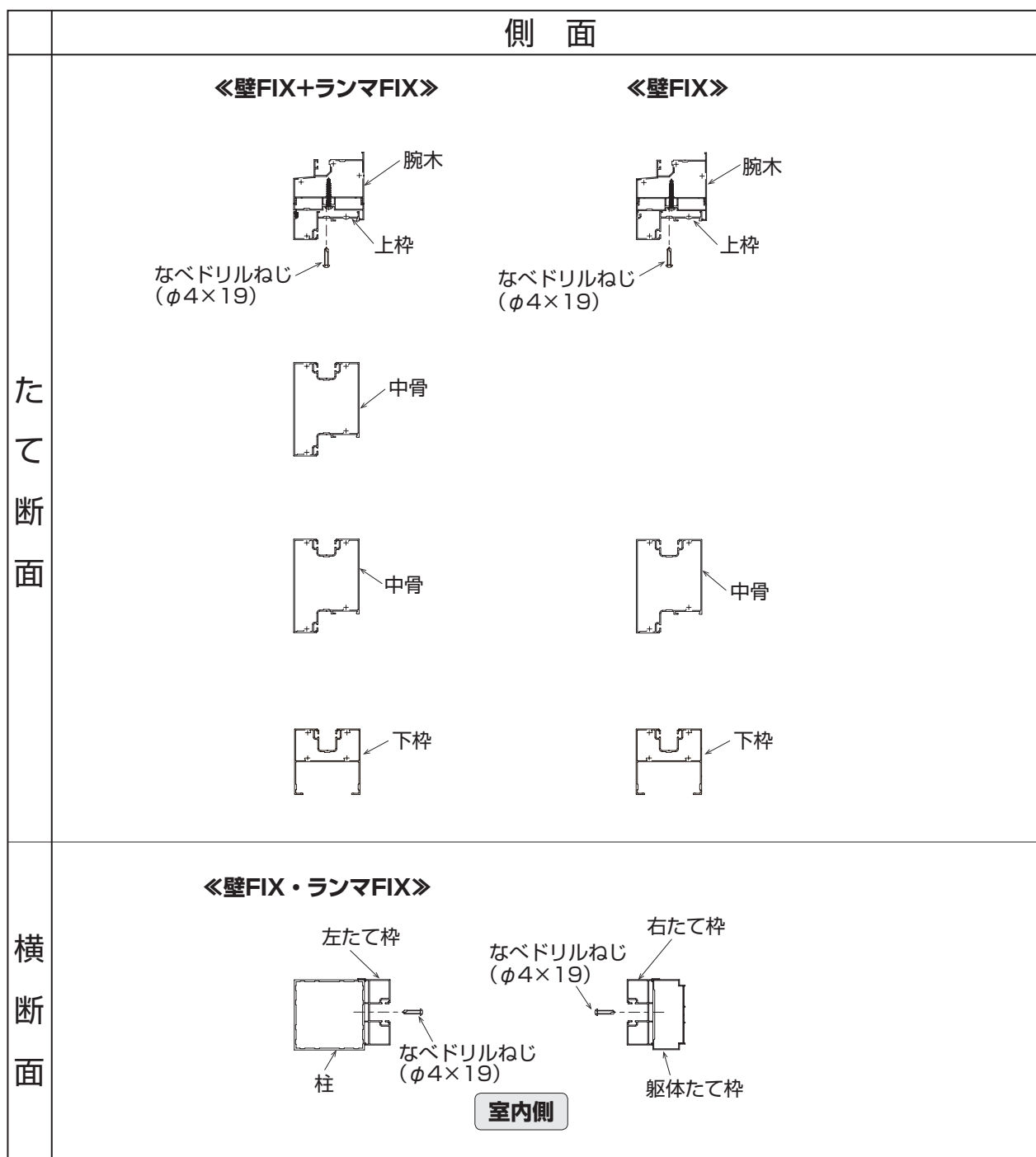
**枠組立後の確認**

1. 上下枠・中骨まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。

(単位：mm)

# 枠の取付

1. 枠を取付けてください。



横断面は室内側から見て左右を示します。

開口部の施工

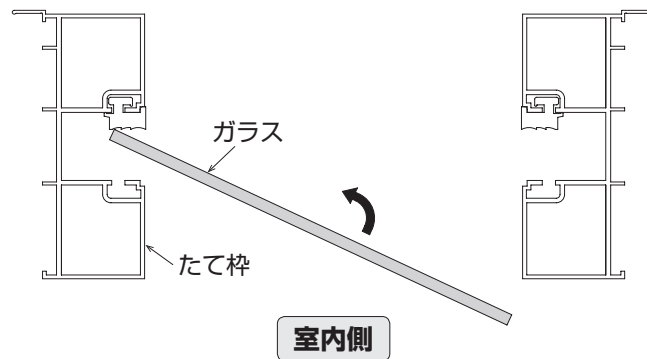
(単位 : mm)

## ガラスの組み込み

### お願い

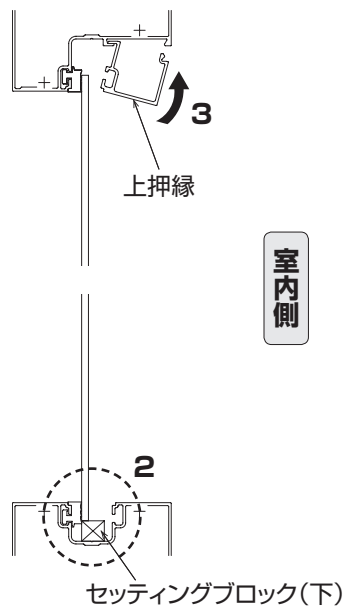
- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック(下)の上ののせてください。

3. 上押縁を取付けてください。





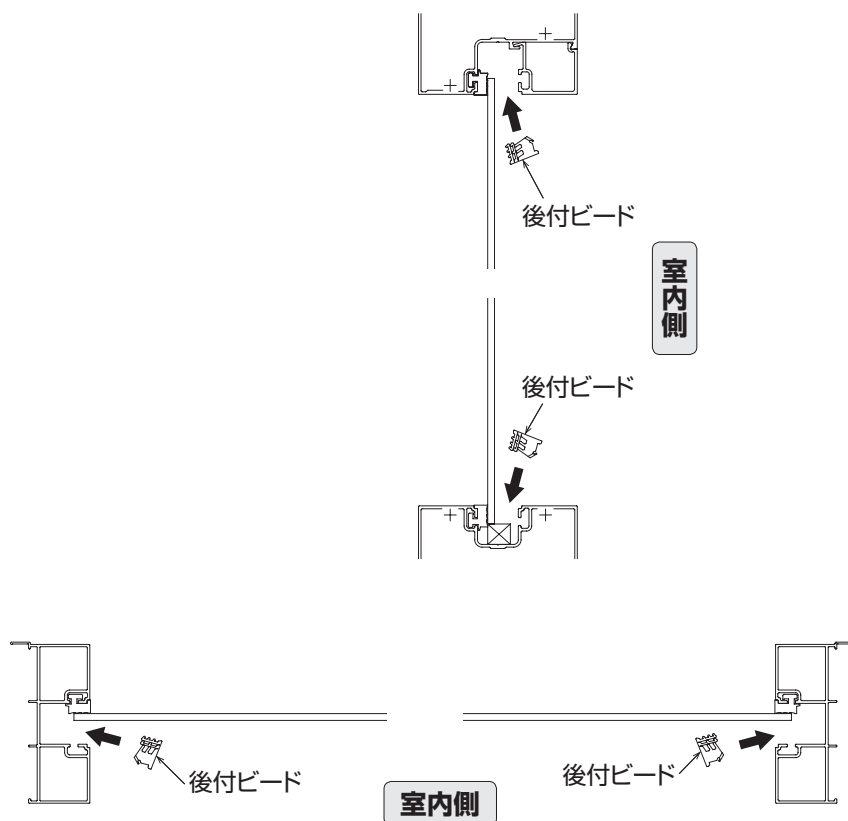
4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



- 型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



- 後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。



■後付ビード一覧

ガラス厚	3mm用	4mm用 (型板ガラス)	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			

開口部の施工

## 下枠のシーリング

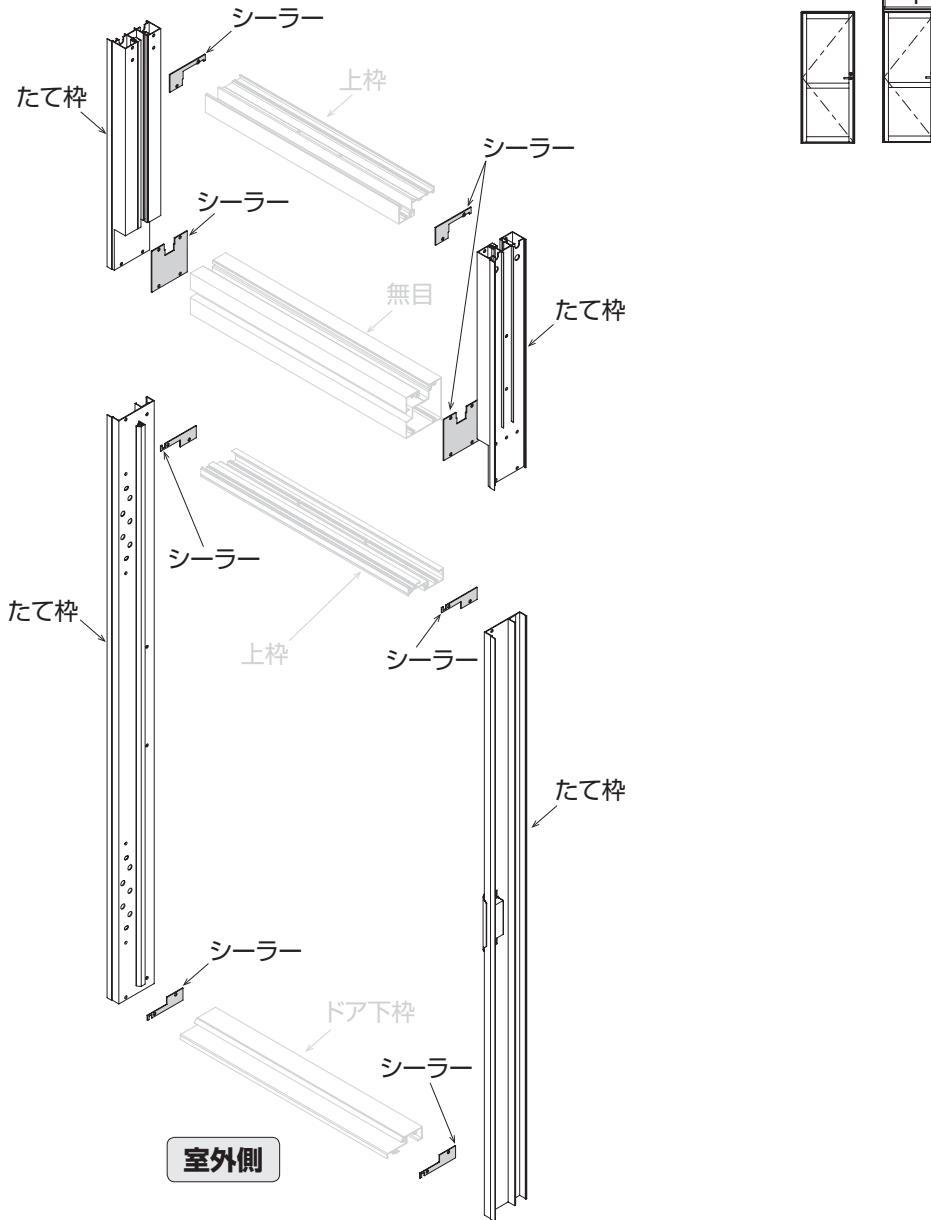
1. 下枠のシーリングをしてください。（P.156「下枠のシーリング」参照）

# ドアの施工

## 枠の組立

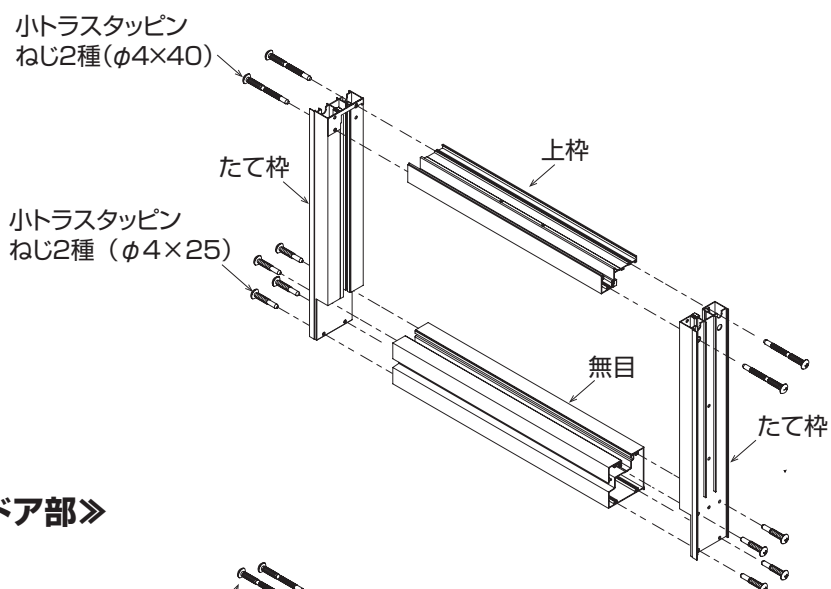
### 枠の組立

1.シーラーを取付けてください。

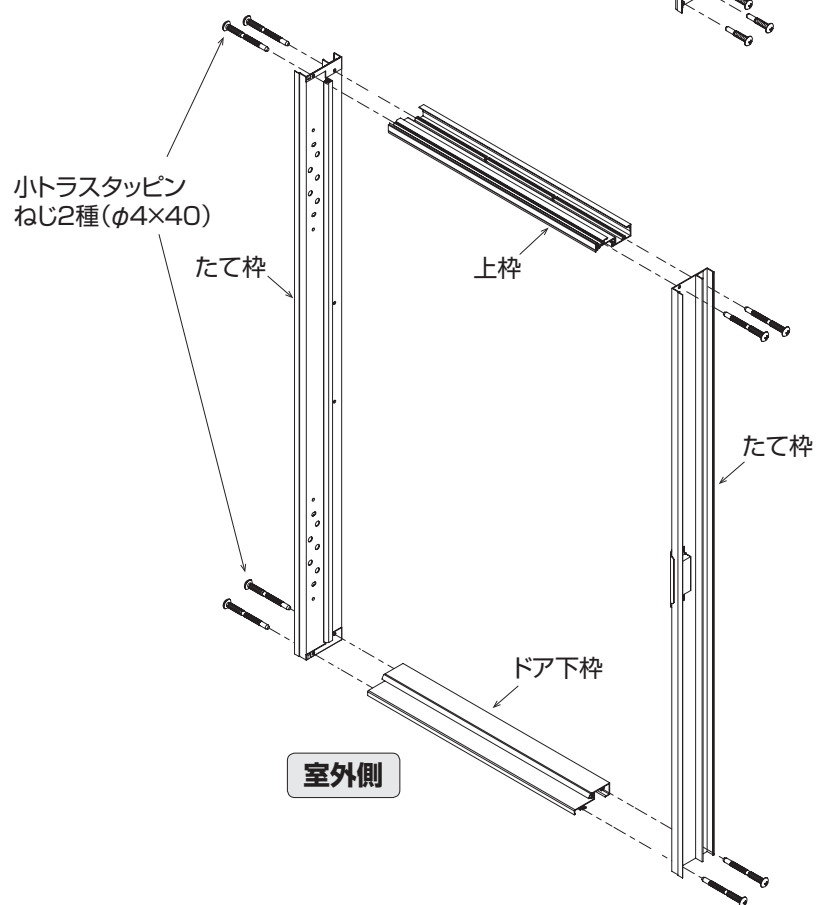


2. 枠を組立ててください。

《ランマ部》



《ドア部》



**枠組立後の確認**

1. 上下枠・無目まわりからシーラーがはみ出していることを確認してください。

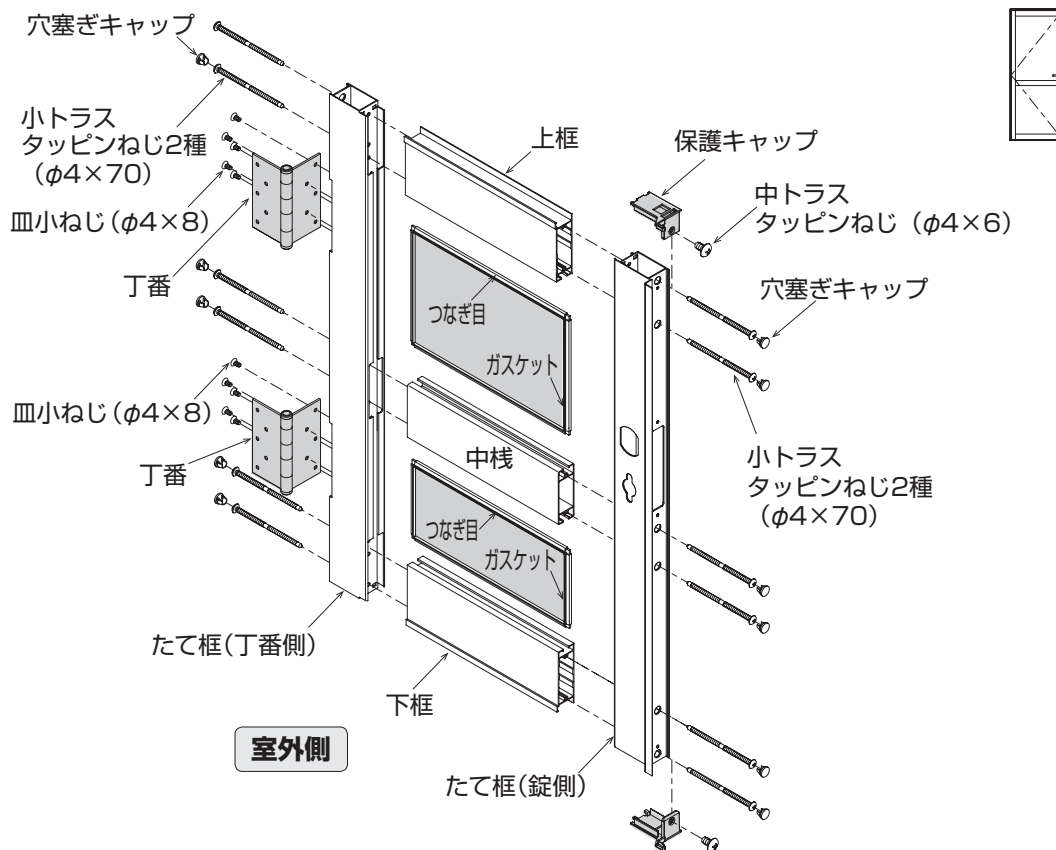
(単位：mm)

# ドアの組立

**お願い**

• 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

**1. ドアを組立ててください。**



**室外側**

■U字ガスケット一覧 (ドア障子)

ガラス厚	3.4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
姿 図				
品 番	K-6426	K-20358	K-20866	K-6413

## 錠の取付

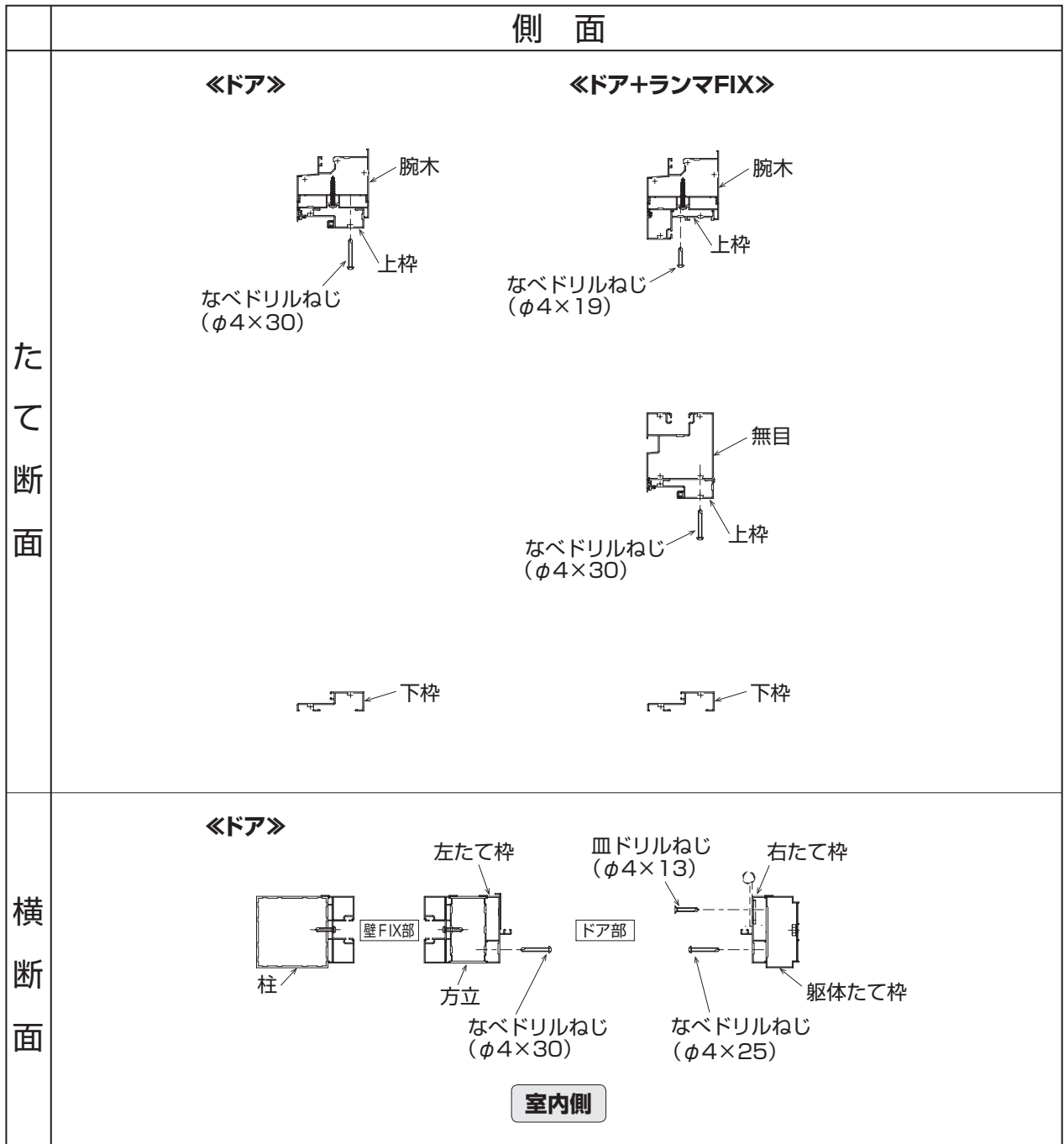
1. 錠を取付けてください。  
取付方法は錠に同梱の取付説明書を参照してください。

## 枠の取付



・段窓の場合、ランマFIX枠取付後、なべドリルねじでドア枠を連結してください。

1. 枠を取付けてください。



横断面は室内側から見て左右を示します。

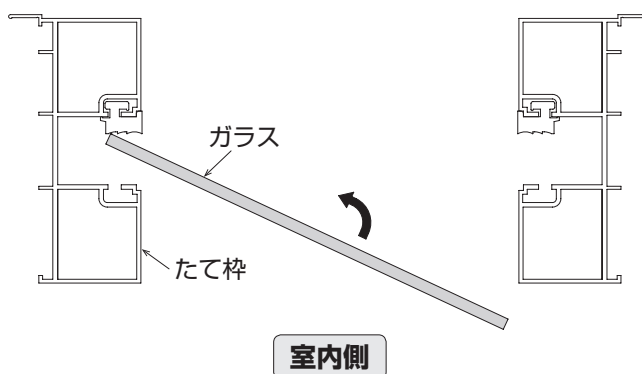
## ガラスの組み込み

### お願い

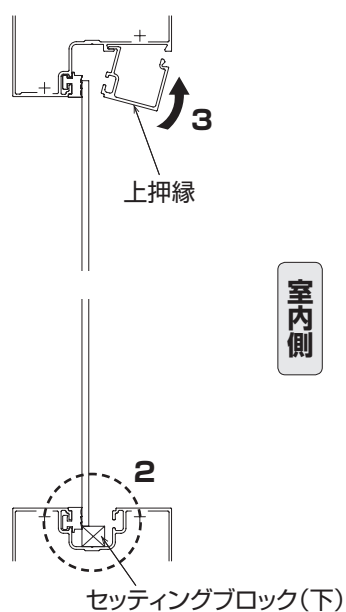
- 網入りガラス使用の場合は、切断面に防錆処理を施してください。

### ランマ付の場合

1. ガラスを左右ケンドン式でたて枠にのみ込ませてください。



2. ガラスをセッティングブロック（下）の上におわせてください。
3. 上押縁を取付けてください。



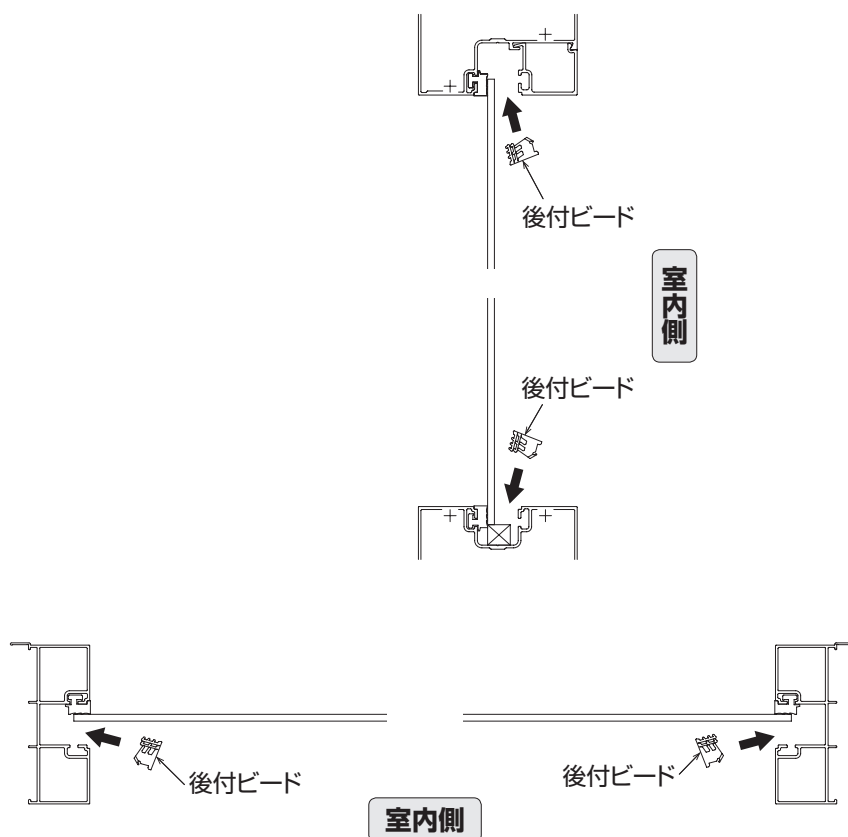
4. ガラス厚に応じて、室内側より後付ビードを押し込んでください。



- 型板ガラス使用の場合は、後付ビード取付け側（室内側）に型板ガラス特有の表面凹凸があるため、通常の板ガラスとは後付ビードの接地条件が異なり、外れやすくなる可能性があります。後付ビードの外れ防止として、数ピッチごとに先打シールを施す方法をお勧めします。



- 後付ビードのコーナー部は切れ目を入れて取付けてください。



開口部の施工

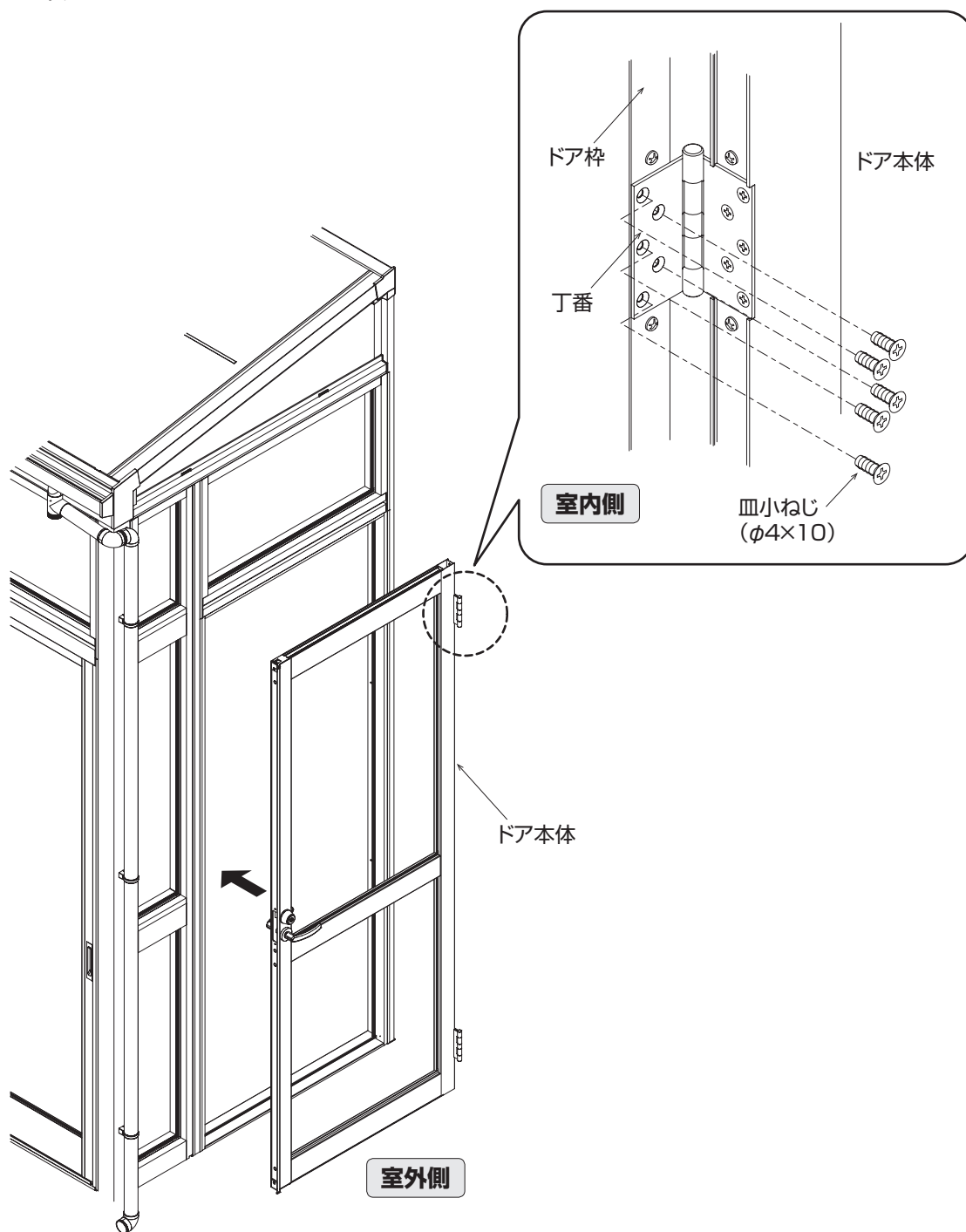
■後付ビード一覧

ガラス厚	3mm用	4mm用（型板ガラス）	5mm用	6.8mm用
姿 図		 ※3mm用と同じ状態	 切取り ハクリ線	 切取り ハクリ線
品 番	2K-22467			



## ドアの吊込み

1. ドアを吊込んでください。



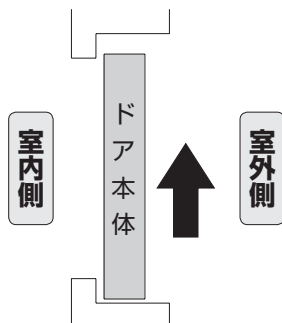
## ドアの建付調整

### お願い

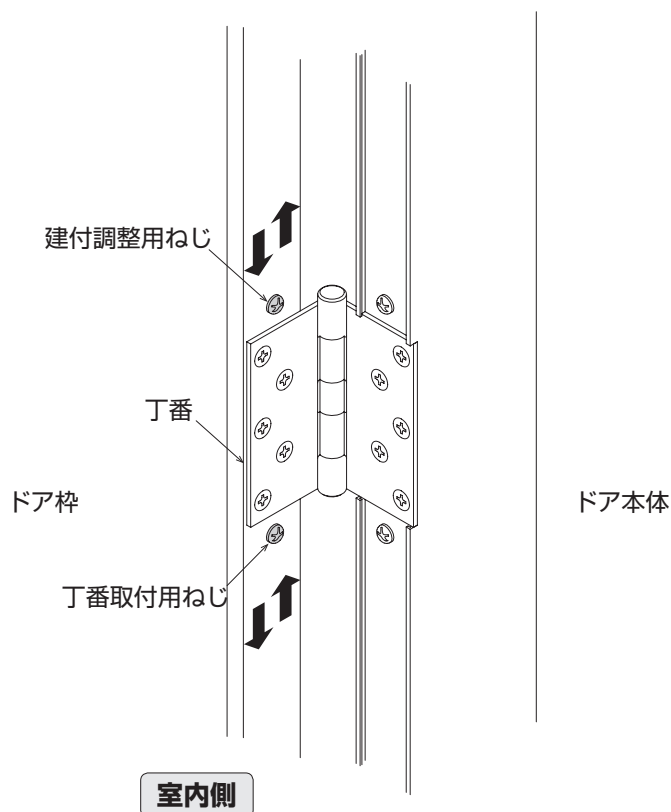
- 建付調整用ねじは外さないでください。裏板が落下するおそれがあります。

### 丁番の調整

#### ドア全体が下がった場合



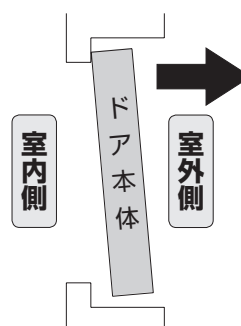
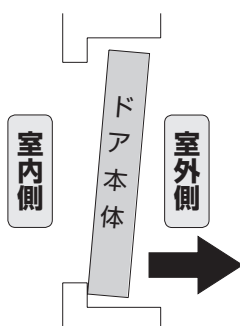
1. 丁番取付ねじをゆるめてください。
2. 建付調整用ねじをゆるめてください。
3. ドアを持上げながら、建付調整用ねじを締めてください。
4. 丁番取付ねじを締めてください。



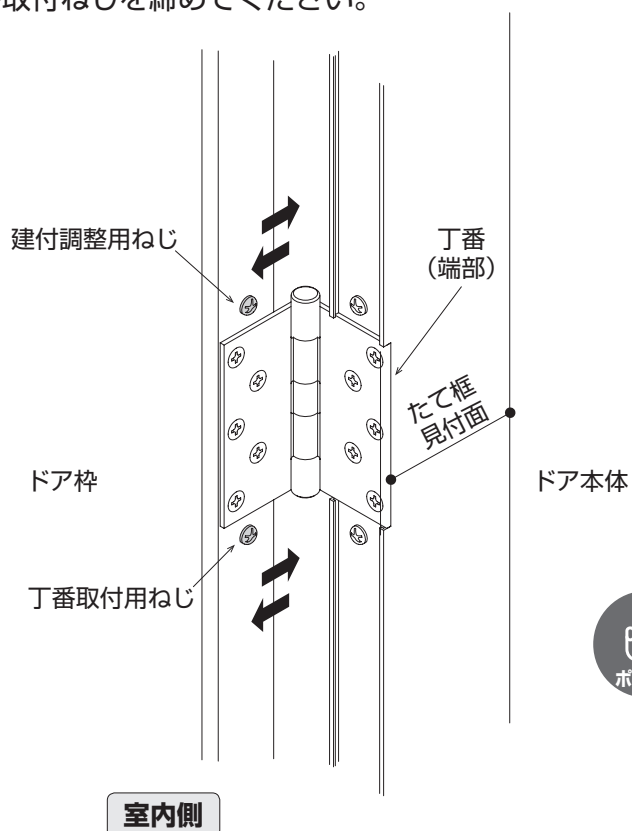
**ドアと枠のすき間が上下でずれている場合**

《上部にすき間が生じる場合》

《下部にすき間が生じる場合》



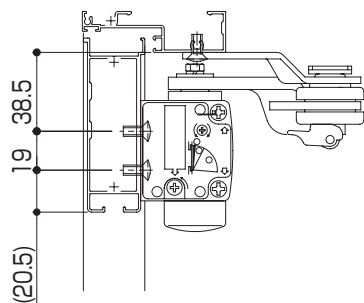
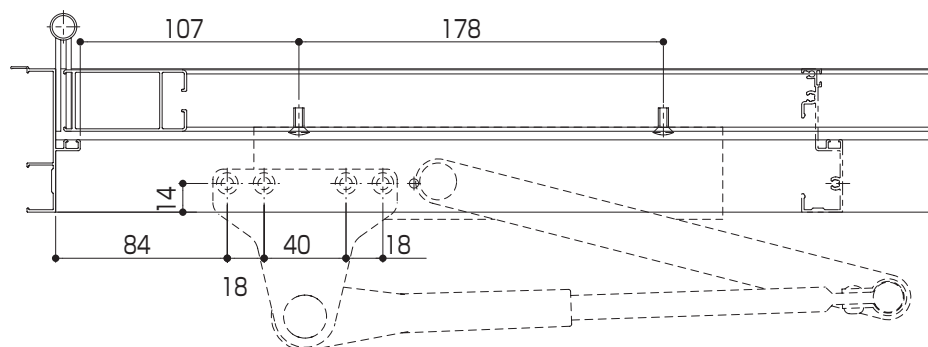
1. 当たりが強い方の丁番取付ねじをゆるめてください。
2. 建付調整用ねじをゆるめてください。
3. 室外側へ押しながらか建付調整用ねじを締めてください。
4. 丁番取付ねじを締めてください。



• 丁番端部がたて枠見付面とあうように調整してください。

## ドアクローザーの取付

1. ドアクローザーを取付けてください。取付・調整方法はドアクローザーに同梱の取付説明書を参照してください。



上枠・上枠：φ4.2×4  
(M5タップ加工)

## 下枠のシーリング

1. 下枠のシーリングをしてください。（P.156「下枠のシーリング」参照）

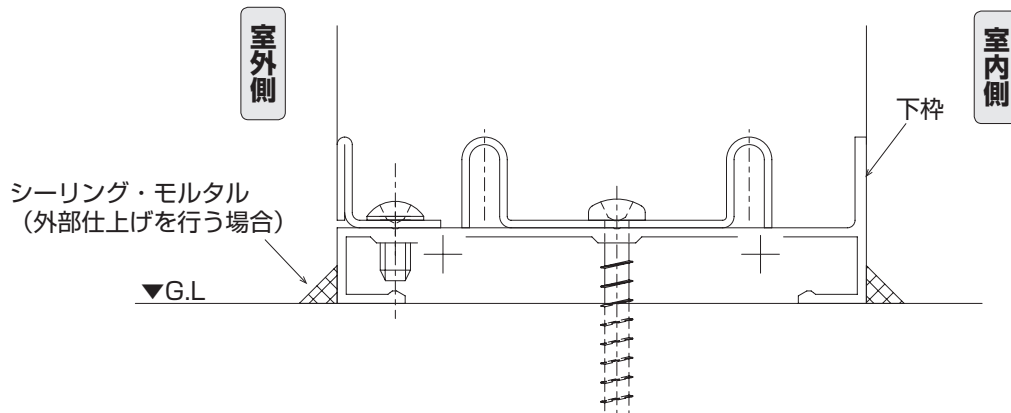
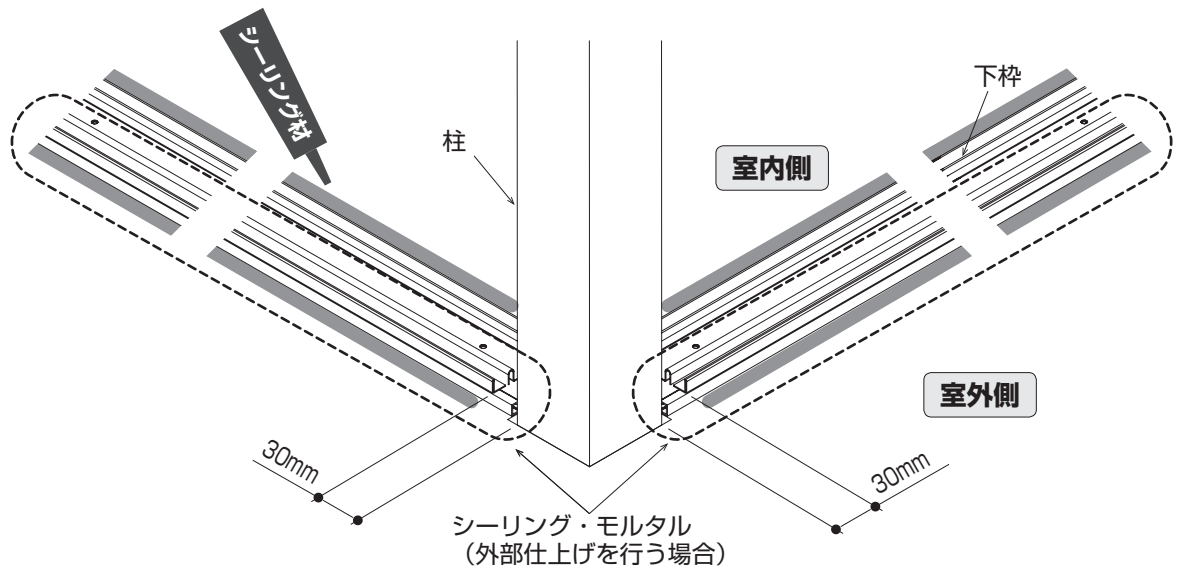
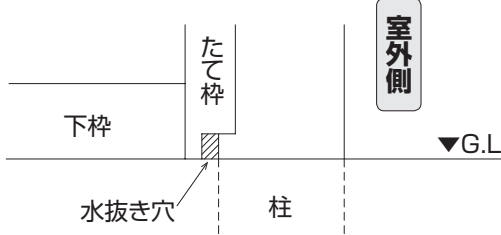
# 止水処理

## 下枠のシーリング

1. 下枠と土間接合部の内観側の全長をシーリングしてください。外部仕上げ（シーリング・モルタル）を行う場合は手順2に進んでください。
2. 下枠の両端の排水経路を30mm程度確保し、外部仕上げを行ってください。

**お願い**

• たて枠の水抜き穴は塞がないでください。漏水につながるおそれがあります。



# 雨樋の施工

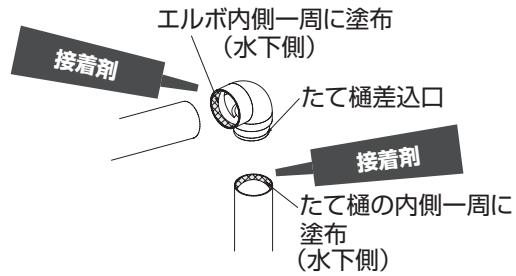
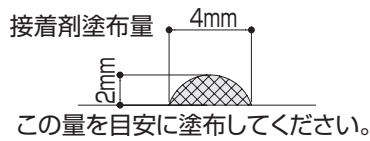
雨樋の取付.....	P.158
雨樋の取付.....	P.158

# 雨樋の取付

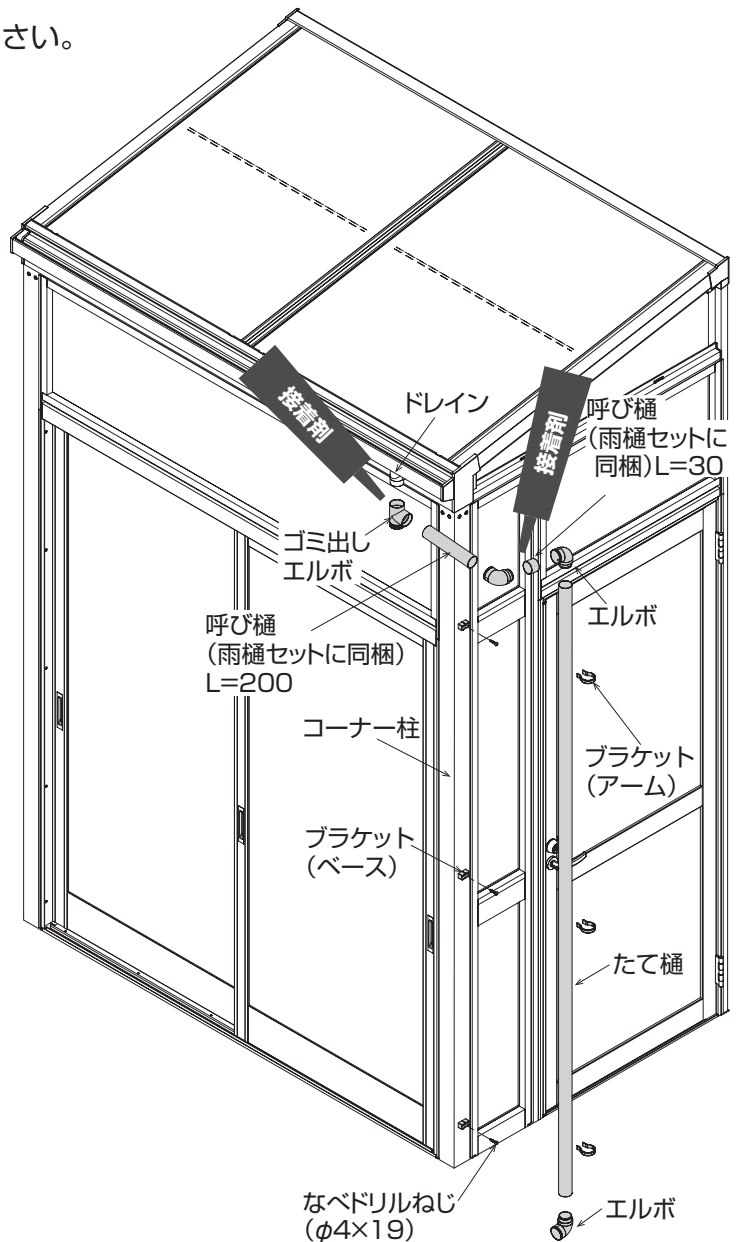
## 雨樋の取付



- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤をご使用ください。



1. ブラケット（ベース）をコーナー柱に取付けてください。
2. ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
3. 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
4. エルボを呼び樋に挿入してください。
5. たて樋を取付長さにあわせて切断してください。
6. たて樋をエルボに挿入してください。
7. エルボをたて樋に挿入してください。
8. ブラケット（アーム）をたて樋に挿入してください。
9. たて樋のブラケット（アーム）をブラケット（ベース）に取付けてください。



(単位：mm)



# 切断・加工要領図

現場の状況に応じて部材の切断・加工を行ってください。

切詰め.....P.160

切詰め.....P.160

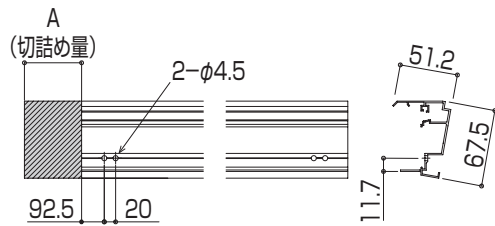
# 切詰め

## 切詰め

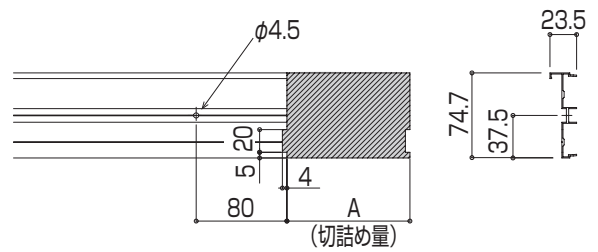
### 間口方向の切詰め

《加工図》

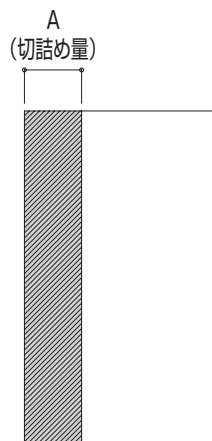
垂木掛け



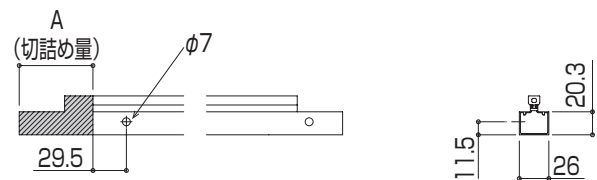
上枿アタッチメント



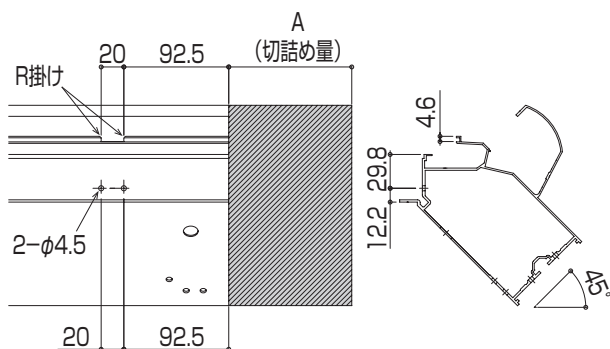
屋根ふき材



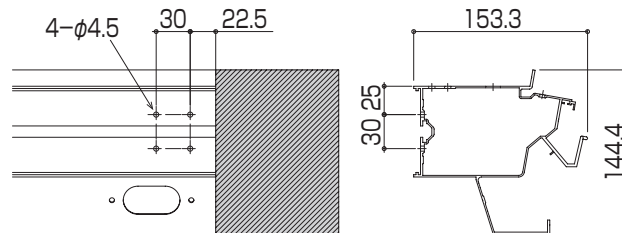
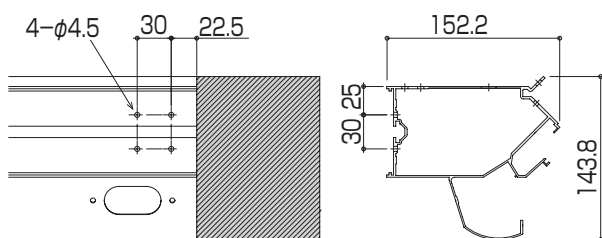
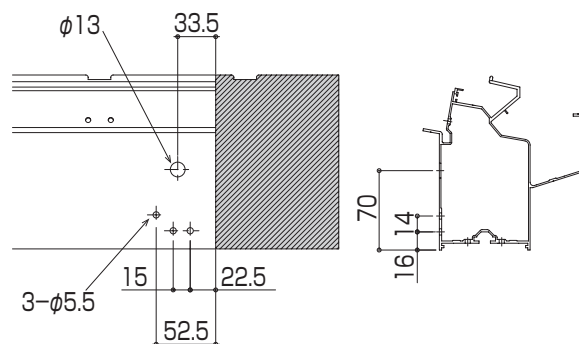
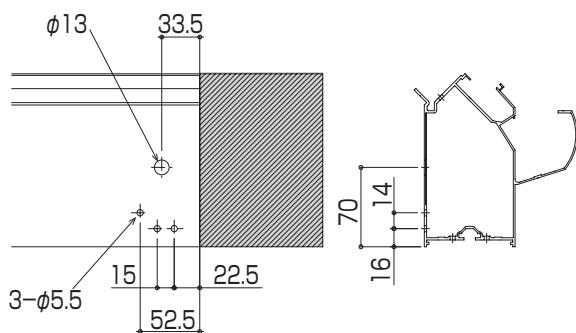
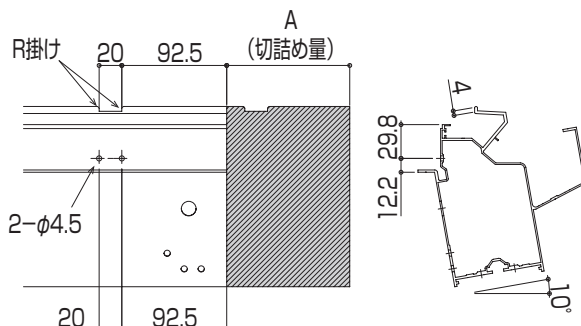
中棧



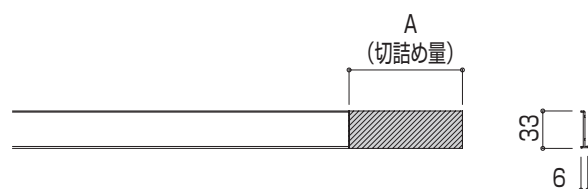
前枠 (Rタイプ)



前枠 (Fタイプ)



前枠アタッチメント (Fタイプ)

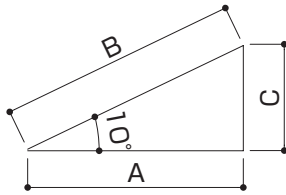


(単位 : mm)

切断・加工要領図

## 出幅方向の切詰め

### 《公式》



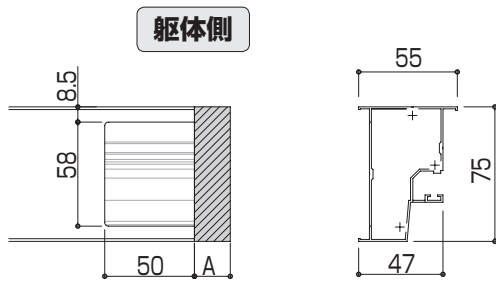
A : 切詰め量  
B、C : 切断量

$$B = \frac{A}{\cos 10^\circ} \quad C = \tan 10^\circ \times A$$

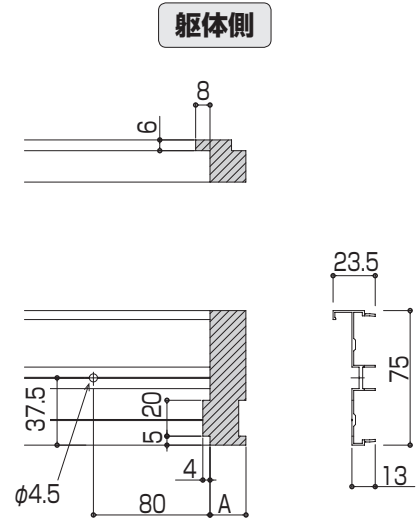
$$\cos 10^\circ = 0.985 \quad \tan 10^\circ = 0.176$$

### 《加工図》

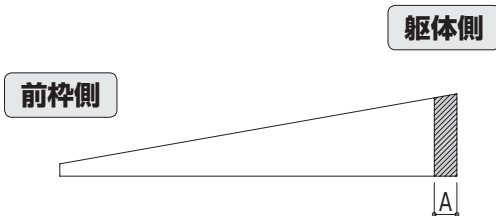
#### 腕木



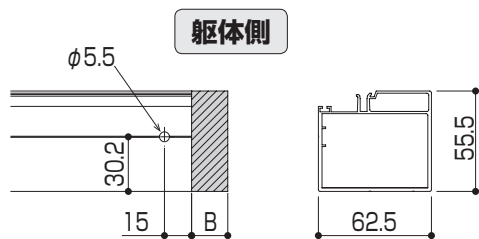
#### 上枠アタッチメント



#### 妻 FIX パネル

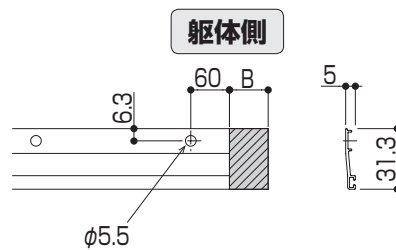


妻垂木

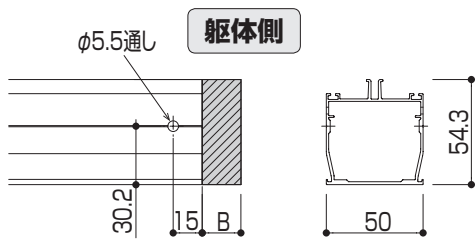


※下から施工の場合も同様

屋根ふき材押え(妻垂木用)

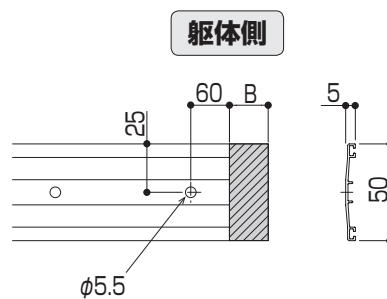


垂木

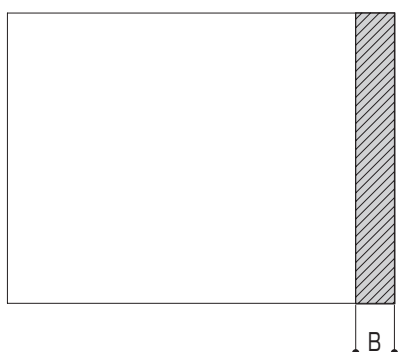


※下から施工の場合も同様

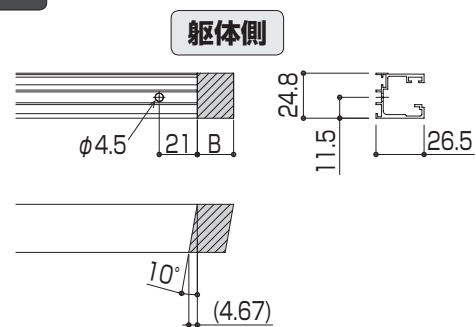
屋根ふき材押え(垂木用)



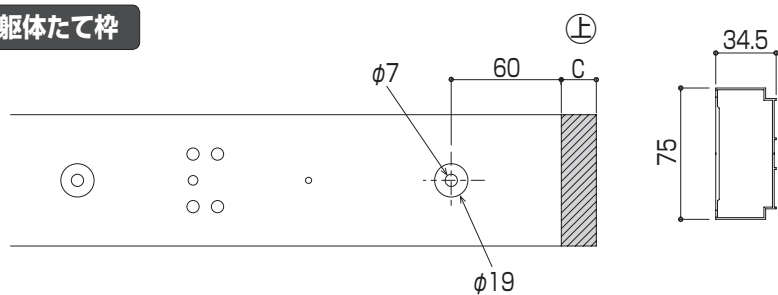
屋根ふき材



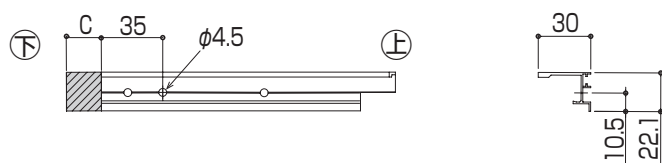
上廻り縁



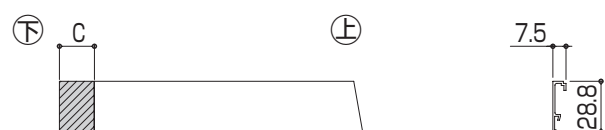
躯体たて枠



たて廻り縁



押縁



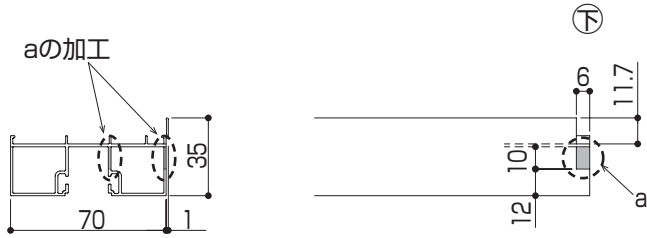
(単位 : mm)

切断・加工要領図

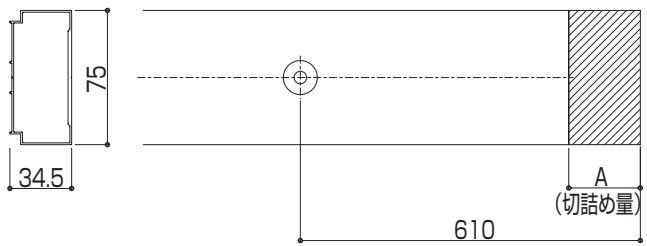
# 高さ方向の切詰め

## 《加工図》

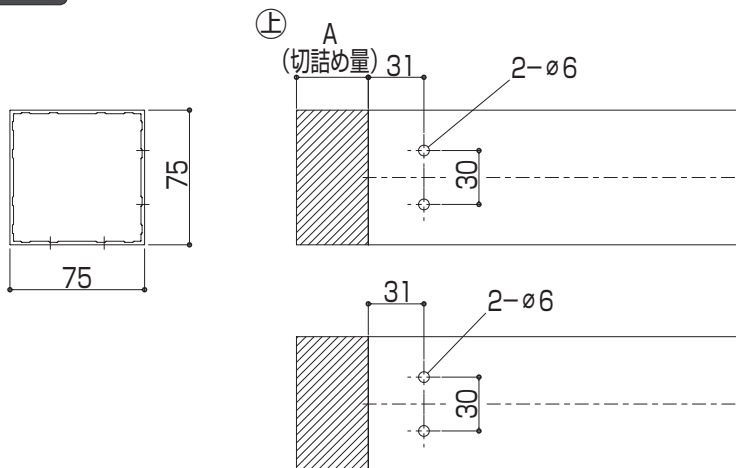
### たて枠 (高窓下 FIX・壁 FIX 下部)



### 躯体たて枠



### 柱



切  
断  
・  
加  
工  
要  
領  
図

(単位 : mm)

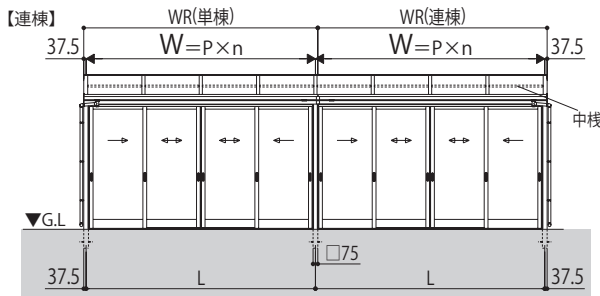
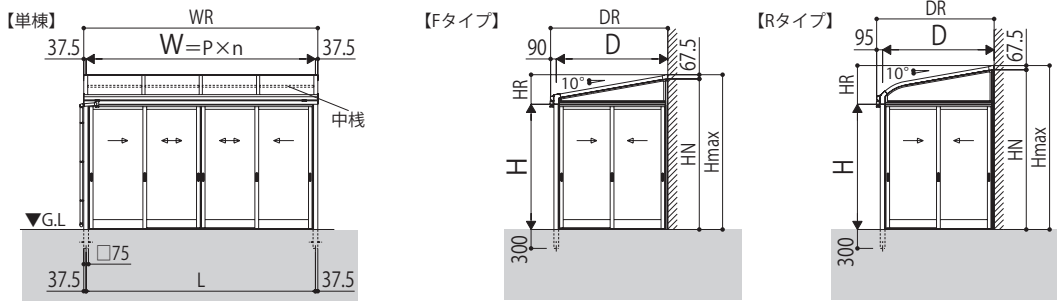
# 姿図・商品断面図

<b>本体フレーム部</b> .....	<b>P.166</b>
姿図 .....	P.166
商品断面図 .....	P.169
<b>開口部</b> .....	<b>P.173</b>
姿図 .....	P.173
商品断面図 .....	P.177

# 本体フレーム部

## 姿図

### ●600N/㎡ 3~6尺



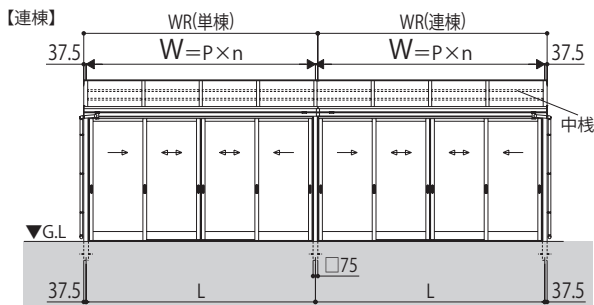
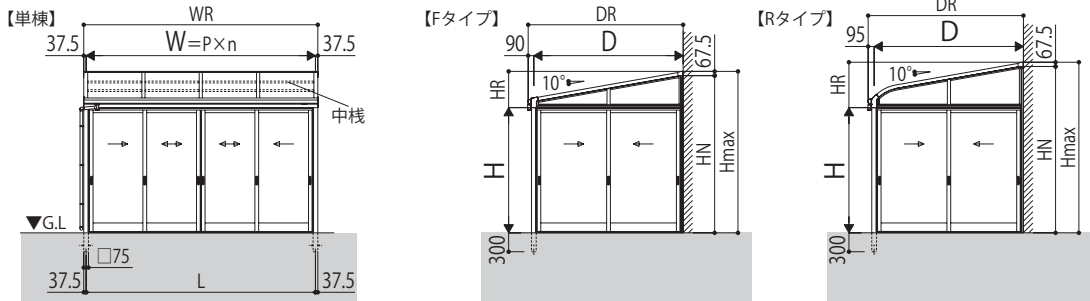
#### ■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		単棟 WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		4

#### ■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き			中棧本数						
					H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	H	Hmax	HN							
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	1,987	2,297.8	2,230.3	2,187	2,497.8	2,430.3	2,500	2,810.8	2,743.3	0						
	4尺	1,170	1,260	363.7											2,350.7	2,283.2	2,550.7	2,483.2	2,863.7	2,796.2
	5尺	1,470	1,560	416.6											2,403.6	2,336.1	2,603.6	2,536.1	2,916.6	2,849.1
	6尺	1,770	1,860	469.5											2,456.5	2,389.0	2,656.5	2,589.0	2,969.5	2,902.0
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	1,987	2,443.2	2,375.7	2,187	2,643.2	2,575.7	2,500	2,956.2	2,888.7	0						
	4尺	1,170	1,265	509.1											2,496.1	2,428.6	2,696.1	2,628.6	3,009.1	2,941.6
	5尺	1,470	1,565	562.0											2,549.0	2,481.5	2,749.0	2,681.5	3,062.0	2,994.5
	6尺	1,770	1,865	614.9											2,601.9	2,534.4	2,801.9	2,734.4	3,114.9	3,047.4

### ●600N/㎡ 7~8尺



#### ■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		単棟 WR	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	910	2
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		3
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		4

#### ■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き			中棧本数
					H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	1,987	2,509.4	2,441.9	2,187	2,709.4	2,641.9	2,500	3,022.4	2,954.9	2
	8尺	2,370	2,460	575.3										
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	1,987	2,654.8	2,587.3	2,187	2,854.8	2,787.3	2,500	3,167.8	3,100.3	2
	8尺	2,370	2,465	720.7										

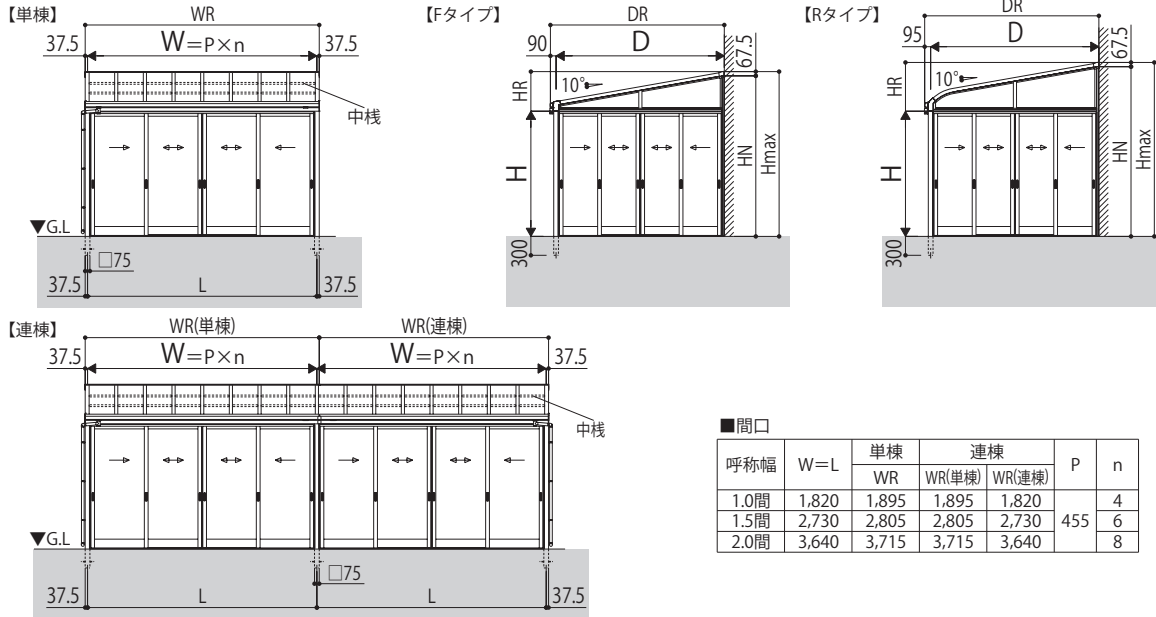
W:躯体柱芯々 L:柱の中心間距離 H:G.L.~前枠下端  
 DR:屋根出幅 HR:前枠下端~垂木掛け上端  
 WR:屋根幅 Hmax:G.L.~垂木掛け上端  
 P:垂木ピッチ HN:G.L.~垂木掛け下端

\*中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

(単位: mm)



●600N/㎡ 9尺



■間口

呼称幅	W=L	連棟			p	n
		単棟	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	455	4
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		6
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		8

■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き			中棧本数
					H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	
Fタイプ	9尺	2,670	2,760	628.2	1,987	2,615.2	2,547.7	2,187	2,815.2	2,747.7	2,500	3,128.2	3,060.7	2
Rタイプ	9尺	2,670	2,765	773.6	1,987	2,760.6	2,693.1	2,187	2,960.6	2,893.1	2,500	3,273.6	3,206.1	2

W:躯体柱芯々  
L:柱の中心間距離  
WR:屋根幅  
P:垂木ピッチ

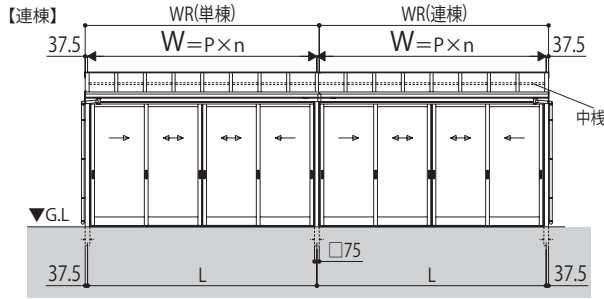
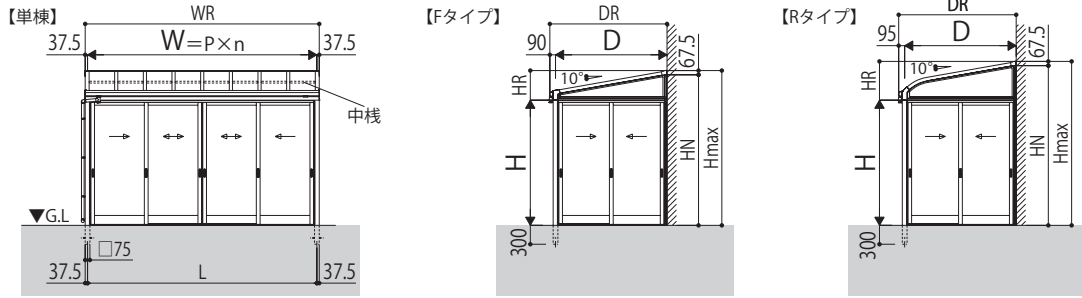
D:出幅  
DR:屋根出幅

H:G.L~前枠下端  
HR:前枠下端~垂木掛け上端  
Hmax:G.L~垂木掛け上端  
HN:G.L~垂木掛け下端

※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

本体フレーム部

●1500N/㎡ 3~6尺



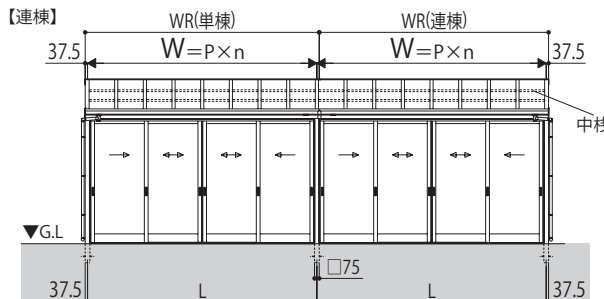
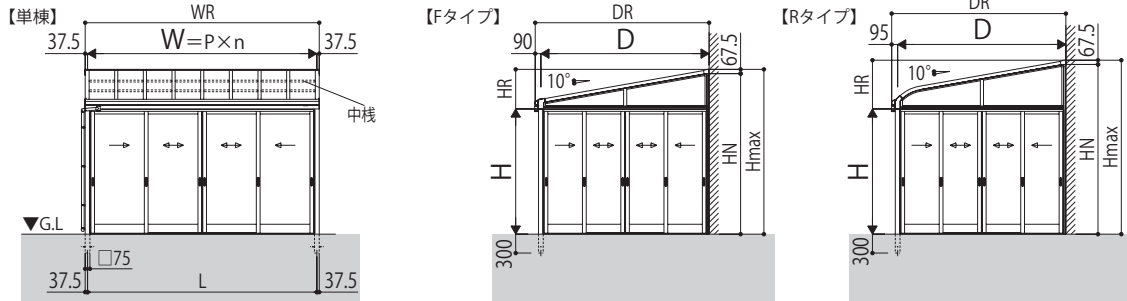
■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		単棟	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	455	4
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		6
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		8

■出幅・高さ

屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き			中棧本数
					H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	
Fタイプ	3尺	870	960	310.8	1,987	2,297.8	2,230.3	2,187	2,497.8	2,430.3	2,500	2,810.8	2,743.3	0
	4尺	1,170	1,260	363.7		2,350.7	2,283.2		2,550.7	2,483.2		2,863.7	2,796.2	
	5尺	1,470	1,560	416.6		2,403.6	2,336.1		2,603.6	2,536.1		2,916.6	2,849.1	
	6尺	1,770	1,860	469.5		2,456.5	2,389.0		2,656.5	2,589.0		2,969.5	2,902.0	
Rタイプ	3尺	870	965	456.2	1,987	2,443.2	2,375.7	2,187	2,643.2	2,575.7	2,500	2,956.2	2,888.7	0
	4尺	1,170	1,265	509.1		2,496.1	2,428.6		2,696.1	2,628.6		3,009.1	2,941.6	
	5尺	1,470	1,565	562.0		2,549.0	2,481.5		2,749.0	2,681.5		3,062.0	2,994.5	
	6尺	1,770	1,865	614.9		2,601.9	2,534.4		2,801.9	2,734.4		3,114.9	3,047.4	

●1500N/㎡ 7~9尺



■間口

呼称幅	W=L	連棟			P	n
		単棟	WR(単棟)	WR(連棟)		
1.0間	1,820	1,895	1,895	1,820	455	4
1.5間	2,730	2,805	2,805	2,730		6
2.0間	3,640	3,715	3,715	3,640		8

■出幅・高さ

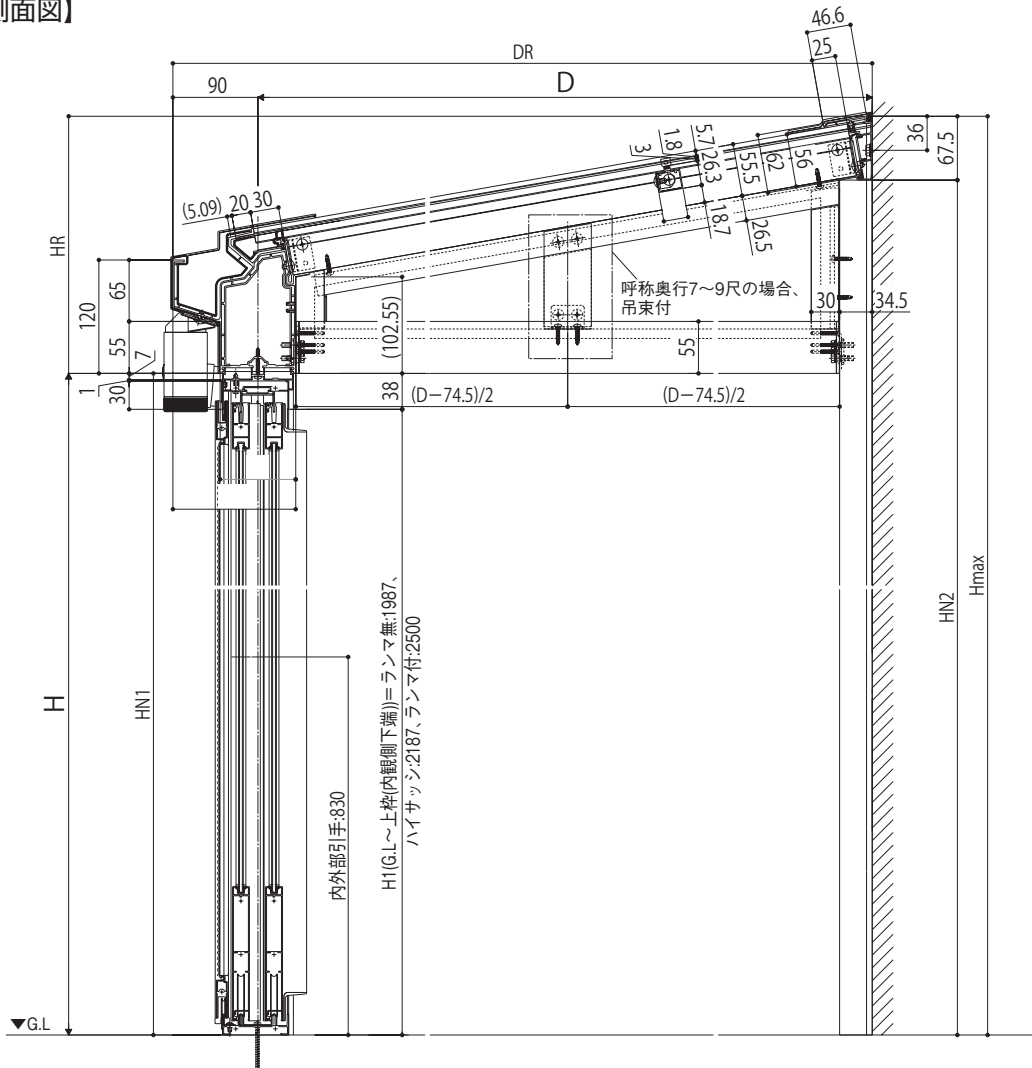
屋根形状	呼称出幅	D	DR	HR	ランマなし			ハイサッシ			ランマ付き			中棧本数
					H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	H	Hmax	HN	
Fタイプ	7尺	2,070	2,160	522.4	1,987	2,509.4	2,441.9	2,187	2,709.4	2,641.9	2,500	3,022.4	2,954.9	2
	8尺	2,370	2,460	575.3		2,562.3	2,494.8		2,762.3	2,694.8		3,075.3	3,007.8	
	9尺	2,670	2,760	628.2		2,615.2	2,547.7		2,815.2	2,747.7		3,128.2	3,060.7	
Rタイプ	7尺	2,070	2,165	667.8	1,987	2,654.8	2,587.3	2,187	2,854.8	2,787.3	2,500	3,167.8	3,100.3	2
	8尺	2,370	2,465	720.7		2,707.7	2,640.2		2,907.7	2,840.2		3,220.7	3,153.2	
	9尺	2,670	2,765	773.6		2,760.6	2,693.1		2,960.6	2,893.1		3,273.6	3,206.1	

W:躯体柱芯々 D:出幅 H:G.L~前枠下端  
 L:柱の中心間距離 DR:屋根出幅 HR:前枠下端~垂木掛け上端  
 WR:屋根幅 HN:G.L~垂木掛け上端  
 P:垂木ピッチ HN:G.L~垂木掛け下端

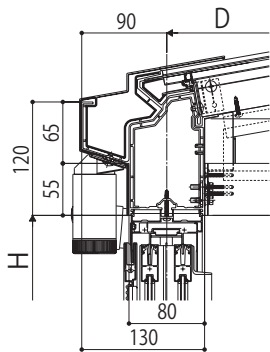
※中棧本数:垂木1ピッチ当りの本数

商品断面図

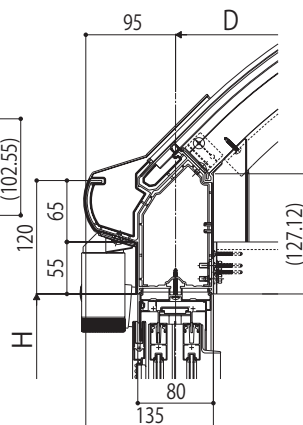
【側面図】



【Fタイプ】  
[前枠FE]



【Rタイプ】  
[前枠RC]



■前枠サイズ対応表

□ :前枠FE、前枠RC

・600N/m<sup>2</sup>

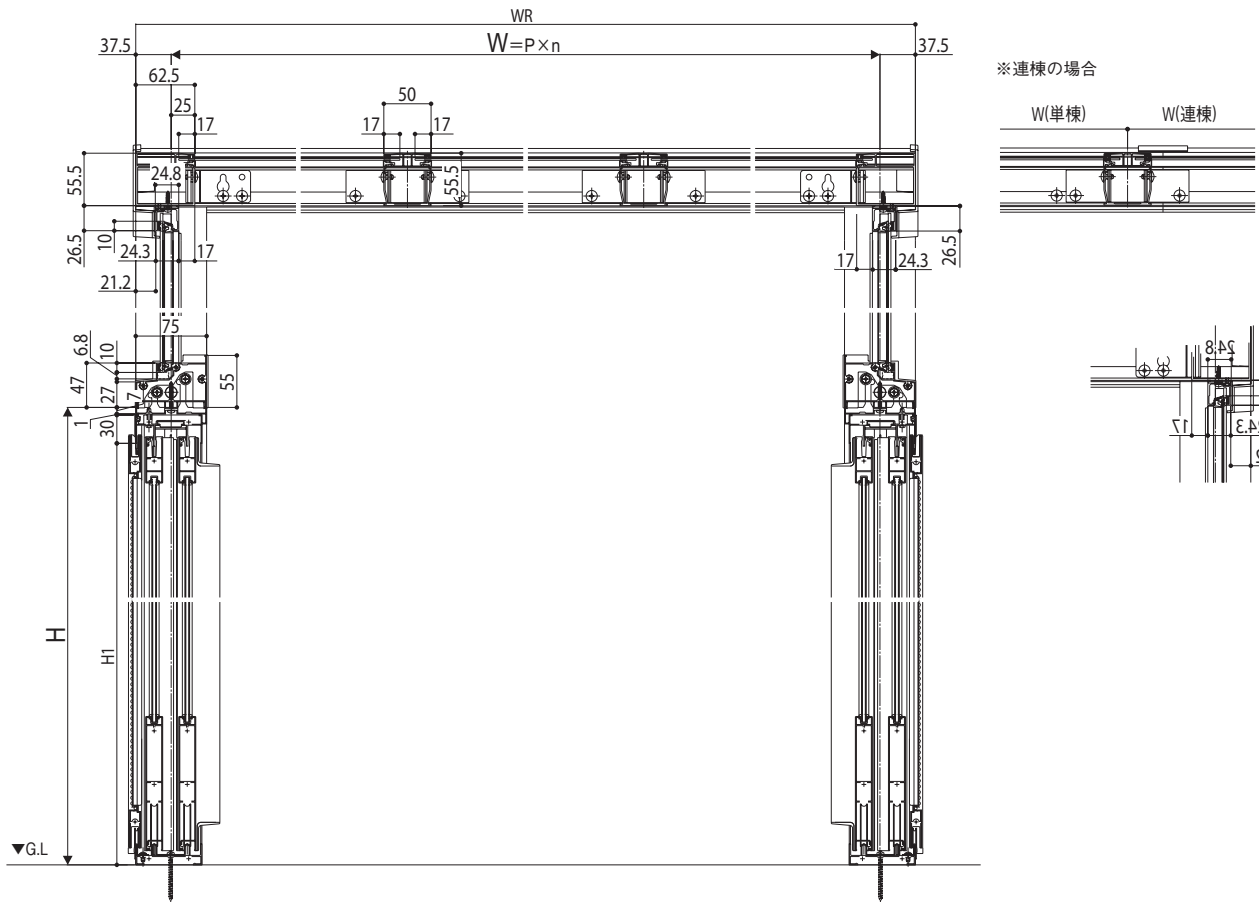
呼称 出幅	呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	09	18	27	36
4尺	12			
5尺	15			
6尺	18			
7尺	21			
8尺	24			
9尺	27			

・1500N/m<sup>2</sup>

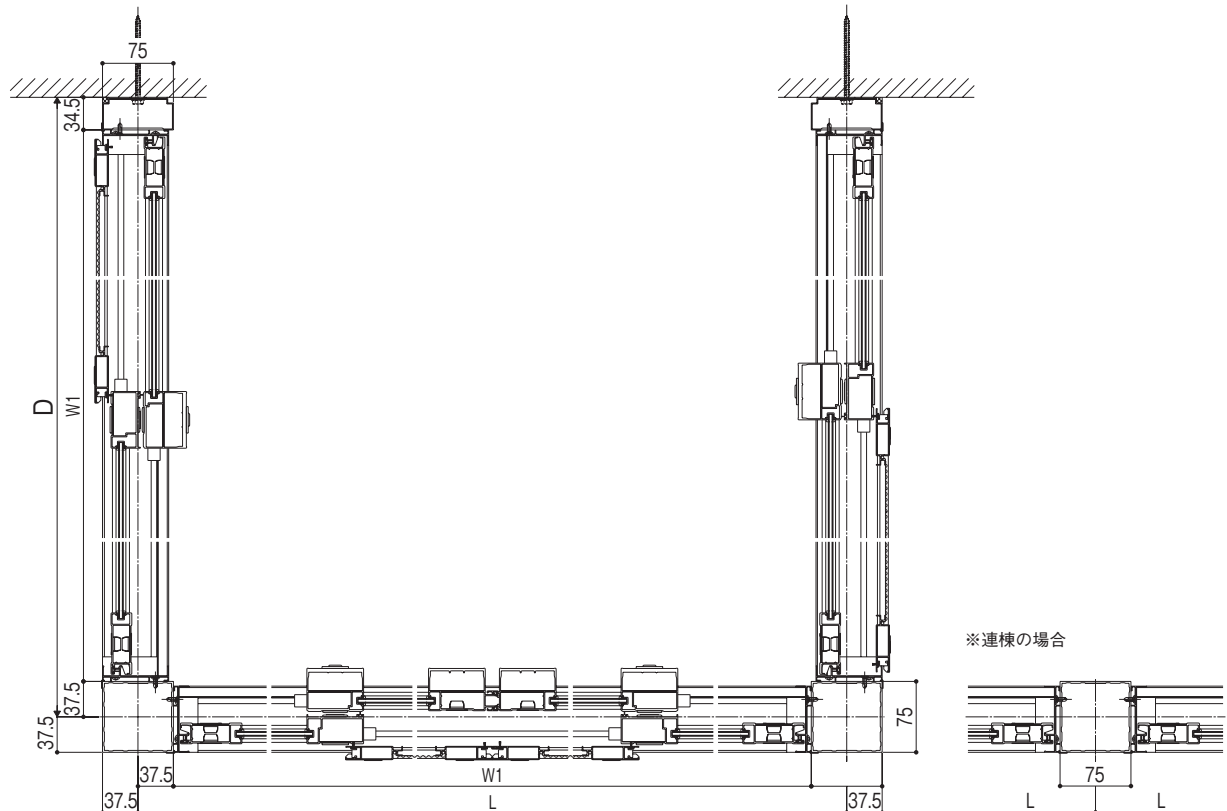
呼称 出幅	呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
3尺	09	18	27	36
4尺	12			
5尺	15			
6尺	18			
7尺	21			
8尺	24			
9尺	27			

(単位：mm)

【正面図】 単棟・連棟



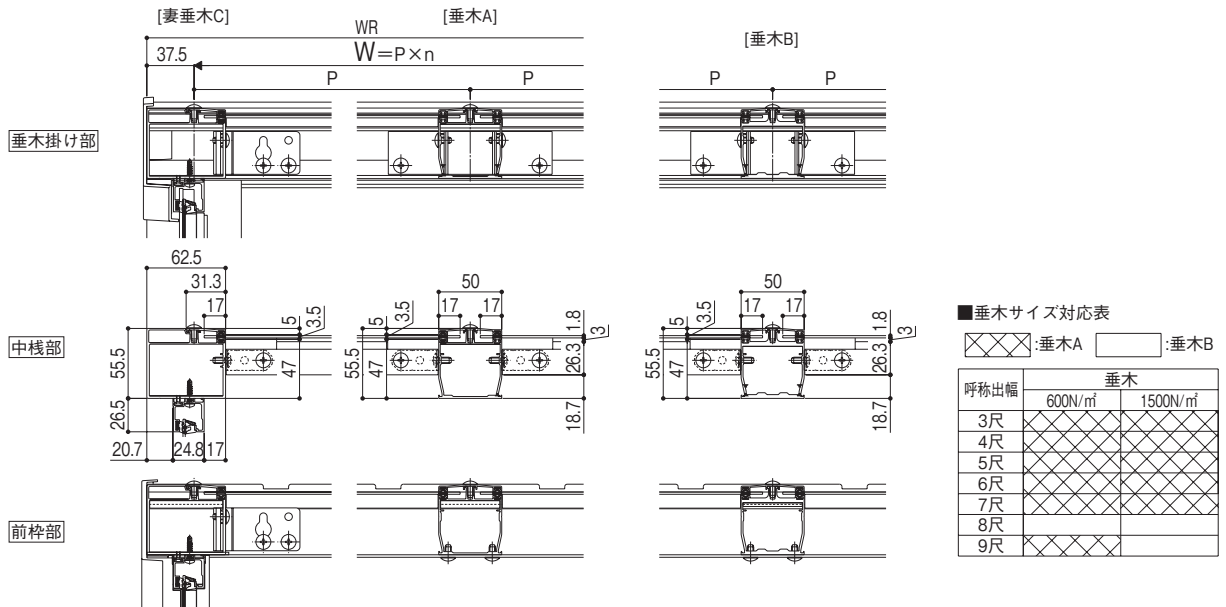
【平面図】 単棟・連棟



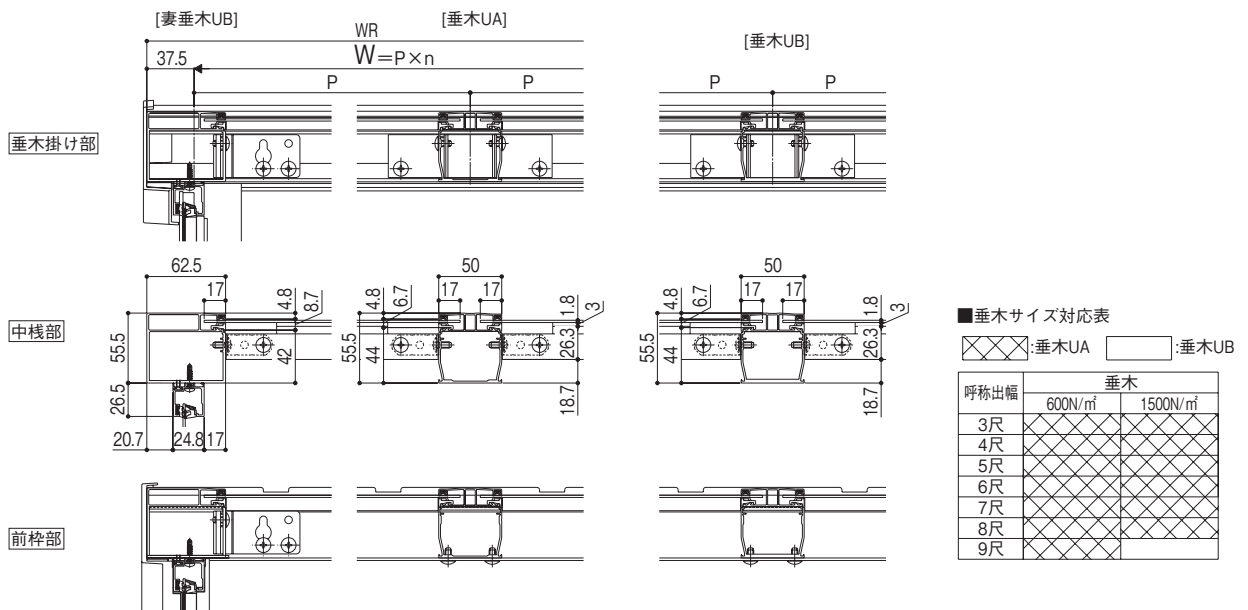
(単位：mm)

《屋根部》

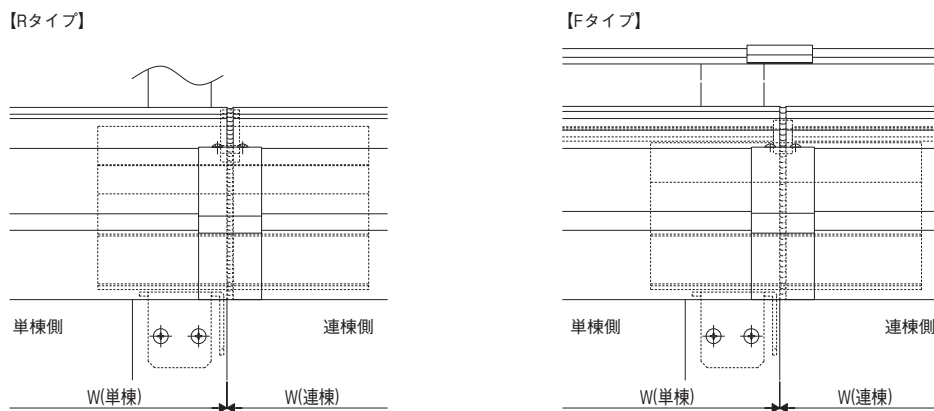
【正面図】 上から施工



【正面図】 下から施工



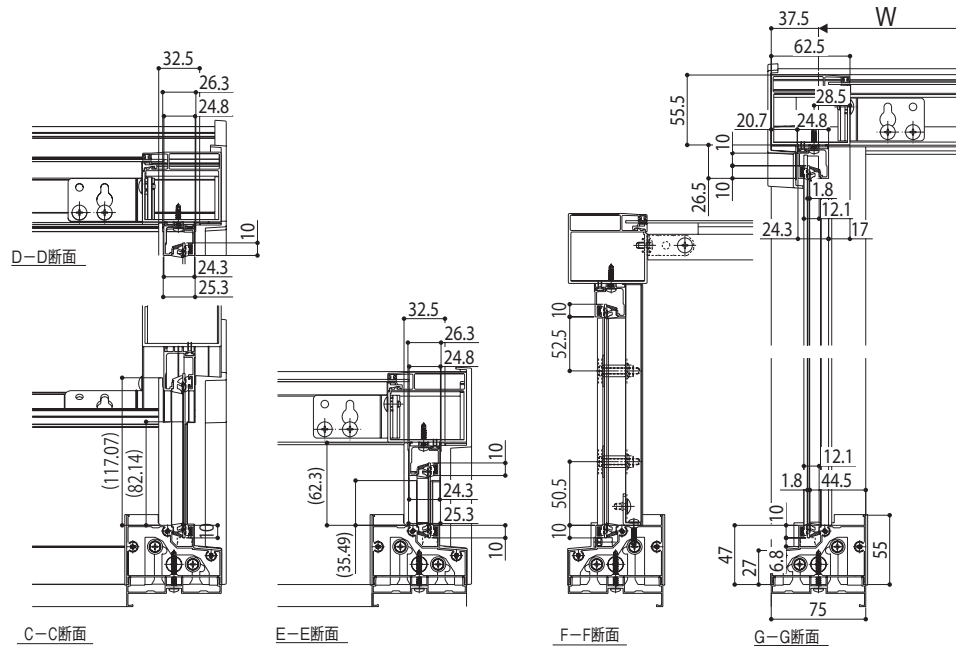
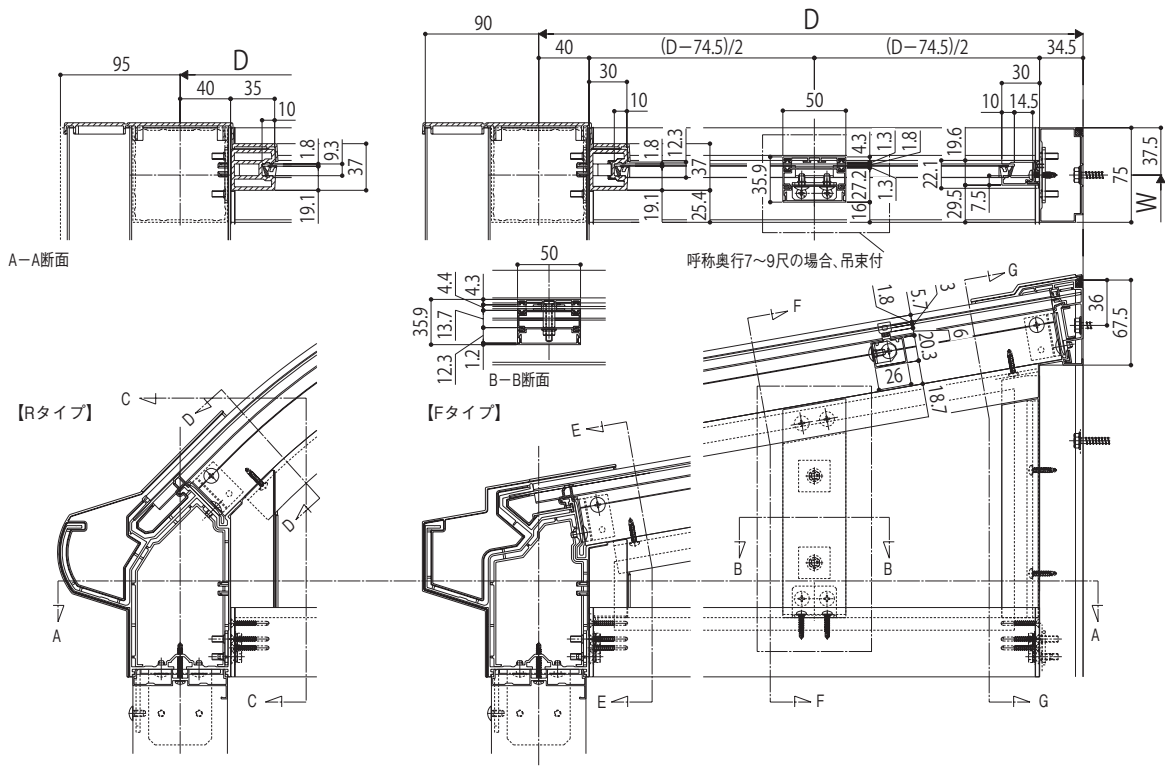
【正面図】 前桝連棟部詳細(Rタイプ・Fタイプ)



(単位：mm)

《妻FIX部》

【断面図】



姿図・商品断面図

(単位：mm)

# 開口部

## 姿図

### 《正面》

【姿図一覧】 ランマなし・ハイサッシ

呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
中棧なし 掃出しサッシ(土間)			
中棧付き			
高窓			

●ランマなし

高さ	掃出しサッシ(土間)	高窓
H1	1,949	—
H2	—	977
H3	—	802

●ハイサッシ

高さ	掃出しサッシ(土間)	高窓
H1	2,149	—
H2	—	1,177
H3	—	802

幅	1.0間	1.5間	2.0間
W1	1,745	2,655	3,565

※本図は全て外観姿図を表す。

《正面》

【姿図一覧】ランマ付き

呼称幅	1.0間	1.5間	2.0間
掃出しサッシ(土間)	ランマ付 	ランマ付 	ランマ付 
	ランマ引違い 	ランマ引違い 	ランマ引違い 
中棧付き	ランマ付 	ランマ付 	ランマ付 
	ランマ引違い 	ランマ引違い 	ランマ引違い 
高窓	ランマ付 	ランマ付 	ランマ付 
	ランマ引違い 	ランマ引違い 	ランマ引違い 

高さ	掃出しサッシ(土間)	高窓	幅	1.0間	1.5間	2.0間
H1	1,949	—	W1	1,745	2,655	3,565
H2	—	977				
H3	—	802				
H4	413	—				

※本図は全て外觀姿図を表す。



《側面》

【姿図一覧】ランマなし・ハイサッシ

呼称出幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
掃出しサッシ (土間)	中棧なし	※1 					
	中棧付き	※1 					
高窓							
壁FIX					/		
ドア (壁FIX) ※1	外観左用					/	
	外観右用					/	

●ランマなし

高さ	掃出しサッシ (土間)	高窓	壁FIX	ドア
H1	1,949	—	1,949	1,959
H2	—	977	—	—
H3	—	802	—	—

●ハイサッシ

高さ	掃出しサッシ (土間)	高窓	壁FIX
H1	2,149	—	2,149
H2	—	1,177	—
H3	—	802	—

幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
W1	798	1,098	1,398	1,698	1,998	2,298	2,598
W2	798		—	—	—	—	—
W3	—	262.5	562.5	862.5	—	—	—

※本図は全て外観姿図を表す。

※1 ハイサッシには設定は無し。

《側面》

【姿図一覧】ランマ付き

呼称出幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
掃出しサッシ(土間)	中棧なし						
	中棧付き						
高窓							
壁FIX					None (diagonal line)		
ドア(壁FIX)							
外観左用					None (diagonal line)		

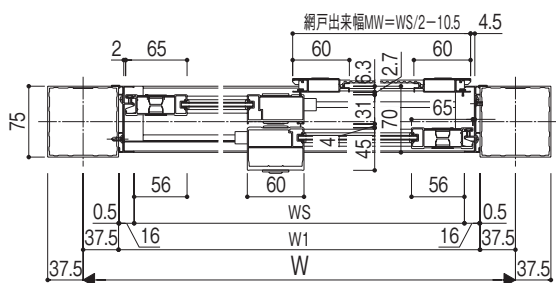
高さ	掃出しサッシ(土間)	高窓	壁FIX	ドア	幅	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺
H1	1,949	—	2,462	1,959	W1	798	1,098	1,398	1,698	1,998	2,298	2,598
H2	—	977	—	—	W2	—	798	—	—	—	—	—
H3	—	802	—	—	W3	—	262.5	562.5	862.5	—	—	—
H4	413	413	—	413								

※本図は全て外観姿図を表す。

## 商品断面図

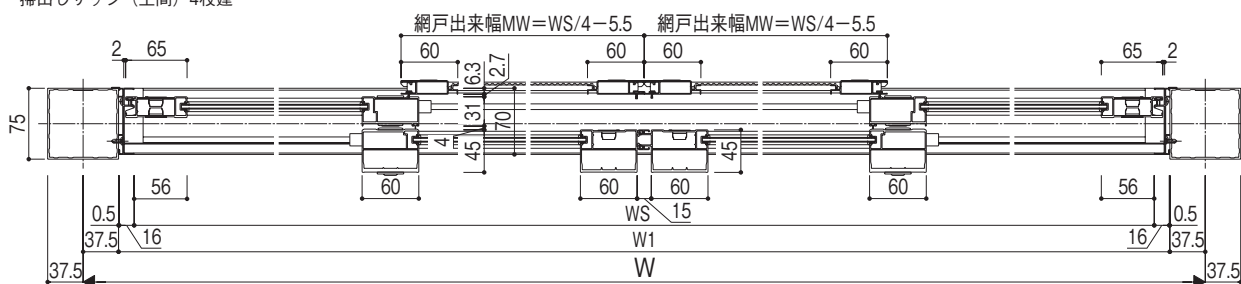
## 《掃出しサッシ (土間) (正面)》

【平面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い

正面:1.0間  
掃出しサッシ (土間) 2枚建

■正面ユニット

呼称間口	W1	WS
1.0間	1.745	1.712
1.5間	2.655	2.622
2.0間	3.565	3.532

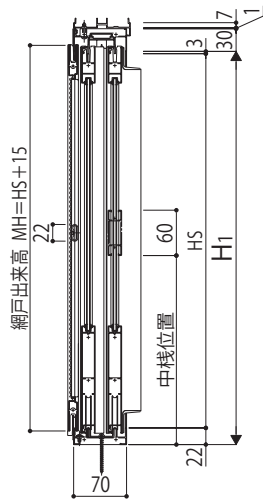
正面:1.5~2.0間  
掃出しサッシ (土間) 4枚建

【側面図】ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い

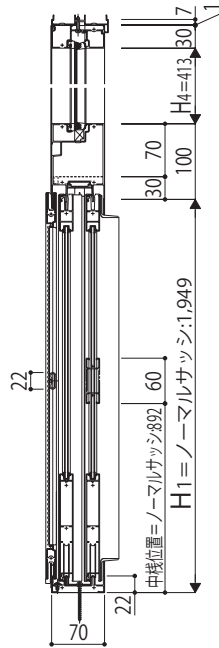
ランマ無、ハイサッシ  
正面:1.0~2.0間

開口タイプ	H1	HS	中棧位置
ノーマルサッシ	1,949	1,924	892
ハイサッシ	2,149	2,124	892

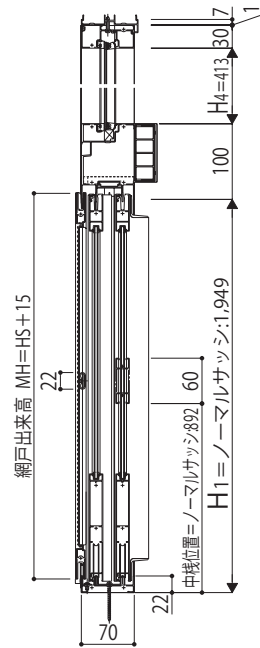
※ハイサッシにはランマ付の設定は無し



ランマFIX  
正面:1.0~1.5間

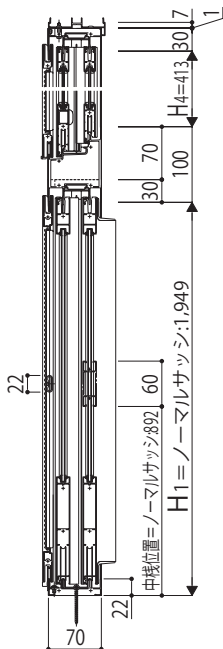


正面:2.0間

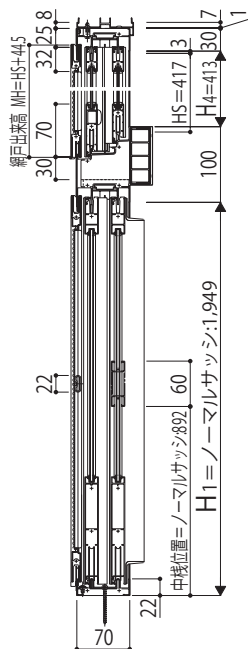


ランマ引違い



正面:1.0~1.5間



正面:2.0間



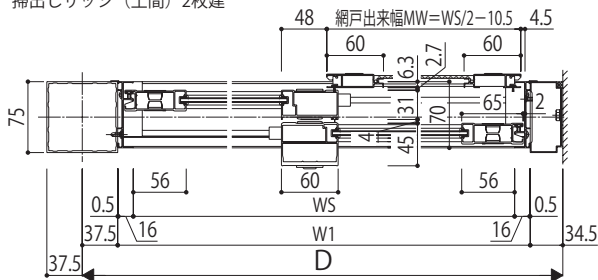
【中棧(掃出しサッシ(土間)):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ	ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6,9尺	7.8尺
形材		

### 《掃出しサッシ (土間) (側面)》

【平面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX

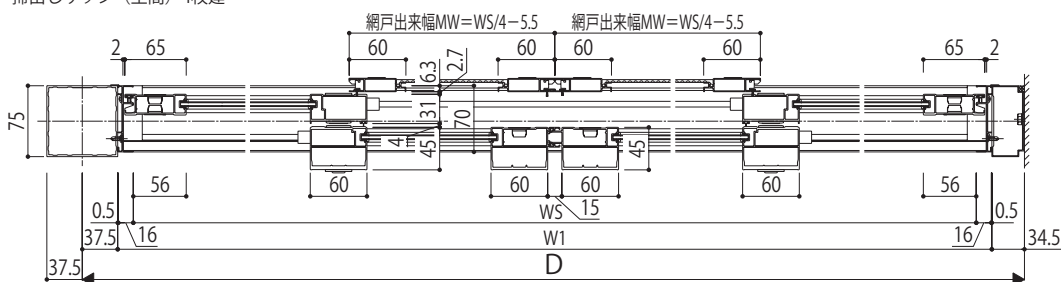
側面:5~8尺  
掃出しサッシ (土間) 2枚建



■側面ユニット

呼称出幅	W1	WS
3尺	798	765
4尺	1,098	1,065
5尺	1,398	1,365
6尺	1,698	1,665
7尺	1,998	1,965
8尺	2,298	2,265
9尺	2,598	2,565

側面:9尺  
掃出しサッシ (土間) 4枚建



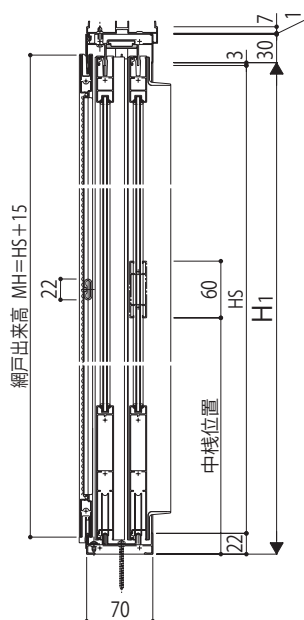
### 【側面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX

ランマ無、ハイサッシ

側面:5~9尺

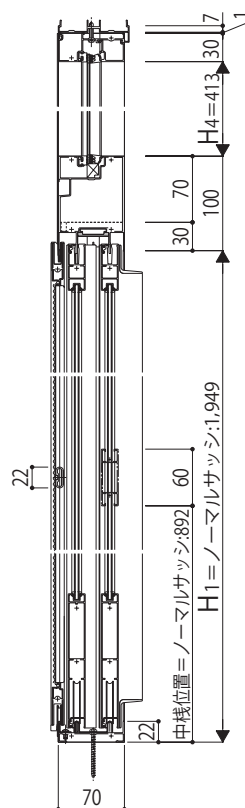
開口タイプ	H1	HS	中棧位置
ノーマルサッシ	1,949	1,924	892
ハイサッシ	2,149	2,124	892

※ハイサッシにはランマ付の設定は無し



ランマFIX

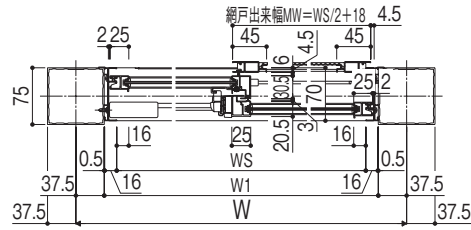
側面:5~9尺



(単位 : mm)

# 《ランマ引違い (正面)》 【平面図】

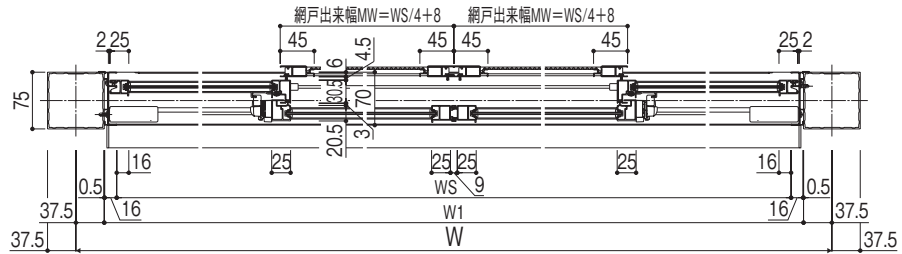
正面:1.0間  
ランマ引違い窓 2枚建



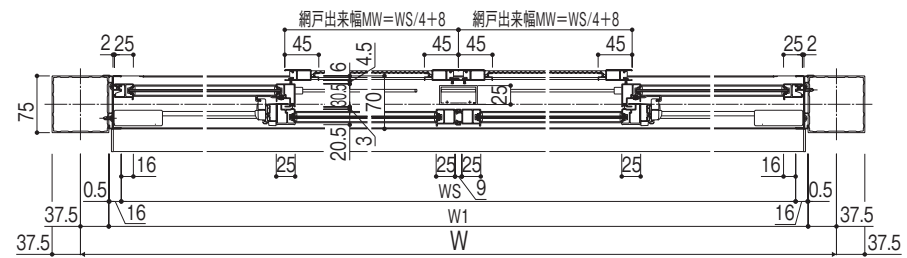
■正面ユニット

呼称間口	W1	WS
1.0間	1.745	1.712
1.5間	2.655	2.622
2.0間	3.565	3.532

正面:1.5間  
ランマ引違い窓 4枚建

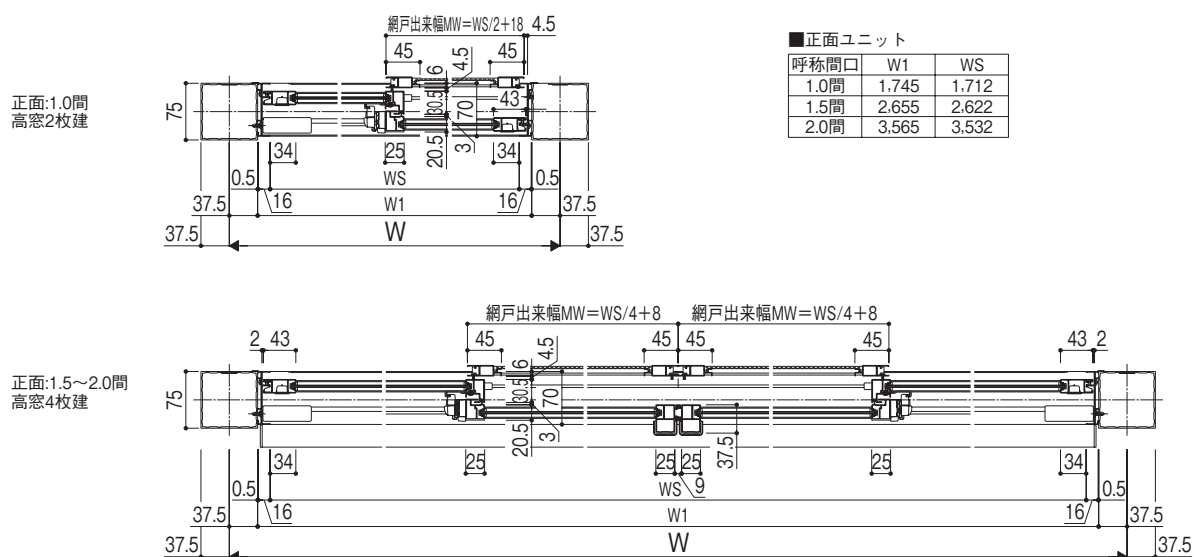


正面:2.0間  
ランマ引違い窓 4枚建

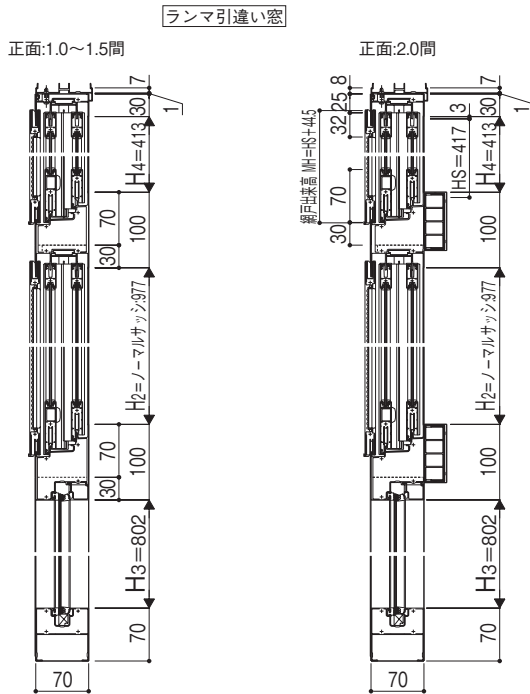
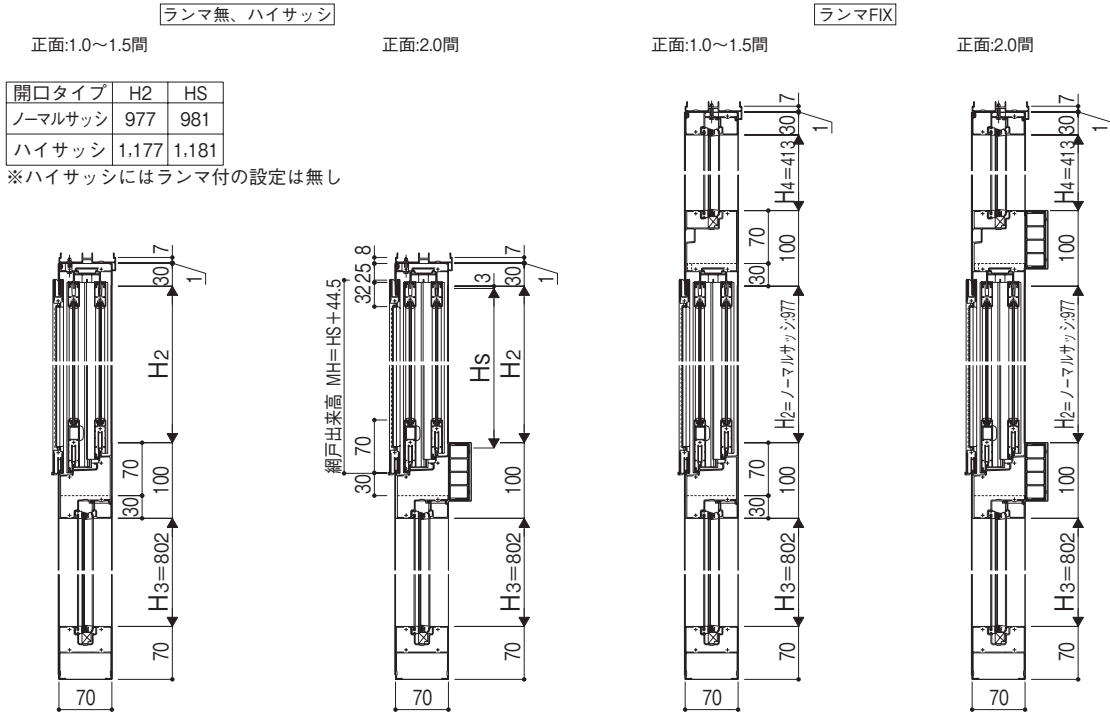


## 《高窓(正面)》

【平面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い



【側面図】ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX、ランマ引違い



【外下框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5~9尺
形材	 70

【内下框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6.9尺 7.8尺
形材	 52

【上框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6.9尺 7.8尺
形材	 32

【上下框(網戸):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ/ハイサッシ
正面/側面	1.0~2.0間/5.6.9尺 7.8尺
形材	 35.5

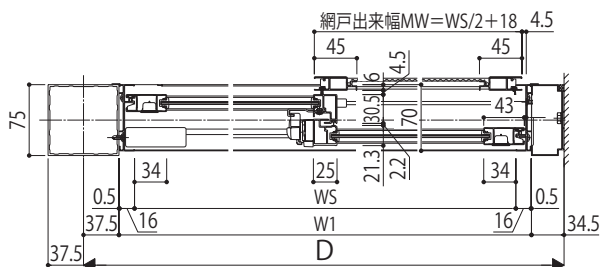
(単位: mm)



### 《高窓(側面)》

【平面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX

側面:3~8尺  
高窓2枚建



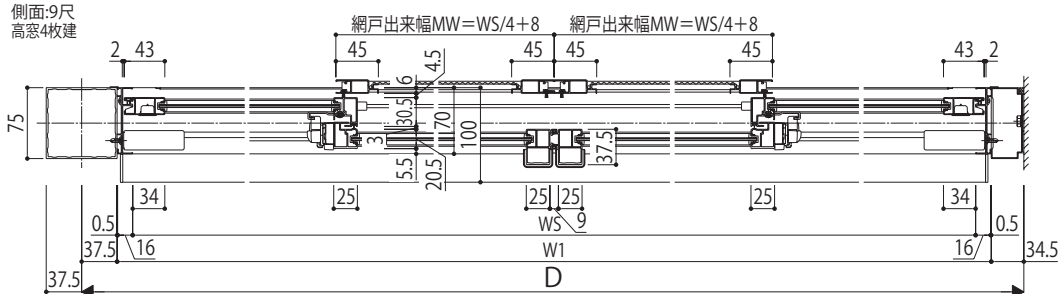
■側面ユニット

呼称出幅	W1	WS
3尺	798	765
4尺	1,098	1,065
5尺	1,398	1,365
6尺	1,698	1,665
7尺	1,998	1,965
8尺	2,298	2,265
9尺	2,598	2,565

【内召合せ框(高窓):サイズ別対応一覧】

開口タイプ	ノーマルサッシ	ハイサッシ
側面	3~8尺	3,4,5,6尺 7,8尺
形材		

側面:9尺  
高窓4枚建



【側面図】 ランマ無、ハイサッシ、ランマFIX

ランマ無、ハイサッシ

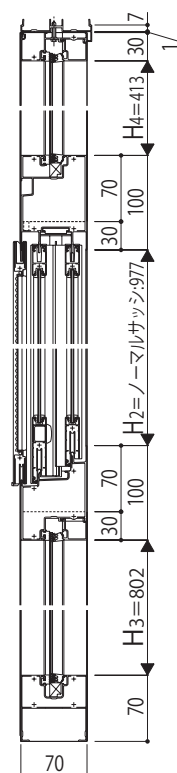
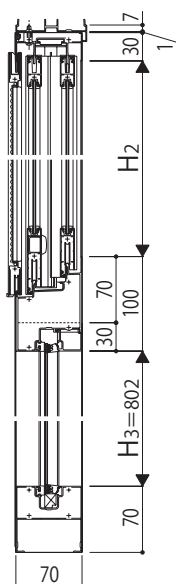
側面:3~9尺

ランマFIX

側面:3~9尺

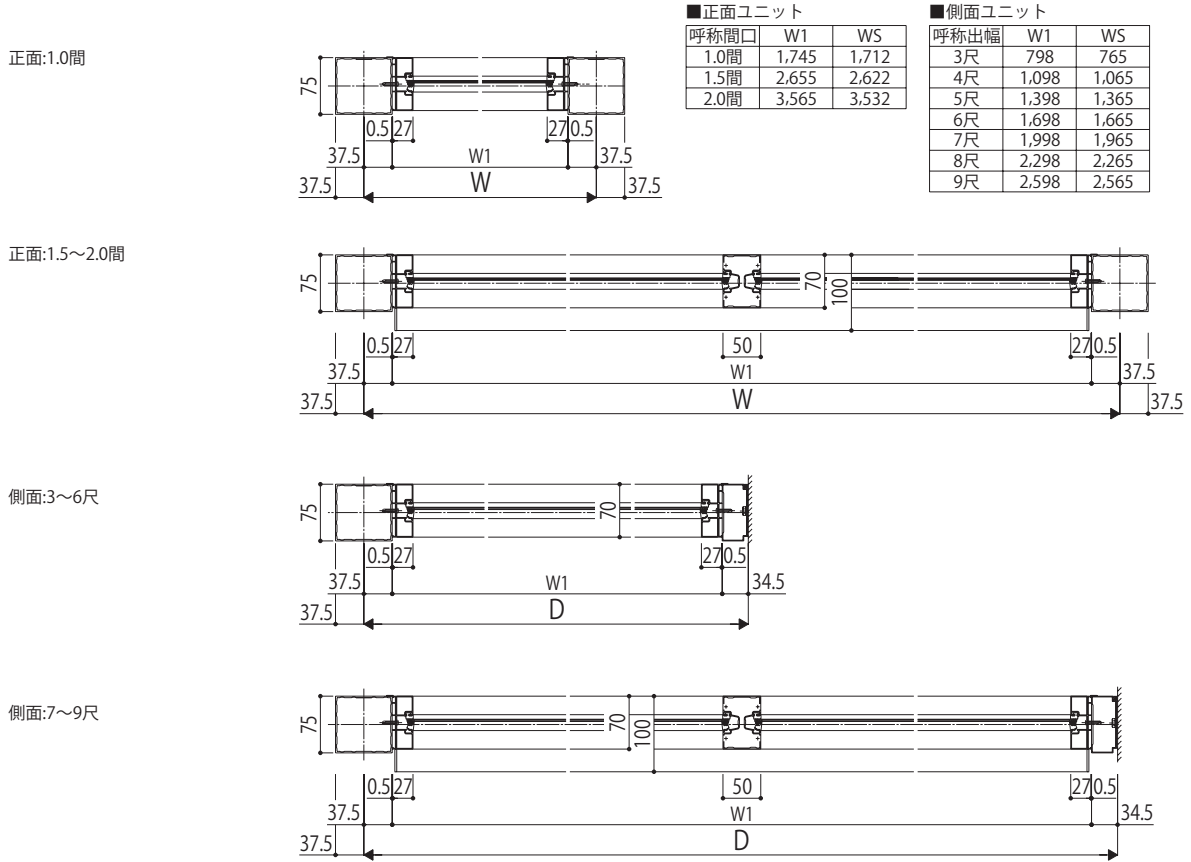
開口タイプ	H2	HS
ノーマルサッシ	977	981
ハイサッシ	1,177	1,181

※ハイサッシにはランマ付の設定は無し



(単位: mm)

## 《壁FIX・ランマFIX(正面・側面)》 【平面図】

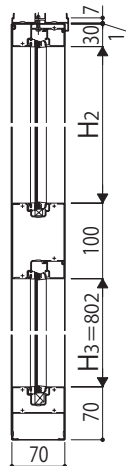


## 【側面図】

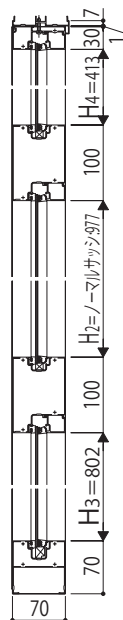
ランマ無、ハイサッシ  
側面:3~6尺

開口タイプ	H2
ノーマルサッシ	977
ハイサッシ	1,177

※ハイサッシにはランマ付きの設定は無し

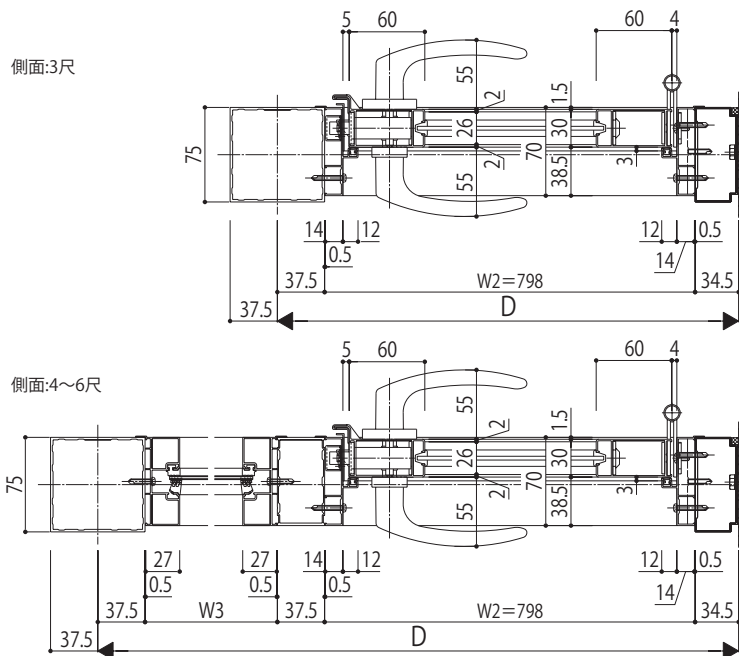


ランマ付き  
側面:3~6尺



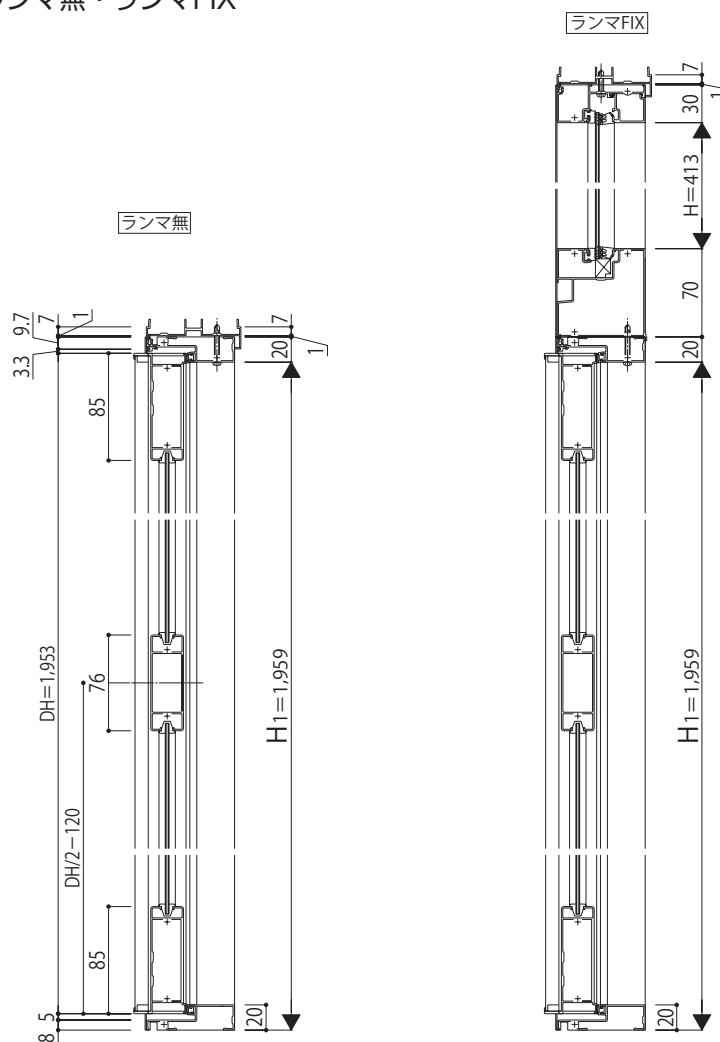
《ドア(側面)》

【平面図】 ランマ無・ランマFIX



呼称出幅	W3
3尺	-
4尺	262.5
5尺	562.5
6尺	862.5

【側面図】 ランマ無・ランマFIX



(単位 : mm)

